

令和3年度使用中学校用教科用図書

選 定 資 料
(案)

令和2年6月

広島県教育委員会

はじめに

広島県教育委員会は、令和3年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

令和2年6月

広島県教育委員会

目 次

教科用図書選定資料について	1
国 語	2
書 写	17
社 会 (地理的分野)	27
社 会 (歴史的分野)	42
社 会 (公民的分野)	62
地 図	77
数 学	86
理 科	107
音 楽 (一般)	127
音 楽 (器楽合奏)	137
美 術	145
保 健 体 育	157
技 術 ・ 家 庭 (技術分野)	168
技 術 ・ 家 庭 (家庭分野)	178
英 語	189
特別の教科 道徳	203

教科用図書選定資料について

1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和3年度使用）」に記載された教科用図書について、種目別に、次の五つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

広島県では、平成27年度から広島版「学びの変革」アクション・プランに基づき、主体的な学びの創造を目指しています。

そのため、観点2として「主体的に学習に取り組む工夫」を設定しています。また、引き続き「確かな学力」と「豊かな心」の基盤となる「ことばの力」を児童生徒に確実に身に付けさせることを目的として「ことばの教育」に取り組んでいることから、観点5として「言語活動の充実」を設定しています。

なお、それぞれの観点の下に、種目ごとに学習指導要領の目標に基づき視点を設定しています。

2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和3年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名	番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社	50	大修館	株式会社大修館書店
4	大日本	大日本図書株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
6	教図	教育図書株式会社	81	山川	株式会社山川出版社
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	104	数研	数研出版株式会社
11	学図	学校図書株式会社	116	日文	日本文教出版株式会社
15	三省堂	株式会社三省堂	224	学研	株式会社学研教育みらい
17	教出	教育出版株式会社	225	自由社	株式会社自由社
27	教芸	株式会社教育芸術社	227	育鵬社	株式会社育鵬社
38	光村	光村図書出版株式会社	229	学び舎	株式会社学び舎
46	帝国	株式会社帝国書院	232	廣あかつき	廣濟堂あかつき株式会社
			233	日科	日本教科書株式会社

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい国語
15	三 省 堂	現代の国語
17	教 出	伝え合う言葉 中学国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・教材の目標の示し方	目標の示し方
		② 言葉の特徴や使い方に関する事項	新出漢字の示し方、重要語句の示し方、言語・漢字・文法の扱い
		③ 読書と情報の扱い方に関する事項	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等、情報の扱い方に関する事項に関わる単元の数、単元名・教材名
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標、学習活動
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元名・教材名、目標、学習過程、見通しを立てさせるための資料等
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元・教材等の配列	配列の特徴、総単元数、領域ごとのページ数
		⑦ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元数、種類、教材名、教材数、ページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との関連付けがなされた図表等	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名、ページ数、目標、図表等の種類
		⑨ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と内容及びページ数
(オ)	言語活動の充実	⑩ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されているテーマ・議題、目標・活動の目的等

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元・教材の目標の示し方
方法	目標の示し方

	目標の示し方	第3学年「故郷」における目標の示し方
東書	☆ 単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。 ◇ 教材の終わりの「てびき」の部分に「言葉の力」として、身に付ける資質・能力を示している。 □ 教材の初めに目標を「問いかけ」で示し、終わりの「てびき」の部分に目標を示している。	6 関係を読む 「故郷」 ☆ 関係を読む ◇ 人間関係の変化に着目する □ 「人物の思いについて考えながら作品を読み深めるには、どんなところに気をつけたらいいんだろう。」 □ 登場人物の思いについて考えながら、作品を読み深める。 □ 作品を読んで考えを深め、社会の中で生きる人間について、自分の意見を持つ。
		7 読みを深め合う 「故郷」 ☆ 読みを深め合う ◇ 比較する □ 登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。 □ 人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。
三省堂	☆ 単元の扉に、単元の目標を単元名として示している。 ◇ 教材の終わりの「学びの道しるべ」の部分に「思考の方法」として、身に付ける資質・能力を示している。 □ 教材の初めと、終わりの「学びの道しるべ」の部分に目標を示している。	6 自己／他者／物語 地上の道のようなもの 「故郷」 ☆ 自己／他者／物語 地上の道のようなもの ◇ 構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成・共有、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 □ 理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 □ 一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 □ 「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。
教出	☆ 単元の扉に、課題を考えるためのキーワードと単元名を示している。 ◇ 単元の扉の最後に、学びの振り返りとして、身に付ける資質・能力を示した「言葉の地図」を見るよう促している。 □ 教材の初めに目標を示している。	4 状況の中で 「故郷」 ☆ 多様な状況の中で生きる人の姿に思いをはせ、考えを深める ◇ 小説を批評する □ 人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。 □ 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。
光村	☆ 単元の扉に、単元名と単元の目標を示している。 ◇ 教材の終わりの「学習」の部分に「学習の窓」として、身に付ける資質・能力を示している。 □ 教材の初めと、終わりに目標を示している。	4 状況の中で 「故郷」 ☆ 多様な状況の中で生きる人の姿に思いをはせ、考えを深める ◇ 小説を批評する □ 人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。 □ 小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。

(注) ☆は単元の目標、◇は目標に係る資質・能力についての記述、□は教材の目標を表す。

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ②言葉の特徴や使い方に関する事項

方法 新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

		第1学年						
		新出漢字の数及び脚注等への示し方	重要語句の脚注への示し方とその数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 371字 ○ 脚注に行数, 音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については, 教材末にページ数, 行数, 音訓を示している。 ○ 巻末に「新出漢字一覧」として, ページ数, 部首, 画数, 筆順, 各音訓についての用例が示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	記号	記号の意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 <ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組み (1) ・接続する語句・指示する語句 (3) ・方言と共通語 (2) ・語の意味と文脈・多義語 (2) ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を広げよう (4) ・学習用語一覧 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 <ul style="list-style-type: none"> ・活字と書き文字・画数・筆順 (2) ・音読み・訓読み (2) ・漢字の部首 (2) ・他教科で学ぶ漢字 (1) ・漢字の成り立ち (2) ○ 資料編 <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字一覧 (12) ・新出音訓一覧 (1) ・常用漢字表 (12) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・文法とは・言葉の単位 (1) ・文の成分・連文節 (1) ・単語の分類 (1) ・名詞 (1) ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (1) ○ 基礎編 <ul style="list-style-type: none"> ・文法とは・言葉の単位 (3) ・文の成分・連文節 (5) ・単語の分類 (4) ・名詞 (2) ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (3)
			意	意味を調べよう	70			
			文	短文を作ろう	29			
			類	似た意味の語句(類義語)を挙げよう	51			
			対	反対の意味の語句(対義語)を挙げよう	8			
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 427字 ○ 脚注に行数, 本文中の読みを示している。 ○ 教材末にページ数, 音訓, 用例を示している。 ○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」としてページ数, 音訓, 中学では学ばなくてもよい音訓, 部首, 画数, 筆順, 用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	記号	記号の意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉発見 <ul style="list-style-type: none"> ・音声のしくみとはたらき (4) ・話し言葉と書き言葉 (2) ・接続する語句・指示する語句 (2) ・比喻・倒置・反復・対句・体言止め (2) ・方言と共通語 (3) ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・学習用語辞典 (6) ・語彙の広がり (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字のしくみ <ul style="list-style-type: none"> ・活字と手書き文字・画数・筆順 (2) ・部首と成り立ち (3) ・漢字の音と訓 (2) ○ 漢字を身につけよう (9) ○ 参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学ぶ漢字字典 (18) ・一年生で学ぶ音訓 (1) ・小学校六年生で学習した漢字 (1) ・常用漢字表音訓一覧 (14) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位・文節の関係 (1) ・単語の類別・品詞 (1) ○ 文法のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・文節の関係・連文節・文の成分 (4) ・単語の類別・品詞 (2) ・名詞 (2) ・副詞・連体詞・接続詞・感動詞 (3)
			意	辞書で意味を調べる	137			
			類	類義語	51			
			対	対義語	13			

教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 396字 ○ 新出漢字には、本文中にルビが振っている。 ○ 新出漢字が出てくる行の下の脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」としてページ数、音訓、用例を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声 (1) ・日本語の文字 (1) ・方言と共通語 (1) ○ 言葉と文法解説編 <ul style="list-style-type: none"> 言葉 (解説) ・日本語の音声 (4) ・日本語の文字 (4) ・方言と共通語 (4) ○ 言葉の自習室 <ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な用語 (2) ・理解に役立つ言葉 (2) ・表現に役立つ言葉 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部首 (2) ・画数と活字の字体 (2) ・漢字の音と訓 (2) ・熟語の構成 (2) ○ 漢字の練習 (7) ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学習した漢字 (10) ・小学校六年生で学習した漢字 (4) ・常用漢字表 (13) ・一年生で読みを学習した漢字・語 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・文の成分 (1) ・単語のいろいろ (1) ○ 言葉と文法解説編 <ul style="list-style-type: none"> 文法 (解説) ・言葉の単位 (3) ・文の成分 (5) ・単語のいろいろ (5)
		記号	記号の意味	数	
		意	調べたり考えたりして意味を理解する。	51	
		文	短文を作って表現に生かす。	32	
		同	同じ音をもつ語句を調べる。	2	
		対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3	
類	似た意味をもつ語句を調べる。	17			
考	考えるとき viewpoints として生かす。	5			
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 390字 ○ 脚注に行数、音訓、本文中での読みを示している。 ○ 教材末に「新出漢字」として、ページ数、音訓を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・声を届ける (2) ・続けてみよう (1) ・指示する語句と接続する語句 (3) ・言葉を集めよう (2) ・方言と共通語 (2) ・さまざまな表現技法 (3) ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・書体の特徴 (1) ・敬語を使う (1) ・語彙を豊かに (2) ・学習のための用語一覧 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首 (2) ・漢字の音訓 (2) ・漢字の成り立ち (2) ○ 漢字に親しもう (6) ○ 漢字の練習 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校六年生で学習した漢字 (3) ・小学校六年生で学習した漢字一覽 (2) ・一年生で学習した漢字 (15) ・一年生で学習した音訓 (1) ・常用漢字表 (15) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを考えよう (1) ・言葉の関係を考えよう (1) ・単語の性質を見つけよう (1) ○ 文法 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (4) ・文の組み立て (5) ・単語の分類 (4) ・参考 (4) 口語動詞活用表 口語形容詞活用表 口語形容動詞活用表 口語助動詞活用表
		記号	記号の意味	数	
		意	意味を調べる。	51	
		文	短文を作る。	28	
		類	類義語を調べる。	5	
		対	対義語を調べる。	3	
関	関連語句を確認する。	7			

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ③読書と情報の扱い方に関する事項

方法 読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等、情報の扱い方に関する事項に関わる内容

		読書		情報の扱い方に関する事項		
		読書に関わる内容及び紹介されている書籍数		情報の扱い方に関する事項に関わる内容		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」を3つ設定し、3作品を掲載している。各学年とも、同単元内に読書案内「本で世界を広げよう」「名作を読もう」と言語活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「てびき」に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「本の世界を楽しもう」を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で361冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、情報活用に係る単元を設定し、それぞれ1作品を掲載している。また、各学年とも同単元内に「話す・聞く／話し合う」活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編に、情報活用に係る教材を掲載している。 		
東書	第1学年	教材	「碑」「風を受けて走れ」「トロッコ」	第1学年	教材	「ニュースの見方を考えよう」 資料 著作権と引用
		活動	「図書館で調べよう」 「本のポップを作ろう」		活動	話し合いで理解を深めよう 「グループディスカッション」
	第2学年	教材	「卒業ホームラン」「饅頭-世界に誇る伝統食」「坊っちゃん」	第2学年	教材	「『正しい』言葉は信じられるか」 資料 著作権について考える
		活動	「ビブリオバトルをしよう」「調べて一枚レポートにまとめよう」		活動	話し合いで問題を検討しよう 「リンクマップによる話し合い」
	第3学年	教材	「恩返しのでんぐしを掘る」「何のために『働く』のか」「最後の一句」	3学年	教材	「いつものように新聞が届いた」 -メディアと東日本大震災」 資料 情報の信頼性を確かめる
		活動	「読書会を開こう」「将来の目標や計画を立てよう」		活動	話し合いで意見をまとめよう 「合意形成を目指す話し合い」
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。また、「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「学びの道しるべ」中に、「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編の前に「読書の広場」を設定し、「小さな図書館」の名称で書籍紹介を掲載している。また、各学年とも、「読書の広場」に5作品の読書教材を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で285冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定している。それぞれ資料を2つ掲載している。また、同単元内に書く活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編に「情報を活用する」として、情報活用に係る教材「情報探しの方法」「引用と著作権」を掲載している。 		
三省堂	第1学年	教材	本を読むことのおもしろさ	第1学年	教材	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する
		活動	「ブッククラブ」		活動	「行事案内リーフレット」 必要な情報をわかりやすく伝える
	第2学年	教材	生涯の友と出会う	第2学年	教材	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する
		活動	「ビブリオバトル」		活動	「投稿文」 情報を関連づけて根拠を明確に示す
	第3学年	教材	谷間の君へ	第3学年	教材	複数の情報を関連づけて考えをまとめる 資料 情報を活用する
		活動	「ブックトーク」		活動	「ポスター」 情報の信頼性を確かめて考えを発信する

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちしるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作者の紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編の「言葉の自習室」に読書に関わる教材4作品を掲載している。 ○ 各学年とも、各単元末と資料編に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で274冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「メディアと表現」を設定し、1学年は教材を4つ、2・3学年は教材を3つ掲載している。 ○ 各学年の「メディアと表現」のうち、1つは教材内容を活かして書く言語活動を掲載している。 ○ 各学年とも、「メディアと表現」教材の「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えるとともに、情報の扱い方を説明している。 		
教 出	第1学年	教材	「ベンチ」 「蜘蛛の糸」	第1学年	教材	「全ては編集されている」 「写真で『事実』を表現する」 「広告の情報を考える」 「漫画で『物語』を表現する」
		活動	本の帯やポップを作り、本を薦めよう		活動	広告を作る
	第2学年	教材	「夢を遊ぶ」 「坊っちゃん」	第2学年	教材	「SNSから自由になるために」 「脚本で動きを説明する」 「映像作品の表現を考える」
		活動	関心を広げ、課題を見つけてレポートを書こう		活動	小説を脚本に書きかえる
	第3学年	教材	「薔薇のボタン」 「最後の一句」	第3学年	教材	「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」 「新聞が伝える情報を考える」 「ニュースで情報を編集する」
		活動	ビブリオバトルで本の世界を広げよう		活動	ニュースで情報を伝える
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に、読書単元を2つ設定している。「読書生活を豊かに」は、「読書活動」「読書」「読書案内」「読書コラム」で構成されている。「読書に親しむ」は、「読書」「読書案内」で構成されている。いずれも「読書」掲載作品について、「続きはこちら」で書籍紹介をしている。 ○ 各学年とも、作品脚注に「広がる読書」として書籍紹介を掲載している。 ○ 資料編では、1年生は2作品と「読書感想文の書き方」を、2年生は2作品、3年生は4作品と「読書記録をつける」を、読書活動に係る教材として掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で277冊 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報社会を生きる」を設定し、教材を掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「話す・聞く」「書く」活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、情報整理の方法を「『情報処理のレッスン』一覧」、情報と情報の関係を「『思考のレッスン』一覧」として資料編に掲載している。 		
光 村	第1学年	教材	本の中の中学生 考える人になろう	第1学年	教材	「情報を集めよう」 「情報を読み取ろう」 「情報を引用しよう」
		活動	ポップを作ろう 読書掲示板で感想を共有しよう 読書記録を続けていこう 資料 読書感想文の書き方		活動	情報整理のレッスン「比較・分類」 思考のレッスン1「意見と根拠」 思考のレッスン2「原因と結果」
	第2学年	教材	翻訳作品を読み比べよう 研究の現場にようこそ	第2学年	教材	「メディアを比べよう」 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 『自分で考える時間』をもとう
		活動	本の紹介合戦をしよう 読書ポスターを作ろう 読みたい本のリストを作ろう		活動	情報整理のレッスン「思考の可視化」 思考のレッスン1「具体と抽象」 思考のレッスン2「根拠の吟味」
	第3学年	教材	「私の一冊」を探しにいこう 本は世界への扉	第3学年	教材	「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」
		活動	ブックトークをしよう 読書会を開こう これまでの読書生活を振り返り、これからの読書生活をデザインしよう 資料 読書記録をつける		活動	情報整理のレッスン「情報の信頼性」 思考のレッスン「具体化・抽象化」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名，目標，学習活動

		書くこと		
		単元名・教材名	目標	学習活動
東書	第1学年	○ 分かりやすく伝える ・「調べて分かったことを伝えよう『食文化』のレポート」	○ ふだんの生活の中からテーマを決め、調べて分かったことを整理する。 ○ 調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。	○ 「食文化」について個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、調べて分かったことをレポートに書く活動を取り上げている。
	第2学年	○ 伝え方を工夫する ・「郷土のよさを伝えよう『地域の魅力』の紹介文」	○ 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。 ○ 読み手を意識しながら、表現の効果などを確かめて、文章を推敲する。	○ 紹介したいことを決め、調べて分かったことを情報誌に書く活動を取り上げている。
	第3学年	○ 文章の展開を考える ・「編集して伝えよう『環境』の新聞」	○ 環境について調べたいテーマを決め、集めた材料を検討し、伝えたいことを明確にする。 ○ 伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く。	○ 環境についてグループでテーマを決め、テーマに関する題材の材料を集めて新聞を書く活動を取り上げている。
三省堂	第1学年	○ わかりやすく伝える ・「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」	○ 調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。 ○ レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。	○ 課題を身近なもの等から決め、情報をカードに記録して整理した後、レポートの形式で書く活動を取り上げている。
	第2学年	○ 情報を関係づける ・投稿文「情報を関連づけて根拠を明確に示す」	○ 多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ○ 自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。	○ 共生社会の実現に関して、自分の立場を決め、根拠を意見の根拠となる情報を整理した後、自分の意見が明確になるよう投稿文を書く活動を取り上げている。
	第3学年	○ 情報を関係づける ・ポスター「情報の信頼性を確かめて考えを発信する」	○ 書く目的や意図に応じて文章の種類を選択し、読み手を説得できるよう構成を工夫する。 ○ 信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えがわかりやすく伝わる文章を書く。	○ 社会生活における課題について題材を決め、文章の種類や引用する資料を検討した後、図表やグラフ、配置等を工夫してポスターを書く活動を取り上げている。

教出	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権／多様性／平和 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た ・「材料を整理して案内文を書く」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ○ 目的や意図を意識して、案内文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材を決め、必要な情報を集め、整理した後、相手や目的を意識しながら案内文を書く活動を取り上げている。
	第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己／他者／物語 かすかな湖のにおいては、そこにもあった ・「新聞の投書を書く」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な方法で材料を集める。 ○ 社会生活の中から題材を選んで書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマについて課題を設定し、材料を集め、構成を検討した後、新聞の投書を書く活動を取り上げている。
	第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近代化／国際社会／共生 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である ・「情報をまとめて作品集を作る」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の文章の収集と整理をする。 ○ 学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに書いてきた文章の中から作品集のテーマに合う作品を選んだ後、構成を考えたり、前書き等を書いたりする活動を取り上げている。
光村	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筋道を立てて ・「根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本や資料から文章や図表を引用する。 ○ 根拠を明確にし、伝えたいこと の中心が明らかになるように、工夫して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生の生活から課題を決め、実態調査やアンケート等の結果を整理した後、課題に関連する資料を引用しながらレポートを書く活動を取り上げている。
	第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広がる学びへ ・「多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する。 ○ 収集した情報を、図や記号などを用いて整理し、伝えたいことを明確にして書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べる職業を決め、項目や内容に適した調べ方を考えて情報を集め、整理した後、見出しや文章等の配置を考え、紙面を書く活動を取り上げている。
	第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深まる学びへ ・「文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ○ 取材した内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記事の内容を決め、文章の種類や添える図表や写真を検討した後、構成や配置を考え、紙面を書く活動を取り上げている。

観点 (イ) 主体的に学習に取り組む工夫

視点 ⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫

方法 単元名・教材名、目標、学習過程、見通しを立てさせるための資料等

第3学年 批評文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東書	○ 多面的に検討する ・「観察・分析して論じよう『ポスター』の批評文」	○ 批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 ○ 論の進め方を考え、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。	○ 学習の流れ ①批評の対象について知る ②対象を観察・分析する ③対象を比較して判断を下す ④批評文を書く ⑤読み合って評価する ○ 振り返り ・観察・分析や比較をして批評文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。	・批評の対象例(ポスター) ・観察・分析のメモの例 ・批評文例(批評文の完成例) ・問題(新聞記事、ポスター)
三省堂	○ ものの見方・感性を養う ・批評文「観察・分析をとおして評価する」	○ 読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ○ 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	○ 学習の流れ ①題材を決める ②対象を観察、分析する ③構成を考えて批評文を書く ④交流して相互評価する ○ 学びを振り返る ・目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめましょう。	・思考の方法例(俳句) ・批評文の例(俳句)
教出	○ 表現/対話/思想 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ ・「説得力のある批評文を書く」	○ 資料を比較して、自分の考えを整理する。 ○ 伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。	○ 学習活動の流れ ①批評する観点を決めて対象を観察する。/気づいた特徴を分析する。 ②判断や評価を伝えやすい構成を考える。 ③効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 ④批評できているかに注意して推敲する。 ⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 ○ 振り返り ・資料を比較して、自分の考えを整理している。 ・伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書いている。	・批評するヒント例(ポスター) ・批評文例(スマートフォン)
光村	○ 自らの考えを ・「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」	○ 具体的な題材を基に、その価値などについて評価する。 ○ 表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。	①題材を選ぶ ②観点を決めて分析する ③構成を考える ④推敲して仕上げる ⑤学習を振り返る ○ 学習を振り返る ・どのように分析・吟味して批評をまとめたか。 観点を決めて分析したり比較したりしたか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。 資料を適切に引用し、説得力をもたせたか。 論理の展開や批評の言葉を意識してまとめたか。	・題材の例(広告) ・分析例(観点の問いとそれに対する自分の考え) ・批評文の例(広告)

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元・教材等の配列
方法	配列の特徴，総単元数，領域ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数						
		学 年	1	2	3			
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「基礎編」，「資料編」の3部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年，第5単元に配列している。 ○ 基礎編は，「学びを支える言葉の力」「文法解説」で構成している。 ○ 資料編は，「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉」で構成している。 	総単元数				7	7	7
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	15	14	16		
			書くこと	23	26	22		
			読むこと	77	76	93		
			伝統的な言語文化	22	26	22		
			言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	110	107	99		
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「資料編」の2部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年，第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」の学習は，教材の後に「読み方を学ぼう」を配列している。 ○ 「読書の広場」は，読書案内である「小さな図書館」と，古典を含む5つの読書教材で構成している。 ○ 「資料編」は，「情報を活用する」「古典芸能に親しむ」「社会生活に生かす」「参考資料」で構成している。 	総単元数				9	9	8
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	17	14		
			書くこと	28	25	18		
			読むこと	105	109	104		
			伝統的な言語文化	22	30	27		
			言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	82	74	75		
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と巻末付録（言葉の自習室）の2部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴や使い方に関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年で第5単元に配列し，単元末に「読むこと」を含んでいる。 ○ SDGsを国語科の視点で教材化し，「持続可能な未来を創るために」を新設している。 ○ 「読むこと」の学習は，教材の前に「学びナビ」（見通し）を配列している。 ○ 巻末付録（言葉の自習室）は，「読書」4作品と資料で構成している。 	総単元数				9	9	8
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	13	16	17		
			書くこと	16	18	15		
			読むこと	135	138	131		
			伝統的な言語文化	21	27	28		
			言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	77	81	82		
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編と巻末資料（学習を広げる）の2部からなる。 ○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と「知識及び技能」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『情報の扱い方に関する事項』『我が国の言語文化に関する事項』の各領域を関連させたもので構成している。 ○ 古典教材は，全学年で第6単元に配列している。 ○ 情報教材では「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」を配列している。 ○ 「読むこと」の学習は，教材の終わりに「学習の窓」を設け基本的な観点を示している。 ○ 巻末資料（学習を広げる）は，「読む」「話す・聞く」「書く」「情報」「読書」「伝統的な言語文化」「言葉・漢字」との関連で構成している。 	総単元数				8	8	8
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	14	18		
			書くこと	23	19	13		
			読むこと	96	99	70		
			伝統的な言語文化	25	29	29		
			言葉の特徴やきまり・情報の扱い方・漢字・読書	83	78	71		

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元数, 単元名・教材名, ページ数

	学年	単元の数 (ページ)	単元名・教材名	単元の中で取り上げられている古典作品
東書	1	1 (22)	○ 伝統文化に親しむ ・ 移り行く浦島太郎の物語 ・ 伊曾保物語 古典の仮名遣い ・ 竹取物語 古典の言葉とその意味 ・ 矛盾 故事成語の例 漢文の読み方	『伊曾保物語』「犬と肉のこと」「鳩と蟻のこと」 『竹取物語』(冒頭)「かぐや姫の昇天」 『韓非子』「矛盾」
	2	1 (26)	○ 伝統文化を味わう ・ 枕草子・徒然草 係り結び ・ 平家物語 文体を味わう ・ 漢詩 漢詩の形式	『枕草子』(第一段)「九月ばかり(第百二十五段)」 『徒然草』(序段)「仁和寺にある法師(第五十二段)」 『平家物語』「祇園精舎」「那須与一」 『春暁』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』
	3	1 (22)	○ 伝統文化を受け継ぐ ・ 万葉・古今・新古今 和歌の修辞 ・ おくのほそ道 俳諧の歴史 ・ 論語 漢文の読み方 古典の言葉	『万葉集』『古今和歌集』『仮名序』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』(冒頭)「平泉」 『論語』
三省堂	1	1 (22)	○ 古典に学ぶ ・ 月を思う心 ・ 竹取物語 古文の読み方-古典の仮名遣い ・ 故事成語-矛盾 漢文の読み方-訓読の仕方	『竹取物語』(冒頭)「かぐや姫の昇天」 『韓非子』「矛盾」
	2	1 (30)	○ 古典に学ぶ ・ 枕草子・徒然草 ・ 平家物語 読み方を学ぼう-物語の転換点 あの人の歌 ・ 漢詩の世界 漢文の読み方-漢詩の形式	『枕草子』(第一段)(第百四十五段) 『徒然草』(序段)(第五十二段)(第九十二段) 『平家物語』(冒頭)「敦盛の最期」 『春暁』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』 『絶句』
	3	1 (27)	○ 古典に学ぶ ・ 和歌の世界 - 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 コミュニケーションツールとしての歌 ・ おくのほそ道 読み方を学ぼう-状況・背景 ・ 論語 漢文の読み方-訓読の仕方の確認	『古今和歌集』『仮名序』『万葉集』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』「月日は」「平泉」「立石寺」 『論語』
教出	1	1 (21)	○ 伝統/文化/歴史 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり ・ 昔話と古典-箱に入った桃太郎- ・ 物語の始まり-竹取物語- 古典の仮名遣い、古典の言葉 ・ 故事成語-中国の名言- 漢文の読み方 ○ 四季のたより	『排風柳多留』『川柳』 『竹取物語』(冒頭)「かぐや姫の昇天」 『韓非子』「矛盾」 『孟子』「助長」

	2	1 (27)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統/文化/歴史 祇園精舎の鐘の声, 諸行無常の響きあり ・ 教盛の最期—平家物語— 歴史的仮名遣い, 係り結び ・ 随筆の味わい—枕草子・徒然草— ・ 二千五百年前からのメッセージ —孔子の言葉— 置き字 ○ 四季のたより 	<p>『平家物語』『祇園精舎』『教盛の最期』</p> <p>『枕草子』『春はあけぼの(第一段)』『うつくしきもの(第一四五段)』</p> <p>『徒然草』(序段)『仁和寺にある法師(第五二段)』</p> <p>『奥山に猫またといふものありて(第八九段)』</p> <p>『論語』</p>
	3	1 (28)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統/文化/歴史 月日は百代の過客にして, 行きかふ年も, また旅人なり ・ 旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』— ・ 和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集— 歴史的仮名遣い, 和歌の修辞 和歌の句切れとリズム ・ 風景と心情—漢詩を味わう— 漢詩の表現の特徴 日本人が作った漢詩 ○ 四季のたより 	<p>『おくのほそ道』『旅立ち』『平泉』『立石寺』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春暁』『春望』</p> <p>『翠岑を下る』</p>
	1	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> ○ いにしえの心にふれる 音読を楽しもう—いろは歌 ・ 古典の世界 ・ 蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から ・ 古典の言葉 ・ 今に生きる言葉 故事成語を使って体験文を書こう 漢文を読む ○ 季節のしおり 	<p>『いろは歌』</p> <p>『竹取物語』(冒頭)『蓬萊の玉の枝』(不死の薬)</p> <p>『韓非子』『矛盾』</p>
光 村	2	2 (29)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広がる学びへ ・ 枕草子 枕草子 ○ いにしえの心を訪ねる ・ 源氏と平家 音読を楽しもう—平家物語 ・ 扇的—「平家物語」から ・ 仁和寺にある法師—「徒然草」から 係り結び 人物の特徴を捉えて論じよう ・ 漢詩の風景 律詩について ○ 季節のしおり 	<p>『枕草子』(第一段)(第百四十五段)(第二百十六段)</p> <p>『平家物語』(祇園精舎)『扇的』</p> <p>『徒然草』(序段)『仁和寺にある法師(第五二段)』</p> <p>『春暁』『絶句』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』</p>
	3	2 (29)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深まる学びへ ・ 学びて時に之を習ふ—「論語」から 漢文の訓読 ○ いにしえの心を受け継ぐ ・ 和歌の世界 音読を楽しもう—古今和歌集 仮名序 ・ 君待つと—万葉・古今・新古今 和歌の表現方法 ・ 夏草—「おくのほそ道」から 俳句と俳諧 古典の言葉を引用し, メッセージを贈ろう 古典名句・名言集 ○ 季節のしおり 	<p>『論語』</p> <p>『古今和歌集』『仮名序』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『おくのほそ道』(冒頭)(平泉)</p>

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑧本文記述と関連付けがなされた図表等
方法	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名、ページ数、目標、図表等の種類

第1学年 説明的な文章				
	教材名	ページ数	目標	図表等の種類(数)
東書	オオカミを見る目	6	○ 段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ○ 文章の書き方の工夫について考える。	絵(2) 写真(1)
	私のタンポポ研究	7	○ 事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。 ○ 必要な情報を取り出して要約する。	グラフ(2)
	ニュースの見方を考えよう	6	○ 文章を読み、ニュースを比べて、ニュースの見方についての考えを持つ。 ○ 意図に応じて材料を選び、ニュースを編集する。	絵(2)
三省堂	クジラの飲み水	6	○ 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ○ 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。	写真(1) グラフ(2)
	玄関扉	6	○ 文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ○ 論の展開・構成をふまえて、「外開き」が肯定される過程を捉える。	絵(3)
	意味と意図 ーコミュニケーションを考える	6	○ 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ○ 文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。	絵(2)
教出	自分の脳を知っていますか	6	○ 文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。 ○ 文章の構成を捉え、要約に生かす。 ○ 「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。	絵(2)
	森には魔法つかいがある	9	○ 必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ○ 問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ○ 筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にししながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	図(2) 写真(7)
	子どもの権利	5	○ 専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ○ 論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ○ 自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。	図(1) 写真(1)
	言葉がつなぐ世界遺産	8	○ 問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ○ 事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。 ○ 筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。	図(1) 写真(7)
光村	ダイコンは大きな根?	4	○ 本文中で比較がどのように使われているかを確かめる。 ○ 段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。	図(1)
	ちょっと立ち止まって	4	○ 筆者の主張と事例との関係を理解する。 ○ 段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。	図(3)
	比喩で広がる言葉の世界	4	○ 比喩について理解し、言葉についての考えを深める。 ○ 文章全体における各段落の役割をおさえ、文章の内容を正確に捉える。	図(1)
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	8	○ 筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ○ 文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	写真(4) グラフ(5) 図(1) 表(1)
	「不便」の価値を見つめ直す	8	○ 必要な情報を取り出し、結び付けて要約する。 ○ 筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ。	図(4) 写真(2)

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑨巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方と内容及びページ数

	巻末資料の示し方	内容 (第2学年)	ページ数
東書	○ 「基礎編」「資料編」として全学年に示している。	○ 「学びを支える言葉の力」	24
		○ 「文法解説」	15
		○ 「カメレオン」等 5編	20
		○ 古典「書き手の肖像-清少納言と兼好法師」等	8
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	9
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	25
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	5
		○ 「学びを支える言葉の力」のまとめ	折込(4)
		○ 「言葉のカー一覧」	2
三省堂	○ 「文法のまとめ」「読書の広場」「資料編」として全学年に示している。	○ 「文法のまとめ」	16
		○ 「小さな図書館」	6
		○ 「ポテト・スープが大好きな猫」等 5編	29
		○ 「情報を活用する」	8
		○ 「古典芸能に親しむ」	6
		○ 「社会生活に生かす」	10
		○ 「日本文学名作集」等	18
		○ 「二年生で学ぶ漢字字典」「二年生で学ぶ音訓」等	30
		○ 「読み方を学ぼう一覧」	折込(5)
教出	○ 「言葉と文法(解説編)」「漢字」「言葉の自習室」として全学年に示している。	○ 「言葉(解説)」	10
		○ 「文法(解説)」	19
		○ 読書(「悠久の自然」等 4編)	12
		○ 「レポートの書き方」「近代文学史年表」等	6
		○ 「伝統芸能へのいざない 歌舞伎」	2
		○ 「学習に必要な用語」	2
		○ 「二年生で学習した漢字」等	29
		○ 「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」	折込(4)
光村	○ 「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」として全学年に示している。	○ 「文法」	19
		○ 「漢字 小学校六年生で学習した漢字」等	5
		○ 「学習を振り返ろう」	3
		○ 「学習の窓」「情報整理のレッスン」等 一覧	4+折込(4)
		○ 資料(「発想を広げる」等)	6
		○ 資料(「形」等 4編他)	24
		○ 資料(「二年生で学習した漢字」等)	31
		○ 「学習のための用語一覧」	2

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫
方法	単元名, 例示されているテーマ・議題, 目標・活動の目的等

		第2学年 話すこと・聞くこと		
		単元名	テーマ・議題の例	○目標 ◇活動の目的
東 書	考えを比べながら聞こう		「七十五歳以上の高齢者の運転免許証返納」他	○ 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる。
	説得力のある提案をしよう プレゼンテーション		「ブックカフェを開いて、学校図書館に親しむ機会を作ろう。」	○ 聞き手に納得してもらうために、説得力のある話の構成を考える。 ○ 資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。
	話し合いて問題を検討しよう リンクマップによる話し合い		「救急車を有料化するべきである。」	○ 多様な立場や意見を想定して、テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。 ○ お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す。
三 省 堂	グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める		「おいしいチャーハンの作り方を 知るなら、本がよいか動画がよいか」	○ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。 ○ 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。
	プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する		「まだ知られていない日本のよさ」	○ 社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ○ 話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。
	情報 複数の情報を関連づけて考えをまとめる		「互いに支え合う共生社会をつくるために」	○ 意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。 ○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。
	読書活動 ビブリオバトル		おもしろいと思った本	「人を通して本を知る、本を通して人を知る」を合言葉にして全国各地で行われている書評合戦ゲームを行う。
	情報誌 地域の魅力を振り返って		「地域の魅力に迫るには、どんなテーマや視点があるか」	○ 集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。 ○ 地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。 ※「書く」との複合単元
教 出	質問する力をつける		「自分の好きなもの」	○ 伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。
	説得力のある提案をする		「災害への対処法」	○ 話の構成を効果的に組み立てて話す。 ○ 根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠に分けて話す。
	視点を明確にして伝える		「空き家の増加」	○ 集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ○ 図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手に分かりやすく伝える。
	持続可能な未来を創るために		「不平等のない社会を考える」	○ 持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 ※「書く」「読む」との複合単元
	相違点を明確にして聞く		「絶滅の危機にあるウミガメの保護活動」	○ 論理の展開などに注意しながら聞く。 ○ 話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。
	よりよい結論を導く討論をする		「書店へのAIの導入」	○ 結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ○ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。
光 村	[聞く] 問いを立てながら聞く		「学校図書館の利用者を増やすために雑誌を置くこと」についての提案	◇ 話の要点を捉え、意見やそれを支える根拠が適切であるかどうかを検討する練習をしよう。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする		「ALTのマッシュー先生に、町の散策コースを提案」	○ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知る。 ○ 話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す		「今、夢中になっていること」	○ 言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知る。 ○ 話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。
	[討論] 異なる立場から考える		「中学生にスマートフォンは必要か」	◇ 同じ情報を基に、二つの異なる立場から考える練習をしよう。
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する		「全ての中学生は、ボランティアをすべきである。」	○ 立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ○ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る		「(国語を学ぶ意義)印象的に伝える言葉を学べる」	○ 一年間の学びを振り返り、国語を学ぶ意義を考える。 ○ 読み手のことを考え、構成や表現を工夫し、わかりやすく情報を伝える。 ※「書く」との複合単元

【書写】

書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい書写 一・二・三年
15	三 省 堂	現代の書写 一・二・三
17	教 出	中学書写
38	光 村	中学書写 一・二・三年

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	単元ごとの目標の示し方と目標の数
		②	姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程の示し方と構成、示し方の特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④	単元・教材や資料等の配列	総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数
		⑤	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元名、ページ数及び内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥	配色、レイアウト等表現・表記の工夫	筆使い、紙面構成等の示し方、デジタルコンテンツの扱い
(オ)	言語活動の充実	⑦	学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	教科の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元ごとの目標の示し方と目標の数

第1学年「行書」				
	単元	毛筆の教材	上段：目標の示し方 下段：目標の例	目標の数
東書	行書の書き方を学ぼう	「二」「十」「口」「人」「日光」「大空」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。	3
			○ 「行書を書くときの特徴的な動きを理解して書こう。」 ○ 「点画の連続について、書く動きと連続の仕方を理解して書こう。」	
三省堂	行書	「名月」「元気」「探究」	○ 「目標」のマークを小单元の最初のページに提示し、小单元ごとに、そのマークの下に目標を示している。	4
			○ 「行書の特徴を理解できる。」 ○ 「点画の丸みを理解して書くことができる。」	
教出	行書で書いてみよう	「大」「大木」「栄光」「平和」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。	5
			○ 「楷書と行書の違いを理解しよう。」 ○ 「点画の連続と形の変化を理解して書こう。」	
光村	読みやすく速く書くための行書	「緑」「一」「二」「口」「大木」「北西」「月光」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに目標を示している。	2
			○ 「行書の特徴を知り、筆使いを理解して書こう。」 ○ 「点画の変化を理解して、行書で書こう。」	

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等

正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等				ページ数
東書	写真	○ 文字を整えて書くための姿勢（毛筆、硬筆、姿勢のチェック欄） ○ 用具の名前・置き方 ○ 書きやすい鉛筆の持ち方 ○ 書きやすい筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法） ○ 後かたづけ（大筆、小筆、硯）	2	
	写真・イラスト	○ 墨のすり方		
三省堂	写真	○ 姿勢と構え方（大筆：懸腕法、鉛筆） ○ 大筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）、小筆の持ち方・構え方（提腕法・枕腕法） ○ 用具の扱い方（用具の準備・墨のすり方・用具の片づけ方） ○ 鉛筆の持ち方	5	
	イラスト等	○ 筆の運び方（筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き）と「筆脈を意識しよう」		
教出	写真	○ 基本の姿勢（大筆：懸腕法） ○ 用具の置き方 ○ 毛筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：枕腕法・提腕法） ○ 硬筆の持ち方（鉛筆・ボールペン） ○ 後片づけ ○ 墨のすり方	2	
光村	写真	○ 書く時の姿勢（大筆、姿勢のチェック欄） ○ 用具の準備 ○ 筆記具の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆） ○ 用具の片付け（大筆、小筆、硯）	2	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学習過程の示し方と構成、示し方の特徴

	学習過程の示し方と構成	示し方の特徴
東 書	<p>「書写の学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を確かめて、学習の見通しを持つ。 ○ 見つけよう <ul style="list-style-type: none"> ・ふだん書いている硬筆の文字から、文字を整えて書くための「書写のかぎ」を見つけよう。 ○ 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆や硬筆で書いて、「書写のかぎ」を確かめよう。 ○ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習した「書写のかぎ」をほかの文字にも生かそう。 ○ 振り返って話そう <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って、目標を達成できたか評価しよう。 ・「書写のかぎ」や書写の用語を使って、学んだことを説明しよう。 ○ 生活に広げよう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、教科の学習や日常生活に広げよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「書写で学ぶこと」では、3年間で、何を、どのように学び、学んだことがどのような場面で役立つのかを示している。 ○ 「書写のかぎ」では、文字を正しく書くためのポイントを掲載し、教材文字の左に「書写のかぎ」を示している。 ○ 「見つけよう」では、身近な硬筆文字から課題について考えさせている。 ○ 「振り返って話そう」では、学んだことを説明する活動を示している。 ○ 「生かそう」や「生活に広げよう」では、学んだことを他の文字や生活の中で活用する活動などを示している。
三省 堂	<p>「学習の流れ」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 目標を確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・目標を確かめて学習の見通しをもつ。 ② 書き方を学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントをつかむ。 ③ 見つけよう・考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているか考える。 ④ 毛筆で書こう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントを意識して毛筆で書く。 ⑤ 学習を振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・教材で学んだことを振り返る。 ⑥ 書いて身につけよう <ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。 ⑦ 自分の言葉でまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学んだことが実際に活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「この教科書で学ぶ皆さんへ」で「単元の基本構成」と「学習の流れ」を示している。 ○ 「書き方を学ぼう」を基に、「見つけよう・考えよう」では、書き方のポイントが、文字のどこに使われているか考えさせている。 ○ 単元末の「自分の言葉でまとめよう」の「振り返ろう」では、学んだことが実際に活用できているかを確認し、「自分が学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめるように示している。

【書写】

教 出	<p>「学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標を確かめよう。 ・試し書き ○ 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ・自分の課題に向かって、毛筆で練習しよう。 ○ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。 ・まとめとして硬筆や毛筆で書き、試し書きと比べてみよう。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。 ○ 学習や日常生活に生かそう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、各単元等では、学習ステップが分かるアイコンを示している。「書写をとおして学んでいくこと」では、何を、どのように学び、身に付けた力がどのように広がるのかを示している。 ○ 「考えよう」では、課題を発見し、課題を解決していく学び方や話し合い活動を通した学び方を示している。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」、「もう少し＝△」で自己評価を記入する欄が記載されている。
光 村	<p>「学習の進め方」 見通しをもって、学習・活動に取り組もう</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・課題について考えよう。 ・「学習の窓」で、文字の整え方を確かめよう。 ② 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方を確かめて、毛筆で書こう。 ③ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、生かして書こう。 ○ 学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できたか評価しよう。 ・「書写ブック」で練習しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「三年間の目標」を示している。 ○ 「学習の進め方」では、それぞれの学習場面の写真で学び方を示している。 ○ 「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。 ○ 「学習を振り返る」では、評価の観点を示し、観点に沿って自己評価を記入する欄が記載されている。

【書写】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	④単元・教材や資料等の配列
方法	総ページ数, 毛筆教材数及び毛筆教材例, 硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	第1学年の毛筆教材例	硬筆記入欄のページ数
東書	1	44 +巻末折込1	13	「大志」「平仮名」「夏山の緑うつりし小窓かな」「二」「十」「口」「人」「日光」「大空」「夢の実現」「温故知新」「美しい緑」「早春」	19
	2	30 +巻末折込1	9		12
	3	18 +巻末折込1	5		1
	資料編等	38 +巻末折込1			書写活用ブック 2
三省堂	1	36 +巻末折込1	8	「天地」「いろは歌(仮名)」「暑き日を海に入れたり最上川」「名月」「元気」「探究」「日進月歩」「輝く生命」	13
	2	22 +巻末折込1	8		7
	3	9 +巻末折込1	3		0
	資料編等	47 +巻末折込1	12		
教出	1	44 +巻末折込1	11	「大」「天地」「成功」「いろは歌」「いろは歌(仮名)」「大」「大木」「栄光」「平和」「新たな決意」「世界遺産」	12
	2	32 +巻末折込1	9		11
	3	13 +巻末折込1	8		3
	資料編等	41 +巻末折込1	13		
光村	1	27 +巻末折込1	14	「天地」「春風」「いろは歌(仮名)」「夏の夜やちぎれちぎれの天の川」「緑」「一」「二」「口」「大木」「北西」「月光」「不言実行」(楷書, 行書)「文武両道」「将来の夢」	7 +書写ブック9
	2	25 +巻末折込1	8		5 +書写ブック8
	3	18 +巻末折込1	4		4 +書写ブック4
	資料編等	45 +巻末折込1			※ 上記の他に, 「書写ブック」1 ～3年生として2 ページ, 2～3年 生として2ページ 掲載がある。

【書写】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元名、ページ数及び内容の扱い

	学年	単元名	ページ数	内容の扱い	
東書	1	○ 楷書の書き方を確かめよう「仮名の書き方と字形」	2	○ 平仮名の成り立ちを扱っている。	
		○ 文字のいづみ「いろは歌」	1	○ 平安時代から伝わる「いろは歌」として扱っている。	
		○ 文字のいづみ「文字の成り立ちと移り変わり」	2	○ 文字の変遷として扱っている。	
		○ 文字のいづみ「伝統的な用具・用材」	2	○ 文房四宝を扱っている。	
		○ 文字のいづみ「書いて味わおう『竹取物語』」	1	○ 「竹取物語」を扱っている。	
	2	○ 行書と仮名を交えて書こう「行書に調和する仮名」	1	○ 平仮名の成り立ちを扱っている。	
		○ 文字のいづみ「文字と絵」	1	○ 江戸時代の文字絵を扱っている。	
		○ 文字のいづみ「手書きと文字の活字」	2	○ 明朝体の始まりを扱っている。	
		○ 文字のいづみ「書き初めをしよう」	1	○ 書き初めの広まりを扱っている。	
		○ 文字のいづみ「書いて味わおう『平家物語』」	1	○ 「平家物語を」を扱っている。	
3	○ 効果的に文字を書こう「現代につながる文字の役割」	2	○ 時代ごとの文字の役割を扱っている。		
	○ 文字のいづみ「書き初めをしよう」	1	○ 書き初めとどんど焼きを扱っている。		
	○ 文字のいづみ「古典をもとに」	2	○ 高等学校の内容として書の古典を扱っている。		
	○ 文字のいづみ「書いて味わおう『おくのほそ道』」	1	○ 「おくのほそ道」を扱っている。		
	○ 文字のいづみ「二十四節気と季節の挨拶」	1	○ 二十四節気と季節の挨拶を扱っている。		
		○ 書くことを楽しむ 日本の文字文化、世界の文字文化	1	○ 日本や世界の文字文化を扱っている。	
三省堂	1	○ 楷書と仮名「仮名の字形と筆使い」	2	○ 平仮名の発生、「いろは歌」を扱っている。	
		○ 仮名の字形／文字の大きさと配列	1	○ 「竹取物語」を取り扱っている。	
			○ 学びを広げる「文字の変遷」	2	○ 5つの書体を扱っている。
	2	○ 行書と仮名「行書に調和する仮名」	4	○ 行書として「いろは歌」「枕草子」を扱っている。	
	3	○ 身のまわりの文字	2	○ 文字文化としての文字の変遷を扱っている。	
○ 発展「書の古典」		1	○ 高等学校の内容として、王羲之と光明皇后の書を扱っている。		
	資料編	○ 書写の広場「文房四宝」	2	○ 毛筆道具と進化する筆記具の変遷を扱っている。	

【書写】

教 出	1	○ コラム「筆、墨、硯、紙について知ろう」	2	○ 文房四宝を扱っている。
		○ 楷書と仮名を調和させて書こう「楷書に調和する仮名『いろは歌』」	2	○ 仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。
		○ 楷書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く一行の中心」	2	○ 「竹取物語」を扱っている。
		○ コラム「文字の変遷」	2	○ 文字の変遷について扱っている。
		○ 「行書学習のはじめに」	2	○ 行書の起源と平安時代の空海の手紙を扱っている。
	2	○ コラム「あの人が残した文字」	2	○ 日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。
		○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「行書に調和する仮名『いろは歌』」「気持ちのつながりから文字のつながりへ」	2	○ 「いろは歌」について扱うとともに、高等学校の内容として、平安時代の書家を扱っている。
		○ コラム「短冊と色紙」	1	○ 平安時代や江戸時代の書家を扱っている。
		○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列」	4	○ 「枕草子」「平家物語」を扱っている。
3	○ コラム「日本建築と『書』」	2	○ 高等学校の内容として「書院造り」を扱っている。	
	○ コラム「書の古典の鑑賞」	1	○ 高等学校の内容として、能書を扱っている。	
光 村	1	○ 行書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列」	2	○ 「おくのほそ道」を扱っている。
		○ 巻末「芸術としての書道」	1	○ 高等学校の内容として、古典文学を扱っている。
		○ 楷書に調和する仮名	2	○ 楷書として「いろは歌」を扱っている。
	2	○ コラム「文字の歴史を探る」	2	○ 5つの書体を扱っている。
		○ 季節のしおり1	2	○ 古典や短歌・俳句を扱っている。
		○ 行書に調和する仮名「いろは歌」	2	○ 行書として扱っている。
	3	○ コラム「物語を千年書き継ぐ」	2	○ 「源氏物語」を扱っている。
		○ 季節のしおり2	2	○ 「枕草子」を扱っている。
		○ 季節のしおり3	2	○ 古典や短歌・俳句を扱っている。
○ 「なりきり、書聖・王羲之」	1	○ 高等学校の内容として、王羲之の書を扱っている。		

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥配色, レイアウト等表現・表記の工夫
方法	筆使い, 紙面構成等の示し方, デジタルコンテンツの扱い

第1学年「行書 点画の変化」		デジタルコンテンツの扱い	
	筆使い		紙面構成等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確かめよう」では, ポイントとなるところに, 「四つの動き」を示すアイコンを示している。 ○ 朱墨で筆使いを示している。 ○ 行書を書く時の「四つの動き」をパターンで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに学習のポイントを示し, 左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ○ 「見つけよう」には, 楷書と行書を並べて示している。教材文字の下に書き込み欄を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Dマーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・目次にあるURLや該当箇所のQRコードからコンテンツにアクセスできる。 ・該当する目次と該当箇所には, 「Dマーク」を示している。 ・1年: 11教材, 2年: 8教材, 3年: 5教材, 書写ブック: 4箇所
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き方を学ぼう」では, 筆脈を青の矢印や点線で示し, 言葉で解説している。 ○ 行書の文字(朱墨)と, 楷書(黒字)の文字を並べて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに書き方のポイントを示し, 左ページに半紙形の紙面で教材文字を示している。 ○ 「書き方を学ぼう」では, 楷書と行書で書かれた文字を上下に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「二次元コード」 <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎編」「学習のはじめに」にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。 ・毛筆の姿勢と構え方, 大筆の持ち方, 小筆の持ち方・構え方, 筆の運び方, 用具の扱い方, 硬筆の姿勢と構え方, 鉛筆の持ち方について掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」では, 筆順と筆脈を矢印や点線で示し, 言葉で解説している。 ○ 朱墨で筆使いを示し, ポイントとなるところに, 「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・左ページにポイントを示し, 右ページに半紙形の紙面で教材文字を示している ○ 「試し書き」では, 楷書で字形を確認し, その下に行書で書く欄がある。 ○ 半紙形の紙面には, 青色の中心線が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まなびリンク」 <ul style="list-style-type: none"> ・目次にあるURLと該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスできる。 ・該当する箇所には, 「まなびリンク」マークを示している。 ・1年: 7箇所, 2年: 5箇所, 3年: 3箇所, 補充教材集: 1箇所
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「②確かめよう」では, 朱墨で筆使いを示し, ポイントとなるところに, 写真と言葉で筆使いを示している。 ○ 半紙原寸大の教材文字の横に, 朱墨と薄墨で筆使いを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4ページ <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで学習の進め方を示している。 ・見開き2ページで, 半紙原寸大の教材文字を示している。 ○ 「①考えよう」では, 楷書と行書を左右に並べて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「二次元コード」 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「さあ, 書こう」に二次元コードの説明があり, コンテンツにアクセスできる。 ・該当する箇所には, 二次元コードを示している。 ・1年: 15教材, 2年: 10教材, 3年: 7教材, 補助教材: 10箇所

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑦学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
方法	教科の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名

	学年	単元名	教材名
東書	1	○ 生活に広げよう ○ 文字のいずみ	「案内の手紙を書こう」「年賀状を書こう」「職場訪問をしよう」 「文字の成り立ちと移り変わり」「書き初めをしよう」 「書いて味わおう『竹取物語』」
	2	○ 生活に広げよう ○ 文字のいずみ ○ 楷書と行書を選んで書こう	「本のポップを書こう」「防災訓練に参加しよう」 「手書き文字と活字」「書き初めをしよう」 「書いて味わおう『平家物語』」 「楷書と行書の使い分け」「場面や目的に応じた書き方」
	3	○ 効果的に文字を書こう ○ 文字のいずみ	「身の回りの文字の目的と工夫」「手書き文字の特徴」「書き手の意図と表現」「現代につながる文字の役割」 「仕事の中の手書き文字」「書き初めをしよう」「古典をもとに」「書いて味わおう『おくのほそ道』」「二十四節気と季節の挨拶」
		○ 生活に広げよう	「思いを文字で表そう」
	資料編	○ さまざまな書式	「手紙」「新聞」「リーフレット」「ポスター」「フリップ」 「レポート」「原稿用紙」「そのほかの書式 - 入学願書、複写式の用紙、往復はがき、のし袋、簡潔な手紙、電子メール」
三省堂	1	○ 書いて身につけよう ○ やってみよう ○ 書き初め	「字形の整え方(点画の組み立て・部分の組み立て・外形)」 「仮名の字形/文字の大きさと配列」「点画の丸み/点画の連続/点画の形や方向の変化」 「グループ新聞を作ろう」 「日進月歩」「輝く生命」
	2	○ 書いて身につけよう ○ 楷書と行書 ○ やってみよう ○ 書き初め	「点画の省略/筆順の変化」「行書と仮名の調和/行書に調和する仮名」 「楷書と行書の使い分け」 「情報誌を作ろう」 「燃ゆる思い」「大望を抱く」「温故知新」「平和の鐘」
	3	○ 文字文化の豊かさ ○ やってみよう ○ 書き初め	「身のまわりの文字」 「名言集を作ろう」 「旅立ちの時」「山光澄我心」
	資料編	○ 日常の書式	「便箋と封筒の書き方」「はがきの書き方」「時候の挨拶・頭語と結語」「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」

【書写】

教 出	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を効果的にノートに書こう ○ 楷書で書こう ○ 楷書と仮名を調和させて書こう ○ コラム ○ 行書で書いてみよう ○ 書き初めを書く 	<p>「学習内容を効果的にノートに書こう」</p> <p>「学習を生かして書く一字形、筆順」</p> <p>「学習を生かして書く一行の中心」「学習を生かして書く一配列」『校庭の植物観察をレポートにまとめる』『手紙を書く』『学校生活に生かして書く』『お薦めの本の帯やポップを作る』『ポスターを書く（ポスターセッション用）』</p> <p>「季節の行事と書写」「暮らしの文字を支える人々」</p> <p>「行書学習のはじめに」「学習を生かして書く一行書の特徴」</p> <p>「新たな決意」「世界遺産」</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行書で書こう ○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう ○ 学習活動や日常生活に生かして書こう ○ 書き初めを書く 	<p>「学習を生かして書く一行書の特徴」</p> <p>「文字の大きさと配列」「書く速さを意識して書く一行書と仮名の調和」「学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列」</p> <p>「さまざまな書く場面」（授業中、学習発表会、学級活動、手紙を書く）</p> <p>「学習を活かして書く」（新聞を書く、掲示物（ポスター）に案内を書く、案内状を書く）</p> <p>「生命の尊重」「伝統の継承」</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行書と仮名を調和させて書こう ○ 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く 	<p>「学習を生かして書く一配列」</p> <p>「多様な表現による文字」「三年間の学習の成果を生かそう」（メッセージカード、未来の自分への手紙）</p> <p>「友好の精神」「真理の探究」</p>
	資料編	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書式の教室 ○ 情報を整理して、活動につなげよう 	<p>「手紙の書き方」「一筆箋の書き方」「封筒の書き方」「年賀状の書き方」「はがきの書き方」「往復はがきの書き方」「包み紙の書き方」「エアメールの書き方」「原稿用紙の書き方」「小包伝票の書き方」「願書の書き方」「志願理由の書き方」</p> <p>「課題を設定する」「解決方法を計画する」「情報を比較する」「事柄を推論する」「材料を整理して案内文を書く」</p>
光 村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【学校生活】 ○ 【国語】 ○ 書き初め 	<p>「目標を書こう」</p> <p>「季節のしおり1」</p> <p>「不言実行」「文武両道」「将来の夢」</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【国語・学校生活】 ○ 【国語】 ○ やってみよう ○ 文字を使い分ける ○ 【国語】 ○ 書き初め 	<p>「行書を活用しよう」</p> <p>「壁新聞を作ろう」</p> <p>「『デザインと文字』を考えよう」</p> <p>「楷書と行書の使い分け」</p> <p>「季節のしおり2」</p> <p>「新たな目標」「大志を抱く」</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を使い分ける ○ コラム ○ 【国語】 ○ 書き初め 	<p>「全国文字マップ」「文字の使い分け」「私の好きな言葉」</p> <p>「UD書体って何だろう」</p> <p>「季節のしおり3」「冊子にまとめよう」</p> <p>「旅立ちの春」「伝統を守る」</p>
	資料編	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常に役立つ書式 ○ 【日常生活】 	<p>「手紙の書き方（縦書き、横書き）」「はがきの書き方」「入学願書の書き方」「送り状の書き方」「原稿用紙の書き方」</p> <p>「年賀状を書こう」</p> <p style="text-align: right;">（※書写ブックは除く）</p>

社会（地理的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会 地理
17	教 出	中学社会 地理 地域にまなぶ
46	帝 国	社会科 中学校の地理 世界の姿と日本の国土
116	日 文	中学社会 地理的分野

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	「日本の諸地域」における日本の地域区分と中核となる考察の視点及び内容 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	「世界の諸地域」の地域区分と主題（地球規模の課題）の記載及び知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 単元の導入における工夫	各単元の導入における、興味・関心を引き出す工夫と具体例
		⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	「地域の在り方」における、調査の手順と方法の具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容とページ数
		⑦ 防災教育の充実	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑨ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等
(オ)	言語活動の充実	⑩ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	小単元のまとめの具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東 書	○ 「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に設けたコーナーに「どのように・どのような・どうしたら ~でしょうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の姿」
		○ 「大陸と海洋は、どのように分布しているでしょうか。また、世界はどのように区分できるでしょうか。」 ○ 「地球上のさまざまな場所の位置を表すには、どのような方法があるでしょうか。」
教 出	○ 「身近なものから見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの下に設けたコーナーに「どのように・どのような・どうして ~でしょうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の地域構成」
		○ 「大陸と海洋の分布にはどのような特徴があるのでしょうか。」 ○ 「地球儀を使って地球上の位置を示すには、どのような方法があるでしょうか。」
帝 国	○ 「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に設けたコーナーに「どのように・どのような・なぜ ~だろうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の姿」
		○ 「地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分することができるのだろうか。」 ○ 「世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。」
日 文	○ 「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの左横に設けたコーナーに「どのように・どのような・なぜ ~でしょうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の地域構成」
		○ 「大陸や海洋は、地球上にどのように広がっているのでしょうか。」 ○ 「地球上の国や都市の位置は、どのようにあらわせばよいでしょうか。」

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	「日本の諸地域」における日本の地域区分と中核となる考察の視点及び内容

	日本の地域区分	中核となる考察の視点	考察する内容（近畿地方）
東 書	九州地方	自然環境	○ 都市・農村の変化と人々の暮らし 1 近畿地方をながめて 2 大都市圏の形成と都市の産業 3 ニュータウンの建設と都市の開発 4 変化する農村の暮らし
	中国・四国地方	交通や通信	
	近畿地方	人口や都市・村落	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	その他（生活・文化）	
	北海道地方	自然環境	
教 出	九州地方	自然環境	○ 歴史的な視点から、近畿地方の特色を 考えていこう 1 歴史に育まれた地域 2 京都の街並みと伝統文化 3 阪神工業地帯の発展と今後 4 都市の成り立ちと広がり 5 琵琶湖の水の利用と環境
	中国・四国地方	人口や都市・村落	
	近畿地方	その他（歴史的な視点）	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	その他（伝統文化と地域 の変化）	
	北海道地方	自然環境	
帝 国	九州地方	自然環境	○ 環境保全に注目して 1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 5 環境に配慮した林業と漁業
	中国・四国地方	交通や通信	
	近畿地方	その他（環境保全）	
	中部地方	産業	
	関東地方	人口や都市・村落	
	東北地方	その他（生活・文化）	
	北海道地方	自然環境	
日 文	九州地方	自然環境	○ 歴史的背景をテーマに 1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり 2 現在にいきづく歴史的都市の特色 3 港町から世界へ 4 伝統を生かした産業と世界進出 5 歴史を生かした観光業の推進
	中国・四国地方	人口や都市・村落	
	近畿地方	その他（歴史的背景）	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	その他（持続可能な社会 づくり）	
	北海道地方	自然環境	

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

領土をめぐる問題等に関する記載の仕方	
東 書	<p>○ 北方領土・竹島と尖閣諸島～領土をめぐる問題をかかえる島々～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「地理的に見る島々の特色」 「漁業資源にめぐまれた竹島」 「貴重な自然が残る北方領土」 「資源が期待される尖閣諸島」 ・地図 「竹島、尖閣諸島、北方領土の位置」 「竹島の2万5000分の1地形図」 「歯舞群島がのる20万分の1地勢図」 「北方領土周辺の地形」 「久場島の5万分の1の地形図」 ・写真 「竹島」 「断崖に囲まれた竹島」 「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」 「自然環境にめぐまれた択捉島」 「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島」 「尖閣諸島の久場島」
教 出	<p>○ 日本の領土をめぐる～日本の国境をめぐるさまざまな動き～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「北方領土をめぐる問題」 「竹島と尖閣諸島」 ・年表 「北方領土に関する主なできごと」 ・地図 「北方領土とその周辺」 「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」 ・写真 「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」 「竹島」 「尖閣諸島」
帝 国	<p>○ 日本の領域とその特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「国際法に基づいた日本の領土」 「北方領土」 「竹島」 「尖閣諸島」 ・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」 「竹島の位置」 「尖閣諸島の位置」 ・写真 「納沙布岬から見える北方領土の島々」 「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」 「竹島」 「隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」 「尖閣諸島」 ・読み物資料 「漁業が盛んだった昔の竹島」 ・脚注 「日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太（サハリン）の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場を取っています。」
日 文	<p>○ 日本の領域をめぐる問題をとらえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「北方領土」 「竹島」 「領土問題の解決に向けて」 「尖閣諸島をとりまく情勢」 ・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」 「北方領土付近の国境の変化」 ・写真 「羅臼町から見た国後島」 「『ビザなし交流』で色丹島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団」 「竹島」 「竹島に関する資料を展示する『出張竹島展』」 「尖閣諸島」 「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」

観点		(ア) 基礎・基本の定着	
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫		
方法	「世界の諸地域」の地域区分と主題（地球規模の課題）の記載及び知識・技能を身に付けさせる工夫		
	世界の諸地域の地域区分	主題（地球規模の課題）	知識・技能を身に付けさせる工夫
東書	アジア州	人口・居住・都市の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な技能を身に付けるコーナーとして「スキル・アップ」を設けている。 ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理にアクセス」というコーナーを設けている。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	国家間の統合の問題	
	アフリカ州	食料生産や経済発展での支援の問題	
	北アメリカ州	地域格差の問題	
	南アメリカ州	環境保全と開発の問題	
	オセアニア州	多文化社会の形成の問題	
教出	アジア州	人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明している「地理の窓」「LOOK!」というコーナーを設けている。 ○ 本文に丸数字を付け、脚注で本文の記述や言葉を補足し、解説している。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	環境問題	
	アフリカ州	人口・食料問題	
	北アメリカ州	多民族の共存の問題	
	南アメリカ州	環境問題・都市問題	
	オセアニア州	多民族の共存の問題	
帝国	アジア州	都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明している「地理プラス+」「共生」「環境」「防災」「解説」というコーナーを設けている。 ○ 本文に丸数字を付け、脚注で本文の補足説明をしている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	経済格差	
	アフリカ州	食料問題	
	北アメリカ州	生産と消費の問題	
	南アメリカ州	熱帯林の破壊	
	オセアニア州	多文化の共生	
日文	アジア州	経済発展の地域格差や都市問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明している「地理+α」というコーナーを設けている。 ○ 「スキルUP」というコーナーを設けて、解説している。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	統合のかけで進む分離の動き	
	アフリカ州	モノカルチャー経済からの自立	
	北アメリカ州	大量生産・大量消費の生活スタイル	
	南アメリカ州	熱帯雨林の伐採による環境破壊	
	オセアニア州	多様な民族の共生	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における、興味・関心を引き出す工夫と具体例

	「日本の諸地域」における興味・関心を引き出す工夫	具体例 (中部地方)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、1ページを使い、テーマ、地図や写真、キャラクターの吹き出しを記載している。 ○ 学習内容について説明文がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 「活発な産業を支える人々の暮らし」 ○ 地図 「中部地方の地図」 ○ 写真 「中部地方で生産される農産物や工業製品」 ○ キャラクターの吹き出し 「これらの農産物や工業製品は、どの県で生産されたものだろう。」 ○ 説明文 「愛知県では自動車産業が発達しています。生産だけでなく新しい自動車の研究や開発も盛んで、世界の自動車産業を引っ張っている地域です。その一方、愛知県には全国有数の生産をほこる農産物もあり、工業だけでなく農業も盛んです。 また、福井県鯖江市は眼鏡枠の国内生産量の約90%、世界の約20%を生産しており、『めがねのまち』とよばれています。そのほか、中部地方の各県には特色ある産業が見られます。 中部地方では、どのようにして各地で特色ある産業が発達してきたのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、見開き2ページに学習の視点、写真や詩を記載している。 ○ 見開きページの左上に「学習の視点」を示すとともに、学習の視点について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の視点 「産業の視点から、中部地方の特色を考えていこう。」 ○ 写真 「名古屋港に並ぶ輸出用の自動車」 「フォッサマグナの断層」 「濃尾平野の輪中」 「噴煙を上げる御嶽山」 「春の高山祭」 「称名滝とハンノキ滝」 「富士山世界遺産センターの展示」 「小千谷縮の雪さらし」 ○ 学習の視点の説明文 「中部地方は太平洋側の東海地方、中央高地、日本海側の北陸地方から成り立ち、独自の発展をとげてきました。ここでは、中部地方をこの三つの地域に分け、それぞれの地域で盛んな産業に注目しながら、中部地方の特色を考えていきましょう。」

【社会（地理的分野）】

<p>帝 国</p>	<p>○ 単元の導入において、3ページにわたって、イラスト、地図、写真、キャラクターの吹き出し、「探してみよう！」を記載している。</p> <p>○ 単元の導入の4ページ目、見開き左上に、各単元の問いを示している。</p>	<p>○ イラスト 「となみチューリップフェア」 「白川郷と五箇山の合掌造りの集落」 「高山祭」 「スキー場」 「上高地」 「自動車の生産」</p> <p>○ 中部地方の地図2点</p> <p>○ 写真 「名古屋港の自動車運搬船と積み込み待ちの自動車」 「外国人観光客でにぎわう立山黒部アルペンルート」 「夏の上高地と北アルプスに生息するライチョウ」 「眼鏡枠（フレーム）の製造」 「桃の花が咲く春の甲府盆地を走る山梨リニア実験線」 「金沢箔の工房」 「米どころとして知られる越後平野の広大な水田地帯」</p> <p>○ キャラクターの吹き出し 「港に集められる自動車は、どこで生産されているのかな？」 「スーパーマーケットで新潟県産のお米をよく見るよ。こんな広い平野で米作りをしているんだ！」</p> <p>○ 探してみよう！ 「イラストの中には、小学校で学習したものも含まれています。あなたが知っているイラストを見つけよう。」 「写真1～7の位置を、地図上で確認しよう。」</p> <p>○ 第4節の問い 「中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。」</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 単元の導入において、見開き2ページにテーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターの吹き出し、クイズを記載している。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しやクイズという形で問いを示している場合がある。</p>	<p>○ テーマ 「産業をテーマに」</p> <p>○ 中部地方の地図</p> <p>○ 中部地方の面積・人口・県内総生産の帯グラフ</p> <p>○ 写真 「名古屋港のふ頭にならんでいる多くの自動車」 「白川郷の合掌造り」 「観光客でにぎわう上高地」 「富士山をのぞむ日本の東西交通網」 「鯖江の眼鏡枠作り」 「広大なチューリップ畑」</p> <p>○ キャラクターの吹き出し 「こんなに多くの自動車は、どこで生産されているのかな。」</p> <p>○ クイズ 「この自動車はなぜならんでいるのでしょうか。」</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	「地域の在り方」における、調査の手順と方法の具体例

	調査の手順	方法の具体例
東 書	○ 身近な地域の課題を見つける	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地を、改めてSDGsのゴールの視点からながめる。 ・世界や日本のさまざまな地域に見られる課題を視点の参考にして、自分たちの身近な地域にどのような課題があるか考える。 ・テレビのニュースや新聞から、地域にどのような課題があるか知る。
	○ 課題を調査する	<ul style="list-style-type: none"> ・50年前と現在の写真を比較する。 ・地形図から土地利用の様子を、地域が開発された時期ごとに見ていく。 ・インターネットを使って調査する。 ・図書館で調査する。
	○ 要因を考察する	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の要因やその影響を考察する。 ・図に示しながら、要因を考察したり、影響を推測したりする。
	○ 解決策を構想する	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域の取組を参考にし、より効果的な解決策を見つける。 ・他の地域の事例のメリットとデメリットを、表に整理しながら評価する。 ・地域の実情にふさわしい解決策を考える。
	○ 地域の将来像を提案する	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容を、地図やイラスト等を使用してまとめる。 ・提案は根拠や立場を明確にして、説得力を高める。 ・どのような立場での主張かを明確にする。
教 出	○ 地域の課題をとらえる(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題について、キーワードをあげる。 ・昔から地域に住んでいる人にインタビューをする。 ・郷土史を読む。 ・新旧の地形図を比べる。
	○ 地域の課題をとらえる(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業のあり方などについて、どのような課題があるのか調べる。 ・地域のハザードマップなどをもとに考える。
	○ 地域の課題を調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・住民へアンケートをする。 ・商店街で聞き取りをする。
	○ 地域に向けて発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子をイラストマップにまとめる。 ・話し合いながら課題の解決方法を提案する。 ・調査して分かったことを、ポスターやレポートにまとめたり、学校のウェブサイトに掲載したりして発信する。 ・発表会を開いて、地域の住民やインタビューした人などに聞いてもらい、感想や意見をうかがう。 ・市役所や町村役場のまちづくり担当の人に提案を聞いてもらい、それに対して意見をうかがう。

【社会（地理的分野）】

帝 国	○ 課題を把握しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の課題や、持続可能な社会に向けて考えたことを振り返る。 ・対象の地域を選定する。 ・問いを立て、持続可能な社会をつくるために、地域の在り方を考える。
	○ 地域をとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・調査計画書をつくる。 ・電話による聞き取り調査を行う。 ・インターネットなどを使った文献調査を行う。 ・表やグラフ、主題図などを作り、調査で分かったことを整理する。
	○ 課題の要因を考察しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・類似した課題がみられる地域と比較したり、関連付けて考えたりする。 ・地域の特色をふまえて課題の要因を考察する。
	○ 課題の解決に向けて構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域で行われている取組を、インターネットなどを使って調べる。 ・多面的・多角的に考え、課題の解決を構想する。 ・構想したことを、グループやクラスで発表する。 ・他のグループの意見を踏まえて、さまざまな側面から解決策を見直す。 ・構想に、費用や継続性の面で無理がないか見直す。
	○ 構想の成果を発信しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・構想したことをレポートやポスター、報告書などにまとめる。 ・学校の文化祭などで発表したり、市区町村の役所の方々にプレゼンテーションソフトを使って提言したり、調査に協力してくださった方に送付したりする。 ・調査結果や結論について、意見や感想をもらい、次の機会に生かす。
日 文	○ 地域の課題と特色をつかもう	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の諸地域」で扱った日本全体の課題をふりかえる。 ・「日本全体の課題」を参考にして班ごとに話し合い、調査テーマと調査する地域を決定する。
	○ 地域の課題の要因を考察しよう - 自然と防災班 -	<ul style="list-style-type: none"> ・防災パンフレットなどの資料を集める。 ・課題に対する地域の取組や、関係する過去のできごとを調査する。 ・地域に長く住んでいる人や働いている人に聞き取り調査を行う。
	○ 地域の課題の要因を考察しよう - 交通と観光班 -	<ul style="list-style-type: none"> ・「立場のちがいによってどのようにとらえられているのか」に注意して、課題を考察する。 ・他の地域の取組をインターネットで調査する。
	○ 課題の解決に向けて構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトをはっきり示す、タイトルをつける、1枚の紙にまとめる、プレゼンテーションソフトを使ってまとめるなど、わかりやすいプラン（提案）になるように工夫する。
	○ まちづくり会議を開こう	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり会議」を開く。 ・さまざまな立場の人の役割を演じて、各班の提案を検討する。 ・話し合いを通して、提案を関連づけたり、提案に優先順位をつけたりして、「わたしたちのまちづくりプラン」をまとめる。 ・プランを改善し、学校全体に発表したり、地域の人々に向けて発信したりする。

【社会（地理的分野）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列・分量
方法	総ページ数, 各大項目のページ数, 巻末資料等の内容とページ数

	総ページ数	「世界と日本の地域構成」のページ数	「世界の様々な地域」のページ数	「日本の様々な地域」のページ数	「巻末資料の内容」(ページ数)	目次・巻頭資料等のページ数
東書	302	27	107	142	統計資料 (6) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	9
教出	304	19	101	149	用語解説 (6) 統計資料 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	18
帝国	310	24	104	166	さくいん (4) 巻末資料 (3)	9
日文	298	22	95	156	統計資料 (5) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	9

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦防災教育の充実
方法	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例

	日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害と防災・減災への取り組み 2ページにわたって、自然災害と防災の取組について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな自然災害 ・被災地へのさまざまな支援 ・防災対策と防災意識 ○ 特設ページでは、2ページにわたって、地震や津波の原因や仕組み、被害、命を守る取り組みについて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、火山灰、梅雨や台風等の災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 2ページにわたって、東日本大震災をふくむ東北沿岸でこれまでに発生した地震と、被害の記憶を引きつぐ取組等について記載している。 ○ 北海道地方 2ページにわたって、雪の中で生活するための工夫、火山による被害を減らす取組について記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害に向き合う 2ページにわたって、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震と火山 ・気象災害 ○ 災害から身を守るために 2ページにわたって、災害から身を守るために、どのような努力がなされているのかについて記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害予測の大切さ ・災害への支援と復興 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、火山による災害と、自然を利用する暮らしの工夫や、防災について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで1ページを使い、東日本大震災の経験を受け継ぐ取組について記載している。 ○ 北海道地方 2ページを使い、災害発生時の避難訓練等について記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本のさまざまな自然災害 2ページにわたって、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震と火山災害が多い日本 ・さまざまな気象災害 ○ 自然災害に対する備え 2ページにわたって、自然災害を防いだり、被害を少なくしたりするための工夫について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災への工夫 ・災害への対応 ○ 特設ページでは、2ページにわたって、ハザードマップの読み取り方、防災情報の入手のしかたについて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、火山の噴火と対策について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで1ページを使い、高台に移転した宮古市田老地区の取組について記載している。 ○ 北海道地方 2ページにわたって、北海道の人々の雪や寒さへの対策について記載している。

【社会（地理的分野）】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分 2ページにわたって、日本で起こる地震、火山災害について記載している。 ・地震や津波による災害 ・火山の噴火による災害 ・地震・火山災害からみた日本の地域区分 ○ 気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分 2ページにわたって、日本で起こる気象災害について記載している。 ・さまざまな気象災害 ・自然災害と人災 ・気象災害からみた日本の地域区分 ○ 災害にそなえるために 2ページにわたって、防災・減災の取組を記載している。 ・防災・減災へのくふう ・どのように災害と向き合うか ○ 特設ページでは、2ページにわたって、東日本大震災の時の岩手県釜石市の避難行動やハザードマップの使い方について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、九州地方の自然災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 4ページにわたって、東日本大震災による影響と復興、災害に強い地域づくりについて記載している。特設ページでは、1ページを使い、災害に強い地域づくりと住民どうしの共助について記載している。 ○ 北海道地方 2ページにわたって、低温と降雪の対策について記載している。
--------	--	--

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	資料の種類と掲載数

	世界の諸地域			
	写真	絵図	地図	図表・グラフ
東書	171	12	52	50
教出	132	6	52	39
帝国	155	6	41	53
日文	145	8	32	63

【社会（地理的分野）】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等

	フォント、グラフ	レイアウト等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ふりがなの文字濃度を薄くしている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けで学習内容を示している。「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、ページ下に地域名で学習内容を示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと見開きページ左下の文字で学習内容を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと、見開き右側のインデックスで、学習内容を示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータには区切りを入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線と点線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと、見開き右側のインデックスで、学習内容を示している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	小単元のまとめの具体例

		「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける言語活動の具体例
東書	アジア州	グループで、それぞれの地域で経済が成長した理由と、経済の成長によって起こっている課題を表に整理する。単元の探究課題「アジア州は、なぜ急速に経済が成長してきたのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	ヨーロッパ州	グループで、ヨーロッパ統合のきっかけや良い影響、課題を図に整理する。「今後もEUの加盟国を増やして、統合を進めるべきか」について話し合い、理由をふくめて、図に書き加える。単元の探究課題「ヨーロッパ州では、なぜ統合をめぐるさまざまな動きが見られるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	アフリカ州	グループで、「産業」「民族」「人口」の三つの側面から、アフリカに対する国際的な支援が必要とする主張の具体的な理由になっている事実を、図に整理する。教科書を参考にしながら、アフリカの課題を解決するための具体的な支援について話し合い、図に書き加える。単元の探究課題「アフリカ州では、なぜ国際的な支援が必要とされているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	北アメリカ州	グループで、アメリカ合衆国の発展の様子と、それを支えている技術や人を図に整理する。「今後もアメリカ合衆国の発展は続くかどうか」について話し合い、理由も含めて、図に書き加える。単元の探究課題「北アメリカ州では、なぜアメリカ合衆国への移民が多く見られるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	南アメリカ州	グループで、南アメリカ州の開発と影響について、開発の内容と、もたらす影響を図に整理する。南アメリカ州での開発を、持続可能なものにするために必要なことを考えて、図に書き加える。単元の探究課題「南アメリカ州では、なぜ森林が減少しているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	オセアニア州	グループで、オーストラリアとほかの地域との結び付きの様子や変化、その理由を図に整理する。オーストラリアやニュージーランドでは、なぜ多文化社会を築こうとしているかを話し合い、図に書き加える。単元の探究課題「オセアニア州では、なぜアジアとの結び付きが強くなってきたのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
教出	アジア州	アジア各地について、なぜ経済が発展したのか分担して調べ、特徴をまとめる。その結果をもとに、「経済発展に欠かせないものは何か」について話し合う。
	ヨーロッパ州	「言葉や習慣が異なる人たちと社会生活を送るために、どのような工夫が必要だろうか。」について話し合う。
	アフリカ州	「アフリカに対して、どのような支援が求められているだろうか。」について、持続可能な発展をテーマに話し合う。
	北アメリカ州	アメリカ合衆国やカナダの成り立ちの特徴をまとめ、「なぜ活力ある多様で先端的な産業が根づいてきたのか」について、理由を話し合う。
	南アメリカ州	都市へ人口が集中する理由をもとに、「都市の人口増加で生じている問題点」を整理し、どうすれば解決できるのか話し合う。
	オセアニア州	オーストラリアを例に、移民政策が変化してきた理由についてまとめる。まとめたものをもとにして、「他地域との関係を深めていくためにはどのような考え方や工夫が必要か」について話し合う。

【社会（地理的分野）】

帝国	アジア州	表の中から1つ国・地域を選び、そこで生じている課題の原因と、それに対する取組について考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か話し合う。
	ヨーロッパ州	EU加盟国間での経済格差拡大の理由と、それに対する取組について、「西ヨーロッパの人」「東ヨーロッパの人」の立場で考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、立場を明らかにして話し合う。
	アフリカ州	モノカルチャー経済からの脱却の妨げになっていることと、モノカルチャー経済に依存しすぎないようにするための取組について、課題の背景を踏まえて考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、私たちができる取組はないか、話し合う。
	北アメリカ州	大量消費の生活様式の課題を考え、それを踏まえて持続可能な社会を実現するために注意することについて考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、私たちができる取組はないか、話し合う。
	南アメリカ州	熱帯林の開発が進められている理由を考え、熱帯林の保全と経済の発展を両立するためにはどのような取組を行うとよいか、「開発業者」「先住民」「ブラジル政府」のいずれかの立場で考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、立場を明らかにして話し合う。
	オセアニア州	多文化社会となっているオーストラリアでは、かつて、どのような課題を抱えていたのか考える。多文化社会を維持・発展させるためには、どのような取組を行うとよいか、「先住民」「移住してきた人々の子孫」「近年に移住してきた人」のいずれかの立場で考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、立場を明らかにして話し合う。
日文	アジア州	東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア・中央アジアにある国々の経済発展の要因や課題を、表にまとめる。どのようなところが共通していて、どのようなところが異なっているのか、という問いに対する答えを考える。
	アフリカ州	「アフリカの国々がモノカルチャー経済からの自立をはかるにはどうすればよいか」をテーマに、ウェビングマップの「輸出用の農産物の多角化」「工業化」を参考に、「フェアトレード」から連想する言葉やアイデアを図の空欄に書き込む。
	南アメリカ州	ガラパゴス諸島の環境をそこなうことなく観光を楽しむアイデアや活動を紹介する観光用パンフレットの表紙に掲載する「キャッチフレーズ」を考える。2枚の写真から観光パンフレットの表紙に使う写真を選び、写真に合ったキャッチフレーズを考える。グループで考えたキャッチフレーズを発表し、なぜそれを選んだのか説明する。
	オセアニア州	オセアニアの学習をふりかえり、「世界のなかの日本」「日本のなかの世界」について考え、話し合う。「世界のなかの日本」では、世界で通じる日本語をグループで出し合い、通じるようになった経緯を考える。「日本のなかの世界」では、どのようなところに表示されているか、何語で書かれているか、どのような人に対する表示なのか、といった点に注目しながら、住んでいる地域の多言語表示を探す。

【社会（歴史的分野）】

社会（歴史的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会 歴史
17	教 出	中学社会 歴史 未来をひらく
46	帝 国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
81	山 川	中学歴史 日本と世界
116	日 文	中学社会 歴史的分野
227	育 鵬 社	[最新]新しい日本の歴史
229	学 び 舎	ともに学ぶ人間の歴史

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	文化遺産の示し方、神話・伝承等に関する記載内容
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数と内容
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 単元の導入における工夫	各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫の具体例
		⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	「身近な地域の歴史」で示している調べる手順・方法及び記載の仕方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列・分量	各時代区分のページ数
		⑦ 主権者育成のための工夫	古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりに関する記載内容
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑨ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等
(オ)	言語活動の充実	⑩ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	単元末における「時代の特色」をまとめる学習の具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとにタイトルを「律令国家の成立と平城京」「平安京と律令国家の変化」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に、「チェック」と「トライ」を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 	<p>3節 古代国家の歩みと東アジア世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聖徳太子や蘇我氏は、どのような国づくりを目指したのでしょうか。 ○ 東アジアの国々との関係の中で、日本はどのような改革を進めていったのでしょうか。 ○ 律令国家はどのようにしてできあがり、その仕組みはどのようなものだったのでしょうか。 ○ 律令国家の下で、人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。 ○ 奈良時代の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 ○ 平安京に都が移り、政治や社会はどのように変わったのでしょうか。 ○ 平安時代の政治は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 ○ 平安時代の貴族の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 <p>【「チェック」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 律令とはどのようなものか、本文からそれぞれぬき出しましょう。 <p>【「トライ」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 律令国家が全国を支配した仕組みを、次の語句を使って説明しましょう。[太政官/国・郡]
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとにタイトルを「木簡と計帳は語る」「望月の欠けたることもなしと思えば」等の項目で示し、タイトルの右横に「奈良の都と律令制下の人々の暮らし」「平安の都と摂関政治」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの下に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に、「確認」と「表現」を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 	<p>4節 貴族社会の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 律令制のもとで、都の貴族や地方の農民は、どのような暮らしをしていたのでしょうか。 ○ 奈良時代には、どのような特色をもった文化が栄えたのでしょうか。 ○ 律令政治や貴族の勢力は、どのように移り変わっていったのでしょうか。 ○ 平安時代には、どのような文化が生まれたのでしょうか。 <p>【「確認」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 墾田永年私財法が出された背景を確かめよう。 <p>【「表現」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奈良時代の「朝廷、貴族、農民」の関係を、税の流れに注目して、図に表して説明しよう。

【社会（歴史的分野）】

<p>帝 国</p>	<p>○ タイトルを「律令国家を目指して」「律令国家での暮らし」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。</p> <p>○ 見開き右のページの下段に「確認しよう」と「説明しよう」を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。</p>	<p>3節 中国にならった国家づくり</p> <p>○ 蘇我氏や聖徳太子は、国づくりのためにどのような改革を行ったのだろうか。</p> <p>○ 東アジア諸国との関係のなかで、倭国（日本）はどのような改革を進めたのだろうか。</p> <p>○ 奈良時代の土地と税の制度にはどのような特徴があったのだろうか。</p> <p>○ 奈良時代にはどのような特色を持った文化が展開したのだろうか。</p> <p>【「確認しよう」の例】</p> <p>○ 奈良時代の初め、人々がどのような税を担ったのか、本文から五つ書き出してみよう。</p> <p>【「説明しよう」の例】</p> <p>○ 班田収授法と墾田永年私財法の違いを説明し、その違いが社会に与えた影響を説明してみよう。</p>
<p>山 川</p>	<p>○ タイトルを「律令国家の仕組みと人々の暮らし」「平城京と天平文化」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」「なぜ」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。</p> <p>○ ページの下段に「ステップアップ」を設定し、さらなる課題追究に向けた発問や学習活動を示している。</p>	<p>3節 律令国家の形成</p> <p>○ 聖徳太子（厩戸皇子）は、どのような国づくりを目指したのだろうか。</p> <p>○ 7世紀の倭では、なぜ朝廷に政治権力を集中させようとしたのだろうか。</p> <p>○ 朝廷に権力が集中する中で、天皇と豪族との関係はどのように変化したのだろうか。</p> <p>○ 律令国家は、どのような仕組みで地域と人々を支配したのだろうか。</p> <p>○ 中国や朝鮮半島との交流は、日本にどのような影響をあたえたのだろうか。</p> <p>【「ステップアップ」の例】</p> <p>○ 墾田永年私財法は、律令国家にとってどのように役立つのか、考えてみよう。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ タイトルを「奈良の都と人々の暮らし」「撰閣政治と国風文化」等の項目で示し、タイトルの下段に「律令に基づく統治のしくみ」「日本らしい文化の始まり」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの左横に「どのような」「なぜ」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。</p> <p>○ ページの下段に、「確認」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。</p>	<p>3 古代国家の展開</p> <p>○ 律令国家には、どのような特徴があるのでしょうか。</p> <p>○ 東大寺正倉院には、なぜ西アジアなどの外国の宝物が納められているのでしょうか。</p> <p>○ 多くの時間や資材をかけて奈良に築かれた都は、なぜ100年もたたないうちに、京都に移されたのでしょうか。</p> <p>○ 平安時代中ごろの文化の特色と天平文化の特色には、どのようなちがいがいるのでしょうか。</p> <p>【「確認」の例】</p> <p>○ 「税」という言葉を使って、朝廷の国づくりのねらいと当時の人々の生活を説明しましょう。</p>

【社会（歴史的分野）】

<p>育 鵬 社</p>	<p>○ 見開きごとにタイトルを「大宝律令と平城京」「平安京と摂関政治」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」「どのようにして」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。</p> <p>○ 見開き右ページの下段に、「えんぴつ」マークを付し、学習課題に対応した学習活動を示している。</p>	<p>第2節 「日本」の国の成り立ち</p> <p>○ 聖徳太子はどのような考えをもとに政治を行ったのだろうか。</p> <p>○ 大化の改新はどのような国づくりをめざしたものであったのだろうか。</p> <p>○ 飛鳥文化・白鳳文化はどここの国の影響を受けて成立したのだろうか。</p> <p>○ 律令国家はどのようなしくみを持ち、人々はどのように暮らしていたのだろうか。</p> <p>○ 天平文化はどのような特色を持っていたのだろうか。</p> <p>○ 平安時代の天皇や貴族の政治はどのようなものだったのだろうか。</p> <p>○ 国風文化はどのようにして生まれ、どのように発展していったのだろうか。</p> <p>【「えんぴつ」マークの例】</p> <p>○ 律令国家のしくみについて、次の語句を使って説明しましょう。【天皇／国司／貴族／律／令】</p>
<p>学 び 舎</p>	<p>○ 見開きごとにタイトルを「奈良の都」「北で戦い、都をつくる」等の項目で示し、タイトルの右横に「律令制の成立」「平安京と地方の政治」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの下段に「どんな」「なぜ」等問いかけの形態で1時間の追究する課題を示している。</p>	<p>第2章 日本の古代国家</p> <p>○ 仏教の導入で、超高層の寺院が出現。そのあと倭国は、ゆるる東アジアにどう立ち向かうのか。</p> <p>○ 都に大量の品物が運ばれてきた。どんなしくみができたのか。国の内外にどんな変化があらわれたか。</p> <p>○ 口分田で農業に取りくむ人びとは、防人のほか、税としてどんな負担をしいられていたか。</p> <p>○ 伎楽や正倉院宝物、鑑真の来日からどんなことがわかるか。歴史書はなぜつくられたのか。</p> <p>○ バグダッドにはどんな人たちが集まってきたか。イスラムではどんな文化が生まれたか。</p> <p>○ 新しい都・平安京ができた。東北で、都や地方で、どんなことがおこなわれるようになったか。</p> <p>○ 紫式部と清少納言はどんなことを書いたのか。このころの文化にはどんな特色があるだろう。</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着	
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	
方法	文化遺産の示し方, 神話・伝承等に関する記載内容	
	文化遺産の示し方	神話・伝承等に関する記載内容
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」「世界の記憶」「無形文化遺産」のマークが付いている。 ○ 巻頭の見開きに「日本の国宝・重要文化財」がまとめられている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国家の仕組みが整い、国際的な交流が盛んになると、日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの由来を説明しようとする動きが朝廷の中で起こりました。そこで、神話や伝承、記録などを基に歴史書の『古事記』と『日本書紀』が作られました。また、全国に命じて、自然・産物・伝承などを記した『風土記』が国ごとに作られました。」 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「現代に生きる神話」 2ページにわたって、「『記紀神話』の成立」「『記紀神話』の展開」「日本の神話と世界の神話」「島根県と神話」「宮崎県と神話」を記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「世界遺産」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国際的な交流が盛んになると、天皇が日本を治める由来を説明する歴史書として、神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』がまとめられました。また、地方の国ごとに、地理や産物、伝承などを記した『風土記』もまとめられました。」 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「神話にみる古代の人々の信仰」 2ページにわたって、「日本の神話」「古事記に記された黄泉の国の物語」「神話にみる古代の人々の信仰ともの見方」を記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「世界遺産」「世界の記憶」「国宝」のマークが付いている。 ○ 巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「天皇が日本を治めることの正統性を明らかにしようとする動きも起こり、天皇家の由来を説明するための歴史書として『古事記』や『日本書紀』が作られ、数々の神話がそこへ記されました。また、天皇が支配するすべての土地の地理的な情報を集めるため、産物や地名の由来、伝承などを国ごとにまとめた『風土記』も作られました。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「『古事記』と『日本書紀』が伝える神話」「古事記」と「日本書紀」の内容等について記載している。

【社会（歴史的分野）】

山 川	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。 ○ 巻頭に「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令国家が確立すると、天皇の由来や、天皇が国家をおさめる正当性を示すために、歴史書の編さんが行われた。天武天皇が命じた歴史書の編さん事業を引きつぎ、奈良時代には『古事記』と『日本書紀』が完成した。『古事記』は、神話の時代から推古天皇の時代までの、天皇の起源を説明する物語をまとめたものである。『日本書紀』は、中国の歴史書にならって漢文で書かれた最初の歴史書で、神話の時代から持統天皇の時代までの歴史がまとめられた。このほか、諸国には、国内の産物や地名の由来、古くからの伝承などを報告することが命じられ、これらを記した『風土記』がつけられた。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の神話」 「古事記」、「日本書紀」や「風土記」の内容等について記載している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図とともにまとめている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令国家のしくみが整うにつれて、国家のおこりや天皇・貴族の由来などを説明するために、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書がつけられました。このほか、全国の国ごとに、自然・地理・産物や伝説などを集めた『風土記』がまとめられました。」 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の神話」 1ページを使い、「神話とは何か」「『古事記』『日本書紀』の神話」「さまざまな神話」を記載している。
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻頭や巻末で、世界遺産や国宝を紹介している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令国家としての基礎ができあがるにつれ、わが国の歴史が書物としてまとめられるようになりました。神々の物語や代々の天皇の業績を記した『古事記』や、国の正史として代々の天皇やその業績を記した『日本書紀』がそれにあたります。また、朝廷の命令によって、各地の地理や産物、伝説などを記した『風土記』もつけられました。」 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「神話に見るわが国誕生の物語」 2ページにわたって、「日本の神々の物語」「三種の神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」を記載している。
学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産や国宝、史跡を写真や地図で紹介している。 ○ 近世後半の導入ページにおいて「世界遺産に見る世界」で世界遺産を紹介している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝廷は8世紀の前半に、中国の正史にならった歴史書の『日本書紀』を、神話の記録として『古事記』を完成させました。これらは、古くからの伝承もふくんでいます。天武天皇が、国の統一をすすめる目的で編さんを命じていたものです。ここには、太陽の女神とされる天照大神が、天から地上に神々をつかわし、その子孫が国を制圧して、最初の天皇になったという神話が書かれています。東アジアの国々に対しても、天皇がこの国を治める正当性をしめそうとしたものです。また、国ごとに言い伝えられたことをしるした『風土記』もまとめられ、出雲国（島根県）や常陸国（茨城県）などのものが残っています。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」 常陸国風土記に記された内容等について記載している。

【社会（歴史的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数と内容

	時代区分 (コラム等の数)	コラム等の内容
東 書	古代 (1)	○ 年中行事
	中世 (2)	○ 堺の自治 ○ 東アジア世界の国々の交流と琉球文化
	近世 (3)	○ 朝鮮人陶工と日本の陶磁器文化 ○ 朝鮮通信使が訪れた対潮楼 ○ アイヌの文化とその継承
	近代 (3)	○ 錦絵から文明開化の様子をとらえよう ○ メディアの発達が日本を変えた ○ オリンピック・パラリンピックと日本
教 出	古代 (1)	○ 神話に見る古代の人々の信仰
	中世 (1)	○ 宋と高麗
	近世 (3)	○ 銀で結びつく世界 ○ 宣教師が見た日本 ○ 野國聰管と青木昆陽
	近代 (2)	○ 明治期の面影を訪ねて ○ 琉球とアイヌの文化を伝えた人たち
	現代 (1)	○ 平和と共生を願う人々
帝 国	古代 (4)	○ 上野三碑に見る渡来人の影響 ○ キトラ古墳に見る中国の思想 ○ 衣服の変遷 ○ 『古事記』と『日本書紀』が伝える神話
	中世 (4)	○ 北と南を襲ったもう二つの蒙古襲来 ○ 東アジアに開かれた窓口 博多 ○ 東アジアの美、磁器 ○ 生活を変えた木綿
	近世 (3)	○ 朝鮮半島から伝わった文化 ○ 琉球とアイヌの人々の暮らし ○ 昆布ロードと北前船
	近代 (7)	○ 幕府の「近代化」への対応 ○ 「絹の道」と日本の製糸業 ○ ハーンと濱口梧陵の「稲むらの火」 ○ 国旗と国歌 ○ 祖国の音楽を紹介したドイツ兵 ○ 人々を魅了した洋菓子文化 ○ 世界に開かれた港 横浜
山 川	古代 (4)	○ 中国の記録に見る日本列島 ○ 神仏習合 ○ 日本の神話 ○ 福岡
	中世 (4)	○ 海に眠っていた貿易船 ○ アイヌ民族の歴史と文化 ○ 琉球の歴史と文化 ○ 木綿栽培
	近世 (1)	○ 砂糖
	近代 (2)	○ 近代日本と女子留学生 ○ 「蛍の光」

【社会（歴史的分野）】

日 文	古代（1）	○ 朝貢・冊封とは何か
	中世（2）	○ 宋と高麗 ○ 東大寺の再興と重源
	近世（4）	○ つながる世界と生活の変化 ○ 活版印刷の始まり ○ 雨森芳洲 ○ こんぶはめぐる
	近代（1）	○ 近代社会に日本をみつめ直す
	現代（2）	○ 在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン ○ オリンピック・パラリンピックの歴史
育 鵬 社	古代（3）	○ ローマ帝国と日本の古墳時代 ○ 日本人の宗教観 ○ かな文字の発達
	近代（3）	○ 外国人が見た日本 ○ お雇い外国人 ○ なでしこ日本史その4
	現代（1）	○ オリンピック・パラリンピックと万博のレガシー
学 び 舎	古代（2）	○ 今も読まれる孔子の『論語』 ○ 中国の歴史書に書かれた卑弥呼
	中世（4）	○ 博多に住みついた中国商人たち ○ 帯と扇のネットワーク ○ アイヌの人びとがになう北方の交易 ○ 大仏再建の熱狂
	近世（4）	○ ザビエルとアンジロー ○ 琉球王国の使節 ○ 長崎に荷揚げされた砂糖 ○ ラクスマンと大黒屋光太夫
	近代（3）	○ 郷学校から公立小学校へ ○ 6歳の女子留学生 ○ 「モダン・タイムス」と「独裁者」
	現代（3）	○ 微力だけど無力じゃない ○ 東京オリンピック ○ インディラがやってきた

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④単元の導入における工夫
方法	各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫の具体例

具体例（近世の日本）	
東 書	<p>【構成の概要】</p> <p>見開き2ページにわたり、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表を掲載し、資料の読み取りやグループ学習について示している。また、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 「近世では、どのようにして社会が安定したのでしょうか。」 ○ 各節の学習課題 <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのでしょうか。」 ・「なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。」 ・「産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。」 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（①さまざまな身分の人たち、②参勤交代、③新しい農具、④歌舞伎） ・年表 <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①のA～Dにえがかれているのはどの身分の人たちか、またどのような様子がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。」 ・「②～④は、それぞれどの身分の人たちに関係するものか考えましょう。」 ・「①～④から、それぞれの身分の人たちの暮らしについてどのようなことが分かるか、グループで話し合ひましょう。」 ・「資料や年表から、この時代について、知りたいことや疑問に思うことを出し合ひましょう。」
教 出	<p>【構成の概要】</p> <p>1ページを使い、絵図で歴史的事象を示すとともに、年表でこれから学習する時代を示している。また、キャラクターの話し言葉から章の学習課題を導くよう構成している。さらに、見開き2ページにわたり、絵図と絵図に係るキャラクターの問いを掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 「上の絵は、17世紀前半の江戸城とその周辺の様子です。左の貨幣は、17世紀の初めにつくられ、全国で使われるようになりました。このような変化がなぜ起こったのか、学習していきましょう。」 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（江戸城、寛永通宝と慶長小判、江戸図屏風、江戸の町①～⑤） ・年表 <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①～⑤には、どのような場面が描かれているのでしょうか。」 ・「中世と比べて変わったところ、中世から変わっていないところをそれぞれ考えてみましょう。」 ・「中世から社会がどのように変化していったのか、予想してみましょう。」
帝 国	<p>【構成の概要】</p> <p>導入の特設ページは設けられていないが、タイトル下に章の学習課題を示している。また、小単元の導入に「タイムトラベル」という見開き2ページの特設ページにより、絵図で歴史的事象を示すとともに、絵図の人物を用いた年表を掲載している。資料読み取りの活動を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 「全国を統一する安定した政権を成立させたものは何か。」 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図 ・年表 <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「室町時代と比べると、どのような点が変わり、どのような共通点があるのでしょうか。」 ○ 「次の場面を探してみよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・「城のシンボルとなる天守が、建てられています。」 ・「城の周囲に、家来の屋敷が広がっています。」 <p style="text-align: right;">等</p>

【社会（歴史的分野）】

山 川	<p>【構成の概要】 見開き2ページにわたり、年表で、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて示すとともに、単元全体に係る説明を掲載している。また、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を掲載している。</p> <p>○ 章の学習課題 「対外関係をふまえ、政治の展開や社会の変化、文化の発展を学んでいきましょう。」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真（姫路城、オスマン帝国の都となったイスタンブルの街、サン=ピエトロ大聖堂、ヴェルサイユ宮殿、タージ=マハル） ・絵図（長篠の戦い、南蛮人と南蛮貿易、検地、湯島聖堂における講義、オランダ正月、出帆を待つ菱垣廻船、大塩の乱、「最後の晚餐」、コロンブスの上陸、エリザベス1世） ・年表
日 文	<p>【構成の概要】 見開き4ページにわたり、絵図等によって歴史的事象を示し、次の見開き2ページで、「15世紀の世界と日本」というタイトルとともに、絵図、地図、年表、写真を掲載している。</p> <p>○ 章の学習課題 「近世の江戸幕府と、中世の室町幕府の将軍の建物を比べて、どうしてこんなに大きさがちがうのか、この単位ではそのなぞを解いていきましょう。そして、『近世』とはどのような時代か、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代とのちがいは何かなど、自分の言葉で説明できることをめざしましょう。」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（江戸図屏風の日本橋付近のようす、室町幕府の将軍が政治を行った町のようす、江戸幕府の将軍が政治を行った町のようす、ムスリム商人の船） ・地図 ・年表 ・写真（イスタンブール、香辛料） <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「400年前の江戸の町を読み取ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「町は、どのような形に区割りされているかな。」 ・「橋のもとにある木戸は、何の役割があるのかな。」 等 ○ 「16世紀前半の京都を読み取ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「室町幕府の将軍と補佐役の管領の屋敷を見つけましょう。」 ・「将軍と管領の屋敷を見比べて、大きさや建物の特徴を読み取りましょう。」 ○ 「17世紀前半の江戸を読み取り、中世と近世の将軍の建物を見比べよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「江戸幕府の将軍と家臣の大名の屋敷を見つけよう。」 ・「将軍と大名の屋敷を見比べて、大きさや建物の特徴を読み取りましょう。」 等 ○ 「地図を読み取ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「P.82の地図と比べて、ユーラシア大陸の国はどのように変化しているのかな。中国やヨーロッパ、そのあいだにあるイスラム世界に注目して読み取りましょう。」

【社会（歴史的分野）】

育 鵬 社	<p>【構成の概要】</p> <p>1 ページを使い、絵図等で歴史的事象や、全ての歴史学習の中のどの期間の学習をするかが分かる年表や、キャラクターの言葉を掲載している。次の見開き2ページにわたり、歴史的な事象を時系列で掲載している。さらに、見開き2ページにわたり、絵図から江戸の町づくりについて読み取る学習活動を示している。</p> <p>○ 章の学習課題</p> <p>「近世は、最初は外国との貿易がさかんに行われますが、やがて鎖国が行われます。なぜそうなったのか、学んでいきましょう。」</p> <p>「町人たちは、どんな活躍をしたのでしょうか。これから近世について学んでいきましょう。」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（朱印船、歴史絵巻、江戸図屏風） ・年表 ・グラフ（三都の人口の推移） ・写真（タイのアユタヤに立つ石碑） <p>【資料に係る学習活動】</p> <p>○ 「この絵から、どんなことが分かるかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本橋がかかる川の両岸では、どんなものが荷あげされたり、積荷されたりしているのでしょうか？」 ・「日本橋の右手には、大店と呼ばれる大きな館が軒を連ねています。そこではどんな人たちが何をしていますか？建物にはどんな特徴がありますか？」 ・「どんな身分・職業の人たちがえがかれていますか？それはどんなところから分かりますか？」 ・「このころの日本橋の町の区画は、どのようになっていたのでしょうか？」 ・「日本橋の左側には、高札（立て札）がえがかれています。高札はどんなことに使われていたのでしょうか？」
学 び 舎	<p>【構成の概要】</p> <p>見開き2ページにわたり、年表スケールや歴史的な事象を示す写真や絵図を掲載している。また、それぞれの歴史的な事象が関連する位置を、掲載した地図に示している。</p> <p>○ 章の学習課題</p> <p>「海洋を行き来して、遠く離れた国と国がつながります。人びとの交流が新しい時代を開きます。地域と地域がつながって、新しい文化が育ちます。天下を統一した武将たち、力をつけた百姓・町人たちの姿を見ていきましょう。地域に残る歴史の跡や資料からも、当時の人びとの生活を見ることができます。近世の新しい動きを、さまざまな角度から考えてみましょう。」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表 ・地図 ・絵図（鉱山で働かされるアメリカ先住民、奴隷い船の内部のようす、イスタンブールの天文台、南蛮船から下ろされた荷物） ・写真（トマト・トウモロコシ・トウガラシ、コショウの実、石見銀）

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	「身近な地域の歴史」で示している調べる手順・方法及び記載の仕方

具体例	
東 書	<p>○ 記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史へのとびら」に「2節 身近な地域の歴史」を設け、調べ学習における、学習のポイントについて示している。 ・各大項目の終わりに、「地域の歴史を調べよう」というコーナーを設け、身近な地域の調べ学習の例を示している。 <p>○ 調べる手順・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを決めて調査・考察しよう <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマの設定 2 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・主な調査方法 ・書籍で調べよう（歴史上の出来事を調べる、時代や年代から調べる、人物・地名を調べる、郷土史を調べる） ・インターネットで調べよう（役に立つウェブページ、利用上の注意） 3 考察 2 まとめと発表をしよう <ol style="list-style-type: none"> 4-①まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・主なまとめの方法 ・レポートにまとめよう（レポートの構成、まとめ方のポイント） ・歴史新聞にまとめよう（歴史新聞の作り方、まとめ方のポイント） 4-②発表 <ul style="list-style-type: none"> ・発表の流れ 5 ふり返り
教 出	<p>○ 記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」に「2節 身近な地域の歴史」を設け、調べ学習における、学習のポイントについて示している。 ・各大単元において、「身近な地域の歴史を調べよう」というコーナーを設け、身近な地域の調べ学習の例を示している。 <p>○ 調べる手順・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを決めよう <ul style="list-style-type: none"> ・調査全体の見通しを立てよう ・小学校で学んだ人物や、地域に関わりのある人物 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の遺跡や文化財 ・地域の行事や風習 ・歴史的なできごとや、地域に伝わる昔話 ・地域の風景や地名 ・地域の産物 2 情報を集めよう <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を活用しよう（調査に役立つ図書、図書の分類） ・インターネットを活用しよう（インターネットの検索、利用するときの注意点） 3 具体的な調査の課題を決めよう <ul style="list-style-type: none"> ・意見を共有して、アイデアをまとめよう（意見を出し合って共有する、ブレインストーミング、意見を整理して、アイデアをまとめる） 4 野外調査・聞き取り調査を進めよう <ul style="list-style-type: none"> ・調査計画書を作ろう（調査テーマ、調査で確かめたいこと、調査方法） 5 整理して考察しよう 6 調査の結果をまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・レポートをまとめよう（序論、本論、結論、参考資料） 7 発表して、学習を振り返ろう

【社会（歴史的分野）】

<p>帝 国</p>	<p>○ 記載の仕方 ・「第1部 歴史のとらえ方と調べ方」に「第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」を設け、調べ学習における、学習のポイントを示している。</p> <p>○ 調べる手順・方法</p> <p>1 歴史の謎を探る～博物館に行ってみよう～ ・小学校などで学んだ地域の人物から ・身近な人の話や言い伝えから ・地域の気になる建物・風景から ・地域の遺跡・遺物から ・地域の行事・風習から ・情報の集め方（図書館、博物館・資料館、インターネット）</p> <p>2 資料をよく見てヒントを探そう～ヒントを探してみよう～ ・並んでいる展示品からヒントを探してみよう ・学芸員さんに質問してみよう ・新たな発見をしに行こう ・地図の作り方・年表の作り方 ・野外・聞き取り調査のしかた</p> <p>3 謎解きの答えをまとめよう～自分の考えを表現しよう～ ・自分の考えを明確にしよう ・具体的に示す時に使うもの ・レポートのまとめ方、発表の仕方（疑問や謎、自分の推理、分かったこと、結論、発表のときに注意すること、内容面で注意すること）</p>
<p>山 川</p>	<p>○ 記載の仕方 ・「第1章 歴史との対話」に「2節 身近な地域を調べよう」を設け、調べ学習における、学習のポイントについて記述している。 ・各大単元において、「地域からのアプローチ」というコーナーを設け、身近な地域の調べ学習の例を示している。</p> <p>○ 調べる手順・方法</p> <p>1 テーマを設定しよう！ ・テーマを見つけるには</p> <p>2 さあ調査だ！</p> <p>(1) 図書館を利用しよう ・図書館での文献調査</p> <p>(2) 荒川ふるさと文化館に行ってみた ・博物館の展示品と展示図録</p> <p>(3) インターネットで昔の地図を見てみた ・ウェブページの信頼性 ・古い地図を入手するには</p> <p>(4) 聞き取り調査をしよう ・聞き取り調査の注意点</p> <p>(5) フィールドワークで道灌山周辺を実際に歩いてみた ・フィールドワークの注意点</p> <p>3 レポートをつくって発表しよう！</p> <p>(1) レポートにまとめよう ・レポートの書き方 ・参考文献 ・引用と盗用</p> <p>(2) 発表しよう ・分かりやすい伝え方 ・スライドの作り方</p>

【社会（歴史的分野）】

日 文	<p>○ 記載の仕方 ・各大単元において、「でかけよう！地域調べ」というコーナーを設け、調べ学習における、学習のポイントを示している。</p> <p>○ 調べる手順・方法</p> <p>第2編…「史跡見学に行こう 平城宮跡を歩く」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画を立てて、事前の学習をする ・史跡見学のしかた（事前調査・現地調査・持ち物） 2 実際に歩いてみる 3 体験した感想をまとめ、意見を出し合う <p>第3編…「歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 草戸千軒町遺跡について調べる 2 歴史博物館で調べる ・博物館の見学のしかた（見学するにあたって・チェックリストを作成する） 3 調べたことを深める 4 調べたことをまとめる ・歴史新聞づくりのポイント（基本設定・紙面づくり） <p>第4編…「城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 17世紀の姫路のようすを読み取る ・読み取りのポイント 2 現在の地形図を見て、近世の城下町のなごりを探す <p>第5編 第1章…「近代化遺産を訪ねよう 富岡製糸場を調べる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 富岡製糸場の生い立ちを調べる 2 富岡製糸場の役割について考える 3 世界の文化遺産へ <p>第5編 第2章…「戦争遺跡を訪ねよう 大阪の空襲を調べる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体験者の記録を読む 2 戦争遺跡を訪ねる ・戦争遺跡の見学のしかた（事前調査・現地調査） <p>第6編…「地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北九州市の発展と公害の発生 2 青空がほしい 3 公害をのりこえた経験を生かして
育 鵬 社	<p>○ 記載の仕方 ・序章及び第4章において、「地域の歴史を調べてみよう」というコーナーを設け、調べ学習における、学習のポイントを示している。</p> <p>○ 調べる手順・方法</p> <p>地域の歴史を調べてみよう①…「大阪の歴史」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 助言をいただく 2 事前調査 3 調査テーマと調査のねらいの明確化 4 調査活動 ・学芸員など、話を聞きたい人への連絡のしかた ・調査活動を行う際に便利な道具 ・調査のまとめ方（調査レポートの書き方） 5 「発表の仕方」のコツ 6 歴史ワクワク調査隊・6つの心得（①史料は、古い時代を知るための「手がかり」、②人の暮らしの原点を見つめる、③変化に注目する、④視点や立場を変えて見てみる、⑤年表、比較表、ウエビングマップ、地図などを作る、⑥自分なりの歴史の見方を発表し、さらに考えを深める）
学 び 舎	<p>○ 記載の仕方 ・「歴史への案内」のコーナーにおいて、地域の博物館での調べ学習や現地調査における、学習のポイントを示している。</p> <p>○ 調べる手順・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 どこを歩き、何を見るのか、何を調べるのか、あらかじめチェックしておきましょう。 2 地域の方、博物館の学芸員、説明員に積極的に質問してみましょう。 3 わかったこと、さらに調べてみようと思うことなど、メモしておきましょう。 4 写真も撮っておきましょう（ただし、写真は許可をえてから撮るようにしましょう）。 5 調べたことを、レポートや地図にまとめ、グループやクラスで発表しましょう。

【社会（歴史的分野）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列・分量
方法	各時代区分のページ数

	総ページ	歴史との対話	古代	中世	近世	近代	現代	その他
東書	304	12	44	36	50	102	32	28
教出	310	15	42	36	50	108	36	23
帝国	306	13	44	36	54	108	30	21
山川	294	9	48	40	52	100	30	15
日文	328	8	50	42	52	102	38	36
育鵬社	314	13	50	34	52	102	33	30
学び舎	306	6	44	32	50	110	36	28

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦主権者育成のための工夫
方法	古代，近代，現代における民主主義の来歴や人権思想の広がり の記載内容

	記載内容		
	古代	近代	現代
東書	○ 「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アクロポリスとパルテノン神殿」、「古代ローマの支配領域」等の資料を掲載している。	○ 「イギリスとアメリカの革命」、「フランス革命」というタイトルで、4ページにわたって記載し、「ボストン茶会事件」、「造営中のベルサイユ宮殿」等の資料を掲載している。	○ 「民主化と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「日本国憲法前文」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。
教出	○ 「すべての道はローマに通ず」というタイトルで2ページにわたって記載し、「古代ギリシャの勢力範囲」、「古代ローマの水道橋」等の資料を掲載している。	○ 「代表なくして課税なし」というタイトルで2ページにわたって記載し、「独立当時のアメリカ合衆国」、「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「敗戦からの再出発」、「平和国家をみざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「女性の国会議員の誕生」、「日本の憲法の比較」等の資料を掲載している。
帝国	○ 「ギリシャ・ローマの政治と文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「ギリシャの民会の様子」、「ローマ帝国の貨幣」等の資料を掲載している。	○ 「市民革命の始まり」、「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言の採択」、「フランス人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「新時代に求められた憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「『あたらしい憲法のはなし』」、「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。
山川	○ 「地中海文明の発展」というタイトルで2ページにわたって記載し、「重装歩兵」、「ローマ帝国の拡大」等の資料を掲載している。	○ 「市民革命の時代」というタイトルで4ページにわたって記載し、「独立宣言」、「バステューユ襲撃」等の資料を掲載している。	○ 「占領下の日本」、「日本国憲法と民主化」というタイトルで4ページにわたって記載し、「衆議院の女性議員」、「日本国憲法」等の資料を掲載している。
日文	○ 「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「古代のギリシャとローマの動き」、「ローマ帝国の支配圏」等の資料を掲載している。	○ 「アメリカの独立とフランス革命」というタイトルで2ページにわたって記載し、「独立後に制定されたアメリカの国旗」、「フランスの三つの身分と税の負担に関する風刺画」等の資料を掲載している。	○ 「占領と改革の始まり」、「平和で民主的な国家をめざして」というタイトルで4ページにわたって記載し、「戦後の主な改革」、「日本国憲法公布の祝賀会」等の資料を掲載している。
育鵬社	○ 「ギリシャとローマの文明」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アテネ民会議場の演壇」、「ローマ帝国の領域」等の資料を掲載している。	○ 「市民革命と近代社会の成立」というタイトルで2ページにわたって記載し、「アメリカ独立宣言」、「バステューユ牢獄に攻め寄るパリ市民」等の資料を掲載している。	○ 「占領下の日本と日本国憲法」というタイトルで2ページにわたって記載し、「初めての女性国会議員」、「戦後の諸改革」等の資料を掲載している。
学び舎	○ 「円形競技場の熱狂」というタイトルで2ページにわたって記載し、「紀元前5世紀ごろのギリシアとペルシア」、「ローマ帝国の広がり」等の資料を掲載している。	○ 「アメリカの大地に生きる」、「バステューユを攻撃せよ」というタイトルで4ページにわたって記載し、「ボストン港でのイギリスへの抗議行動」、「ベルサイユ宮殿へ向かう民衆」等の資料を掲載している。	○ 「焼け跡からの出発」、「もう戦争はしない」というタイトルで4ページにわたって記載し、「街頭演説をする山ロシエ」、「『あたらしい憲法のはなし』」等の資料を掲載している。

【社会（歴史的分野）】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	資料の種類と掲載数

	資料の種類と掲載数（近代の日本）						
	写真	絵図	地図	図表・グラフ	文書資料	年表	人物
東書	132	84	33	27	44	7	58
教出	123	86	29	32	21	7	51
帝国	138	87	42	38	2	4	52
山川	151	85	35	37	19	3	49
日文	104	78	34	34	26	36	49
育鵬社	89	77	34	38	17	6	77
学び舎	156	71	33	22	1	1	38

【社会（歴史的分野）】

観点		(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等	
	フォント、グラフ	レイアウト等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、ふりがなの文字濃度を薄くしている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の部分の色分けしている。 ○ ページ隅の色分けと、年表で学習内容を示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと下部への記載で、学習内容を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフの周囲を周りと違う色にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと、見開き右側の年表で、学習内容を示している。
山川	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと下部への記載で、学習内容を示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線と点線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分け、見開き右側の年表と下部の記載で、学習内容を示している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふりがなにゴシック体を用いて、小さな文字が読みやすいようにしている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと下部への記載で、学習内容を示している。
学舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページは、見開き2ページで学習内容をまとめている。 ○ ページ端の色分けで、学習内容を示している。

【社会（歴史的分野）】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑩目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	単元末における「時代の特色」をまとめる学習の具体例

具体例（中世の日本）	
東 書	<p>○ 中世の導入に設定した「中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。」という探究課題に対して、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究課題解決の前に、探究のステップとして2題の「探究のステップ」という問いを用意している。 ①「なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。」 ②「東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。」 <p>○ 「中世とはどのような特色を持つ時代だったのでしょうか」という問いに対して、「政治」「国際関係」「社会・経済」「文化」の四側面から、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章にまとめる前に、思考ツールに考えをまとめるように促している。 ・意見交換や、自分の考えの修正の方法を示している。
教 出	<p>○ 「中世がどのような時代だったかを表現し、その理由を説明しよう。」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章でまとめる前に、古代と中世を比較した表を、「政治」「外国との関係」「文化」の視点でまとめる学習活動を設定している。
帝 国	<p>○ 「この時代はどのような時代だったかを、自分の言葉で説明してみよう。」という問いに対して、自分が重視した歴史的な見方・考え方を明らかにして文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代の特色をまとめる前に、2つの学習活動を設定している。 ①身分や職業について、「タテ（支配）とヨコ（対等）の関係図を作ってみよう。」という問いに対して、図で自分の考えをまとめる。 <li style="margin-left: 20px;">⇒身分や職業を「武士」と「庶民」に分ける。 <li style="margin-left: 20px;">⇒「武士」のまとまりは、「鎌倉」「室町」「戦国」の3つの時期に分けて、まとめる。 ②「章の問いの答えを説明しよう。」という学習活動に対して、自分の考えをまとめる。 <li style="margin-left: 20px;">⇒自分の考えをまとめる前に、「なぜ、『武士』と『庶民』はそれぞれの結び付きを強めていったのか」等の問いに対して、話し合いをする。
山 川	<p>○ 4つの立場（人）を示し、それぞれの立場で問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場を設定している。 ・自分の考えは、「鎌倉時代」から「戦国時代」の4つに時代区分のそれぞれでまとめる。 <p>○ 「海外から受けた影響」「宗教の果たした役割」に対して、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両方とも3つの区分に分かれており、それぞれに自分の考えを文章にまとめる。

【社会（歴史的分野）】

日 文	<p>○ 「中世に定められた主な『法』に着目し、古代と比較しながら中世の特色を考えていきましょう。」という問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>・自分の考えを文章にまとめるために、3つのステップで学習を進める。</p> <p>①「古代と中世の主な法にどのような特色があるのでしょうか。」という問いに対して、教科書の表の空欄に記入する。</p> <p>②「なぜ、これらの法はつくられたのでしょうか。」という問いに対して、教科書の表の空欄に記入する。</p> <p>③中世の特色を、文章にまとめる。</p>
育 鵬 社	<p>○ 「この時代はどのような時代だったといえるのか」といった問いに対して、自分の考えを文章にまとめ、クラスで話合う。</p> <p>・学習の手がかりとして、5つの活動を設定している。</p> <p>①年表の空欄に当てはまる言葉を選ぶ。</p> <p>②戦いについての整理をする。</p> <p>③この時代で最も重要だと思う人物を選び、理由をまとめる。</p> <p>④歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選ぶ。</p> <p>⑤暮らしや社会の様子について、資料や前の時代の様子を参考にして説明する。</p>
学 び 舎	<p>○ 「どのような人びとが力をもった時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを文章にまとめましょう。」と、視点を示した問いに対して、自分の考えを文章にまとめる。</p>

社 会（公民的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会 公民
17	教 出	中学社会 公民 とともに生きる
46	帝 国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
116	日 文	中学社会 公民的分野
225	自 由 社	新しい公民教科書
227	育 鵬 社	〔最新〕新しいみんなの公民

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		② 公民としての基礎的教養を培うための工夫	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 単元の導入における工夫	各単元の導入における、興味・関心を引き出す手立てと具体例
		⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、その他のページ数
		⑦ 社会参画への意識を高める工夫	「民主政治と政治参加」における、社会参画を促している具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑨ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等
(オ)	言語活動の充実	⑩ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	単元末におけるまとめ方の具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方の例	記載例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「地方自治の仕組み」「地方公共団体の課題」「住民参加の拡大と私たち」の項目で示している。 ○ タイトルの右横に、学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治はどのような考えに基づいて行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体には、どのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされているのでしょうか。」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治ってなんだろう」「暮らしを支える地域の行政サービス」「地域の暮らしを支えるために」「変わりゆく地域社会」の項目で示し、タイトルの横に「身近な地域の政治」「地方自治体のしくみと仕事」「地方財政の現状と課題」「これからの地方自治」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの下に、学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と住民の参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「身近な地域の政治は、どのようなしくみで行われるのでしょうか。」 ○ 「地方自治体はどのように仕事を行っているのでしょうか。」 ○ 「地方自治体は、どのような財政状況にあるのでしょうか。」 ○ 「地域社会が抱える課題に対し、私たちは何をすることができるのでしょうか。」
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「私たちと政治参加」の項目で示している。 ○ タイトルの右横に、学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本国憲法では、地方自治についてどのように定めているのだろうか。」 ○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。」 ○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのだろうか。」 ○ 「私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。」
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの暮らしと地方自治」「地方自治のしくみ」「地方自治と国の関係」「地方自治と私たち」の項目で示している。 ○ タイトルの左横に、学習課題として「どのような」「どのように」「なぜ」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「暮らしを支える地方自治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治とはどのようなもので、なぜそれが必要とされるのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体とは何でしょうか。それを担うのはどのような人でしょうか。」 ○ 「地方公共団体と国とのあいだには、どのような関係があるのでしょうか。」 ○ 「地方自治を実現するために、私たちはどのように住民参加していけばよいのでしょうか。」
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」の項目で示している。 ○ タイトルの下に、学習課題として「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方公共団体の仕組みと課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」 ○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どう変わってきただろうか。」
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」の項目で示している。 ○ タイトルの右横に、学習課題として「何ができるでしょうか」「調べてみましょう」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と住民」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分たちの地域を住みやすくするため、何ができるでしょう。」 ○ 「地方公共団体の役割を調べてみましょう。」 ○ 「私たちの地域ではどのようなまちづくりが行われているのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方法	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例

現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動を例に、「2年前の学校でのトラブルについて考えよう」「1年前の学校でのトラブルについて考えよう」「現在の学校でのトラブルについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「解決のための話し合い」の次に、「決まりの作成」「決まりの見直し」「見直した決まりの評価」について、絵図で示している。 ○ 「見直した決まりの評価」では、「決まりの評価表」を示している。 ○ 「いちごを効率的に配分するには」という課題を、絵図で示している。 ○ 「旧民法と新民法の比較」「日本国憲法に定められた家族」「契約書の例」「Win-Win」「物事の決定・採決の方法」「対立と合意、効率と公正」等を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ ごみ収集所の新たな設置を例に、「ルールをつくってみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「ある家族のスマートフォンの使用をめぐるルール」「社会集団の広がりと主なルール」「受け継がれる京都の景観」「話し合いと決定の主な方法」「効率と公正をふまえた対立から合意へのプロセス」「じゃんけんは公平か」「ごみの収集と収集所に貼られた表示」「町内会の規約の例」を示している。 ○ ルールが変更された例として、「変更された中学校の制服のパフレット」「セルフ方式のガソリンスタンド」の2つを示している。 ○ 「考えたルールを評価しよう」では、「評価カード」を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を例に、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」という課題を、絵図で示している。 ○ 「ごみ置き場の掃除規則は変えられる？」という課題を、絵図で示している。 ○ 「マンションの騒音問題を解決しよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「家族の役割」「家事分担での『win-win の関係』の例」「本書で掲載されている『意見が対立するテーマ』の例」「対立からよりよい合意へ」等を示している。 ○ 「効率と公正の見方・考え方を生かす」では、「コンビニエンスストアのレジ」「テーマパークのアトラクション」の2つを示している。 ○ 「決定を行う方法の例」では、「4つの具体的な方法（長所・短所）」を示している。

【社会（公民的分野）】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法について考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「合唱コンクールの練習スケジュールについて考えてみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ ケーキを例に、「効率のよくないケーキの分配」「公正さがみだされていらない例」を、絵図で示している。 ○ 「さまざまな社会集団」「大切と思う人間関係」「家族構成の変化」「慣習・道徳・法」「親等図」「さまざまな対立の例」「国会での話し合いと多数決」「対立と合意、効率と公正の関係」「きまり（ルール）が変更された例（野球）」「ウェブサービスの利用規約」を示している。
自由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動を例に、文章で「体育館使用問題①－対立」「体育館使用問題②－合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③－合意形成後の対立」「体育館使用問題④－決まりをつくる」の順で示している。 ○ 「やってみよう」として、「自分たちの学校で、体育館使用問題以外に決まりを決めた方がよい問題があるか、話し合ってみよう。もしあれば、体育館使用問題にならって、いろいろ話し合ったり、行動したりしてみよう。」という課題を、文章で示している。 ○ 「代表的な利益社会の例」として、「企業の研修会」「趣味で集まったクラブ」の写真を示している。
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「昼休みのグラウンド使用について考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「対立・効率・公正・合意の考え方」について、絵図で示している。 ○ 「家庭の役割」「親等図」「家族構成の変化」「共働き世帯数の推移」「第1子出産前後の妻の就業変化」「保育施設の開園に対する『子どもの声がうるさい』との苦情について伝える新聞記事」「隣近所との望ましい付き合い方」「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定」「サッカーで反則をした選手にレッドカードを掲げる審判」「車いすマークが描かれた障害者用の駐車スペース」「ごみ収集所に掲示されている英語、中国語、韓国語で書かれたごみの出し方の注意書き」「学校の規則が書かれている生徒手帳」「契約書の例」「成人年齢引き下げにともなう年齢要件の変更の一例」「権利と権利の対立と合意」等を示している。

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫

方法 国旗・国歌に関する記載の仕方, 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
東 書	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家には、その国を象徴する国旗や国歌があり、歴史や文化が反映されています。日本は、1999（平成11）年に国旗国歌法を制定し、日章旗を国旗、『君が代』を国歌と決めました。国どうしが尊重し合うために、各国の国旗・国歌を大切にしなければなりません。」 ○ 写真「独立を喜ぶ南スーダンの人々」「国際連合本部の前に並ぶ加盟国の国旗」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 ○ 写真「沖ノ鳥島の全景と、護岸が造られた北小島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説「竹島問題の経緯と取り組み」「北方領土問題の経緯と取り組み」「尖閣諸島への対応」 ○ 写真「竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「樺太の真岡から函館への引きあげ」「日ソ共同宣言」「尖閣諸島の島々」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「李承晩ライン」「沖縄返還協定でアメリカから日本に返還された範囲」 ○ 新聞「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」
教 出	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「世界のどの国にも、国旗と国歌があります。国旗や国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家と国民はそれらに対しお互いに敬意を払って尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、『日章旗（日の丸）』を国旗、『君が代』を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などがついに独立を果たして主権国家となり、独自の国旗を掲げることは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には、それぞれの国の歴史や国民の思いがこめられています。」 ○ 写真「オリンピックの表彰式で掲げられる国旗」「国歌を斉唱するサッカー日本女子代表チーム」 ○ 絵図「南アフリカ共和国の国旗の変化」 ○ 側注「1999年の国会において、当時の首相は『君が代には、日本の繁栄と平和への願いがこめられている』という考え方を示しました。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌の歴史」 ○ 絵図「威臨丸」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「北方領土の返還を求めて訴える人たち」「日ロ外相会談」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 地図「北方領土」「日本の国土とその周辺」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の外交の今とこれから」の一部 ○ 写真「尖閣諸島周辺の海上を警備する、海上保安庁の巡視船とボート」「折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会」
帝 国	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々が自分たちの国の歴史を背景に国旗や国歌を定めています。日本では、1999年の国旗・国歌法によって、日章旗（日の丸）が国旗で、君が代が国歌であると定められています。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗が掲げられ、国歌が演奏されています。国際社会では、国旗や国歌を相互に尊重することは大切で、現代社会の重要な儀礼となっています。」 ○ 写真「ピョンチャンオリンピックで優勝し、『日の丸』を掲げて喜ぶチームパシュートの選手たち」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「日本の支援で建設された診療所」「尖閣諸島のかつおぶし工場」 ○ 地図「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」 ○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「尖閣諸島を巡って」 ○ 写真「海上保安庁の船に挟まれた中国船」

【社会（公民的分野）】

<p>日 文</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国家と国家主権」 ○ 本文「(前略)すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会の大切な原則です。また、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重し合うことが、国際的な儀礼です。日本では、法律で『日章旗』を国旗、『君が代』を国歌としています。」 ○ 側注「日本では、日章旗(日の丸)を国旗、君が代を国歌とする国旗・国歌法があります。」 ○ 写真「平昌オリンピックで入賞し、自国の国旗を掲げる選手」「試合前に国歌を斉唱するサッカー日本代表の選手」 ○ イラスト吹き出し「オリンピックなど、スポーツの国際試合ではおたがいの国の国旗や国歌を尊重し合うことが多いね。」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「羅臼町から見た国後島」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 絵図「北方領土周辺」 ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」の一部 ○ 写真「国後島の墓地で手を合わせる元島民」「竹島資料室」「尖閣諸島付近を航行する中国の海洋監視船と、追尾する日本の海上保安庁の巡視船」
<p>自由社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国家の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。オリンピックやワールドカップでも、各国の国旗が掲揚され、国歌が演奏されています。」 ○ 写真「リオデジャネイロオリンピック開会式」 ○ 脚注「ここがポイント!③国際社会では、相互に国旗・国歌への敬意が求められている。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと知りたい「国旗と国歌を考えてみよう」 ○ グラフ「国旗・国歌に対する日米の高校生の差」 ○ 解説「『日章旗』の意味」「『君が代』の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」 ○ ミニ知識「どこの国の国歌だろう？」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「わが国の領域」 ○ 写真「沖ノ鳥島」「南鳥島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もっと知りたい「わが国の領土問題」 ○ 地図「1855年の日露通好条約で決められた国境」「李承晩ライン」 ○ 年表「北方領土問題の主な歴史」 ○ 写真「銃撃された日本の海上保安庁の巡視船」 ○ もっと知りたい「海をめぐる国益の衝突」 ○ 写真「魚釣島」
<p>育鵬社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗・国歌」 ○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗(日の丸)を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999(平成11)年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」 ○ 側注「国旗・国歌法 第1条 国旗は、日章旗とする。第2条 国歌は、君が代とする。」「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」 ○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説「国歌『君が代』の意味」 ○ 資料「各国の国歌の大意」(アメリカ、中国、フランス、イギリス) 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「尖閣諸島の魚釣島付近の領海に侵入した中国船を追走する海上保安庁の巡視船」 ○ 絵図・写真・解説「日本の主権範囲」の中に「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」「日本の最南端、沖ノ鳥島と護岸工事がほどこされた沖ノ鳥島の北小島」 ○ 絵図「日本政府が2014(平成26)年に新たに命名した尖閣諸島の五つの島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題」 ○ 地図「北方領土」 ○ 絵図「日本とロシアの主張」「日本と韓国の主張」「新增東国輿地勝覧 八道総図(写し)」 ○ 年表「北方領土問題に関する経緯」「竹島問題に関する経緯」「尖閣諸島の歴史」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における、興味・関心を引き出す手立てと具体例

	各単元の導入における、興味・関心を引き出す手立てと具体例（私たちと経済）	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どのような」「どのように」「どういものだろう」の問いを示している。 ○ 導入の活動として「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」という課題を、絵図、表、マンガで示している。 ○ 「探究課題」ではキャラクターの吹き出しで「～しましょう」「どのように」という問いを、「探究のステップ」では各節の問いを示している。 	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 探究課題「これからの社会で、私たちはどのようにして経済に関わっていくべきでしょうか。」</p> <p>「探究のステップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1節「買い物（消費活動）で、なぜ消費者の自立が求められているのでしょうか。」 ○ 2節「生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのでしょうか。」 ○ 3節「金融の働きは、なぜ私たちの生活にとって重要なのでしょうか。」 ○ 4節「国民の福祉にとって、なぜ財政が重要なのでしょうか。」 ○ 5節「経済は、私たちに何をもたらしているのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに4枚の写真を掲載している。それぞれの写真の横や下に、写真の説明文と内容に関する項目とページ数を示している。 ○ 導入の活動として、「もしもすべての給食を一人で作ったら」という課題を、マンガで示している。 ○ 学習の見通しとして、各節のテーマを示し、章全体を通して何を学ぶのかについて示している。 	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1節「私たちの消費生活は、経済活動とどのようにつながっているのだろうか。」 ○ 2節「生産活動をにやう企業にはどのような役割と責任があり、働く人たちはどのように関わっているのだろうか。」 ○ 3節「市場経済は、どのようなしくみと機能をもつのだろうか。」 ○ 4節「金融や財政のしくみは、私たちの暮らしにとってどのような役割があるのだろうか。」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習の前に」として「身の回りの暮らしと経済について見てみよう」を設け、イラストや問いを示している。また、各問いには関連する本文のページ数を示している。 ○ 「第3部を見通そう」では具体例としてパン屋を挙げて、第3部で何を学習するのかを示している。 	<p>第3部「経済」</p> <p>「はるの市」の「若木地区」の商店街は、平日にもかかわらず、たくさんの人でにぎわっています。次の場面はイラスト内の①～⑥のどれにあたるか、（ ）に記号を入れてみよう。</p> <p>①スーパーで商品の代金を支払っています。②パン用小麦を受け取っています。③店長から給与を受け取っています。④ごみを収集しています。⑤ATMの利用方法を案内しています。⑥電気の検針をしています。</p>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、見開き2ページで学習の始めに「文化祭を成功させよう！」を設け、マンガで示している。 ○ マンガについての説明文にイラストを加えながら示し、「なぜ」「どのような」の問いを2つ示している。 ○ 「第3編の学習について」では、第3編で何を学習するのかを示している。 	<p>第3編「私たちの生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「なぜ、浴衣やプールを家から持ち寄ることにしたのでしょうか。」 ○ 「輪投げの店を1日で作るために、『協力すること』以外にどのようなくふうをしていたのでしょうか。」
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページにイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。 	<p>第4章「国民生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの豊かな生活を支える経済の仕組みは、どうなっているのだろうか。」 ○ 「幸せな経済生活とは、いったいどのようなものなのだろうか。」
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、写真の横や下に説明があり、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どういよう」「どうやって」「なぜ」の問いを示している。 ○ 導入の活動として「経済の入り口」で、「コンビニの経営者と社員になって、新たなサービスについて考えてみましょう」と活動を設け、説明文やイラストを示している。 ○ 「経済を学習するにあたって」で、第4章で考えることについて示している。 	<p>第4章「私たちの生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どういようしくみになっているのかな。」 ○ 「魚はどうやって食卓に届くのだろう。」 ○ 「郊外に大きなショッピングセンターが増えたのはなぜかしら。」

【社会（公民的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順

	課題例	課題解決の手順
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境・エネルギー ・公害・環境保全 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 など ○ 人権・平和 ・差別・人権侵害 ・戦争・紛争・難民問題 ・貧困・飢餓 など ○ 伝統・文化 ・伝統文化の継承と保存 ・多文化共生 ・宗教間の対立 など ○ 防災・安全 ・災害に強いまちづくり ・東日本大震災からの復興 ・交通安全 など ○ 情報・技術 ・情報化にともなう社会の変化・情報格差の問題 など ○ 課題例については、関連のページを記載している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 五つのテーマの中から、解決すべき課題を設定しよう 2 資料を集め、探究しよう 3 アクションプランとしてレポートにまとめよう
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境・資源 ・自然災害 ・環境破壊・公害 ・エネルギー及び資源の枯渇 など ○ 平和・人権 ・戦争・紛争・テロ ・生物化学兵器・対人地雷・不発弾 など ○ 経済 ・世界人口の爆発 ・日本国内の超高齢・人口減少社会の進展 など ○ 教育・文化 ・識字率 世界遺産・地域遺産の保護と破壊 など ○ 情報 ・ICT環境 ・PC・インターネット・スマートフォン など ○ 犯罪 ・地域や学校などで起こる犯罪・事件 など 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを選ぶ 2 私の提案「自分を変える、社会を変える」を実際につくる
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会 ・伝統文化の存続 ・訪日外国人旅行者への多言語対応 など ○ 政治 ・バリアフリー社会の在り方 ・政治参加の在り方 など ○ 経済 ・外国人労働者の受け入れ ・これからの社会資本の在り方 など ○ 国際 ・国際社会への貢献 ・核兵器廃絶に向けた世界の現状と課題 など ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題を決めよう（課題の設定） 2 資料を集めよう（資料の収集と読み取り） 3 考察しよう（考察） 4 レポートを書こう（構想とまとめ）
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統・文化 ・地域の年中行事 ・日本の宗教 ・伝統的な芸術 など ○ 政治・経済 ・社会保障・年金 ・財政赤字 ・外交 ・防衛 など ○ 人権・平和 ・女性 ・子ども ・外国人 ・アイヌ ・障がいのある人 など ○ 環境・科学・技術 ・地球温暖化 ・生物多様性 ・循環型社会 ・遺伝子操作 など ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマの設定 2 資料の収集と読み取り 3 考察と構想 4 まとめと評価
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中で、次の課題例を示している。 ・地球環境問題 ・貧困・飢餓 ・青年海外協力隊 ・政府開発援助 ・日本型ODA ・人間の安全保障 ・核兵器廃絶 ・核抑止論 ・食料自給率 ・愛国心 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題をみつけよう 2 選択した課題について調べよう 3 解決の方法を考えてみよう 4 卒業論文にまとめる
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会 ・世界をおもてなしできる国 ・子どもの笑顔があふれるまち など ○ 政治・経済 ・地方がキラキラしている国 ・ものづくりのまち など ○ 国際 ・世界の平和と安全に貢献する国 ・クールジャパンを発信する企業 など ○ 環境・食料 ・水と緑と風薫る国 ・「もったいない」精神のまち など 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを決めよう 2 課題探求の計画を立てよう 3 プレゼンテーションしよう 4 内容の見直し 5 レポート作成

【社会（公民的分野）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列・分量
方法	総ページ数, 各大項目のページ数, その他のページ数

	総ページ	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他
東書	262	31	52	90	40	49
		○ 現代社会と私たち	○ 私たちの暮らしと経済	○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会	○ 地球社会と私たち ○ よりよい社会を目指して	
教出	272	26	64	90	45	47
		○ 私たちの暮らしと現代社会	○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して豊かに暮らせる社会	○ 個人を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治	○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちが未来の社会を築く	
帝国	246	26	64	80	41	35
		○ 現代社会	○ 経済	○ 政治	○ 国際	
日文	264	28	54	88	45	49
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治－個人の尊重と日本国憲法－ ○ 私たちの生活と政治－国民主権と日本の政治－	○ 私たちと国際社会 ○ 私たちの課題－持続可能な社会をめざして－	
自由社	270	42	44	78	60	46
		○ 現代日本の自画像 ○ 個人と社会生活	○ 国民生活と経済	○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治	○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して	
育鵬社	254	28	52	80	43	51
		○ 私たちの生活と現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治－日本国憲法の基本原則－ ○ 私たちの生活と政治－民主政治と政治参加－	○ 私たちと国際社会の課題 ○ 社会科のまとめ	

観点 (ウ) 内容の構成・配列・分量

視点 ⑦社会参画への意識を高める工夫

方法 「民主政治と政治参加」における，社会参画を促している具体例

「民主政治と政治参加」における，社会参画を促している具体例	
東書	<p>○ 「現代の民主政治と社会」の章末において，2ページにわたって，「S市の市長になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。「ここまでの政治についての学習を生かし，あなた自身が市長になったつもりで，理想のまちを創るために，地方公共団体の法である『条例』の案を作って，議会に提出しましょう。」を設け，資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたが考える理想のまちを，右ページのステップチャートの，「理想のまち」の欄に記入しましょう。 ・下のS市の課題1から4を見て，市民の声も参考にしながら，あなたが解決したい課題を一つ選び，「課題」の欄に記入しましょう。 ・課題を解決し，理想のまちに近づくための解決策を考えて，グループで意見交換しましょう。グループでの話し合いを受けて，より良い解決策を考え，「解決策」の欄に記入しましょう。 ・解決策を決まりの形に整え，「条例案」の欄に記入しましょう。その際，「効率」と「公正」，「民主主義」の観点や，次の点を参考にしましょう。 ・あなたが暮らすまちがかかえる課題を調べてグループで話し合い，それを解決するためにどのような条例があったらよいか，ステップチャートを活用して考えましょう。 <p>○ 章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために，私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について，文章で記述する活動を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで，「持続可能性」，「効率」と「公正」，「民主主義」の観点に着目してまとめるよう示している。
教出	<p>○ 「私たちの暮らしと民主政治」の章末において，2ページにわたって，「まちづくりのアイデアを提言しよう」という学習活動を設定している。「これまでの学習を参考にしながら，私たちが暮らす地域の現状を知り，地域のために私たちができることはないか考えてみましょう。」を設け，資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子を知り，調査テーマを決めよう グループ（4～5人）をつくって，自分たちが暮らす地域の地図を用意し，特徴や課題を確認する／グループごとに，現状や課題について調査するテーマを決定する ・地域の課題についての情報を収集しよう 地域の広報誌などから情報を得る／各種の統計データから探る／市民団体や商工会，企業などを取材する ・解決策を具体的に検討しよう データや取材情報などを根拠にして，地域の課題をまとめ，具体的な解決策を考える。 ・自治体に提言しよう～プレゼンテーションする 動画やスライドショーを交えた資料を作成する，模造紙を使ってグラフなどの図表を交えたポスターにまとめるなど，効果的な表現方法でアイデアを提言する／「地域の現状」→「現状から見える課題」→「課題を解決するための提案」というように順序立てて整理する ・自治体の方から，自分たちの提言に対する意見や感想を聞こう。内容について不十分だった点や改善案がわかったら，提案シートを修正し，さらにアイデアを改善していこう。
帝国	<p>○ 「民主政治」の章末において，2ページにわたって，「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」という学習活動を設定している。「自分が住むまちをよりよくするために，どのようなまちづくりが必要かを考えてみよう。」を設け，資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（やってみよう1）よりよいまちにする方法をカードで整理しよう 思いつくまま自由に話し合おう／意見をカードに書こう／同じ内容のカードをまとめて，タイトルを付けよう／内容を考慮して模造紙に貼ろう／グループごとの関係性一目で分かる表現をしよう ・（やってみよう2）挙げた項目の予算を分類しよう やってみよう1で挙げた案が，歳出のどの項目にあたるか考えよう／自分が住むまちの予算を確認しよう ・（やってみよう3）自分が住むまちの予算案を考えよう 優先順位をつけよう／キャッチフレーズを考えよう／予算案を円グラフにまとめよう

【社会（公民的分野）】

<p>日 文</p>	<p>○ 「私たちの生活と政治」の編末において、2ページにわたって、「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習活動を設定している。「あなたの住むまちでは、首長を選ぶ選挙が行われることになりました。グループでまちの課題を考え、よりよいまちづくりを実現する首長の公約をまとめて、選挙をしましょう」を設け、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちの課題を出し合おう <ul style="list-style-type: none"> ① 住むまちの特色を、グループで考える。考えるときに必要な情報は何かを考える。／② 考えたことをふまえ、まちの課題をできるだけ多く出し合う。／③ 自分の住むまちをどのようなまちにしたいかも考える。 ・ 課題を公約にまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ① 首長としてどんな公約をつくるか、グループで考える。まちの予算を考え、課題の優先順位を決めて公約をまとめる。そのとき、どのような理由で順位を決めたのか、明らかにする。 ・ 公約を分析しよう <ul style="list-style-type: none"> ① それぞれの公約を、効率と公正、個人の尊重といった見方・考え方に着目して評価する。／② 自分の将来の視点から考える。それぞれの内容が、自分のどの年代と特にかかわるかを考える。また、家族や、まわりの人などについても、同様に考える。 ・ 首長選挙に投票しよう <ul style="list-style-type: none"> ① 支持する首長を選び投票する。（自分のグループの首長以外から選ぶ。）そのときは投票した理由を説明できるようにする。／② 投票の結果をふまえて、最も支持された首長の公約と他の公約を比較したり、自分たちが考えた公約の問題点などについてふり返ったりする。
<p>自由 社</p>	<p>○ 「日本国憲法と立憲的民主政治」の章末において、2ページにわたって、「総合的な安全保障問題を考えよう」という学習活動を設定している。食料問題・防災問題・防犯問題について、調べ、話し合い、グループでまとめ、発表する活動を設定し、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さんの発言から、防衛問題だけではなく、①食料問題、②防災問題、③防犯問題、④水問題、⑤医療保険問題、⑥エネルギー問題が広い意味の安全保障問題として考えられるね。④水問題と⑤医療保険問題とは第4章で、⑥エネルギー問題は第5章で学びますから、残りの3つの問題について研究しましょう。 4～6人の班を作って、図書室やインターネットを利用し、わが国の現状について調べ学習をしましょう。各々が調べた内容を持ち寄り、話し合っ、600字程度で班としての研究をまとめましょう。
<p>育 鵬 社</p>	<p>○ 「私たちの生活と政治」の章末において、2ページにわたって、「政治のこれから」という学習活動を設定している。「自分たちの住む地域をより良くするために、どのようなまちづくりが必要か、考えてみましょう。」を設け、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住むまちの特色と課題を調べよう 自分たちが住む地域の課題を解決し、特色を生かして、より良くするためにはどうすればよいか。どのような課題があるか、どのような特色があるか、一項目ずつカードに書き出してみよう。 ・ カードを整理しよう 模造紙に関連のあるカードごとにまとめて整理し、見出しをつけてみよう。 ・ テーマについてランキング <ul style="list-style-type: none"> ① 見出しについて同時にすべて取り組むことはできない。そこで重要度や必要度に応じて、ランキング（順位づけ）をして、ピラミッド型に配置して自分自身のランキングをつくらう。／② 次に班（4～6人）をつくり、全員で一致するひとつのランキングをつくってみよう。／③ クラス全体の意見を集約し、クラスのランキングをつくってみよう。

【社会（公民的分野）】

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑧学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	資料の種類と掲載数

	「私たちと政治」における資料の種類と掲載数							合計
	絵 図	写 真	地 図	表・グラフ	新 聞	年 表	文書資料	
東書	55	123	3	52	12	2	16	263
教出	57	115	5	65	5	3	8	258
帝国	46	80	1	53	8	2	6	196
日文	61	107	3	66	10	1	15	263
自由社	24	77	1	16	4	1	2	125
育鵬社	45	105	3	36	17	1	43	250

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等

	フォント、グラフ	レイアウト等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ふりがなはの文字濃度を薄くしている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をしている。 ○ ページの偶の色分けで、学習内容を示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分け、見開きページ左下の文字、見開きページ右下のインデックスで、学習内容を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。 ○ 図版のタイトルの先頭に、矢印を付している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線と点線で示している。また、凡例表示でなく、吹き出しを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分けと、見開きページ右側のインデックスで学習内容を示している。 ○ 図版のタイトルの先頭に、矢印を付している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重要語句は、ゴシック体（太字）を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ 見開きページの偶の色分けと、見開きページ左下の文字で、学習内容を示している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふりがなには、ゴシック体を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分けと、見開きページ左下・右下の文字で、学習内容を示している。 ○ 図版のタイトルの先頭に、矢印を付している。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑩目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	単元末におけるまとめ方の具体例

単元末におけるまとめ方の具体例（私たちと経済）	
東 書	<p>○ まとめの活動</p> <p>導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面から考えました。A市、B市、C市から1か所選んで、あなたが出店した店で売る弁当について（1）～（6）を考えましょう。</p> <p>（1）出店した地域の消費者は、どのようなお弁当を求めているのでしょうか。導入の活動にあった周辺の環境や、これまでの学習、右の資料を参考にして、できるだけ多く考えましょう。その際、ウェビングを使うと、思考を広げたり関連付けたりすることができます。</p> <p>（2）（1）で考えたお弁当への要望からいくつかを選び、商品開発の方針（コンセプト）を立てましょう。</p> <p>（3）（2）の方針に基づいて、次の2から5の項目について考え、お弁当の企画をまとめましょう。</p> <p>（4）グループの中で、各自の企画を発表し合い、「効率」や「公正」、「希少性」、「持続可能性」の観点から見て、実現可能かどうか、意見交換をしましょう。</p> <p>（5）グループで発表する企画を一つ選び、右の企画書の例を参考にして、企画書を完成させましょう。</p> <p>（6）グループでまとめた企画書を、クラスで発表し合い、意見交換をしましょう。</p> <p>○ 第4章の探究課題を解決しよう</p> <p>探究課題「これからの社会で、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」</p>
教 出	<p>○ 学習のまとめと表現</p> <p>3 第4章全体のテーマについて、次の問いに答えよう。</p> <p>第4章「私たちの暮らしと経済」全体のテーマ</p> <p>「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」</p> <p>①自分の一日の生活を振り返って、そのうち三つの行動を取り上げ、経済活動とどのようなつながりがあるか、下の例を参考に考えよう。【例：コンビニエンスストアで買い物→家計「財・サービスの消費」／企業「財・サービスの生産」／企業「流通業の経済活動」】</p> <p>②①を参考に、自分自身と経済活動がどのように関わっているか、100字程度の文章にまとめてみよう。</p> <p>③経済活動をになう一員として、これからの経済活動とはどうあるべきかを考えてみよう。第4章の学習を振り返って、課題として考えられることと、その解決の仕方にふれながら、自分の考えを整理してみよう。</p> <p>④第4章の学習を通じて、新たに出てきた疑問やさらに調べたいことを、自由に書き出してみよう。</p>
帝 国	<p>○ 章の学習を振り返ろう</p> <p>2 見方・考え方を働かせて考えよう</p> <p>ステップ1 自分の考えを整理しよう</p> <p>①「国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たすべき役割を、p.157～168で学習したことを振り返りながら、書き出してみよう。</p> <p>②①で挙げたものの中から、あなたが特に政府が果たすべき役割だと思うことを選び、根拠となるページと理由をまとめてみよう。その際、見方・考え方を働かせた部分に下線を引いてみよう。</p> <p>ステップ2 意見交換を通して自分の考えを深めよう</p> <p>①グループになり、「私が考える特に政府が果たすべき役割」を理由とともに発表し、意見交換してみよう。</p> <p>②グループで行った意見交換を参考に、自分の考えに足りなかった事柄や見方・考え方を書きとめ、自分の考えを深めよう。</p> <p>ステップ3 章の問いへの答えを理由とともに考えよう</p> <p>ステップ2を踏まえて、国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たすべき役割は何か、自分の考えを理由とともに説明してみよう。その際、見方・考え方を働かせて考えた部分に下線を引いてみよう。</p>

【社会（公民的分野）】

日 文	<p>○ 学習の整理と活用 ニュースを「見方・考え方」から見てみよう ①労働組合が、給料などの労働条件について使用者と交渉する権利を、なんというでしょう。 ②福井市が、職員の給料を削減しなければならなかった理由を、「希少性」の語句を使って説明してみましょう。 ③どのような対立があり、どのように合意したか、まとめましょう。</p> <p>○ やってみよう 消費税の制度のあり方について、ピラミッドチャートを使用しながら自分の主張を組み立ててみましょう。</p>
自 由 社	<p>○ 学習のまとめと発展 第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。 ①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。 ②新しく開発された商品は経済生活を豊かにすると同時に、社会に悪い影響をあたえることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。 ③市場経済では、商品売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。 ④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢社会の中で、年齢制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどんなものがあるか、いろいろ考えてみよう。 ⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、そのようにしていかなければならないか、考えてみよう。</p>
育 鵬 社	<p>○ 経済のこれから 1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみましょう。 2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを運営するA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を社員みんなで考えて、作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時につくったA・B・C社の班に分かれ、SDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみましょう。 ① 「2030年には、こういう会社になっている」というゴールを具体的に示しましょう。 ② 社会に求められる会社をめざすために取り組まなくてはならない課題を、右の四つのテーマにしたがってあげてみましょう。(1 イノベーション/2 環境/3 社員と働き方(人権)/4 経営の健全化(ガバナンス)) ③ ②であげた課題の解決のために実行すること(Do)を考え、具体的に提案してみましょう。 ④ ③で提案した内容を、「社会課題の解決や、会社と社会が共有する価値の創造に結びつくものになっているか」という視点で、評価(Check)してみましょう。 ⑤ ④の評価を受けて改善(Act)し、グループの「行動計画2030」をポスターにまとめ、ポスターツアーを行いましょ。</p>

【地図】

地 図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会 地図
46	帝 国	中学校社会科地図

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 地図の活用をうながす工夫	地図の見方の記載とその内容
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫	思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	課題を追究するための資料の構成
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 題材や資料等の配列	内容の構成と配列及びページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方
(オ)	言語活動の充実	⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の事例
		⑧ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	地図を活用した表現の記載の仕方と具体例

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 地図の活用をうながす工夫
方法	地図の見方の記載とその内容

地図の見方の記載とその内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。 ○ 巻頭ページに「この地図帳の活用方法」を設け、一般図やテーマ地図、グラフ、写真などの資料の見方といったこの地図帳の使い方や三分野における活用方法を記載している。 ○ 巻末ページに「地図の比較」で地図記号を記載し、20万分の1地勢図の図式を記載している。 ○ 世界と日本の各地域の「一般図」において「注目したい記号」を記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。 ○ 巻頭に「地図帳の使い方」を設け、地図の要素、一般図、鳥観図、資料図を掲載している。 ○ 「国土地理院の地形図」では「地形図の主な記号」を記載している。 ○ 巻頭に地図記号、小学校で学習した地図の約束、地図活用について記載している。

【地図】

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫

方法 国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例

	国土の地理的環境の例	歴史的事象の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、災害・環境問題、人口、資源エネルギー、各産業、交通・通信網、世界との結び付き、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代の世界との結び付きに関する資料 ・ 日本と世界との関係（古代～近世） ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 ・ 「原子爆弾投下時の長崎」 ・ 「水俣病の市町村ごとの認定患者数」 ・ 「歴史の舞台・九州地方」 ・ 「原子爆弾投下時の広島市」 ・ 「江戸時代（17世紀末ごろ）の大阪」 ・ 「京都市の主な文化財と観光地」 ・ 「奈良市の主な文化財と観光地」 ・ 「神戸市の主な文化財と観光地」 ・ 「国宝・重要文化財の指定件数」 ・ 「東京周辺の再開発」 ・ 「アイヌ語に由来する地名」 ・ 「日本の主な公害」 ○ 巻末に「旧国名 1868（明治元）年」を記載している。 ○ 巻末の「資料さくいん」に「歴史」の項目がある。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本のページ」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、災害・防災、人口、鉱産資源、各産業、交通・通信、観光・スポーツ、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 ・ 「東京都周辺の地形－水と人の関わり・防災－」 ・ 「江戸」 ・ 「東京～大阪（江戸～大坂）間の所要時間」 ・ 「江戸時代のおもなできごと」 ・ 「大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－」 ・ 「長崎市」 ・ 「広島市中心部」 ・ 「広島市付近にある水害の碑の分布」 ・ 「大阪市中心部」 ・ 「京都市中心部」 ・ 「江戸時代の大阪」 ・ 「明日香村周辺」 ・ 「斑鳩」 ・ 「奈良市中心部」 ・ 「本州中央部と五街道」 ・ 「名古屋市中心部」 ・ 「東京都の中心部」 ・ 「東北地方の資料」 ・ 「日本とロシア・ソ連の国境の変遷」 ・ 「開拓の歴史とアイヌ語地名」 ○ 日本全体についての歴史に関する資料 ・ 「日本の世界遺産」 ・ 「日本の生活・文化」

【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③思考力・判断力・表現力等を育むような工夫
方法	思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容

思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容	
東 書	<p>○ 巻頭に「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」を設け、地図活用の視点として、17のゴールを記載している。</p> <p>○ 資料の読解力を高めるために、「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、吹き出しを設けている。</p> <p>【具体例】</p> <p>①アフリカ州のテーマ資料② 4 アフリカの一人あたりの国内総生産 ・「国内総生産が高い国はどんな特徴があるのかな。」</p> <p>②九州地方のテーマ資料 2 九州地方の火山と温泉・地熱発電所 ・「温泉や地熱発電所が集まっている地域は、どんな共通点があるのかな。」</p> <p>③世界と日本の交通・通信網 ・「交通量や輸送量が多いところには、どんな特徴があるかな。」</p> <p>④ヨーロッパ州の基本資料 4 地中海式農業 【具体例】「ぶどうやオリーブの栽培には、どのような気候が適しているのかな。」</p> <p>○ 資料に「ジャンプ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。</p> <p>【具体例】「海外の日本企業のグラフと世界における日本企業の分布、東南アジア・南アジアの工業」</p>
帝 国	<p>○ 巻頭に地図活用のヒントとなるマークについて記載しており、防災・環境・日本との結び付きの視点を示している。</p> <p>○ 地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」を各所に設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを示している。</p> <p>【具体例】</p> <p>①オセアニア州の資料 7 移民の出身地 「オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているのか、キ・ク図を確認して答えよう。」</p> <p>②アフリカ州の資料(2) 8 貧困率と栄養不足の人口(7 鉱工業) 「1日1.90ドル以下で生活する人の割合が高い国は、どのような国だろう。⑦図の鉱産資源に注目して考えてみよう。」</p> <p>③九州地方の資料 3 人口分布(1 自然, 5 工業・交通) 「九州地方で人口が集中しているところはどのようなところか、①・⑤図を確認して答えよう。」</p> <p>④世界と日本の交通・通信 「アジア、ヨーロッパ、北アメリカのうち、どの地域が日本の多くの空港と結びついているか答えよう。」</p> <p>○ 資料に「プラチナ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。</p> <p>【具体例】「主な国の電力量とヨーロッパ州の主な発電量の内訳—2016—」</p>

【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	課題を追究するための資料の構成

課題を追究するための資料の構成	
東 書	<p>○ 世界では州ごと, 日本では地方ごとに, 一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。</p> <p>中国・四国地方</p> <p>中国・四国地方の一般図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地方 ・四国地方 ・広島市・岡山市周辺 <p>中国・四国地方の基本資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中国・四国地方の自然環境 ②中国・四国地方の土地利用 ③中国・四国地方の降水量 <p>中国・四国地方のテーマ資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中国・四国地方の老年人口の割合 ②原子爆弾投下時の広島市 ③高速道路や橋の変化
帝 国	<p>○ 世界では州ごと, 日本では地方ごとに, 一般図の次に資料を掲載している。</p> <p>中国・四国地方</p> <p>中国・四国地方の一般図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地方 ・広島市中心部 ・竹島 ・四国地方 ・瀬戸内海周辺 <p>中国・四国地方の資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自然 ②降水量 ③人口分布 ④農業 ⑤工業・交通 ⑥中国・四国地方の交通と人口密度の変化 ⑦鳥取砂丘 ⑧水島コンビナート ⑨広島市付近にある水害の碑の分布 ⑩八幡浜市のみかん栽培 ⑪高知平野の野菜栽培

【地図】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤題材や資料等の配列
方法	内容の構成と配列及びページ数

	構成	配列	ページ数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ AB判 (タテがB5判, ヨコがA4判サイズ) ○ 「世界」「日本」「統計」「さくいん」に分類し, インデックスを大きく四つに分類している。また, 「世界」を「世界全体」, 「州」, 「日本」を「日本全体」, 「地方」で分類し, 色分けしている。 	①世界の資料図 現代的な諸課題①環境・資源エネルギー問題, 現代的な諸課題②人口・貧困問題, 現代的な諸課題③紛争・難民問題, 世界の地形, 世界の気候, 世界の生活・文化①, 世界の生活・文化②, 世界の農林水産業, 世界の資源・エネルギー, 世界の工業と貿易	20
		②世界の諸地域	56
		③日本の諸地域	62
		④日本の資料図 日本の自然環境 (地形, 気候, 災害・環境問題), 日本の人口, 日本の資源・エネルギー, 日本の農林水産業, 日本の工業・世界と日本の交通・通信網, 世界と日本との結び付き, 日本の生活・文化	19
		⑤統計	10
		⑥さくいん, 資料さくいん	11
		⑦巻頭・巻末 ・巻頭 目次, 世界全図, この地図帳の地図記号, この地図帳の活用方法, 現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう! ・巻末 著作関係者, 都道府県の産品と名所・お国自慢など, 地図の比較, 日本の周辺, 都道府県の区分, 旧国名	14
		総ページ数	192
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ A4判 ○ 「使い方・資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」で分類し, インデックスを大きく五つに分類し色分けしている。 	①使い方・資料 ・使い方 この地図帳の凡例, 地図帳の使い方 (1), 地図帳の使い方 (2), 国土地理院の地形図 ・世界の資料 世界の地形, 世界の気候, 世界の環境問題, 世界の生活・文化 (1), 世界の生活・文化 (2)	15
		②世界の諸地域	58
		③日本の諸地域	68
		④日本の資料 日本の地形, 日本の気候, 日本の自然災害・防災, 世界と日本の人口, 世界と日本の鉱産資源, 日本の工業, 日本の農業・水産業, 世界と日本の交通・通信, 観光・スポーツ, 日本の歴史遺産, 日本の生活・文化	20
		⑤統計 自然の統計, 世界の統計 (1), 世界の統計 (2), 日本の統計 (1), 日本の統計 (2)	9
		⑥さくいん	12
		⑦巻頭・巻末 ・巻頭 もくじ, 世界の国々 ・巻末 都道府県と昔の国名, 日本の領土とそのまわりの国々	6
		総ページ数	188

【地図】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
方法	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方

地図の種類と縮尺		資料等の活用方法の示し方	
東 書	世界全図	○ 赤道上の距離を示している。	○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。
	広域地図 大陸地図	○ 4500 万分の 1～9000 万分の 1 ・ユーラシア・オーストラリア・北極圏 (4500 万分の 1) ・ヨーロッパ・アフリカ・大西洋 (4500 万分の 1) ・南北アメリカ (4500 万分の 1) ・南極 (9000 万分の 1) ・環太平洋・環インド洋 (6000 万分の 1)	
	各州地図	○ 1600 万分の 1～3000 万分の 1 ・東アジア (1600 万分の 1) ・東南アジア・南アジア (2500 万分の 1) ・西アジア・環地中海 (2000 万分の 1) ・ヨーロッパ (1600 万分の 1) ・ロシア連邦 (2200 万分の 1) ・アメリカ合衆国 (1600 万分の 1) ・南アメリカ (3000 万分の 1) ・オーストラリア・ニュージーランド (2000 万分の 1)	
	その他	○ 300 万分の 1～800 万分の 1 ・朝鮮半島 (500 万分の 1) ・イスラエル周辺 (300 万分の 1) ・ヨーロッパ中央 (800 万分の 1)	
	日本全体	○ 550 万分の 1, 1600 万分の 1 ・日本列島① (550 万分の 1) ・小笠原諸島 (550 万分の 1) ・日本列島②南西諸島 (550 万分の 1) ・日本の周辺 (1600 万分の 1)	
	日本の各地方地図	○ 100 万分の 1, 200 万分の 1 ・九州地方, 中国・四国地方, 近畿地方, 中部地方, 新潟県, 関東地方, 東北地方, 北海道地方南部, 北海道地方北部 (100 万分の 1) ・北海道地方 (200 万分の 1)	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1, 10 万分の 1, 5 万分の 1 ・沖縄島, 福岡県とその周り, 広島市・岡山市周辺, 大阪府とその周辺, 愛知県とその周辺, 新潟市周辺, 東京都とその周り, 東京中心部 (10 万分の 1) ・仙台市周辺, 札幌市周辺 (50 万分の 1) ・札幌市中心部 (5 万分の 1)	
	その他	○ 5 万分の 1～700 万分の 1 ・喜界島, 奄美群島, 奄美群島南部・伊平屋島, 伊是名島, 慶良間列島, 大東諸島, 宮古列島, 八重山列島, 与那国島 (100 万分の 1) ・種子島, 五島列島, 対馬, 屋久島 (100 万分の 1) ・隠岐諸島 (100 万分の 1), 竹島 (5 万分の 1) ・伊豆諸島, 八丈島, 青ヶ島, 父島列島 (100 万分の 1) ・千島列島 (700 万分の 1)	

【地図】

帝国	世界全図	○ 8800 万分の 1	<p>○ 地図活用 の技能を身 に付けるた めの問いと して「地図活 用」のマーク を記載して いる。</p> <p>○ 資料図の ページで扱 ったテーマ に対して、図 を見ると に着目する 視点を示す ため「学習課 題」を設定し ている。</p>
	広域地図 大陸地図	○ 3500 万分の 1～9000 万分の 1 ・アジア州 (4000 万分の 1) ・アフリカ州 (3500 万分の 1) ・南北アメリカ (4000 万分の 1) ・南極大陸 (9000 万分の 1) ・大西洋 (6000 万分の 1) ・太平洋・インド洋 (6000 万分の 1)	
	各州地図	○ 1600 万分の 1～3000 万分の 1 ・東アジア (1600 万分の 1) ・東南アジア (2000 万分の 1) ・南・西・中央アジア (2000 万分の 1) ・ヨーロッパ州 (1600 万分の 1) ・ロシア連邦とまわりの国々 (2000 万分の 1) ・アメリカ合衆国 (1600 万分の 1) ・南アメリカ州 (3000 万分の 1) ・オーストラリア・ニュージーランド (2000 万分の 1)	
	その他	○ 250 万分の 1～4200 万分の 1 ・ヨーロッパ中心部 (4200 万分の 1) ・朝鮮半島 (300 万分の 1) ・イスラエル・パレスチナ (250 万分の 1) ・ヨーロッパ中央部 (800 万分の 1)	
	日本全体	○ 400 万分の 1, 1600 万分の 1 ・南西諸島 (400 万分の 1) ・日本列島 (400 万分の 1) ・日本の領土とそのまわりの国々 (1600 万分の 1)	
	日本の 各地方地図	○ 100 万分の 1, 200 万分の 1 ・九州地方, 中国地方, 四国地方, 近畿地方, 中部地方, 福 井県, 石川県, 富山県・新潟県・関東地方・東北地方, 北 海道地方南部・北海道地方北部 (100 万分の 1) ・北海道地方 (200 万分の 1)	
	日本の ある地域の 拡大図	○ 50 万分の 1 ・沖縄島, 九州地方北部, 瀬戸内海周辺, 近畿地方中部, 中 部地方南部, 関東地方南部, 仙台市とそのまわり, 札幌市 とそのまわり	
	その他	○ 5 万分の 1～1000 万分の 1 ・奄美群島, 奄美群島南部・沖縄諸島・尖閣諸島, 宮古列島, 八重山列島・大東諸島 (100 万分の 1) ・伊豆諸島 (1000 万分の 1) ・小笠原諸島 (400 万分の 1) ・伊豆, 小笠原諸島 (100 万分の 1), 対馬, 五島列島, 大隅 諸島 (100 万分の 1) ・広島市中心部, 竹島 (5 万分の 1) ・大阪湾周辺の地形—地形と歴史・防災— (15 万分の 1) ・大阪市中心部・京都市中心部・斑鳩・奈良市中心部 (5 万 分の 1) ・名古屋市とそのまわり (30 万分の 1) ・新潟市とそのまわり (50 万分の 1) ・東京都周辺の地形—水と人の関わり・防災— (15 万分の 1) ・東京都の中心部 (5 万分の 1) ・札幌市中心部 (5 万分の 1) ・千島列島 (700 万分の 1)	

【地図】

視点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
方法	地図を活用した調べ方の事例

地図を活用した調べ方の事例	
東書	<p>○ 巻頭に記載されている「この地図帳の活用方法」において、ヨーロッパ州を例に挙げ、地図を活用した調べ方について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般図を見てみよう」 「国旗」、「ページ番号・インデックス」、「位置図」、「タイトル」、「さくいん記号」等についての解説を記載している。 ・「テーマ地図やグラフ・写真などの資料を見てみよう」 「基本資料」、「テーマ資料」を記載し、それぞれの資料の活用方法を記載している。 【具体例：ヨーロッパ州の自然環境、降水量、EU加盟国の拡大】 ・「歴史や公民でも活用しよう」 歴史的分野と公民的分野との関連を示すマークを例に挙げ、活用例を資料図とともに記載している。 ・キャラクターの吹き出しによる解説を記載している。 【具体例：ヨーロッパでは、どんなことに注目するといいいのかな。】
帝国	<p>○ 巻頭に記載されている「地図帳の使い方(1)」において、オセアニア州を例に挙げ、地図を活用した調べ方について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳を開けたらまず確認しよう」 一般図が示され、「タイトルと縮尺」、「凡例」、「位置図」の説明を記載している。「そのほかの構成紹介」として「さくいん記号」、「接続ページ」、「同緯度・同経度・同縮尺の日本」、「インデックス」についての解説も記載している。 ・「いろいろな地図を使いこなそう」 「一般図」、「鳥瞰図」、「資料図」の説明を記載し、オセアニア州の資料のページでどのように記載されているか示している。 オーストラリアの一部分を示す「一般図」「資料図」を用いて「地図の要素」についての解説を記載している。 ・「地図帳を使いこなそう」 「さくいん」、「統計」、「資料図ページ」の説明を記載している。 ・囲み文による解説を記載している。 ・「地図活用をやってみよう」では、オーストラリアを例に挙げ、地図を活用した調べ方を示している。 ・二次元コードの活用例を記載している。

視点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑧目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	地図を活用した表現の記載の仕方と具体例

地図を活用した表現の記載の仕方と具体例	
東書	<p>○ 地図を活用した表現工夫として、「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、地図の活用方法や課題を追究するための問いなどの吹き出しを51か所設け記載している。</p> <p>【具体例】「日本の地形は、気候や人口分布、産業にどのような影響をあたえているのでしょうか。この後のページに続く、さまざまな地図と比較して考えてみましょう。」</p>
帝国	<p>○ 地図を活用した表現として、「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを107か所設け記載している。</p> <p>【具体例】「日本の地形は、どのような特徴があるだろうか。また、日本の自然環境はどのように保護されているだろうか。」</p>

数 学

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい数学
4	大 日 本	数学の世界
11	学 図	中学校数学
17	教 出	中学数学
61	啓 林 館	未来へひろがる数学
104	数 研	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学 探究ノート
116	日 文	中学数学

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標を達成するための工夫	学習課題と解決の過程、関連する例題や問の具体例と数
		② 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	学習内容の定着や既習事項の確認、振り返りに関する扱いと問題数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例と題材数
		④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	問題の具体例と数
		⑤ 見通しをもち、論理的に考察するための工夫	見いだす活動を行うための具体例とその展開
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例
		⑦ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な問題の数と具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用	イラスト・写真の数と具体例及びデジタルコンテンツの数と扱い
(オ)	言語活動の充実	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	説明したり、話し合ったりする問題や問等の具体例
		⑩ 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標を達成するための工夫
方法	学習課題と解決の過程, 関連する例題や問の具体例と数

		第1学年「文字を用いた式」の導入	
		学習課題と解決の過程	例題や問の具体例と数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題 本棚を作るのに必要な棒の本数を求めるために、まず、本棚の底の面について考えます。正方形を20個つなげたとき棒は何本必要でしょうか。 ○ 解決の過程 <ul style="list-style-type: none"> ①正方形を5個つなげたとき、棒は何本必要か考える。 ②自分の求め方を図や式を使って説明する。 ③1つの求め方ができたら、違う方法で考えて説明してみる。 ④正方形を20個つなげたとき棒は何本必要になるか考える。 (P71, 73, 81, 82でも同様に棒を題材とした学習を行う。)	問) 正方形の個数が1, 2, 3のときの棒の本数を求める式 問) 正方形を20個つなげたときの棒の本数 問) 図で表された他の求め方を、文字式で表す 例) 1冊90円のノート x 冊の代金 問) ・1個60円のお菓子 x 個の代金 ・いす n 脚中3脚に人が座っている。人が座っていないいすの数 ・1辺が a cmの正三角形の周りの長さ ・ x mのリボンを4等分した1人分の長さ ・気温が t ℃で、3℃高くなった時の気温 問) 上の問で使われた文字のうち、小数もふくめた数の代わりとして使われているものはどれか。 問) 上の問で使われた文字のうち、負の数もふくめた数の代わりとして使われているものはどれか。	11
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題 2種類のタイルを壁に並べて貼り、模様をつくります。必要なタイルの枚数について考えましょう。(貼り方のプラン1とプラン2を示す) ○ 解決の過程 プラン1の貼り方 <ul style="list-style-type: none"> ①星印のタイルを3枚使うときと、5枚使うとき、それぞれ赤いタイルは何枚必要か求める。 ②星印のタイルを□枚使うとき、必要な赤いタイルの枚数を□を使った式で表す。 プラン2の貼り方 <ul style="list-style-type: none"> ③星印のタイルを3枚使うときと、5枚使うとき、それぞれ赤いタイルは何枚必要か求める。 ④使う星印のタイルの枚数をもとにして、必要な赤いタイルの枚数を求める。 (P92, 93でも同様に2種類のタイルを題材とした学習を行う。)	問) 星印の枚数が1, 2, 3, 4, 5枚のときの赤いタイルの枚数を求める式 問) 星印のタイルを□枚使うときに必要な赤いタイルの枚数を□を使って表す。 問) ・星印のタイルを a 枚使うとき、必要な赤いタイルの枚数 ・上の問で a を10に置きかえて計算、結果は何を表しているか。 ・星印のタイルを100枚使うときの赤いタイルの枚数 問) 星印のタイルを200枚使うときの赤いタイルの枚数 問) ・1チーム5人で10チーム参加のときの人数 ・1チーム5人で x チーム参加のときの人数を求める式 ・上の問で x が48のときの結果は何を表しているか 問) ・1個110円のドーナツ y 個を買ったときの代金 ・上の問で8個買うときの求め方と代金 問) ・登り3時間、下り x 時間歩いたときの合計時間 ・登りは下りよりも何時間多く歩いたかを表す式 ・底辺 a cm, 高さ b cm, 斜辺 C cmである直角三角形の周りの長さ 問) ・朝7時の気温 s ℃, 正午の気温 t ℃のとき正午から朝7時の気温を引いた差 問) ・1個 a gの品物3個を b gの箱入れたときの全体の重さ ・1個130円のパンを x 個買うとき1000円出したときのおつり	18
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題 同じ長さのストローを使って、正方形を横につないだ形をつくります。正方形を100個つくる時、ストローは何本必要でしょうか。 ○ 解決の過程 <ul style="list-style-type: none"> ①正方形5個のときのストローの本数の図と式を見て、考え方を説明する。 ②正方形が6個, 10個のときのストローの本数を求める式を考える。 ③正方形が5個のときのストローの本数を求める別の図と式を見て、考え方を説明する。 ④2つの考え方を使って、正方形が100個のときのストローの本数を求める式を考える。 ⑤別の考え方で、ストローの本数を求める式をつくり、説明する。 (P85, 86でも同様にストローを題材とした学習を行う。)	問) 前頁の考え方で、正方形を20個, 30個つくる時のストローの本数 問) ストローの本数を求める式を見て、説明の□に入る数や式を考える。 $4 + 3 \times (a - 1)$ の説明 問) 上の考え方で、正方形を20個, 30個つくる時のストローの本数 問) 正方形を a 個つくる時のストローの本数 例) 1個 a kgの荷物5個の重さ 問) 上の例で、荷物が12kgのときの重さの合計 問) ・1個 x 円の品物8個を買ったときの代金 ・千円札1枚で a 円の品物を買ったときのおつり ・長さ x mのテープを4等分した1本分の長さ 例) 1本60円の鉛筆 a 本と1冊100円のノート b 冊買ったときの代金の合計 問) 上の例で、鉛筆5本とノート3冊を買ったときの代金の合計 問) ・80円の色鉛筆 x 本と30円の画用紙 y 枚を買ったときの代金の合計 ・1個 a gのおもり3個と1個 b gのおもり1個の重さの合計	13

【数学】

<p>教出</p>	<p>○ 学習課題 キャンドルライトを正三角形に並べます。全体でどのくらいのキャンドルライトが必要になるのかな。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>① 1 辺にキャンドルライトを 5 個並べたときの全体の個数を求める。</p> <p>② 1 辺にキャンドルライトを 6 個並べたときの全体の個数を求める。</p> <p>③ 1 辺にキャンドルライトを 150 個並べたときの全体の個数を求め、どのように求めたのか、みんなで話し合う。 (P92でも同様にキャンドルライトを題材とした学習を行う。)</p>	<p>問) キャンドルライトの個数を求める式で、xを150に置きかえて計算し、計算の結果が何を表しているかを考える。</p> <p>例) 1本80円のボールペンa本を買ったときの代金(たしかめ) 1個40円のお菓子をa個買ったときの代金</p> <p>問) 500mLの牛乳をxmL飲んだときの残りの牛乳の量 ・気温がt℃で、3℃高くなった時の気温</p> <p>例) 1個100円のりんごa個と1個60円のみかんb個を買ったときの代金(たしかめ) 10円硬貨a枚と5円硬貨b枚を合わせた金額</p>	<p>7</p>
<p>啓林館</p>	<p>○ 学習課題 絵を描いた画用紙を、一部を重ねて横に一列に並べ、マグネットでとめます。30枚の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を考えましょう。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>① 画用紙の枚数が少ない場合から考える。</p> <p>② 画用紙が3枚、4枚の場合について考える。</p> <p>③ 30枚の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を考える。 (P68, 73, 80でも同様にマグネットを題材とした学習を行う。)</p>	<p>問) 画用紙が4, 5, 6枚のとき必要なマグネットの個数を表す式を表に書き入れる。</p> <p>問) ・1個135gのボールb個を1500gのボールケースに入れたときの全体の重さ ・1個x円のドーナツ6個を買い、1000円出したときのおつり</p> <p>例) 1冊120円のノートa冊と1本100円のボールペンb本買った代金</p> <p>問) ・100円硬貨x枚と10円硬貨y枚を合わせた金額 ・2人がけの座席a列と3人がけの座席b列をすべて使って、すわることができる人数</p> <p>練) ・長さacmのひもから、長さ5cmのひもをx本切り取ったときの残りの長さ ・底辺の長さがacm、高さがhcmの三角形の面積</p>	<p>8</p>
<p>数研</p>	<p>○ 学習課題 マグネットを正方形に並べたとき、10番目の正方形を並べるのにマグネットが何個必要か。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>① 1番目、2番目、3番目の正方形で考える。</p> <p>② マグネットの数を表にまとめる。</p> <p>③ マグネットを線で囲んで考える。 (P80, 別冊P4~7でも同様にマグネットを題材とした学習を行う。)</p>	<p>問) ひびきさんの考え方で10番目の正方形を並べるのに必要なマグネットの数を求める。</p> <p>問) 10番目の正方形を並べるのに必要なマグネットの数</p> <p>例) ・1000円札を出してx円の買い物をしたときのおつり ・amのひもを3等分した1本分の長さ</p> <p>問) ・20人乗っているバスからn人降りたときのバスに乗っている人数 ・xLのお茶を4人で等分するときの1人分量 ・1辺acmの正三角形の周の長さ</p> <p>問) ある気温から5.6℃高くなったときの気温をx℃としたときのある気温</p> <p>問) 1個120円のりんごを何個かと、1個40円のみかんを何個か買うときの代金の合計</p> <p>問) ・50円硬貨a枚と、10円硬貨b枚の合計金額 ・底面が1辺xcmの正方形、高さがycmの直方体の体積 ・カードをc枚ずつd人に配ると1枚余るとき総数</p>	<p>12</p>
<p>日文</p>	<p>○ 学習課題 長さが等しい棒を並べて、正方形を横一列につくっていきます。正方形を20個つくる時、必要な棒の本数を求める方法を考えましょう。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>① 正方形を1個、2個、3個つくる時、必要な棒の本数を図を見て求める。</p> <p>② 正方形を4個つくる時に必要な棒の本数の求め方を表す図と式を見て、式が表す各数がどんな数量を表しているかを考える。</p> <p>③ 同様の考え方で、正方形を5個つくる時の棒の本数の求め方を図と式で表す。</p> <p>④ 正方形を20個つくる時も、同様の考え方で棒の本数を求める。</p>	<p>問) 正方形を6個つくるのに必要な棒の本数を表す式</p> <p>問) 正方形を20個つくるのに必要な棒の本数</p> <p>例) ・x円の買い物をした1000円札を1枚出したときのおつり ・長さamのひもを3等分した1本分の長さ</p> <p>問) ・縦acm、横10cmの長方形の面積 ・長さ50cmのテープからycm切り取ったときの残りの長さ</p> <p>例) 1冊120円のノートa冊と1本100円のボールペンb本の代金の合計</p> <p>問) ・1個150円のりんごx個と1個90円のレモンy個買ったときの代金 ・agの箱に1個bgのあめを5個入れたときの全体の重さ</p>	<p>9</p>

【数学】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
方法	学習内容の定着や既習事項の確認, 振り返りに関する扱いと問題数

第2学年「文字を用いた式の四則計算」					
学習内容の定着や既習事項の確認				振り返り	
	扱い	問題数		扱い	問題数
		問	節末 章末 巻末		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の導入で、「Qマーク」を示し、学習の手がかりになる問いかけを示している。また、内容によっては第1学年の学習と結び付けて、新しい学習の考える手がかりを示している。 ○ 例題と類似する問には◆印を付け、例題を参考にできるようにしている。 ○ 例の横に「ちょっと確認」を配置し、既習事項を確認できるようにしている。 ○ 「まちがい例」を示し、誤りを指摘し、正す活動を促している。 	74	節末 25 章末 25 巻末 55	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末の「基本の問題」、巻末において、理解が不十分な場合は本文の「例」、「問」に戻ることができるよう関連する箇所を明記している。 	80
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の導入で、第1学年の復習（?マーク）を示し、学習の手がかりになる問いかけを示している。 ○ 「プラスワン」を「Q」の後に配置し、さらに練習するための問題を示している。 ○ 「活動」「例」で調べたり、考えたりする活動を行う。それを「たしかめ」で同じように取り組み、学習したことを確認する。その後、「Q」に取り組むという流れをつくっている。 ○ 例や問の横に「思い出そう」を配置し、第1学年の学習等を振り返る問題や解き方を示している。 	104	33 28 34	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末の「練習」、章末において、理解が不十分な場合は本文に戻ることができるよう関連するページ又は「Q」を明記している。 	67
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の導入で、第1学年の復習（Qマーク）を示し、学習の手がかりになる問いかけを示している。 ○ 単元の前に、第1学年の学習内容を振り返る「ふりかえり」のページを配置している。 ○ 節末の「確かめよう」の後に、さらに練習するための問題として「計算力を高めよう」を示している。 ○ 「正しいかな？」では、誤った例を示し、誤りを指摘し、正す活動を促している。 	101	58 23 27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末の「確かめよう」において、理解が不十分な場合は本文に戻ることができるよう関連する例と問を明記している。 	22

【数学】

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の前に、「〇〇を学習する前に」として、学習に関連する既習内容を振り返る問題を示している。 ○ 「Q」で新しい問題と第1学年の問題との関連を示している。 ○ 節末の「基本の問題」の問いの横に、巻末の「補充問題」のページ、問題番号を記し、学習内容の定着を図る問題を示している。 ○ 「まちがい」で誤った例を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。 ○ 「学習のまとめ」として、章末の問題の前に、学習した内容（用語とその意味、計算方法等）を簡潔にまとめたものを示している。 	<p>87</p>	<p>31 27 84</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末の「基本の問題」において、理解が不十分な場合は本文に戻ることができるよう関連するページや例題番号等を明記している。 	<p>31</p>
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の導入で、「ひろげよう」として、学習の手がかりになる問いかけを示している。 ○ 「ふりかえり」として、例題に関連する第1学年の問題を示している。 ○ 「×誤答例」を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。 ○ 項末に「練習問題」として、学習内容の定着を図る問題を示している。 ○ 「問」の横に、巻末の「もっと練習しよう」のページ、問題番号を記し、学習内容の定着を図る問題を示している。 	<p>75</p>	<p>24 43 70</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章末の「学びをたしかめよう」、「もっと練習しよう」において、理解が不十分な場合は本文に戻ることができるよう関連する内容とページを明記している。 	<p>84</p>
<p>数研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の前に、「〇〇を学習する前に」として、学習に関連する第1学年の学習内容を振り返る問題等を示している。 ○ 各学習内容の導入で「Qマーク」を示し、新たな内容を学習するための手がかりを示している。 ○ 本編の「Qマーク」や「例」の横に「ふりかえり」として、「〇〇を学習する前に」に書かれている内容が示されている。 	<p>99</p>	<p>23 18 37</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末の「確認問題」と巻末の「チャレンジ編」において、理解が不十分な場合は本文に戻ることができるよう関連する内容とページを明記している。 	<p>60</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習内容の前に、「次の章を学ぶ前に」として、その章の内容に関連する第1学年の学習内容や問題を示している。 ○ 例題や問の横に配置されている「大切な見方・考え方」には、第1学年の学習内容と関連付けて、その場面で身に付けたい数学的な見方・考え方等を示しているところがある。 ○ 「問」の後に「チャレンジ」として、さらに練習するための問題を示している。 ○ 「まちがえやすい問題」で誤った例を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。 	<p>119</p>	<p>37 37 36</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末の「基本の問題」及び巻末の「補充問題」において、理解が不十分な場合は本文に戻ることができるよう関連するページと例題、問題を明記している。 	<p>73</p>

【数学】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例と題材数

	第1学年			
	「比例, 反比例」		「データの活用」	
	具体例	数	具体例	数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・プールに水を入れたときに時間にもなって変わる数量 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダーで裁断されたコピー用紙の重さと枚数の関係 ・ポップコーンを購入するときの待っている人数と待ち時間の関係 ・スライドショーを作成するときの1枚の写真を映す時間と曲の長さの関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーを作成するときの1枚の写真を映す時間と写真の枚数の関係 	19	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーチームにおいて, 現在のメンバーと優勝時のメンバーの1500m走の記録の比較 ・大縄跳びにおいて, 2列並びと3列並びの記録の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのふたが表向きになる確率 ・上ばき販売時に, 過去3年間のデータをもとに考える各サイズの仕入れ個数 	14
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会で, 時間にもなって変わる数量 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・選手が走ったときの時間と距離の関係 ・学校から2400m離れた東公園まで, Aさんは自転車で, Bさんは歩いたときにかかった時間と道のりと, 学校から1800m離れた西公園まで, Cさんが走ったときにかかった時間と道のりの関係の比較 ・時計において, 時間と長針, 短針それぞれが動いた角度の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と加熱時間の関係 	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・10cmの長さの感覚を実験し, 1回目と2回目の記録の比較 ・A中学校とB中学校の生徒の通学時間の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーのコイントスにおいて, コインの代わりに, びんやペットボトルのふたに代用できるかを実験結果より比較 ・2007年と2017年のガソリン軽自動車の燃費の比較 	18
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・プールに水を入れたときにもなって変わる数量 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・兄と妹が家から駅まで歩くときの時間と道のりの関係 ・針金を使った作品の針金の重さと針金の長さの関係 ・ペットボトルのキャップの個数とワクチンの個数の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・視力とランドルト環の外側の直径の関係 	36	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・A組とB組のルーラーキャッチの記録の比較 ・5年間の神戸市の2月の日ごとの最高気温のデータをもとに考える今年の2月の状況の予想 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのふたを投げたときの表, 裏, 横がでる確率 ・びんの王冠を投げたときの表, 裏がでる確率 	24

【数学】

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・水槽に 40 cm の水位まで水が入る時間を知るために必要な情報 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・同じ種類の折り紙の枚数と重さの関係 ・生徒 2 人がジョギングしたときの時間と道のりの関係の比較 ・ペットボトルのキャップ全部の重さと個数の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・1000 羽のつるを折るときの人数と 1 人が折るつるの数の関係 	<p>31</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・バスにおいて、家から駅までの 2 つのルート の所要時間の比較 ・ある生徒の過去 1 年間の陸上競技大会での記録 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのふたを投げたときに表、裏、横がでる確率 ・2011 年から 2017 年までの日本の女子出生率 	<p>18</p>
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・正方形の紙から、底面が正方形でふたのない箱を作るときの高さとともに変わって変わる数量 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・線香が燃えるときの時間と長さの関係 ・アルミ板から形を切り取るときの切り取った形の重さと面積の関係 ・紙パックをトイレットペーパーにリサイクルするときの紙パック全体の重さとトイレットペーパーの個数の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と加熱時間の関係 	<p>29</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ふぶきの作成において、大きさの違う正方形の滞空時間の比較 ・卵が 10 個ずつ入った容器 A、B それぞれの卵の重さの分布の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・将棋の駒を投げたときの表向き、裏向き、横向き、上向き、下向きがでる確率 ・2007 年から 2016 年までの日本の男女別出生率 	<p>14</p>
<p>数研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・基石の個数と重さの関係と、将棋の駒の枚数と重さの関係 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・水槽に水を入れたときの高さと体積の関係 ・ペットボトルのキャップ全部の重さとポリオクチンの本数の関係 ・電動式のシャッターの開いた部分の長方形の高さと面積の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と加熱時間の関係 	<p>17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・A 市と B 市の 10 年分の 3 月 25 日～29 日の気温と天気データの比較 ・テーマパークにある 2 つのアトラクションの待ち時間の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのふたを投げたときに表、裏、横がでる確率 ・靴の販売店がアンケートをもとに考える来年の各サイズの靴の仕入れ個数 	<p>18</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・伊能忠敬の地図づくりにおける歩数と道のりの関係 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・水槽に水を入れるときの時間と水の量の関係 ・海水の量とそれに含まれる塩の量の関係 ・兄と妹が家から公園まで歩くときの時間と道のりの関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・離れたところから見えるポスターの文字の大きさと距離の関係 	<p>30</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・20 世紀前半と 20 世紀後半の高知県高知市の 3 月の平均気温のデータの比較 ・A 中学校と B 中学校の 1 年生の男子生徒のハンドボール投げの記録の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのふたを投げたときの表、裏、横がでる確率 ・送迎バスの 2 つのルート の所要時間の比較 	<p>17</p>

【数学】

観点 (イ) 主体的に学習に取り組む工夫

視点 ④問題解決的な学習を実施するための工夫

方法 問題の具体例と数

※ 各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題等

	第1学年 (巻末及び別冊)	問題数	第2学年 (巻末及び別冊)	問題数	第3学年 (巻末及び別冊)	問題数
東書	<p>[大切にしたい見方・考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 規則性に着目して式を表す ○ 数量の関係に着目して式をつくる ○ 比例とみなして予想する ○ データにもとづいて問題を解決する <p>[数学の自由研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 素数のひみつを調べよう ○ ゴルフの得点の表し方 ○ 円周率πの歴史 ○ グラフを使って考えよう ○ ランドルト環のしくみ ○ 地震のゆれの予測のしくみ ○ エッシャーに挑戦しよう ○ 自動車の死角を考えよう ○ 正多面体は、なぜ5種類? 	13	<p>[大切にしたい見方・考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ことがらを予想して説明する ○ 1次関数とみなして予想する ○ 説明の根拠をふり返る ○ 証明をふり返って新たな性質を見いだす <p>[数学の自由研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 17段目のふしぎ ○ テーブルマジック ○ アメリカ ホームステイ ○ 四角形の変身 ○ 図形の性質を見つけよう ○ パスカルとフェルマーの手紙 ○ 点字を読んでみよう 	11	<p>[大切にしたい見方・考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 証明をふり返って発展的に考える ○ 図形の形を変えて辺や角の関係を調べる ○ 図に表し、図形を見いだして問題を解決する <p>[数学の自由研究]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パスカルの三角形 ○ 瞬間の速さ ○ 容積を最大にするには? ○ 黄金比 ○ 伊能忠敬の業績を知ろう ○ 円周角を動かすと? ○ 三平方の定理のいろいろな証明 	10
大日本	<p>[もっと数学の世界へ]</p> <p>一課題学習 数学を生かして考えよう一</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆の芯はどれだけ使える? ○ テーブルは何人で使うことができる? ○ 2つのエレベーターの距離はどうなる? <p>—MATHFUL—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 素数の力で生き抜いてきたセミ ○ 身のまわりのマイナス ○ 私たちの食料とフード・マイレージ ○ 関数で健康管理 ○ 船が安全に進むための工夫 ○ 手まり模様の秘密 ○ データを正しく活用するには 	10	<p>[もっと数学の世界へ]</p> <p>一課題学習 数学を生かして考えよう一</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どの店に注文する? ○ 考え方の共通点は? ○ 点を結んでできる図形の面積は? <p>—MATHFUL—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まだある! 数の世界 ○ さっさ立てに挑戦しよう ○ 関数を使って予想しよう ○ 幾何学の起こり ○ 不思議な錯視の世界 ○ 点字を生んだブライユの想い 	9	<p>[もっと数学の世界へ]</p> <p>一課題学習 数学を生かして考えよう一</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 黄金比と図形の性質の関係は? ○ 九九表にはどんな規則性がある? ○ 影はどのように変わる? <p>—MATHFUL—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2乗すると負の数になる数! ○ リレーのバトンパス ○ 相似を生かして ○ 三平方の定理のいろいろな証明 ○ 日本のことばと数 ○ 数学から見る芸術の世界 	9
学図	<p>[さらなる数学へ]</p> <p>—今の自分を知ろう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう <p>—疑問を考えよう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 米は何粒? ○ 当選するには最低何票? ○ 複雑な形の面積は? ○ 道路のカーブの半径は? ○ 立方体の切り口の形は? <p>—数学の歴史の話—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 魔方陣 ○ 円周率πの話 	8	<p>[さらなる数学へ]</p> <p>—今の自分を知ろう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フェアトレードからできることを考えよう <p>—疑問を考えよう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時計の針が重なるのは何時? ○ 気温は上がっている? ○ 点字のしくみは? ○ どちらが有利? ○ 面積は求められる? <p>—数学の歴史の話—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鶴亀算 ○ パスカルとフェルマーになってみよう 	8	<p>[さらなる数学へ]</p> <p>—今の自分を知ろう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エシカル消費についてできることを考えよう <p>—疑問を考えよう—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 黄金比って何? ○ 「三平方の定理の逆」の証明はほかにもある? ○ 放物線はみな相似? ○ バランスのとれる場所はどこ? <p>—数学の歴史の話—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地球の測り方 ○ 三平方の定理の証明 <p>○ 高校へのかけ橋</p>	8

【数学】

<p>教出</p>	<p>【数学の広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エラトステネスのふるい ○ 円周率 π の歴史 <p>【学んだことを活用しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どちらが得かな？ ○ 進行の計画を立てよう！ ○ 「動く歩道」の速さは？ ○ どちらのほうが長いかな？ 	<p>6</p>	<p>【数学の広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 陸上トラック ○ 点の数と面積の関係 <p>【学んだことを活用しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食塩水の濃度はどれくらいかな？ ○ どの順番で勉強したのかな？ ○ どんな図形に変身するのかな？ ○ あいこになる確率はどれくらいかな？ 	<p>6</p>	<p>7</p>
<p>啓林館</p>	<p>【学びをいかそう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何時に電話しようかな？ ○ 最大公約数と最小公倍数 ○ お手玉をつくろう ○ おにぎり売ろう ○ 不等式 ○ 緊急地震速報 ○ ランドルト環 ○ 移動を使って面積を求めよう ○ おうぎ形の面積 ○ 「ヒンメリ」をつくろう ○ ヒストグラムを観察しよう ○ 少子高齢化している国は？ ○ プログラミングで模様をつくろう ○ 社会見学にいこう—回転焼きができるまで— 	<p>14</p>	<p>【学びをいかそう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スタートの位置はどこ？ ○ つるかめ算 ○ 料金が安いのは？ ○ 角の大きさを求める ○ へこみのある図形 ○ 問題をつくり変える ○ 点の集合と外心・内心 ○ どちらのくじをひこうかな？ ○ 代表を決めよう ○ プログラミングで数を並べかえよう ○ 社会見学にいこう—明太子ができるまで— 	<p>11</p>	<p>15</p>
<p>数研</p>	<p>【数学旅行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 塵劫記 ○ ディオファントスの一生 ○ 封筒で立体をつくってみよう ○ 地球温暖化問題 <p>【探究ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1辺に x 個ずつ並べたマグネット ○ 不等式の性質はある？ ○ 多面体の規則を見つけよう ○ ランドルト環をつくってみよう ○ 機関庫の模型を作ろう ○ きれいなおうぎ形 ○ 日本の伝統的な文様 	<p>11</p>	<p>【数学旅行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温度の単位 ○ LED電球はお得？ ○ 星形の図形の角の和 ○ ビッグデータ ○ 誕生日が同じ日である人がいる確率 <p>【探究ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連続する整数の和 ○ 文字が3つの方程式 ○ グラフを左右に移動したら ○ 点Bが動いたときの角の大きさ ○ 四角形の合同条件を考える ○ 長さの感覚を調べよう ○ 動物の年齢を人間に換算する 	<p>12</p>	<p>13</p>
<p>日文</p>	<p>【数学マイトライ】</p> <p>—数学研究室—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小町算 ○ 地震のP波とS波 ○ 三角形の内心と外心 ○ 正多面体が5種類しかない理由 ○ 多面体の面、頂点、辺の数の関係 	<p>5</p>	<p>【数学マイトライ】</p> <p>—数学研究室—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連続する10個の整数の和 ○ さっさ立て ○ 食塩水の濃度 ○ ダイアグラム ○ 条件を変えて考えよう ○ 点字のしくみ 	<p>6</p>	<p>6</p>
			<p>【数学の広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 倍数の見つけ方 ○ 大気中の二酸化炭素の濃度 ○ 黄金比 <p>【学んだことを活用しよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな性質があるのかな？ ○ ロープの長さは何mかな？ ○ 円周上の点を結ぶと・・・ ○ 注文を引き受けることはできるかな？ 		

【数学】

観点	・(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しをもち、論理的に考察するための工夫
方法	見いだす活動を行うための具体例とその展開

第2学年「基本的な平面図形と平行線の性質」			
多角形の内角の和			
	導入	課題	展開
東 書	<p>4種類の多角形で、角の和をいろいろな方法で求め、その求め方を説明する。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 ・六角形 ・七角形 	<p>三角形の内角の和が 180° であることを基にして、多角形の内角の和を求める。</p> <p>「それぞれの多角形について、求め方を説明してみましょう。」</p> <p>「友達の考えや他の考えを聞いてみましょう。」</p>	<p>四角形、五角形、六角形、七角形の求め方を説明させた後、十角形の角の和を求める。四角形、五角形、六角形、七角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>「多角形を、1つの頂点から出る対角線で三角形に分けます。頂点の数が n の多角形の内角の和を求める式はどうなるでしょうか。」</p> <p>「多角形を、その内部の1つの点から頂点にひいた線分で三角形に分ける方法で、多角形の内角の和の求め方を説明しなさい。」</p>
大 日 本	<p>五角形の内角の和を求めたカルロスさんの考え方を使って、六角形と七角形の内角の和を求める。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形 ・四角形 ・五角形 ・六角形 ・七角形 	<p>カルロスさんの三角形分割の考えを示している。</p> <p>『「三角形の内角の和は 180° である』ことをもとにして、多角形の内角の和について調べよう。」</p>	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、n角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>「辺の数と、1つの頂点から対角線をひいてできる三角形の数との間には、どのような関係がありますか。」</p> <p>「n角形の内角の和を、nを使った式で表しなさい。」</p> <p>五角形の内部に点を取る方法を図で示したマイさんの考えを示し、内角の和を求めさせる。</p> <p>十角形の内角の和の求め方を例示し、十二角形の内角の和を求める。</p>
学 図	<p>五角形の内角の和を求め、その求め方を説明する。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五角形 	<p>拓真さんの考え方(五角形の内角の和の三角形分割の求め方)を示している。</p> <p>「拓真さんの考え方をを使って、いろいろな多角形の内角の和を求めて、次の表を完成させましょう。」</p>	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>「多角形の内角の和について、どんな性質があるか調べよう。」</p> <p>「表で、多角形の頂点の数を n とすると、内角の和はどんな式で求めることができるでしょうか。」</p> <p>「美月さんは、次のようにして五角形の内角の和を求めました。美月さんの考え方を説明してみましょう。(五角形の内部に点を取って求める方法)」</p> <p>「美月さんの考え方で n 角形の内角の和を求め、それが、$180^\circ \times (n-2)$ と等しいことを確かめてみましょう。」</p> <p>「十二角形の内角の和は何度ですか。」</p> <p>五角形を三角形に分ける方法として、「1つの頂点で分ける」「内部の点で分ける」「辺上の点で分ける」場合を示し、「点Pを五角形の外部に動かした場合も考えることができます。この図を使って、五角形の内角の和を求めてみましょう。」</p>

【数学】

<p>教出</p>	<p>1つの頂点から対角線をひく方法で多角形の内角の和を求める。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 ・六角形 ・七角形 	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>「求めた結果をもとにして、下の表を完成させましょう。」</p>	<p>「多角形の頂点の数を n とすると、1つの頂点からひいた対角線によって、多角形は $(n-2)$ 個の三角形に分けられる。」これが正しいことを、教科書の図を使って説明する。また、このことから、多角形の内角の和を、n を使った式で表す。</p> <p>たくみさんが、五角形を三角形に分ける方法として、内部の点で分ける図をかいて考えている。たくみさんの考え方を説明し、たくみさんの考え方で n 角形の内角の和を求める。十二角形、正九角形の内角の和を求める。</p>
<p>啓林館</p>	<p>多角形の内角の和を求める。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 ・六角形 	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形までの辺の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>「多角形の1つの頂点から対角線をひき、右の表の□にあてはまる数を調べて書き入れなさい。」</p>	<p>「辺の数が n である多角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、$(n-2)$ 個の三角形に分けられます。したがって、n 角形の内角の和は、次の式で表すことができます。n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$ である。」</p> <p>「十角形の内角の和は何度ですか。」</p> <p>五角形を三角形に分ける方法として、内部の点で分ける場合を示している。</p> <p>「かりんさんは、n 角形の内角の和を、右の図のように考えて、$180^\circ \times n - 360^\circ$ という式で表しました。かりんさんの考え方を説明しましょう。」</p>
<p>数研</p>	<p>「n 角形の内角の和は何度になりますか。n を使って表してみましょう。」</p> <p>まなとさん (小学校の学習の想起)</p> <p>みかさん (三角形分割の想起)</p> <p>ひびきさん (みかさんの考えをもとに、表を作る)</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 	<p>四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>「n 角形を何個の三角形に分けることができるか、考えてみましょう。」</p>	<p>「n 角形は、1つの頂点からひいた対角線によって $(n-2)$ 個の三角形に分けることができる。よって、次のことが成り立つ。n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$」</p> <p>2人の考え方はどのような式で表されるか。</p> <p>かなさん (辺上に点をとって、三角形分割)</p> <p>ひびきさん (図形の中に点をとって、三角形分割)</p> <p>十角形の内角の和の求め方を例示する。</p> <p>「十二角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>「正十八角形の1つの内角の和を求めなさい。」</p> <p>「内角の和が 1260° である多角形は何角形ですか。」</p>
<p>日文</p>	<p>「n 角形の内角の和を求めましょう。」</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 	<p>「陸さんと同じ方法で、五角形の内角の和を求めましょう。(四角形を1つの対角線で分割している。)」</p> <p>陸さんと同じ方法で六角形と七角形の内角の和を求める。</p> <p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、n 角形までの頂点の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p>	<p>「n 角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、$(n-2)$ 個の三角形に分けることができます。このことから、次のことが成り立ちます。n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$ である。」</p> <p>「十角形の内角の和を求めない。」</p> <p>n 角形の内角の和を求めた3人の図を見て、対応する式を選ばせる。</p> <p>陸さん (1つの頂点からひいた対角線で三角形分割)</p> <p>真央さん (辺上に点をとって三角形分割)</p> <p>和也さん (図形の内部に点をとって三角形分割)</p> <p>さらに、3人の考え方の共通点を考えさせる。</p>

【数学】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列
方法	各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例

	第1学年		第2学年		第3学年	
	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
東書	0 算数から数学へ	8	1 式の計算	26	1 多項式	32
	1 正負の数	44	2 連立方程式	22	2 平方根	28
	2 文字と式	28	3 1次関数	38	3 2次方程式	24
	3 方程式	24	4 平行と合同	30	4 関数 $y = ax^2$	34
	4 比例と反比例	40	5 三角形と四角形	34	5 相似な図形	38
	5 平面図形	34	6 確率	18	6 円	20
	6 空間図形	34	7 データの比較	16	7 三平方の定理	24
	7 データの分析と活用	24	巻末問題	12	8 標本調査	14
	巻末問題	14			巻末問題	14
		○ 地震のゆれの予想のしくみ ○ 正多面体の型紙		○ パスカルのフェルマーの手紙 ○ くじのカード		○ 伊能忠敬の業績を知ろう ○ カメラの模型
大日本	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 数の世界のひろがり	54	1 式の計算	28	1 多項式	32
	2 文字と式	34	2 連立方程式	26	2 平方根	34
	3 1次方程式	24	3 1次関数	32	3 2次方程式	24
	4 量の変化と比例、反比例	40	4 平行と合同	36	4 関数	34
	5 平面の図形	38	5 三角形と四角形	34	5 相似と比	40
	6 空間の図形	36	6 データの比較と箱ひげ図	14	6 円	20
	7 データの分析	26	7 確率	18	7 三平方の定理	22
	巻末問題	12	巻末問題	14	8 標本調査	18
					巻末問題	22
	○ 船が安全に進むための工夫 ○ 正多面体の型紙		○ 暮らしに役立つ関数 ○ ジャップル再生の不思議		○ 日本のことばと数 ○ 因数分解で使用する型紙	
学図	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数・負の数	54	1 式の計算	28	1 式の計算	32
	2 文字式	28	2 連立方程式	29	2 平方根	30
	3 1次方程式	33	3 1次関数	37	3 2次方程式	25
	4 比例と反比例	37	4 図形の性質の調べ方	38	4 関数 $y = ax^2$	36
	5 平面図形	28	5 三角形・四角形	31	5 相似な図形	42
	6 空間図形	37	6 確率	20	6 円	22
	7 データの活用	29	7 データの分布	15	7 三平方の定理	25
	巻末問題	8	巻末問題	8	8 標本調査	17
					巻末問題	16
	○ カードゲームの型紙 ○ プログラミングを体験してみよう（基石を並べる）		○ 時計の針が重なるのは何時 ○ さいころの型紙		○ バランスのとれる場所はどこ ○ プログラミングを体験してみよう（斜辺の値を求める）	

【数学】

教 出	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 整数の性質	10	1 式の計算	29	1 式の計算	33
	2 正の数, 負の数	45	2 連立方程式	23	2 平方根	31
	3 文字と式	34	3 1次関数	33	3 2次方程式	23
	4 方程式	27	4 平行と合同	40	4 関数 $y = ax^2$	31
	5 比例と反比例	36	5 三角形と四角形	39	5 相似な図形	42
	6 平面図形	38	6 確率	20	6 円	20
	7 空間図形	33	7 データの分析	18	7 三平方の定理	23
	8 データの分析	26	巻末問題	14	8 標本調査	16
	巻末問題	16			巻末問題	18
○ 円周率 π の歴史		○ 点の数と面積の関係		○ 黄金比		
○ 正多面体の模型		○ エッシャーに挑戦		○ 三平方の定理で使用する型紙		
啓 林 館	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数・負の数	46	1 式の計算	24	1 式の展開と因数分解	28
	2 文字の式	30	2 連立方程式	24	2 平方根	28
	3 方程式	26	3 一次関数	36	3 二次方程式	24
	4 変化と対応	34	4 図形の調べ方	30	4 関数 $y = ax^2$	30
	5 平面図形	32	5 図形の性質と証明	34	5 図形と相似	40
	6 空間図形	36	6 場合の数と確率	14	6 円の性質	20
	7 データの活用	26	7 箱ひげ図とデータの活用	12	7 三平方の定理	22
	巻末問題	11	巻末問題	10	8 標本調査とデータの活用	16
					巻末問題	8
○ プログラミングで模様をつくらう		○ 料金が安いのは		○ 全身がうつる鏡		
○ 回転焼きができるまで		○ プログラミングで数を並べ替えよう		○ 災害から身をまもろう		
数 研	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数と負の数	47	1 式の計算	25	1 式の計算	25
	2 文字と式	33	2 連立方程式	27	2 平方根	31
	3 1次方程式	25	3 1次関数	35	3 2次方程式	23
	4 比例と反比例	33	4 図形の性質と合同	33	4 関数 $y = ax^2$	31
	5 平面図形	29	5 三角形と四角形	31	5 相似	39
	6 空間図形	37	6 データの活用	15	6 円	21
	7 データの活用	24	7 確率	12	7 三平方の定理	25
	巻末問題	22	巻末問題	20	8 標本調査	15
					巻末問題	40
○ 暗号と素数		○ 温度の単位		○ 皆既日食と金環日食		
○ 立体の切断模型の型紙		○ ビッグデータ		○ 三平方の定理で使用する型紙		
日 文	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数と負の数	49	1 式の計算	25	1 式の展開と因数分解	29
	2 文字と式	33	2 連立方程式	23	2 平方根	27
	3 方程式	25	3 1次関数	35	3 2次方程式	19
	4 比例と反比例	39	4 図形の性質と合同	35	4 関数 $y = ax^2$	33
	5 平面図形	33	5 三角形と四角形	29	5 相似な図形	35
	6 空間図形	25	6 データの分布と確率	29	6 円	17
	7 データの活用	33	巻末問題	20	7 三平方の定理	21
	巻末問題	15			8 標本調査	15
					巻末問題	30
○ 素数を求めるプログラムを考えよう		○ さっさ立て		○ フラクタル図形のアルゴリズムを考えよう		
○ 正多面体の型紙		○ 対話シート		○ 因数分解で使用する型紙		

【数学】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦発展的な学習に関する内容の記述
方法	発展的な問題の数と具体例

※ 該当学年の学習指導要領に示されていない問題

	学年	問題数	具体例
東書	1	3	同類項
	2	3	文字が3つに増えたなら… (連立三元一次方程式)
	3	6	いろいろな数の分母の有理化 (分母が多項式であるときの有理化)
大日本	1	4	同類項
	2	4	3つの文字をふくむ連立方程式 (連立三元一次方程式)
	3	14	多項式を累乗する展開
学図	1	8	a^1 や a^0 はあるのかな?
	2	7	3つの文字をふくむ方程式を解こう (連立三元一次方程式)
	3	8	多項式どうしの除法
教出	1	5	同類項
	2	4	学習のつながり (二次式の乗法, 除法)
	3	13	乗法の公式を使った分母の有理化
啓林館	1	2	最大公約数と最小公倍数
	2	2	点の集合と外心・内心
	3	7	$\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 (背理法)
数研	1	5	薬師算
	2	3	誕生日が同じ日である人がいる確率
	3	9	$\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 (背理法)
日文	1	2	三角形の内心と外心
	2	2	3つの文字をふくむ連立方程式 (連立三元一次方程式)
	3	8	分母が多項式であるときの有理化

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用
方法	イラスト・写真の数と具体例及びデジタルコンテンツの数と扱い

	第3学年「関数 $y = ax^2$ 」				第3学年 全体	
	イラスト		写真		デジタルコンテンツ	
	数	具体例	数	具体例	数	扱い
東 書	18	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットコースター ○ ジェットコースターのコース ○ 斜面で球を転がしたときの、1秒ごとの球の位置(2) ○ 底面が1辺 x cmで、高さが5 cmである正四角柱 ○ 1辺が x cmの立方体 ○ 半径が x cmで、面積が y cm²である円 ○ 底面の半径が x cmで、高さが3 cmである円柱 ○ 自動車の急停車の様子 ○ ピサの斜塔からガリレオがボールを落下させている図 ○ 1往復するのに x 秒かかる長さ y mの振り子 ○ 電車が自転車に追いつく様子 ○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切る様子(2) ○ りんごの入った箱 ○ 渋滞している車の流れのモデル化(2) ○ 山手線の外回りと内回りを表す図 	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットコースター(3) ○ パラボラアンテナ ○ 噴水 ○ 花火 ○ 公園内水飲み口の水の軌跡 ○ 上記写真とグラフのすり合わせ ○ 渋滞の様子 	11	「この本の使い方」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Dマークを示している。
大 日 本	22	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1辺が10 cmの正方形に対角線を引いた図 ○ 1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて直角二等辺三角形を折り返した図 ○ 1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて1辺が x cmの直角二等辺三角形を折り返し、10 cmから x cmをひいた差を y cmとした図 ○ 1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて1辺が x cmの直角二等辺三角形を折り返し、その面積を y cm²とした図 ○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 放物線上の軸に平行な光や電波などを反射して集まる焦点の解説図 ○ ボールが自然に落ちていくときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 底面が1辺 x cmで、高さが8 cmである正四角柱 ○ 自動車の制動距離の説明 ○ 同時にスタートし、自転車に乗った1人が、走っているもう一人を追いかける様子 ○ 正方形の返上の2つの動点とそれを結んでできる三角形(2) ○ 荷物の入った箱 ○ 新左衛門が豊臣秀吉からほうびをもらう様子 ○ 高層ビル ○ 直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 周囲の長さを固定してできた長方形を表す図 ○ 直角二等辺三角形を長方形に向かって移動させる図(5) 	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 投げたボールの軌跡 ○ パラボラアンテナ ○ ソーラーラッカー ○ 懐中電灯の反射板 ○ 振り子の軌跡 ○ 製薬会社研究員佐藤さんの写真 ○ 佐藤さんの実験の様子 	19	「この教科書の使い方」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、デジタルコンテンツマークを示している。

【数学】

<p>学 図</p>	<p>22</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スキージャンパーが斜面を滑り降りる様子 ○ 斜面をボールが転がり落ちる様子 ○ 1辺が x cm の立方体 ○ 半径が x cm で、面積が y cm² である円 ○ 正方形のタイルを積み重ねた図 ○ つり橋 ○ パラボラアンテナの断面 ○ 長方形と台形の重なりが変化している様子(3) ○ 短距離走のスタートの様子 ○ スタートした1人が、走っている1人に追いつく様子 ○ リレーのバトンパスの様子 ○ 傘を持って向かい風を受けている様子 ○ 底面が1辺 x cm で、高さが8 cm である正四角柱 ○ ゴンドラの位置を示している円 ○ 細菌の分裂図 ○ 正三角形のタイルをピラミッド状に並べている様子 ○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 風力発電の風車の図 ○ 自動車の停止距離の説明 ○ 急停車する自転車の様子 	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 投げ上げたボールの軌跡 ○ 飛行機の先端 ○ 両端を固定したくさがりが自然に垂れ下がった様子 ○ パラボラアンテナ ○ 落下するボールの軌跡 ○ リレーのバトンパスの様子 ○ 観覧車 ○ 風力発電の風車 ○ 数学者 岡潔 ○ 急停車する自動車 	<p>16</p> <p>「QRの使い方」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所にある二次元コードから、コンテンツにアクセスできる。</p>
<p>教 出</p>	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 底面が1辺 x cm で、高さが9 cm である正四角錐 ○ パラボラアンテナの電波の反射の様子 ○ 斜面でボールを転がしたときの、x 秒後のボールの位置 ○ 平面図形や立体の中にある放物線 ○ 正方形と直角三角形の重なりが変化している様子 ○ 長方形と直角三角形の重なりが変化している様子 ○ 電車がバスに追いつく様子 ○ 自動車の停止距離の説明 ○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子 ○ 同じ大きさのタイルを階段状に並べていく様子(2) ○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 噴水 ○ 投げ上げたボールの軌跡 ○ パラボラアンテナ ○ 懐中電灯 ○ 札幌市中心部 ○ ガリレオ・ガリレイ 	<p>9</p> <p>「教科書の使い方」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、まなびリンクマークを示している。</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットコースターの図 ○ 斜面を下りる台車の運動を調べる実験の図 ○ 自動車の制動距離の説明図 ○ 自動車の制動距離に係る会話 ○ 1往復するふりこの様子 ○ 合同な2つの直角三角形の重なりが変化している様子 ○ 並んでいる2つのレンタサイクル店 ○ 底が階段状になっている直方体の水槽に水を流す様子 ○ 斜面を転がるボールが x 秒後に y m の距離を転がった図 ○ 走っている列車 	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面で転がるボールの0.1秒ごとの位置 ○ 落下するボールの軌跡 ○ カーリングのハウス ○ 投げたボールの軌跡(2) ○ 走り幅跳びの選手の飛んだ軌跡 ○ ふりこ時計 ○ ピサの斜塔 	<p>54</p> <p>「みんなで学ぼう編の構成と使い方」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所にある二次元コードから、コンテンツにアクセスできる。(25)</p> <p>シミュレーションや動画以外に、問題文の回答やヒントのスライドも多い。(29)</p>

【数学】

<p>数 研</p>	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 底面が1辺 x cmで、高さが5 cmである正四角柱 ○ 1辺が x cmの立方体 ○ 半径が x cmの円 ○ ボールを放り投げたときの様子 ○ パラボラアンテナの断面図 ○ 変化の割合に係る会話文 ○ ピサの斜塔 ○ 自動車がブレーキをかけている様子 ○ 電車が自転車に追いつく様子 ○ 2枚の三角定規の重なりが変化している様子 ○ 長方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 半径 x cm, 面積が 10cm^2 のおうぎ形の図 ○ 正 x 角形の図 	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 噴水 ○ 花火 ○ 斜面で転がるボールの1秒ごとの位置(2) ○ パラボラアンテナ ○ 宅配の様子 ○ 観覧車 ○ バスの運転手横に設置してある運賃表 ○ 紙を半分に切る様子 	<p>51</p> <p>「この教科書について」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、4種類のリンクマークを示している。</p>
<p>日 文</p>	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 斜面でボールを転がしたときの様子に係る会話文 ○ 坂道を下りている自転車 ○ 等しい辺の長さが x cmである直角二等辺三角形 ○ 半径が x cmである円 ○ 1辺が x cmである立方体 ○ パラボラアンテナの断面図 ○ ボールが落ちるときの、1秒ごとの位置 ○ 1往復するのに x 秒かかる長さ y mの振り子 ○ 電車が自動車に追いつく様子 ○ 自動車の停止距離の説明 ○ グラフ上の x, y の関係に関する会話文 ○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子 ○ 宅配便の箱 ○ 台形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面にボールを放り投げた様子 ○ パラボラアンテナ ○ 懐中電灯 	<p>25</p> <p>「この本の使い方」にあるURLからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Webマークを示している。</p>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫
方法	説明したり，話し合ったりする問題や問等の具体例

第2学年「データの活用」	
「複数のデータの分布を比較するとき，箱ひげ図を用いて説明する活動」における具体例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「ある桜の名所の近くに，コンビニエンスストアがオープンしました。店長は，花見の時期にどんな商品がよく売れるのか調べたいと考えています。」 ○ 調べてみよう 「A店では，花見の時期にどの商品がよく売っていたでしょうか。」 ○ 調べてみよう 「スナック菓子の『花見期間』の平日と休日，『直前期間』の平日と休日の販売数の傾向を比較してみましょう。」 ○ 説明してみよう 「ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて，それぞれのよさやちがいのついて，話し合ってみましょう。」 ○ 調べてみよう 「箱ひげ図を用いて，各商品の販売数の傾向を調べてみましょう。」
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「バレーボールの選手の身長を比べよう。」 ○ 問題 「(1) 表8のデータを，どのような方法で分析すれば，日本の選手の身長の傾向がわかりそうですか。 (2) 表8をもとに，日本とイランの選手の身長のデータを，箱ひげ図に表しなさい。 (3) (2) から，日本の選手とイランの身長の分布のようすを比べて，わかることをいいなさい。 (4) (3) と同じように，日本の選手とイラン以外の国の選手の身長の分布のようすを比べて，わかることをいいなさい。 (5) (3)，(4) から，日本の選手の身長は，ほかの国の選手に比べてどのような傾向があるといえるか，説明しなさい。」
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「1月から3月の間にメルボルンに行く場合，どんな服を準備すればよいか調べるために，5年間の日ごとの最高気温のデータから月ごとの平均値を求めグラフに表すと，次のようになりました。このグラフからどんなことがわかりますか。」 ○ 問題 「メルボルンと東京の5年間の日ごとの最高気温のデータを月ごとに集めて箱ひげ図をつくと，次のようになりました。このグラフから，どんな服を準備すればよいか話し合ってみましょう。」 ○ 問題 「メルボルンの5年間の1月から3月の日ごとの最高気温を，次のような度数分布表に整理しました。累積度数や相対度数，累積相対度数を求めて，どんな服を用意すればよいか話し合ってみましょう。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べてみよう 「知りたいことや疑問に思っていることについて，データを収集，整理し，その傾向を調べ，わかったことを発表してみましょう。」 ○ 調べたいことを決めよう 「私たちが住んでいる地域の過去の花粉の飛散量を調べよう。」 ○ データの集め方の計画を立てよう ○ データを集め，目的に合わせて，整理しよう ○ データの傾向をとらえて，どんなことがいえるのか考えよう ○ 調べたことやわかったことをまとめて，発表しよう ○ 発表したあとに，学習をふり返ろう

【数学】

啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「けいたさんとかりんさんは、昔にくらべて、気温が高くなっているという話を聞きました。」 「けいたさんとかりんさんは、東京について、1958年、1978年、1998年、2018年の7月の最高気温を調べ、図と表にまとめました。」 ○ 問題 「東京の7月の日最高気温について、上の図1と表1から読み取れることとして、次の(1)～(5)は正しいといえますか。『正しい』『正しくない』『このデータからはわからない』のどれかで答えなさい。」 ○ 説明しよう 「かりんさんは、前ページの図1から1958年と1978年の箱ひげ図に着目して、次のように考えました。下線を引いた部分は正しいでしょうか。理由もあわせて説明しましょう。」 ○ 話し合おう 「前ページの図1、表1から、気温は高くなる傾向にあるといえるでしょうか。」
数研	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「ある中学校の体育委員会で、生徒の体力が以前と比べて変化しているか調べるため、体力テストのデータの傾向について調査することになった。」 ○ 問 「ある中学校の体力テストのハンドボール投げのデータから、2009年、2012年、2015年、2018年の平均値の表と、箱ひげ図をつくと下のようになりました。 データの傾向について、気づいたことを答えましょう。 また、そのように考えた理由を説明しましょう。」 ○ 先生からの問 「箱ひげ図のどこに着目したのですか？」 「最大値や最小値ではなく、箱の位置や中央値に着目したのはなぜですか？」
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「彩さんの班では、大阪の猛暑日が増える傾向にあるのかどうかを調べることにしました。」 ○ 問 <ol style="list-style-type: none"> 1 「右の図から、データの分布の変化について、どんなことがわかりますか。」 2 「次の(1)～(4)はそれぞれ上のヒストグラムと箱ひげ図のどちらから正しく読み取ることができますか。また、それぞれの値を読み取って答えなさい。 (1) 最小値 (2) 範囲 (3) 四分位範囲 (4) 猛暑日が10日以上20日未満だった年の回数」 3 「これまで調べたことから、『大阪の猛暑日は増える傾向にある』と判断できるでしょうか。」

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩自分の考えをまとめ記述する活動の工夫
方法	ノートやレポートのかき方の扱い, 記載例, 記述ページ数

	ノートやレポートのかき方		学年	ページ数	
	扱い	記載例		ノ	レ
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭の「大切にしたい数学の学び方」で、ノートのつくり方を示している。その具体例として単元途中に「数学マイノート」のページを設け、生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について示している。また、「学びをふり返ろう」で学んだことのまとめ方を例示している。 ○ 「レポートにまとめよう」として、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。また、第3学年「標本調査」で、調査したことをレポートにまとめた具体例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノート <ul style="list-style-type: none"> ・ノートには、「学習日」「問題」「自分の考えや友だちの考え」「まとめ」「感想」を書いておこう。 ・板書を書き写すだけでなく、自分や友だちの考え、先生の説明や友だちの発言で大切だと思ったこと、気づいたことや疑問に思ったことなども書いておきましょう。 ○ レポート <ul style="list-style-type: none"> ・授業の学習のなかで、自分なりに考えたことやさらに深めてみたいと思ったことをレポートにまとめてみよう。 ・レポートを書くときには、次のような点に注意しよう。 自分がどのように考えたか、わかりやすく説明すること 図や表、式、グラフなどを用いて、読み手がわかりやすいようにくふうすること <p>①動機と目的②方法③結果④考察⑤感想</p>	1	6	2
			2	3	2
			3	3	3
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭で「ノートのつくり方」を示している。 ○ 「研究をしよう」「レポートを書こう」として、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノート <ul style="list-style-type: none"> ・問題をかく。図や表があるときには、それらもかいておく。図や表をかくときはいねいにかく。 ・自分の考えや対応する図、式などをかく。 ・先生の説明や友だちの考えを聞いて、気づいたことや大切だと思ったことを書いておく。 ・学習をふり返り、わかったことや、さらに考えを深めたり、調べたりしたいことを書く。 ○ レポート作成 <ul style="list-style-type: none"> ・数学で学んだことをきっかけに、興味や関心をもったことをテーマにして、研究をしてみましょう。 ・日常生活や授業で調べたこと、さらにやってみたいことをテーマに、レポートにまとめてまわりの人に伝えよう。 <p><研究のしかた> ①テーマを決める②研究の方法を具体的に決め、計画を立てる③調べる④内容を整理する⑤レポートにまとめる⑥発表をする・ふり返る</p>	1	1	3
			2	1	2
			3	1	2
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭で「ノートの使い方」を示している。また、単元中にノートを書く際に気をつける点、よりよい書き方などを同時に示している。 ○ 各学年の巻末に「表現する力を身につけよう」で説明しており、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノート <ul style="list-style-type: none"> ・あとでふりかえったとき、授業の中でどんなことを考え、どんな筋道で問題を解決したのかがわかるようなノートを目指しましょう。 ・ノートには次のようなことを書こう。「学習した日」「目標」「問題」「自分の考え」「友だちの考え」「気づいたこと」「まとめ」「感想」 ○ レポート <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめたり伝えたりするために、レポートをつくってみましょう。レポートにまとめることで、学習したこと以外に新たな発見をしたり、疑問が生まれたりします。それこそが、本当の数学のおもしろさです。 <p><レポートの作成> ①興味や関心をもったことをテーマにしよう②資料の収集方法の計画を立てよう③資料を集め、整理して分析しよう④自分の考えを整理してまとめよう⑤レポートを発表し、コメントをもらおう⑥よりよいレポートに仕上げよう</p>	1	5	3
			2	4	3
			3	5	3

【数学】

教出	<p>○ 各学年の巻頭の「学習するにあたって」で、ノートづくり方を示している。また、その具体例として単元途中に「工夫してノートを書こう」のページを設け、生徒のノートを例示し、書き方の工夫について示している。各単元の章末、章の学習のふり返りに関する生徒のノートを例示している。また、第1学年3章には、アルファベットの筆記体を示している。</p> <p>○ 「レポートを書こう」として、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題や課題について、自分で考えたことを残しておく！」「気になる考えや大切な考えを書きとめよう！」「数学の表現を使おう！」「ふり返りやすくするために、レイアウトを工夫しよう！」 <p>○ レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをほかの人に伝えるために、レポートを書いてみましょう。 ①テーマを選んだ理由と目的②方法③結果④調べてわかったこと⑤感想 	1	11	1
			2	10	1
			3	11	1
啓林館	<p>○ 各学年の巻頭の「ノートをくふうして、学習に役立てよう」でノートづくり方を示している。「まとめよう」で、学んだことのまとめ方を例示しているところがある。また第1学年目次のページに教科書で使われるアルファベットと筆記体を示している。</p> <p>○ 第1学年「データの活用」で調査したことをレポートにまとめた具体例を示している。また、各学年の巻末「自分から学ぼう編」の中で、レポートの具体例を示している。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートには、黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、先生の説明やほかの人の発言でたいせつだと思ったこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。これらのことをノートにまとめると、知識や考えが整理され、理解が深まります。ここでは、いくつかのノートのとり方を紹介します。 <p>○ レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことや学んだことをレポートにまとめてみましょう。 ①考えた理由②考えた方法③考えた結果④感想・わかったこと⑤参考資料 	1	7	3
			2	3	2
			3	4	2
数研	<p>○ 各学年の巻頭で「ノートづくり方」を示している。「Note」で数学的な表現を書くときの具体的な注意点を示している。また、「調べよう」で、学んだ内容を深める活動を取り上げ、生徒のノートを例示している。</p> <p>○ 各学年の巻頭の「レポートを書こう」で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。第3学年「三平方の定理」で、レポートの題材となる例を挙げている。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学の学習では、前に学習したことを利用して新たな問題に取り組むことがあります。そのため、いつでもふりかえることができるようにノートをくふうして書いておくことが重要になります。 <p>○ レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたことをほかの人にわかりやすく伝えるために、レポートにまとめるという方法があります。日ごろからさまざまなことに興味・関心を持ち、数学で学んだことを使って考えることができそうなものをテーマにしてレポートを書いてみましょう。 ①テーマをさがす②資料を集める③アイディアを出す④考えを整理する⑤レポートを書く 	1	8	2
			2	4	2
			3	3	3
日文	<p>○ 各学年の巻頭で「ノートのくふう」を示している。巻末の「対話ノート」は、記入後にノートに貼れるようにしている。</p> <p>○ 各学年の巻末の「数学レポートをかこう」で生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。また、第1学年「データの活用」、第3学年「標本調査」で、調査の方法と、その調査をレポートにまとめた具体例を示している。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習をするときや、復習をしたいときには、ノートを見て、前に学んだことをふり返ることが大切です。そのためにも、自分のノートをくふうしてつくみましょう。 ・各自で学習をふり返って、次のようなことをかこう。 ①わかったこと②役に立った考え方③よさを感じたこと④生活との関わり⑤次にしたいこと、さらに調べたいことなど <p>○ レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや調べたことなどを、レポートにまとめてみましょう。 <p><レポートのかき方></p> <ul style="list-style-type: none"> ①課題を明確にする②調べた結果をかく③まとめや感想をかく 	1	5	5
			2	5	2
			3	5	4

【理科】

理 科

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい科学
4	大 日 本	理科の世界
11	学 図	中学校科学
17	教 出	自然の探究 中学校理科
61	啓 林 館	未来へひろがるサイエンス

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方	単元の導入における取扱い内容、単元の第1章・第1時における学習のねらいの提示までの流れ
		② 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	既習事項の取扱い方及び補充的な問題の設定
		③ 観察、実験の技能を習得させるための工夫	観察、実験における数・内容・手順・補足事項及び観察、実験における安全確保の状況
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫	学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等
		⑤ 科学的に探究する力の育成を図る工夫	探究の過程の示し方及びその具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元の配列の工夫	単元の配列、ページ総数
		⑦ 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫	ものづくりの数、補充的な観察・実験の数及び発展的な学習の取扱い数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い	巻頭・巻末における写真や資料等の内容と量
(オ)	言語活動の充実	⑨ 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫	観察、実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方とその具体例
		⑩ 科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫	レポートの数、作成の示し方及び話し合いや説明の学習活動の示し方

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方及び学習内容への入り方
方法	単元の導入における取扱い内容、 単元の第1章・第1時における学習のねらいの提示までの流れ

第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例		
単元の導入		単元の第1章・第1時における学習のねらいの提示までの流れ
取扱い内容	ページ数	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 強いアルカリ性の湖（タンザニア，ナトロン湖）の写真を掲載。「アルカリ性の湖や，炭酸飲料，電池，そして私たちの体の中など，私たちの身のまわりには，自然や人工物にかかわらず，イオンとよばれるものが多くふくまれている。このイオンとは，いったい何だろうか。ここでは，イオンとは何かをさぐり，イオンの利用について学んでいこう。」 ○ 「これまでに学んだこと」として，3点を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・水の電気分解（中2） ・酸性・アルカリ性・中性（小6） ・電流の流れと電子の流れ（中2） ○ 「この単元で学ぶこと」として，3点を示している。 <ul style="list-style-type: none"> 第1章 電流が流れる水溶液とイオンとの関係を調べよう。 第2章 酸性やアルカリ性の水溶液の性質とイオンの関係を調べよう。 第3章 電池のしくみとイオンとの関係を調べよう。 ○ 「つながる科学」として「物質をつくっているものは原子と分子だけ？」と問い，さらに「これまで，物質は原子や分子からできていることを学習しました。それでは物質を水に溶かすなどして，ばらばらにすると，原子や分子に分かれるのでしょうか。」という問いを示している。 	3
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島県霧島市の大浪池の写真を掲載。「水にはさまざまな物質が溶け，いろいろな化学変化が起こる。水溶液の性質と化学変化について学ぼう。」 ○ 「これまでに学習したこと」として，6点を示している。（写真もあり） <ul style="list-style-type: none"> ・物質は原子や分子でできている。（中学校2年） ・電流は電子の流れである。（中学校2年） ・電流から熱や光などがとり出せる。（中学校2年） ・水溶液には，酸性，アルカリ性および中性のものがある。（小学校6年） ・水溶液には，気体が溶けているものがある。（小学校6年） ・水溶液には，金属を変化させるものがある。（小学校6年） ○ 「これから学習すること」として，7点を示している。 <ul style="list-style-type: none"> 1章 水溶液とイオン <ul style="list-style-type: none"> ・電流が流れる水溶液 ・原子とイオン 2章 化学変化と電池 <ul style="list-style-type: none"> ・イオンへのなりやすさ ・電池とイオン ・いろいろな電池 3章 酸・アルカリとイオン <ul style="list-style-type: none"> ・酸 アルカリ ・中和と塩 	4

学 図	<p>○ 「水溶液の中の驚異」の一つとして、鍾乳洞の鍾乳石（イタリア）の写真を掲載。「水に溶けた炭酸カルシウムがふたたび結晶になることにより、鍾乳石が成長していく。」</p> <p>○ 「学びのあしあと」として「酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液を混ぜ合わせると何が起こりますか。図や文章で説明してみましょう。」の問いに対する解答を学習前後で比較させようとしている。</p> <p>○ 「ふり返ろう・つなげよう」として、次の5点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物質は、それ以上分割できない原子や、いくつかの原子が結びついた分子からできている。（中学校2年） ・ 回路を流れる電流の正体は、電源の一極から+極へ移動する電子の流れである。電流が流れる向きは、電子が移動する向きと逆である。（中学校2年） ・ 水を電気分解したとき、陰極側には水素が発生し、陽極側には酸素が発生する。$2H_2O \rightarrow 2H_2 + O_2$（中学校2年） ・ 水溶液は、リトマス紙の色の変り方で、酸性、中性、アルカリ性の3つに分けることができる。（小学校6年） <ul style="list-style-type: none"> 酸性…青色リトマス紙が赤色に変わる。 中性…青色リトマスも赤色リトマス紙も色が変わらない。 アルカリ性…赤色リトマス紙が青色に変わる。 ・ 塩酸に鉄やアルミニウムなどの金属を入れると、金属は溶けて気体が発生する。（小学校6年） 	2	<p>① 金属メッキの写真を掲載。</p> <p>② 本単元の第1章における「できるようになりたい目標」を、「どのように学びに向かうか」について4点、「どのような知識・技能を身につけるか」について5点、「理解していることをどのように使うか」について3点示している。</p> <p>③ 蒸留水、固体の塩化ナトリウム、塩化ナトリウム水溶液への通電実験の写真を掲載。※電源装置につないだ電極に水を入れても、電流は流れない。同じように固体の塩化ナトリウムも電流が流れない。塩化ナトリウム水溶液には電流が流れる。「これはどのようなしくみでしょうか。」</p> <p>④ 「見方」として「物質は原子の集まりでできている。電流は電子の流れである。」と示し、「考え方」として「電流が流れる水溶液と電子を関係づける。」と示している。</p> <p>⑤ 「電流が流れる水溶液には、何が関わっているか。原子や電子のモデルで説明する。」</p>
教 出	<p>○ 草津白根山の火口の湖の写真とその湖を水源とする川に石灰岩の粉末を投入している写真を掲載。「硫黄を多く含んだ草津白根山の火口にある湖やその周辺に水源をもつ川は、強い酸性を示す。このままでは川の水を生活に利用することができないため、石灰岩の粉末を水に混ぜて川に投入することで酸性を弱め、性質を改善している。水溶液の性質は、イオンとよばれるものと深い関係があるが、イオンとはいったい何だろうか。これから、水溶液の電気的な性質や酸・アルカリの性質の学習を通して、イオンとは何か調べていこう。」</p> <p>○ 「学んでいくこと」として、関連の深い既習内容を例示しながら3点を示している。</p> <p>1章 水溶液とイオン 「これまでの『原子・分子（中2）』『静電気と電流（中2）』などの学習を踏まえ、水溶液の電気的な性質について学習していきます。」</p> <p>2章 酸・アルカリとイオン 「これまでの『酸性、アルカリ性、中性（小6）』『金属を変化させる水溶液（小6）』などの学習を踏まえ、酸とアルカリの性質、酸とアルカリの反応について学習していきます。」</p> <p>3章 電池とイオン 「これまでの『金属を変化させる水溶液（小6）』『電気とそのエネルギー（中2）』『静電気と電流（中2）』などと1章の学習を踏まえ、金属イオン、電池の仕組みについて学習していきます。また電池の種類についても学習していきます。」</p>	2	<p>① 海の写真（沖縄県宮古島市）を掲載「海水は、地球上に存在する水のうち、97%ほどを占めている。この海水にはさまざまな物質がとけているが、その中にはイオンとよばれるものも含まれている。イオンとは一体どのようなものだろうか。これから、イオンの正体について調べていこう。」</p> <p>② 「これまでの学習」として「原子・分子（中2）」「静電気と電流（中2）」を再度提示。</p> <p>③ 「学習前の私」として「イオンとは、どのようなものなのだろうか？」と問うている。※本章の最後に「学習後の私」として同様の発問あり。</p> <p>④ 蒸留水、塩化ナトリウム（固体）、塩化ナトリウム水溶液の通電実験の写真の掲載。※蒸留水、固体の塩化ナトリウムには電流が流れない。しかし、塩化ナトリウム水溶液には電流が流れる。「このような現象は、どのような物質でも水にとかせば見られるのだろうか。」</p> <p>⑤ 「どのような物質でも、水溶液にすると電流が流れるのだろうか。」</p>

<p>啓 林 館</p>	<p>○ 乾電池2本で長い距離を泳ぐロボットの写真（広島県廿日市市厳島神社）を掲載。「電池は、手軽に電気エネルギーをとり出すことができるため、生活の中で広く利用されている。現在では、さまざまな用途に応じて、多くの種類の高性能な電池が開発されている。上の写真はわずか2本の単3形乾電池で動くロボットが、約3000mの遠泳に成功したときのようすである。電池から電気エネルギーがとり出されるとき、電池の中で起こる変化にはイオンが関係している。この単元では化学変化とイオンについて探究していこう。」</p> <p>○ 動画を見ることのできるQRコードを示している。</p> <p>○ 「学びの見通し」として、次の3点を示している。</p> <p>1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩</p> <p>○ 「学ぶ前にトライ！」として「亜鉛片をうすい塩酸に入れると、亜鉛片が小さくなり、最後には見えなくなった。亜鉛は水溶液の中でどのように変化し、どのような状態で存在しているのか。」という問いを示している。さらに、「学んだ後にリトライ！」として、学習後に再度解答することを促している。</p>	<p>2</p>	<p>① 蒸留水、塩化ナトリウム（固体）、塩化ナトリウム水溶液での通電実験の写真を掲載。※蒸留水や固体の塩化ナトリウムには電流が流れないが、塩化ナトリウム水溶液には電流が流れる。「どのようなちがいがいるのだろうか。」</p> <p>② 「つながる学び」として、次の4点を示している。※QRコードあり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属は電気を通す。（中1） ・水を電気分解すると水素と酸素に分解される。（中2） ・原子とは、化学変化でそれ以上分けることができない、物質をつくる粒子である。（中2） ・回路を流れる電流の正体は電子である。（中2） <p>③ 「思い出してみよう」として、水の電気分解を示している。「蒸留水には電流が流れないが、水酸化ナトリウムを蒸留水に加えると電流が流れるようになった。」</p> <p>④ 「どのような物質でも、水溶液にすると電流が流れるようになるのだろうか。」</p>
----------------------	---	----------	--

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②知識や概念の定着を図り，理解を深めるための工夫
方法	既習事項の取扱い方及び補充的な問題の設定

	既習事項		補充的な学習			
	取扱い方	具体例（第3学年「力の合成・分解」における既習事項の取扱い）	学年	単元末問題のページ数	補充的な問題の設定	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部に「これまでに学んだこと」という枠組を設けている。 ○ 各章の関連する内容の横に「これまでに学んだこと」、「(教科名)で学んだこと」という枠組を設けている。 	【これまでに学んだこと】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 力のはたらき（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・物体の形を変える。 ・物体の運動の状態を変える。 ・物体を支える。 ○ 力の表し方（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・力には，大きさ，向き，作用点の3つの要素がある。この3つの要素は力の矢印で表される。 【数学で学んだこと】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 平行四辺形の性質（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・2組の対辺がそれぞれ平行な四角形 	中理1年	1	14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に，基本的な内容を確認するための「学んだことをチェックしよう」，「例題」，「練習」，「確認」を設定している。 ○ 単元末に，「確かめと応用」とその「活用編」を補充的な問題として設定している。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 力のつり合い <ul style="list-style-type: none"> ・静止している物体にはたらく2力は，一直線上にあり，大きさが等しく，力の向きが逆向きである。 	中理1年	2	14	
		【これまでに学んだこと】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 力のつり合い <ul style="list-style-type: none"> ・静止している物体にはたらく2力は，一直線上にあり，大きさが等しく，力の向きが逆向きである。 	中数2年	3	15.5	
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組を設けている。 ○ 各章の関連する内容の横に「思い出そう」「つながる」という枠組を設けている。 	【これまでに学習したこと】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 物体に力が加わると，その物体が変形したり，動き出したり，運動のようすが変わったりする。 ○ 力は大きさと向きによって表される。 ○ 1つの物体に2つ以上の力が加わっていても物体が動かないとき，これらの力はつり合っているという。 【思い出そう】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 力の大きさの単位は，ニュートン（N）である。 ○ 力には3つの要素があり，これらは1本の矢印で表せる。（※図あり） ○ ばねの伸びは，加えた力の大きさに比例する。（※図あり） 	中理1年	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に，基本的な内容を確認するための「例題」，「演習」，「章末問題」を設定している。 ○ 単元末に，「単元末問題」と「読解力問題」を補充的な問題として設定している。 ○ 第3学年の巻末に，「学習のまとめ」（1年，2年，3年）を設定している。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 1つの物体に2つの力が加わってつり合っているとき，2つの力には次の関係が成り立つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・2つの力は，大きさが等しい。 ・2つの力は，一直線上にある。 ・2つの力は，向きが反対である。 	中理1年			
		【つながる】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 平行四辺形 <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合った2組の辺が平行な四角形を平行四辺形という。平行四辺形の向かい合った辺の長さは等しい。 	中理1年	3	17	

【理科】

学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部に「ふり返ろう・つなげよう」という枠組を設けている。 ○ 各章の関連する内容の横に「ふりかえり」「つながり」という枠組を設けている。 	<p>【ふり返ろう・つなげよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 力は、矢印の向き、矢印の長さ、作用点で表す。 ○ 物体に2力がはたらいてつり合うとき、2力は、一直線上にあり、向きが反対で、大きさが等しい。 ○ 物体に力がはたらくとき、その物体には、「変形する」、「運動のようすが変わる」、「支えられている」という現象がみられる。 ○ 力の大きさの単位をニュートン (N) という。また、100gの物体が受ける重力の大きさは約1Nである。 <p>【つながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平行四辺形の性質 (※図あり) <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合う辺が平行である。 ・向かい合う辺の長さが等しい。 	中理1年	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に、「学びを日常にいかしたら」を補充的な問題として設定している。
			中理1年	2	8	
			中数2年	3	8	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の「学んでいくこと」の中にこれまで学習した内容を示している。 ○ 各章の導入部に「これまでの学習」という枠組を設けている。 ○ 各章の関連する内容の近くに「思い出そう」「ブリッジ算数」「ブリッジ数学」という枠組を設けている。 	<p>【学んでいくこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの「力のはたらき」や「気象観測 (気圧)」の学習を踏まえ、水中の物体にはたらく圧力について学習していきます。さらに、いくつかの力がはたらくときの力のつりあいや力の合成・分解についても学習していきます。 <p>【これまでの学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「力のはたらき」力は大きさと向きによって表されることがや、力がつりあうときの条件について学習した。 <p>【ブリッジ算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和とは足し算をした値、差とは引き算をした値のことである。 	中理1年	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に、基本的な内容を確認するための「例題」、「練習」、「演習しよう」、「要点をチェック」を設定している。 ○ 単元末に、「基本問題」を補充的な問題として設定している。 ○ 巻末に、年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。
			中理1年	2	8	
			小算4年	3	9	
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の導入部や各章の関連する内容の横に「つながる学び」という枠組を設けている。 ○ 各章の関連する内容の横に「(教科名)と関連」という枠組を設けている。 	<p>【つながる学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 力のはたらき <ol style="list-style-type: none"> ①物体を変形させる。 ②物体の動き (速さや向き) を変える。 ③物体を支える。 ○ 力の表し方 <ul style="list-style-type: none"> ・力には、重力、弾性力、磁力、電気力、摩擦力、垂直抗力などがある。 ・力の大きさはニュートン (記号N) という単位で表す。 ・質量100gの物体にはたらく重力の大きさが約1Nである。 ・物体にはたらく力は、力の大きさ、力の向き、作用点 (力の三要素) を矢印を使って表す。(※図あり) ○ 力のつり合い <ul style="list-style-type: none"> ・1つの物体に2つの力がはたらいていて、その物体が静止しているとき、物体にはたらく力はつり合っている。 ・2力がつり合う条件 (※図あり) <ol style="list-style-type: none"> ①2力の大きさは等しい。 ②2力の向きは反対である。 ③2力は同一直線上にある (作用線が一致する)。 	中理1年	1	16	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に、基本的な内容を確認するための「例題」、「練習」、「基本のチェック」を設定している。 ○ 単元末に「力だめし」を補充的な問題として設定している。 ○ 巻末に、年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。また、第3学年の巻末に、「中学校総合問題」を設定している。
			中理1年	2	16	
			中理1年	3	18	

(注) 既習事項の具体例では、「力の合成・分解」に関連するもののみを挙げている。

(注) ページ数は、1ページ未満の場合、1/2ページとしてカウントしている。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③観察, 実験の技能を習得させるための工夫
方法	観察, 実験における数・内容・手順・補足事項及び観察, 実験における安全確保の状況

	学年	観察, 実験の数	第1学年「身のまわりの物質」における観察, 実験の内容	第1学年「蒸留」の実験での具体例	
				実験の手順及び補足事項	安全確保の状況
東書	1	25	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属と非金属のちがい ○ 密度による金属の区別 ○ 白い粉末の区別 ○ 二酸化炭素と酸素の性質 ○ 水にとけた物質をとり出す ○ ロウの状態変化と体積・質量の変化 ○ 混合物の分離 	① 混合物を熱して出てきた液体を集める ② 出てきた液体を調べる ③ 温度変化をグラフに表す 【補足事項】 ・温度計の球部は、枝の高さにして、出てくる蒸気(気体)の温度をはかる。 ・ガラス管の先が、たまった液の中に入らないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護眼鏡マーク ○ 換気マーク ○ 火のあつかいややけどに注意マーク ○ 試験管を入れかえるとき、ゴム管やガラス管が熱くなっているため、やけどに注意する。 ○ ガラス管が液の中に入っていないことを確認してから火を消す ○ 薬品のあつかいに注意マーク
	2	31			
	3	29			
大日本	1	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白い粉末の区別 ○ 身のまわりの気体の性質 ○ 液体⇄固体の状態変化 ○ 蒸留 ○ 再結晶 	① 赤ワインを加熱し、液体を集める。 ② 集めた液体の性質を調べる。 【補足事項】 ・試験管をかえるときはビーカーを横にすべらせるように。	<ul style="list-style-type: none"> ○ やけどに注意する。 ○ 保護眼鏡をかける。 ○ 換気する。 ○ 液体が逆流しないよう、ゴム管が液体に入っていないことを確認して火を消す。
	2	31			
	3	22			
学図	1	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物質を加熱して分類する ○ 未知の物質の物質名をつきとめる ○ 水溶液から溶質を取り出す ○ 酸素と二酸化炭素を発生させて区別する ○ 状態変化と体積, 質量の変化 ○ 水とエタノールの混合物を分ける 	① 混合物を加熱する ② 出てきた液体を集める ③ 出てきた液体を調べる 【補足事項】 ・温度計の先をガラス管の先にそろえて、出てくる気体の温度をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出てきた気体に火を近づけてはいけない。エタノールは火がつきやすい。 ○ ゴム管が熱くなっているため、軍手などで持つようにする。 ○ ガラス管の先が、たまった液の中に入らないようにする。 ○ ゴム管が熱くなっているため、試験管を入れかえるときは注意する。 ○ 手であおぐようにしてにおいをかく。
	2	29			
	3	25			

【理科】

教出	1	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白い物質の性質を調べる ○ 1円硬貨の密度を調べる ○ 酸素や二酸化炭素の性質を調べる ○ 水溶液から溶質を取り出す ○ 物質が状態変化するときの温度を調べる ○ 物質が状態変化するときの体積や質量の変化を調べる ○ 混合物を加熱して出てくる物質を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 混合物を加熱して、出てくる物質を集める ② 集めた液体の性質を調べる ③ 実験結果を表にまとめる <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出てくる蒸気の温度を測定するため、温度計の液だめの部分を枝の高さに調整する。 ・1本集めるごとに温度を測定する。 ・試験管を入れ替えるときは、軍手をつけて行うとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 室内換気マーク ○ 廃液処理マーク ○ 保護眼鏡マーク ○ エタノールは燃えやすいので、加熱中に出てくる物質や試験管に集めた液体をガスバーナーに近づけないように注意する。 ○ ガラス管やゴム管は熱くなっているため、試験管を入れ替えるときには、やけどをしないように十分注意する。 ○ 加熱しているときや、加熱するのをやめるときには、試験管に集めた液体にガラス管の先が入らないように十分注意する。 ○ においを調べるときには、深く吸いこまないように注意する。 ○ やけどをしないように注意する。
	2	25			
	3	23			
啓林館	1	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 謎の物質Xの正体 ○ 密度による物質の区別 ○ 酸素と二酸化炭素の発生とその性質 ○ 身のまわりのものから発生する気体 	<ul style="list-style-type: none"> ① 水とエタノールの混合物を加熱する ② 出てきた液体の性質を調べる <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度計の液だめは、枝の高さにして、出てくる蒸気の温度をはかる。 ・ガラス管の先が、たまった液体の中に入らないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護眼鏡マーク ○ 要換気マーク ○ 廃液処理マーク ○ 火気注意マーク ○ やけど注意マーク ○ 必ず保護眼鏡をかけて実験を行う。 ○ エタノールは引火しやすいので、加熱中は出てきた液体に火を近づけない。 ○ ガラス管が試験管の中の液体につかっていることを確認してから火を消す。 ○ ゴム管やガラス管は熱くなっているため、やけどに注意する。 ○ 長く、深く吸いこまない。 ○ 火が見えにくいので、やけどに注意する。
	2	28	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水にとけた物質のとり出し ○ エタノールが沸騰する温度 ○ 水とエタノールの混合物の加熱 		
	3	25			

(注) 各教科書において、次のように表記されているものを「観察、実験の数」としてカウントしている。

- ・東書「観察」「実験」「実習」「調査」
- ・大日本「観察」「実験」「観測」「実習」
- ・学図「探究」
- ・教出「観察」「実験」「実習」「観測」
- ・啓林館「観察」「実験」「実習」「観測」「調査」

【理科】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫
方法	学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等

	取扱い箇所 (コラム)	第1分野「身の回りの物質」		第2分野「いろいろな生物とその共通点」	
		学習内容	関連した読み物等	学習内容	関連した読み物等
東 書	「つながる科学」 「特設ページ」 「from Japan 世界につながる科学」	身のまわりの物質とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空にうかぶスカイラタン! ○ 身のまわりの金属の利用 ○ 人工的につくられた有機物 	生物の観察と分類のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物を分けた人 ○ 動物の「本当の姿」! 動物解説員のアドバイス
		気体の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 炭酸飲料のシュワシュワの正体 ○ 混ぜるな危険! ○ 身のまわりの気体と注意が必要な気体 ○ 気体の性質を防災に役立てる! 	植物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種子と孢子 ○ コンブやワカメは何のなかま?
		物質の姿と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石油の分留 ○ 蒸留の歴史 ○ アロマオイルのつくり方 	動物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ カール・フォン・リンネ物語 ○ ライオンとシマウマの目のつき方
		単元を通して	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬は結晶化が命! 	単元を通して	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私たちの生活とさまざまな生物 ○ 動物園から世界が見えてくる
大 日 本	「くらしの中の理科」 「Science Press」 「Professional」 「科学のあしあと」	いろいろな物質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身のまわりの金や銀の活用 ○ にせの王冠を見抜いたアルキメデス 	身近な生物の観察	<ul style="list-style-type: none"> ○ よび名が変わる魚
		気体の発生と性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ アルゴン ○ 酸素の発見 ○ 希ガスから貴ガスへ ○ とり扱いに注意が必要な身のまわりの気体 	植物のなかま	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種子の運ばれ方 ○ 石炭をつくった植物 ○ 種子と孢子のちがひ
		物質の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 凍った湖の中で生物が生活できる理由 ○ ドライアイスの状態変化 ○ 蒸発と沸騰 ○ 温度を表す2つの単位 ○ 鋳物 ○ 石油の精製 	動物のなかま	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体温を保つ ○ 体を再生する ○ 水族館ではたらく
		水溶液	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拡散 ○ 生活排水をきれいにする ○ 溶解のしくみ ○ 化学薬品と濃度 	単元を通して	<ul style="list-style-type: none"> ○ 牧野富太郎 ○ 万葉集から見る植物
		単元を通して	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピックの金メダル ○ 火山ガスの正体 		

【理科】

学 図	「なぜ理科を学ぶの？」 「問題発見」 「サイエンスカフェ」 「学び続ける理科マスター！」	粒子のモデルと物質の性質	○ 意外と身近にある有毒な気体	身近な生物の観察	○ 料理人もファッションデザイナーも、観察してスケッチする
		粒子のモデルと状態変化	○ 水と氷の体積変化は例外	単元を通して	○ 私たちは生物をどのようになかま分けしているのだろうか。 ○ 学び続ける理科マスター！
教 出	「ハローサイエンス」	いろいろな物質とその見分け方	○ 測定した値と真の値とのずれ		
		気体の性質	○ 飛行機のタイヤには窒素が充填されている！ ○ 「まぜるな危険」 ○ アルゴン ○ 有機物の気体	植物の体の共通点と相違点	○ いろいろな花 ○ 花粉の運ばれ方 ○ 種子の散布 ○ 分類学の父リンネ ○ 牧野富太郎とその業績
		水溶液の性質	○ 牛乳は水溶液か？ ○ 海水から塩を取り出す	動物の体の共通点と相違点	○ 草食動物と肉食動物の体のつくりとちがい ○ 無脊椎動物の分類
		物質の状態変化	○ 打ち水 ○ 石油の分留	生物の分類	○ コンピュータを使った検索
		単元を通して	○ “とかす” 性質の利用と水の関係	単元を通して	○ 植物か？動物か？
啓 林 館	「部活ラボ」 「お料理ラボ」 「防災減災ラボ」 「お仕事ラボ」 「深めるラボ」 「ひろがる世界」 「なるほど」	いろいろな物質とその性質	○ ドレッシングを振ってから使うのはなぜ？	植物の特徴と分類	○ 植物の種子を運ぶ動物たち ○ ダイコンの根はどこ？ ○ 海藻は何のなかま？ ○ 分類学の父 リンネ
		いろいろな気体とその性質	○ 火災を未然に防ぐ「ガス警報器」		動物の特徴と分類
		水溶液の性質	○ 牛乳は水溶液？ ○ 塩分のとりすぎにご注意を ○ 氷砂糖工場の見学に行こう！	動物の特徴と分類	
		物質のすがたとその変化	○ 氷山の一角 ○ 蒸発と沸騰 ○ こおらせたスポーツ飲料 ○ 石油からガソリンや灯油をとり出すには		単元を通して
単元を通して	○ 古くて新しいガラスの世界 ○ ガラスづくりのこだわり	単元を通して			

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤科学的に探究する力の育成を図る工夫
方法	探究の過程の示し方及びその具体例

	探究の過程の示し方	第2学年 第1分野 「電圧と電流の関係」における具体例
東 書	<p>○ 各学年の巻頭に「科学で調べていこう」として探究の過程を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 『「問題発見」レッツ スタート!』 ② 『「?」課題』 ③ 『「仮説」課題に対する自分の考えは?』 ④ 『「構想」調べ方を考えよう』 ⑤ 「観察」, 「実験」 ⑥ 「結果の見方/考察のポイント」, 『「分析解釈」考察しよう」, 『「検討改善」解決方法を考えよう』 ⑦ 『「!」課題に対する結論を表現しよう』 ⑧ 『「ふり返り」探究を振り返ろう」, 『「活用」学びをいかして考えよう』 <p>○ ページ下部に、「問題発見」, 「?」, 「構想」, 「分析解釈」等のキーワードで探究の過程のどの段階を学習しているかを示している。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 [「問題発見」] …手回し発電機の回す速さと電熱線に加わる電圧と電熱線を通る電流の大きさの関係 2 [「?」] …「回路に加える電圧と流れる電流の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」 3 [「構想」] …実験を計画する視点 4 [「実験」] …「抵抗器に加える電圧を変化させたときの抵抗器を通る電流の大きさを測定し、電圧と電流の関係を調べる。」 <ol style="list-style-type: none"> ① 回路をつくる ② 電圧を加えて電流を調べる ③ グラフをかく 5 [「結果の見方」] …結果の整理の視点 6 [「考察のポイント」, 「分析解釈」] …考察の視点 7 [「!」] …「課題に対して自分の考えをまとめよう。」
大 日 本	<p>○ 第1学年の巻末の「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「問題を見つけよう」 ② 「課題をつかもう」 ③ 「予想や仮説を立てよう」 ④ 「観察・実験の計画を立てよう」 ⑤ 「観察・実験をしよう」 ⑥ 「結果を整理しよう」 ⑦ 「結果をもとに考えよう」 ⑧ 「調べたことをまとめ、発表しよう」 <p>○ 「問題を見つけよう」, 「計画を立てよう」, 「結果から考えよう」, 「振り返ろう」等のマークの色を変えることで、重点を置く探究の過程を示している。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 [導入] …豆電球の種類と豆電球の明るさの関係 2 [「?」] …「回路の電流と電圧の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」 3 [「実験」] …「電熱線に加える電圧を変えたときの電流の大きさを調べる」 <ol style="list-style-type: none"> ① 回路を組み立てる。 ② 細い電熱線aを通る電流の大きさをはかる。 ③ 太い電熱線bを通る電流の大きさをはかる。 4 [「結果の整理」] …結果の整理の視点 5 [「結果から考えよう」] …考察の視点
学 図	<p>○ 各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「気づき」 ② 「課題設定」 ③ 「仮説」 ④ 「検証計画」 ⑤ 「観察・実験」 ⑥ 「結果」 ⑦ 「考察」 ⑧ 「ふり返り」 ⑨ 「伝える」 ⑩ 「次の気づき」 <p>○ 「問題発見」, 「しっかり仮説」, 「しっかり計画」, 「しっかりふり返り」等のキーワードで探究の過程の重点を示している。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 [「気づき」] …豆電球と乾電池の回路とその回路に抵抗器を入れたときの回路における豆電球の明るさ 2 [「課題」] …「抵抗器にかける電圧の大きさと、流れる電流の大きさには、どのような関係があるのか。それを調べるために、どのような実験を行えばよいか。」 3 [「仮説」] …『「電流の流れにくさ」ということは、電圧と逆のはたらきなのかな。」「電池を2つ直列につないだら、きっと豆電球は明るくなるよね。これが電圧と電流の関係じゃないかな?』 4 [「計画」] …実験を計画する視点 5 [「実験」] <ol style="list-style-type: none"> ① 回路をつくる ② 電圧と電流の大きさをはかる ③ 抵抗器を取りかえる 6 [「結果」] …結果の整理の視点 7 [「考察」] …考察の視点 8 [「ふり返り」] …振り返りの例

【理科】

<p>教出</p>	<p>○ 各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「疑問を見つける」 ② 「課題を決める」 ③ 「仮説を立てる」 ④ 「計画を立てる」 ⑤ 「観察する」, 「実験する」 ⑥ 「考察する」 ⑦ 「結論を示す」 ⑧ 「さらに, 新たな疑問を見つける」 <p>○ 「疑問から探究してみよう」を各単元に設定し探究の進め方に沿った学習活動を示している。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 [「疑問を見つける」] …乾電池の数と豆電球の明るさやモーターの回る速さの関係 2 [「課題を決める」] …「抵抗の両端に加わる電圧と電流の間にはどのような関係があるのだろうか」 3 [「仮説を立てる」] …「抵抗の両端に加わる電圧と電流にはどのような関係があるか, これまでに調べてきたことをもとに仮説を立てよう。」 4 [「計画を立てる」]…実験を計画する視点 5 [「実験してみる」] …「電熱線に加わる電圧と流れる電流の大きさとの関係を調べる」 <ol style="list-style-type: none"> ① 電熱線 a について調べる ② 電熱線 b について調べる 6 [「結果」] …結果の整理の視点 7 [「考察する」] …考察の視点 8 [「結論を示す」] …「抵抗に流れる電流の大きさは, 抵抗に加わる電圧に比例する。」
<p>啓林館</p>	<p>○ 各学年の巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「疑問」 ② 「課題」 ③ 「仮説」 ④ 「計画」 ⑤ 「観察」, 「実験」 ⑥ 「結果」 ⑦ 「考察」 ⑧ 「表現」 <p>○ 各単元の1か所に「探Q実験」を設定し, 巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで, 探究の過程に沿った学習活動が行えるようにしている。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 [導入] …乾電池の数と豆電球の明るさの関係 2 [「?」] …「電流の大きさと電圧の大きさには, どのような関係があるのだろうか。」 3 [「考えてみよう (予想)」] …「電圧を2倍, 3倍, …とだんだん大きくすると, 流れる電流はどのようになるだろうか。」 4 [「実験」] …「抵抗器に加える電圧を変化させたときに流れる電流を測定し, 電圧と電流の間の規則性を調べる。」 <ol style="list-style-type: none"> ① 回路をつくる ② 抵抗器アについて調べる ③ 抵抗器イについて調べる 5 [「結果」] …結果の整理の視点 6 [「考察」] …考察の視点 7 [「探究のふり返り」]…振り返りの視点

【理科】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元の配列の工夫
方法	単元の配列, ページ総数

学年		1		2		3	
東 書	単元の配列	1 いろいろな生物とその共通点 2 身のまわりの物質 3 身のまわりの現象 4 大地の変化	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 生物のからだのつくりとはたらき 3 天気とその変化 4 電気の世界	1分野 2分野 2分野 1分野	1 化学変化とイオン 2 生命の連続性 3 運動とエネルギー 4 地球と宇宙 5 地球と私たちの未来のために	1分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	270+付録		318+付録		334+付録	
大 日 本	単元の配列	1 生物の世界 2 物質のすがた 3 身近な物理現象 4 大地の変化	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 生物の体のつくりとはたらき 3 電流とその利用 4 気象のしくみと天気の変化	1分野 2分野 1分野 2分野	1 運動とエネルギー 2 生命のつながり 3 自然界のつながり 4 化学変化とイオン 5 地球と宇宙 6 地球の明るい未来のために	1分野 2分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	294		318		374	
学 図	単元の配列	1 動植物の分類 2 身のまわりの物質 3 身のまわりの現象 4 大地の活動	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 動植物の生きるしくみ 3 電流とそのはたらき 4 天気とその変化	1分野 2分野 1分野 2分野	1 運動とエネルギー 2 生物どうしのつながり 3 化学変化とイオン 4 地球と宇宙 5 自然・科学技術と人間	1分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	272+付録		288+付録		280+付録	
教 出	単元の配列	1 いろいろな生物とその共通点 2 身のまわりの物質 3 大地の成り立ちと変化 4 光・音・力	2分野 1分野 2分野 1分野	1 化学変化と原子・分子 2 生物の体のつくりとはたらき 3 気象とその変化 4 電気の世界	1分野 2分野 2分野 1分野	1 化学変化とイオン 2 生物の連続性 3 地球と宇宙 4 運動とエネルギー 5 自然環境や科学技術と私たちの未来	1分野 2分野 2分野 1分野 1・2分野
	ページ総数	314+付録		334+付録		370+付録	
啓 林 館	単元の配列	1 いろいろな生物とその共通点 2 活きている地球 3 身のまわりの物質 4 光・音・力による現象	2分野 2分野 1分野 1分野	1 生物の体のつくりとはたらき 2 地球の大気と天気の変化 3 化学変化と原子・分子 4 電流とその利用	2分野 2分野 1分野 1分野	1 生命の連続性 2 宇宙を覗く 3 化学変化とイオン 4 運動とエネルギー 5 自然と人間	2分野 2分野 1分野 1分野 1・2分野
	ページ総数	300+付録		316+付録		348+付録	

(注) 「第1分野」を「1分野」, 「第2分野」を「2分野」として表記している。

(注) ページ総数については, 表表紙の裏を1ページ目とする。裏表紙の裏を最後のページとする。付録は数えない。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦ 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫
方法	ものづくりの数, 補充的な観察・実験の数及び発展的な学習の取扱い数

	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数					発展マークのついた数	発展的な学習							
			エネルギー	粒子	生命	地球	計		発展的な学習の取扱い数							
										エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	
東書	1	6	8	10	6	8	32	13								
	2	6	13	9	13	4	39	26	1年	4	2	6	1		13	
	3	8	9	9	5	10	33	31	2年	7	7	10	2		26	
									3年	3	7	14	6	1	31	
									※ 巻末に掲載の第1学年「水圧の変化と魚の活動について調べてみよう」、第2学年「光の色と光合成の関係を調べてみよう」、第3学年「花粉管ののび方は条件によって変わるか調べてみよう」は「生命」でカウントした。							
大日本	1	6	11	11	6	7	35	19		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	
	2	7	11	10	14	9	44	28	1年	7	5	2	5		19	
	3	3	11	5	10	8	34	39	2年	5	13	8	2		28	
									3年	7	10	6	10	6	39	
									※ 第3学年の単元3の「自然界のつながり」は、「総合」でカウントした。							
学図	1	2	4	6	4	4	18	12		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	
	2	2	4	4	9	4	21	11	1年	2	1	4	5		12	
	3	1	8	3	2	2	15	13	2年	4	2	2	3		11	
									3年	1	6	2	1	3	13	
									※ 第3学年の単元3の第3章「生態系」は、「総合」でカウントした。							
教出	1	3	16	8	10	5	39	17		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	
	2	4	16	7	7	12	42	29	1年	3	4	4	6		17	
	3	3	12	5	4	6	27	32	2年	8	10	7	4		29	
									3年	5	8	11	7	1	32	
									※ 巻末に掲載の第2学年「原子量の基準」は「粒子」でカウントした。第3学年「DNAをとり出してみよう」は「生命」でカウントした。							
啓林館	1	6	10	16	9	9	44	19		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	
	2	5	11	11	14	12	48	23	1年	3	6	5	5		19	
	3	5	9	11	6	7	33	27	2年	4	6	6	7		23	
									3年	3	10	8	3	3	27	

(注) 「補充的な観察・実験の数」は、視点③以外で、トピックや図で扱われている観察・実験の数をカウントしている。

(注) 発展的な学習の取扱い数は、各教科書が「発展」マークで示したものをのみをカウントしている。

【理科】

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑧科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い
方法	巻頭・巻末の資料の内容と量

	巻頭の内容 (第1学年)	ページ数	巻末の内容 (第3学年)	ページ数
東書	○ 「ある中学生の1日を見てみると」として毎日の生活の中にある科学について写真とともに示している。	4	○ 理科室の決まり, 薬品のとりあつかいの注意, 科学であつかう量の測定と表し方	2
	○ 探究の流れと教科書の使い方についての説明	2	○ 基礎操作	2
	○ 科学の有用性, 議論の進め方, 発表の仕方についての説明	2	○ 理科の学習を深めよう	1
	○ 目次	1	○ 科学史年表	2
	○ インターネットを活用した学習の紹介, 教科書で使われているマークの説明	1	○ 索引	1
	○ 理科室の決まり	2	○ 発展的な学習内容の一覧表, 確かめと応用の解答	3
	計	12	計	16
大日本	○ 象の写真と獣医師の紹介文	2	○ 自由研究にチャレンジしよう!	2
	○ 目次	2	○ 行ってみよう! 科学館・博物館, 科学館ではたらく人のインタビュー	2
	○ 「理科の学習の進め方」として教科書の使い方と教科書で使われているマークの説明	2	○ 学習のまとめ (1年~3年)	14
	○ 理科室の決まり	2	○ 理科室のきまり	2
			○ 基本操作	4
			○ つながる理科の学習と算数・数学	2
			○ 周期表	2
			○ ノーベル賞	1
			○ 章末問題・単元末問題解答	3
			○ 学習のまとめ解答	3
			○ 索引	2
			○ 科学のあゆみ	2
	計	8	計	39
学図	○ 馬渡川のサクラ並木の写真(山形県鶴岡市)	2	○ 資料 学校外で調べよう!(日本国内の動物園, 植物園, 科学館, 博物館, 水族館等を紹介)	6
	○ 目次	1	○ 索引, 単元末問題解答	2
	○ 「なぜ理科を学ぶの?」として, 科学の有用性について図や写真を用いて紹介	5	○ オーロラの写真(アメリカ合衆国)	1
	○ 単元で学習する内容や身につく力について紹介	2	○ 学びの交換(付録)	2
	○ 理科の学び方について説明	2		
	○ 探究の進め方の説明	2		
	○ 授業を受けるコツの説明(ノートのとり方, レポートの書き方, 発表の仕方等)	2		
	○ 実験室の使い方	1		
	○ 自由研究についてのインタビュー	1		
	○ 主体的・対話的に, 深く学ぶことの説明	2		
	○ 教科書の使い方, 学習の流れ, マークの説明	4		
	計	24	計	11

【理科】

教出	○ 目次, マークの説明	2	○ 学年末総合問題	4
	○ 自然の探究～なぜ理科を学ぶのか～, 科学者列伝	2	○ 自由研究	2
	○ 探究の進め方の説明	5	○ 巻末資料 (校外施設の紹介)	2
	○ レポートの書き方	1	○ 基礎技能	10
	○ 理科室のきまりと応急処置の説明	1	○ 教科書に記載されている主な物質・試薬の一覧	1
			○ 理科で使う算数・数学, 単位について	2
			○ 探究の歴史	2
			○ ノーベル賞を受賞した日本人科学者	1
			○ 周期表	2
			○ 問題の解答例	2
			○ 索引	2
			○ 基礎技能の一覧等	1
			○ 星座早見を作ろう (付録)	2
			○ 第3学年で学習した内容と高等学校で学習する内容との関連	2
	計	11	計	35
啓林館	○ アンテロープ・キャニオンの写真(アメリカ)	2	○ 学年末総合問題	2
	○ 探究の過程の説明	2	○ 中学校総合問題	2
	○ この教科書の使い方, マークの説明	2	○ サイエンス資料 (探究もフェアプレイで, 自由研究テーマ例, スマートグリッドのしくみとプログラミング, 南海トラフでの地震に向けて, 理科でよく使う算数・数学, 近代科学・技術の発展, 歴代のノーベル賞受賞者年表, 教科書に登場するおもな物質や薬品の性質)	12
	○ 目次	2	○ 解答と解説	3
			○ 索引	2
			○ 探Qシートの使い方, 探究の流れとふり返り	2
			○ 探Qシート(付録)	8
			○ 未来へひろがるサイエンス	2
	計	8	計	33

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨ 観察, 実験を計画する学習活動, 結果を分析し解釈する学習活動の工夫
方法	観察, 実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方とその具体例

東書	<p>観察, 実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方</p> <p>○ 「構想 調べ方を考えよう」等により, 観察, 実験を計画する視点を, 「結果の見方」, 「考察のポイント」, 「分析解釈して考察しよう」等により, 分析・解釈する視点を示している。</p>	<p>第2学年「唾液の働き」の実験における計画の視点の具体例</p> <p>【計画の視点】</p> <p>○ だ液により消化が起こることを確認するには, どのような実験をしたらよいだろうか。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ どんな実験をすればよいだろうか。対照実験をしっかりと考えてみよう。</p> <p>○ デンプンから麦芽糖への変化が, 水によるものではなく, だ液によって起きたことを確かめるために, だ液をふくむ水と同量の, だ液をふくまない水を用いて, 同じ条件で実験を行い, 比べることが必要である。</p>	<p>第2学年「電力の違いによって発生する熱量の違い」の実験における考察の視点, 表やグラフの例示の具体例</p> <p>【考察の視点】</p> <p>○ 電熱線に電流を流す時間が長くなると, 水の上昇温度はどうか。</p> <p>○ 電力が一定のとき, 電熱線に電流を流す時間と水の上昇温度には, どのような関係があるといえるか。</p> <p>○ 電熱線の電力の値が大きくなると, 水の上昇温度はどうか。</p> <p>○ 電熱線に電流を流す時間が一定のとき, 電熱線の電力と水の上昇温度には, どのような関係があるといえるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1"> <tr> <td>電力(電圧×電流)</td> <td colspan="5">3W</td> <td colspan="5">6W</td> <td colspan="5">9W</td> </tr> <tr> <td>時間(分)</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>水温(℃)</td> <td>15.9</td><td>17.3</td><td>17.9</td><td>18.3</td><td>18.7</td><td>19.1</td> <td>17.0</td><td>17.3</td><td>18.6</td><td>18.4</td><td>20.2</td><td>20.9</td> <td>16.6</td><td>18.3</td><td>17.2</td><td>18.4</td><td>19.6</td><td>20.7</td> </tr> <tr> <td>上昇温度(℃)</td> <td>0</td><td>0.4</td><td>0.9</td><td>1.4</td><td>1.8</td><td>2.2</td> <td>0</td><td>0.3</td><td>1.6</td><td>2.4</td><td>3.9</td> <td>0</td><td>1.2</td><td>2.6</td><td>3.9</td><td>5.0</td><td>6.1</td> </tr> </table> <p>【グラフの例示】…2種類</p> <p>① 縦軸: 上昇温度 [℃], 横軸: 時間 [分]</p> <p>② 縦軸: 上昇温度 [℃], 横軸: 電力 [W]</p>	電力(電圧×電流)	3W					6W					9W					時間(分)	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	水温(℃)	15.9	17.3	17.9	18.3	18.7	19.1	17.0	17.3	18.6	18.4	20.2	20.9	16.6	18.3	17.2	18.4	19.6	20.7	上昇温度(℃)	0	0.4	0.9	1.4	1.8	2.2	0	0.3	1.6	2.4	3.9	0	1.2	2.6	3.9	5.0	6.1
電力(電圧×電流)	3W					6W					9W																																																																
時間(分)	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5																																																									
水温(℃)	15.9	17.3	17.9	18.3	18.7	19.1	17.0	17.3	18.6	18.4	20.2	20.9	16.6	18.3	17.2	18.4	19.6	20.7																																																									
上昇温度(℃)	0	0.4	0.9	1.4	1.8	2.2	0	0.3	1.6	2.4	3.9	0	1.2	2.6	3.9	5.0	6.1																																																										
大日本	<p>○ 「計画を立てよう」等により, 観察, 実験を計画する視点を, 「結果の整理」, 「結果から考えよう」等により, 分析・解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ デンプンに対するだ液のはたらきを調べる計画を立てよう。</p> <p>○ デンプンについて調べるための方法を知る。</p> <p>○ ヨウ素液とベネジクト液を使って, だ液がデンプンを変化させるのかを調べる実験を考える。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ どんな実験にすればよいか, 左の表を参考に対照実験の考え方を踏まえて計画してみよう。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ 電流を流した時間と熱量には, どのような関係があると考えられるか。</p> <p>○ 電力の大きさと熱量には, どのような関係があると考えられるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1"> <tr> <td>時間(分)</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度(℃)</td> <td>13.8</td><td>14.0</td><td>14.3</td><td>14.7</td><td>15.0</td><td>15.3</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度(℃)</td> <td>0</td><td>0.2</td><td>0.5</td><td>0.9</td><td>1.2</td><td>1.5</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1班</td><td>2班</td><td>3班</td><td>4班</td> </tr> <tr> <td>電圧[V]</td> <td>3.0</td><td>4.0</td><td>5.0</td><td>6.0</td> </tr> <tr> <td>電流[A]</td> <td>0.72</td><td>1.00</td><td>1.23</td><td>1.49</td> </tr> <tr> <td>電力[W]</td> <td>2.2</td><td>4.0</td><td>6.2</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>5分後の水の上昇温度(℃)</td> <td>1.5</td><td>2.4</td><td>3.6</td><td>5.0</td> </tr> </table> <p>【グラフの例示】…2種類</p> <p>① 縦軸: 水の上昇温度 [℃], 横軸: 電流を流した時間 [分]</p> <p>② 縦軸: 5分後の水の上昇温度 [℃], 横軸: 電力 [W]</p>	時間(分)	0	1	2	3	4	5	水の温度(℃)	13.8	14.0	14.3	14.7	15.0	15.3	水の上昇温度(℃)	0	0.2	0.5	0.9	1.2	1.5		1班	2班	3班	4班	電圧[V]	3.0	4.0	5.0	6.0	電流[A]	0.72	1.00	1.23	1.49	電力[W]	2.2	4.0	6.2	8.9	5分後の水の上昇温度(℃)	1.5	2.4	3.6	5.0																										
時間(分)	0	1	2	3	4	5																																																																					
水の温度(℃)	13.8	14.0	14.3	14.7	15.0	15.3																																																																					
水の上昇温度(℃)	0	0.2	0.5	0.9	1.2	1.5																																																																					
	1班	2班	3班	4班																																																																							
電圧[V]	3.0	4.0	5.0	6.0																																																																							
電流[A]	0.72	1.00	1.23	1.49																																																																							
電力[W]	2.2	4.0	6.2	8.9																																																																							
5分後の水の上昇温度(℃)	1.5	2.4	3.6	5.0																																																																							

<p>学 図</p>	<p>○ 「計画」等により、観察、実験を計画する視点を、「結果」「結果」の見方・考え方、「考察」「考察」の見方・考え方」等により、分析・解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ デンプンがあるかないかはヨウ素液を使えばわかるよ。麦芽糖などができたことは、確かめなくていいのかな？</p> <p>○ ベネジクト液という試薬を使うと、麦芽糖などがあるかをしらべることができます。</p> <p>○ 変える条件とそろえる条件を整理しよう。</p> <p>○ (あなたの計画)</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ この実験で水だけを加えた試験管を準備したのはなんでだっけ？</p> <p>○ 水だけの試験管は「対照実験」です。もし対照実験がなかったら、デンプンを変化させた原因は「だ液だといえません。だ液は関係なく、だ液の中の水だけでデンプンが変化するという考察もできてしまいます。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ Aの実験を行った結果の表をグラフにする。また、Bの実験を行った結果の表から、どのようなグラフがえがけるか。</p> <p>○ Aの実験を行った班のグラフと、Bの実験を行った班のグラフをもとに、電力、時間、水の上昇温度の関係を求められるか。</p> <p>※ Aの実験は、電力を一定にして水の温度を調べる実験、Bの実験は、時間を一定にして水の温度を調べる実験である。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1" data-bbox="831 568 1385 748"> <tr> <td>電圧 [V]</td> <td>6</td> <td>電流 (A)</td> <td>3.06</td> <td>電力 (W)</td> <td>18.36</td> </tr> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 [°C]</td> <td>24.8</td> <td>27.3</td> <td>29.9</td> <td>32.6</td> <td>35.3</td> <td>37.9</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 [°C]</td> <td>0</td> <td>2.5</td> <td>5.1</td> <td>7.8</td> <td>10.5</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>電力 [W]</td> <td>4.65</td> <td>9.27</td> <td>18.36</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水の温度 [°C]</td> <td>24.8</td> <td>24.3</td> <td>24.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5分間の水の上昇温度 [°C]</td> <td>2.9</td> <td>6.5</td> <td>13.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【グラフの例示】…2種類</p> <p>①縦軸：水の上昇温度 [°C]，横軸：時間 [分]</p> <p>②縦軸：水の上昇温度 [°C]，横軸：電力 [W]</p>	電圧 [V]	6	電流 (A)	3.06	電力 (W)	18.36	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 [°C]	24.8	27.3	29.9	32.6	35.3	37.9	水の上昇温度 [°C]	0	2.5	5.1	7.8	10.5	13.1	電力 [W]	4.65	9.27	18.36				水の温度 [°C]	24.8	24.3	24.8				5分間の水の上昇温度 [°C]	2.9	6.5	13.1																		
電圧 [V]	6	電流 (A)	3.06	電力 (W)	18.36																																																													
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度 [°C]	24.8	27.3	29.9	32.6	35.3	37.9																																																												
水の上昇温度 [°C]	0	2.5	5.1	7.8	10.5	13.1																																																												
電力 [W]	4.65	9.27	18.36																																																															
水の温度 [°C]	24.8	24.3	24.8																																																															
5分間の水の上昇温度 [°C]	2.9	6.5	13.1																																																															
<p>教 出</p>	<p>○ 「計画を立てる」等により、観察、実験を計画する視点を、「結果」「考察する」等により、分析・解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ デンプンが唾液によって何に変わっているのか、仮説を確かめる方法を考えよう。</p> <p>○ ヨウ素液やベネジクト液の変化からわかることを整理して、実験の方法を考え、自分の仮説のとおりなら、どのような結果になるかを予測しよう。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ 本当に唾液のはたらきで変化しているかどうかを明確にするためには、光合成について調べたときのように対照実験が必要なのは。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ 電流を流した時間と水の上昇温度との間には、どのような関係があるといえるか。</p> <p>○ 電力と水の上昇温度との間には、どのような関係があるといえるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1" data-bbox="831 1077 1358 1285"> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 [°C]</td> <td>19.6</td> <td>20.0</td> <td>20.5</td> <td>21.0</td> <td>21.5</td> <td>22.1</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 [°C]</td> <td>0</td> <td>0.4</td> <td>0.9</td> <td>1.4</td> <td>1.9</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 [°C]</td> <td>19.7</td> <td>20.5</td> <td>21.1</td> <td>22.1</td> <td>22.8</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 [°C]</td> <td>0</td> <td>0.8</td> <td>1.7</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 [°C]</td> <td>19.5</td> <td>21.0</td> <td>22.6</td> <td>24.2</td> <td>25.8</td> <td>27.5</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 [°C]</td> <td>0</td> <td>1.5</td> <td>3.1</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>8.0</td> </tr> </table> <p>【グラフの例示】…2種類</p> <p>①縦軸：水の上昇温度 [°C]，横軸：時間 [分]</p> <p>②縦軸：水の上昇温度 [°C]，横軸：電力 [W]</p>	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 [°C]	19.6	20.0	20.5	21.0	21.5	22.1	水の上昇温度 [°C]	0	0.4	0.9	1.4	1.9	2.5	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 [°C]	19.7	20.5	21.1	22.1	22.8	23.7	水の上昇温度 [°C]	0	0.8	1.7	2.4	3.1	4.0	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 [°C]	19.5	21.0	22.6	24.2	25.8	27.5	水の上昇温度 [°C]	0	1.5	3.1	4.7	6.3	8.0
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度 [°C]	19.6	20.0	20.5	21.0	21.5	22.1																																																												
水の上昇温度 [°C]	0	0.4	0.9	1.4	1.9	2.5																																																												
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度 [°C]	19.7	20.5	21.1	22.1	22.8	23.7																																																												
水の上昇温度 [°C]	0	0.8	1.7	2.4	3.1	4.0																																																												
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度 [°C]	19.5	21.0	22.6	24.2	25.8	27.5																																																												
水の上昇温度 [°C]	0	1.5	3.1	4.7	6.3	8.0																																																												
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 「計画」等で観察、実験を計画する視点を、「結果」「考察」等により、分析・解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ 仮説を確かめるためには、どのような実験を行えばよいか。結果の予想もしてみよう。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ どのような条件を変えて比較するのか。そろえておく条件は何か。</p> <p>○ p.21のように、調べたい条件以外を同じにする対照実験を意識して、とり組む必要があるね。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ 電熱線の発熱量は何によって決まるといえるか。</p> <p>○ 電熱線の発熱量は、1とどのような関係にあるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1" data-bbox="831 1514 1342 1812"> <tr> <td>電圧 [V]</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>電流 [A]</td> <td>0</td> <td>0.48</td> <td>0.97</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>電力 [W]</td> <td>0</td> <td>1.44</td> <td>5.82</td> <td>13.05</td> </tr> <tr> <td>水温 [°C]</td> <td>21.4</td> <td>21.8</td> <td>23.2</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>温度上昇 [°C]</td> <td>0</td> <td>0.4</td> <td>1.8</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>水温 [°C]</td> <td>21.4</td> <td>22.0</td> <td>22.7</td> <td>23.3</td> </tr> <tr> <td>温度上昇 [°C]</td> <td>0</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>水温 [°C]</td> <td>23.9</td> <td>24.5</td> <td>25.0</td> <td>25.7</td> </tr> <tr> <td>温度上昇 [°C]</td> <td>2.5</td> <td>3.1</td> <td>3.6</td> <td>4.3</td> </tr> </table> <p>【グラフの例示】…2種類</p> <p>①縦軸：温度上昇 [°C]，横軸：電力 [W]</p> <p>②縦軸：温度上昇 [°C]，横軸：時間 [分]</p>	電圧 [V]	0	3	6	9	電流 [A]	0	0.48	0.97	1.45	電力 [W]	0	1.44	5.82	13.05	水温 [°C]	21.4	21.8	23.2	25.0	温度上昇 [°C]	0	0.4	1.8	3.6	時間 (分)	0	1	2	3	水温 [°C]	21.4	22.0	22.7	23.3	温度上昇 [°C]	0	0.6	1.3	1.9	時間 (分)	4	5	6	7	水温 [°C]	23.9	24.5	25.0	25.7	温度上昇 [°C]	2.5	3.1	3.6	4.3								
電圧 [V]	0	3	6	9																																																														
電流 [A]	0	0.48	0.97	1.45																																																														
電力 [W]	0	1.44	5.82	13.05																																																														
水温 [°C]	21.4	21.8	23.2	25.0																																																														
温度上昇 [°C]	0	0.4	1.8	3.6																																																														
時間 (分)	0	1	2	3																																																														
水温 [°C]	21.4	22.0	22.7	23.3																																																														
温度上昇 [°C]	0	0.6	1.3	1.9																																																														
時間 (分)	4	5	6	7																																																														
水温 [°C]	23.9	24.5	25.0	25.7																																																														
温度上昇 [°C]	2.5	3.1	3.6	4.3																																																														

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩科学的な概念を使用して考えたり，説明したりする活動の工夫
方法	レポートの数，作成の示し方及び話し合いや説明の学習活動の示し方

	レポートの数，作成の示し方			話し合いや説明の学習活動の示し方
	学年	数	レポート作成の示し方	
東書	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で観察・実験の基礎操作として「レポートの書き方」の具体例を示している。項目として、「タイトル」「実施した人や実施日の情報」「目的」「準備した物」「方法」「結果」「考察」を示している。 ○ 第2学年，第3学年に「私のレポート」としてレポートの具体例を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭に、「考えが異なったら，考えを言葉にして議論しよう」を設定し，「議論の進め方」として6点，「議論のポイント」として4点の視点を示している。 ○ 各学年の巻頭に，「伝わる言葉にしよう 発表のしかた」を設定し，第1学年，第2学年では，「みんなの前で発表するときのこつ」として3点，「プレゼンテーション資料を作るときのこつ」として3点，「情報収集のこつと参考文献」として2点，第3学年では3点の視点を示している。 ○ 第3学年「生命の連続性」単元における話し合いの具体例【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「上の図の考え方だとこの細胞の染色体の数は親よりも多くなるね。」 「親と子の染色体の数はいっしょのはずでしょ?」 「ということは，生殖細胞の染色体の数は……。」
	2	4		
	3	6		
大日本	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の巻末に，「ノートやレポートの書き方」を設定し，「観察・実験ノートの書き方」を示している。項目として，「観察や実験のテーマ」「実験日，天気，氏名など」「目的」「予想や仮説」「準備」「方法」「結果」「考察」を示している。 ○ 第1学年の巻末に，「レポートの書き方」として，の具体的なレポートの例を示している。 ○ 第1学年，第3学年に「私のレポート」として，レポートの具体例を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の巻末に，「探究の進め方」を設定し，「結果をもとに考えよう」において，「話し合いのしかた」として5点，「発表のしかた」として3点の視点を示している。また，「調べたことをまとめ，発表しよう」において，3つの手順を示している。 ○ 「話し合おう」というキーワードを用いて，話し合い活動を設定している。 ○ 第3学年「生命のつながり」単元における話し合いの具体例【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「割りばしを『減数分裂』とって，割ったから，割りばしは…」 「その後，割った割りばしを同時にとり出したのは何を表していたのかな。」 「1班の結果で丸としわの比を表したとき，計算では，2.846…：1になっていたね。」 「ほぼ3：1としたんだよね。クラス全体の計算ではどうだったかな。」 「もし，3回だけで結果を出していたら，どういう結果になっていたかな。」
	2	0		
	3	1		

【理科】

学 図	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の観察・実験の2か所には、基本操作として「レポート・ノートのかき方」の具体例を示している。観察レポートの項目として、「目的」「準備」「方法」「結果」「考察」を示している。実験レポートの項目として「課題」「仮説」「準備」「方法」「結果」「考察」「ふり返し」を示している。他にもレポートのはじめには「観察(実験)のテーマ、観察(実験)日、天気、気温、学年・組名前」を書くように示している。 ○ 各学年の巻頭においても「レポートのかき方」を示している。 ○ 各学年で、「実験レポート」等として、レポートの具体例を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭に、「発表のしかた」を設定し、第1学年では5点、第2学年、第3学年では2点の視点を示すとともに、「発表スライドのつくりかたの例」として4つの手順を示している。 ○ 各学年の巻頭に、「主体的・対話的に、深く学ぶ」を設定し、「どうやったら対話的になるの?」において、第1学年では7点、第2学年、第3学年では5点の視点を示している。 ○ 第3学年「生命どうしのつながり」単元における話合いの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「図17は丸粒の純系の遺伝のしかただよ。しわ粒の純系であれば、遺伝子の組み合わせは、rrだけが伝わっていくね。RRとrrをかけ合わせた場合を考えていこう。」 「(あなたの仮説)」 「原子カードを作ったときみたいに、遺伝子カードをつくってみたいかな。」 「そうか!最初に親の組み合わせを2組のカードで表しておいて、分離の法則は、そのカードがバラバラになることで表せるね。」
	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭に、基礎技能として「レポートの書き方」を示している。項目として「目的」「仮説」「準備」「方法」「結果」「考察」「疑問」を示している。他にも「実験日や観察日、天気、学級、氏名」を書くように示している。 ○ 各学年で「私のレポート」として、レポートの具体例を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題や仮説の設定、観察・実験の立案、結果の処理、考察場面において、「話し合おう」というキーワードを用いて話合い活動を設定している。 ○ 第3学年「生命の連続性」単元における話合いの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「生殖細胞の遺伝子の記号Aとaを書いたカードはどうだろうか。」 「Aとaを1:1で取り出す必要があるね。」
	3	10		
1	7			
教 出	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で「わたしのレポート」として、レポート全部または一部の具体例を提示するとともに、レポートの書き方として、レポート作成の要点等を提示している。一部の具体例にはレポート作成のチェックリストを提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年、第2学年の巻末に、「サイエンス資料」を設定し、「理科における話し合いと発表」において、4つの手順を示している。「対話する」では、「相手に話す」「相手の考えを聞く」「グループで話し合う」について説明がある。また、「対話の方法の例」として、第1学年では「ブレインストーミング」、第2学年では「ジグソー法」が示されている。 ○ 「話し合ってみよう」というキーワードを用いて、話合い活動を設定している。 ○ 第3学年「生命の連続性」単元における話合いの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「遺伝子の伝わり方は、モデルを使って確かめられないかな。」 「親の染色体が2本あるとすれば、モデルはいくつ必要かな。」 「自分でつくったカードのほかに、トランプや割り箸、付せん紙を染色体として見立てればいいのか。」 「子や孫の形質の割合も確かめたいな。」
	3	4		
	1	5		
啓 林 館	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年で「わたしのレポート」として、レポート全部または一部の具体例を提示するとともに、レポートの書き方として、レポート作成の要点等を提示している。一部の具体例にはレポート作成のチェックリストを提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年、第2学年の巻末に、「サイエンス資料」を設定し、「理科における話し合いと発表」において、4つの手順を示している。「対話する」では、「相手に話す」「相手の考えを聞く」「グループで話し合う」について説明がある。また、「対話の方法の例」として、第1学年では「ブレインストーミング」、第2学年では「ジグソー法」が示されている。 ○ 「話し合ってみよう」というキーワードを用いて、話合い活動を設定している。 ○ 第3学年「生命の連続性」単元における話合いの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「遺伝子の伝わり方は、モデルを使って確かめられないかな。」 「親の染色体が2本あるとすれば、モデルはいくつ必要かな。」 「自分でつくったカードのほかに、トランプや割り箸、付せん紙を染色体として見立てればいいのか。」 「子や孫の形質の割合も確かめたいな。」
	3	7		
	1	5		

【音楽（一般）】

音 楽（一 般）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	中学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材や学習目標等の示し方	題材・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱の技能に関する記載及びその具体例、歌唱共通教材の構成と扱う学年
		③ 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	創作の題材の取り上げ方、題材名、指導事項、創作の題材構成の具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	歌唱分野に関する学習過程等の示し方と具体例
		⑤ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活との関わりについての記述
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞教材・歌唱教材
		⑦ 教材の配列及び分量	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

観点		(ア) 基礎・基本の定着	
視点		① 題材や学習目標等の示し方	
方法		題材・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例	
	題材の表記の仕方	学習目標の表記の仕方	学習目標達成のための支援の具体例 鑑賞教材「ブルタバ（モルダウ）」 （第2・3学年下）
教出	○ 目次に続く学びのユニットのページに、題材を「学びのユニット」として表記し、題材名を「ユニット名」として示している。また、ユニット名の下に、学習する曲や活動、学習を生かして比べる曲を示している。	○ 教材ページの左端に縦書きで、「学びのポイント」を1～2つつ示している。	○ 学びのポイント ・ 曲想と曲全体の構成との関わりを考えながら鑑賞しよう。 ・ 音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴き取ろう。 ○ 学習目標達成のための支援 ・ 教材名の下に、「(略) 川の流れとともに移り変わる情景を、どのようにオーケストラで表しているのかを、作曲者の思いを感じ取りながら聴いてみましょう。」と示している。 ・ 聴き取ったり気付いたりしたことを記録する欄を設けている。
教芸	○ 目次に続く学習内容のページに、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。学習内容と各教材との関連度の大小を色の濃さで表している。	○ 教材ページの左端に縦書きで、学習目標を示している。	○ 学習目標 ・ 作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。 ○ 学習目標達成のための支援 ・ 教材名の下に、「曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。」「作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取って聴きましょう。」という2つの活動文を示している。 ○ 「音楽的な見方・考え方」を働かせる際の視点となる音楽を形づくっている要素として、「音色、速度、旋律、強弱」を示している。

【音楽（一般）】

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫

方法 歌唱の技能に関する記載及びその具体例，歌唱共通教材の構成と扱う学年

	学年	歌唱の技能に関する記載及びその具体例	歌唱共通教材の構成と扱う学年	
教出	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Let's Sing!」 【歌うための準備】 歌うための姿勢，息のコントロール，母音の発音 【言葉の発音について】 鼻濁音（「夏の思い出」「赤とんぼ」） 【変声と混声合唱】 変声（声変わり），楽譜の見方，混声三部と混声四部のパート，声部の役割 ○ キャラクターのセリフで留意点等について示している。 	夏の思い出 赤とんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の見開きで，各学年から1～2曲（「夏の思い出」「浜辺の歌」「早春賦」「花」）を取り上げ，歌詞や写真，作曲者の言葉等を掲載している。 ○ 各学年2曲の歌唱共通教材を「日本の歌 みんなのうた」として示している。 ○ 各学年とも「日本の歌 みんなの歌」の2曲を連続して掲載し，学びのポイント，楽譜，歌詞，作者の写真と紹介文を示している。 ○ 「日本の歌 みんなの歌」に続けて「Let's Sing!」を掲載し，対応する学習内容を示している。
	2・3上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Let's Sing!」 【旋律のまとめり】 二部形式（「浜辺の歌」「早春賦」） 	浜辺の歌 早春賦 （花の街）	
	2・3下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Let's Sing!」 【フレーズと形式】 七五調（「花」「荒城の月」） 	花 荒城の月	
教芸	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「My Voice!」 【自分の歌声を見つけよう】 準備（姿勢と呼吸），歌声づくり 【変声期】 「変声期に歌声はどうなるの?」，「どうして声を出しづらいの?」 ○ 声の出る仕組みについて，図1，図2を用いて説明している。 	浜辺の歌 赤とんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも，1曲は見開きで，写真や歌詞，作曲者の言葉等を掲載している。 ○ 歌唱共通教材を「心の歌」として示している。 ○ 各学年とも「心の歌」を連続して掲載し，学習目標，活動文，楽譜，歌詞，作者の写真と紹介文を示している。 ○ 「夏の思い出」に続けて「深めよう！音楽」を掲載し，対応する学習内容を示している。
	2・3上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「My Voice!」 【自分の思いに歌声をのせよう】 スムーズな息の流れに歌声をのせるには 【鼻濁音】 鼻濁音を使って柔らかな響きで ○ キャラクターの吹き出しで，留意点等について示している。 	夏の思い出 荒城の月	
	2・3下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「My Voice!」 【豊かな歌声で，気持ちをこめて歌おう】 姿勢と呼吸，息の流れ，響かせ方 ○ 第1学年，第2・3学年上で掲載していたイラストを再掲し，豊かな歌声で歌うためのポイントを示している。 	花 花の街 早春賦	

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫

方法 創作の題材の取り上げ方, 題材名, 指導事項, 創作の題材構成の具体例

	創作の題材の取り上げ方	学年	題材名等	指導事項	創作の題材構成の具体例 (第1学年の構成を工夫して創作する題材)
教出	○ 「音のスケッチ」として、各学年2つずつの活動を取り上げている。	1	○ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	音のつながり方の特徴	○ 第1学年「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」の学習の流れ はじめに「日本語には、自然や動物、物などが発する音や、様子を表す言葉がたくさんあります。」 活動①「5～6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。」 活動②「『活動①』で表した言葉をカードにして、繰り返したり重ねたりしてテーマを表現してみよう。」 活動③「テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。始め方と終わり方も工夫しよう。」 もっと楽しもう「もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。」
			○ 全体の構成を考えながら音楽をつくろう	構成上の特徴	
		2・3上	○ リズムパターンをつくろう	構成上の特徴	
			○ 平調子の特徴を生かして音楽をつくろう	音のつながり方の特徴	
		2・3下	○ 言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう	音のつながり方の特徴	
			○ CMソングをつくろう	構成上の特徴	
教芸	○ 「My Melody」及び「Let's Create!」として、各学年2つずつの活動を取り上げている。	1	○ 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	音のつながり方の特徴	○ 第1学年「構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。」の学習の流れ ①「下の2つの風景からどちらかを選んで場面を設定し、ワークシートのアイに書き入れましょう。」 ②「グループで話し合っって音素材を選びましょう。その際、音を出して確かめながら、場面に合う音素材を探しましょう。」 ③「グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。つくった音楽は、右ページの例のように図形などを使って、ワークシートのウに書き入れましょう。また、音素材を選んだ理由や、構成を工夫した点などもエに書き入れましょう。」 ④「中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。」 ⑤「意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。」
			○ 構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	構成上の特徴	
		2・3上	○ 言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。	音のつながり方の特徴	
			○ 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	構成上の特徴	
		2・3下	○ ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。	音のつながり方の特徴	
			○ 音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう。	構成上の特徴	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	
視点	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	
方法	歌唱分野に関する学習過程等の示し方と具体例	
	学習過程等の示し方	合唱における具体例
教出	<p>○ 学習過程の示し方</p> <p>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</p>	<p>教材曲「生命が羽ばたくとき」(第2・3学年上) 学びのねらい「曲にふさわしい発声で歌おう」 学びのポイント「歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。」「旋律のまとまりを捉えて、音域に応じた発声で歌おう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度や強弱に関する記号(□の部分)を記入し、旋律の特徴や主旋律のパートと他のパートとの関わり、曲の山場(クライマックス)などについて、気づいたことを余白にメモしよう。 ・④～⑥ごとに、感じ取った曲想や表現を工夫したい点を下の表にまとめてみよう。また、指揮の振り方についても考えてみよう。 <p>○ 「感じ取った曲想について」及び「表現を工夫したい点について」をまとめる表の横に、キャラクターの吹き出しで「女声パートを男声パートが追いかけるようになっているのね。」「『生命が羽ばたくとき』の強弱は mp→mf→f しだいに強くなっていくんだね。」と示している。</p>
教芸	<p>○ 学習過程の示し方</p> <p>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</p>	<p>教材曲「翼をください」(第2・3学年上) 学習目標「パートの役割を理解して合唱しよう。」 活動文「A B Cそれぞれの曲想の違いやパートの役割を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 A B Cそれぞれの部分の音楽の特徴について、下のヒントを参考にしながら確かめましょう。 2 1で確かめたことをもとに、どのような点を工夫して歌いたいかをまとめましょう。実際に歌って試しながら、下の注目するポイントに気を付けて表現の仕方を考えましょう。また、参考にしたい友達の見解も書き留めて、自分たちの演奏に生かしましょう。 <p>○ 工夫したい点についてまとめる際の注目するポイントとして「リズム、テクスチュア(音の重なり方)、強弱、構成」を示し、キャラクターの吹き出しで、「『翼をください』の歌い出しの旋律は、なだらかな音の動きだから、落ち着いた雰囲気でも歌いたいな。」「そうだね。伴奏も、4分音符のリズムで静かな感じ。」「でも、強弱記号は歌も伴奏も mf だから、弱々しくしないで、旋律を滑らかに歌いたいな。」「そのためには、息の流れに歌声をのせるイメージで歌えるといいね。」と示している。</p>

【音楽（一般）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
方法	音や音楽と生活との関わりについての記述

音や音楽と生活との関わりについての記述			
教 出	○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、学習資料等を掲載している。	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とアジアの声によるさまざまな表現 ・発展「音」ってなあに？ ・(巻頭口絵) 作者の思いにふれる
		第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の音楽や芸能 ・ポピュラー音楽図鑑 ・私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～ ・(巻頭口絵) 作者の思いにふれる
		第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな舞台芸術 ・コンピュータと音楽 ・私たちのくらしと音楽 ・(巻頭口絵) 作者の思いにふれる
教 芸	○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土に伝わる民謡を調べよう ・生活や社会の中の音楽 音や音楽の果たす役割 ・(巻頭口絵) 伝統をつなぐ 野村萬斎 ・(巻頭口絵) 音楽ってなんだろう？～世界をつなぐもの～
		第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ・受け継ごう！郷土の祭りや芸能 ・生活や社会の中の音楽 音楽体験を拓くアウトリーチ ・(巻頭口絵) 14歳の時間 松任谷由実 ・(巻頭口絵) 音楽ってなんだろう？～時間とともにあるもの～
		第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能 ・ポピュラー音楽 ポピュラー音楽のジャンル（海外編） ポピュラー音楽のジャンル（日本編） ・社会を映し出す音楽 ・ルールを守って音楽を楽しもう！ ・生活や社会の中の音楽 仕事と音楽 ・(巻頭口絵) 詩人と作曲家 谷川俊太郎×木下牧子 ・(巻頭口絵) 音楽ってなんだろう？～声や音にのせて～

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとに扱う鑑賞教材・歌唱教材

	学年	鑑賞教材、歌唱教材（歌唱共通教材以外）	
教 出	1	鑑賞教材	箏曲「六段の調」、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現、日本とアジアをつなぐ音、郷土のさまざまな民謡
		歌唱教材	「ソーラン節」、「かりぼし切り歌」、「この道」、「谷茶前」、「故郷（全校合唱）」
	2・3 上	鑑賞教材	雅楽「越天楽」、舞楽左舞「万歳楽」、舞楽右舞「狛鉾」、郷土の音楽や芸能、能「羽衣」キリから、各地のさまざまな音楽・芸能
		歌唱教材	「時計台の鐘」、 <small>しょうが</small> 唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう、能の音楽を体験しよう、「雪の降る町を」、「故郷（全校合唱）」
	2・3 下	鑑賞教材	歌舞伎「勸進帳」、文楽「義経千本桜」から
		歌唱教材	「椰子の実」、長唄「勸進帳」をうたおう、「故郷（全校合唱）」
教 芸	1	鑑賞教材	雅楽「平調 越天楽」一管絃一、箏曲「六段の調」、日本の民謡、郷土に伝わる民謡を調べよう
		歌唱教材	「越天楽」の唱歌を歌おう、「ソーラン節」、「涙そうそう」、「上を向いて歩こう」、「ふるさと（全校合唱）」
	2・3 上	鑑賞教材	歌舞伎「勸進帳」、文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段”、受け継ごう！郷土の祭りや芸能
		歌唱教材	長唄「勸進帳」から、義太夫節「野崎村の段」から、「やさしさに包まれたなら」、「夏は来ぬ」、「ふるさと（全校合唱）」
	2・3 下	鑑賞教材	尺八楽「巢鶴鈴慕」、能「敦盛」、沖縄の伝統芸能「組踊」に親しもう、伝統音楽の魅力を見つけよう、私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能
		歌唱教材	謡「敦盛」から、「花は咲く」、「椰子の実」、「ふるさと（全校合唱）」

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦教材の配列及び分量
方法	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数

	教材の配列	具体例（教材数）	目次に示された領域ごとの教材数			
			領域	学 年		
				1 年	2・3年上	2・3年下
教 出	<p>○ 各学年とも、歌唱教材、創作、鑑賞教材の順で配列している。その後、「深めてみよう」の歌唱教材・鑑賞教材、合唱曲集、国歌「君が代」、楽典、資料の順で配列している。</p> <p>○ 歌唱や創作等のヒントとなる「Let's Sing!」「Let's Try!」を掲載している。</p>	<p>①歌唱教材（9）</p> <p>②創作（2）</p> <p>③鑑賞教材（7）</p> <p>④歌唱教材（深めてみよう）（3）</p> <p>⑤鑑賞教材（深めてみよう）（3）</p> <p>⑥「音」ってなあに？（発展）</p> <p>⑦合唱曲集 ・歌のアルバム（6）</p> <p>⑧国歌「君が代」</p> <p>⑨楽典</p> <p>⑩資料（楽器の写真） （「Let's Sing!」「Let's Try!」は除く）</p>	歌唱	19	16	18
			創作	2	2	2
			鑑賞	10	11	9
教 芸	<p>○ 第1学年は、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順で配列しており、創作については、関連する歌唱教材及び鑑賞教材の後に配列している。</p> <p>○ 第2・3学年は、歌唱教材、創作、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順で配列している。</p> <p>○ 歌唱や鑑賞等の参考となる「発声」「指揮」を掲載している。</p>	<p>①歌唱教材（3）</p> <p>②創作（1）</p> <p>③歌唱教材（6）</p> <p>④鑑賞教材（1）</p> <p>⑤創作（1）</p> <p>⑥鑑賞教材（5）</p> <p>⑦歌唱教材（1）</p> <p>⑧鑑賞教材（1）</p> <p>⑨合唱曲集 ・歌い継ごう日本の歌（3） ・心通う合唱（11）</p> <p>⑩曲のよさをプレゼンしよう</p> <p>⑪音楽の約束（楽典）</p> <p>⑫国歌「君が代」 （「発声」「リズムで楽しもう」「指揮」は除く）</p>	歌唱	25	21	18
			創作	2	2	2
			鑑賞	7	6	6

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
方法	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

		音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫	
教 出	○ 音楽を形づくっている要素の示し方	○ 「学びのユニット」の図において、「学びの手がかりとなるヒント」として、題材で扱う音楽を形づくっている要素を濃い色で示している。	○ 第1学年及び第2・3学年上の「どんな特徴があるかな？」のページに、音楽を形づくっている要素の内容を掲載している。
	○ 体を動かす活動を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫	○ 「指揮をしてみよう」を第1学年及び第2・3年上に掲載している。	○ 歌唱教材「そよぐ風の中で」（第2・3学年上）の例 「次の『ステップ①～⑥』を参考にして、『そよぐ風の中で』の指揮をしてみよう。」 ステップ① 「J=88で4/4の指揮をしてみよう。メトロノームで速度を確認してみよう。」 ステップ② 「ピアノ伴奏者と速度を共有しながら、片手で指揮をします。」 ステップ③ 「Aから歌が始まりますが、みんなに向かってプレスを意識して合図をしてみよう。合図の方法はいくつかありますが、直前の小節の3～4拍めぐらいから、両手で指揮をするとわかりやすいでしょう。」 ステップ④ 「強弱を指揮で示してみよう。A～Dの強弱の設定は、次のようになっています。」 ステップ⑤ 「Dの1番かっこには3小節の間奏があります。ここは、ピアノ伴奏者に向かって指揮をしよう。」 ステップ⑥ 「この曲の最後のrit.は、歌も伴奏も同時に終わるように示してみよう。」
教 芸	○ 音楽を形づくっている要素の示し方	○ 見開き左ページ下に示している。	○ 資料のページに、音楽を形づくっている要素の内容を掲載している。
	○ 体を動かす活動を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫	○ 「指揮をしてみよう！」を各学年に掲載している。	○ 鑑賞教材「交響曲第5番 ハ短調」（第2・3学年上）の例 「『交響曲第5番 ハ短調』を聴きながら指揮をして、音楽の特徴を感じ取りましょう。」 ① 「『交響曲第5番 ハ短調』を聴こう。」 ② 「冒頭部分の指揮をしよう。また、友達の指揮に合わせて、冒頭のリズムを手拍子で打ったり、言葉を付けて歌ったりしよう。」 ③ 「続けて、提示部を聴きながら指揮をしよう。その際、動機の音型や、下の注目するポイントに気を付けながら、第1主題と第2主題の違いを感じ取ろう。」 注目するポイント「リズム、旋律、強弱、構成」

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
方法	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

音楽科の特質に応じた言語活動の具体例		
教 出	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた創作の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表したい思いや意図を伝え合う場面の設定 ・実際に音を出して音楽表現を高めていく場面の設定 	<p>○ 「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」(第2・3学年上)</p> <p>学びのポイント「旋律のつながり方を工夫して、まとまりのある音楽をつくろう。」「平調子の響きや旋律のまとまりを捉えてリズムを選ぼう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動①～③が示され、②では「五つの音から自由に音を選び、④～⑥のリズムを使って短い旋律をつくり、リコーダーや箏で表現して交流しよう。」と示し、「交流したことを記録しておこう。」の記入欄がある。 ・活動③では、「五つの音と④～⑥のリズムを自由に選んで短い旋律をつくり、リコーダーや箏で表現して再度交流しよう。」と示している。
	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定 	<p>○ 「弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう」(第1学年)</p> <p>教材曲「春 第1楽章」「秋 第1楽章」</p> <p>学びのポイント「曲想の変化を形式やソネットと関わらせながら鑑賞しよう。」「リトルネッロ形式による曲の構成を聴き取ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソネットと音楽の関わりで、いちばんおもしろいと思ったところを、みんなに紹介する文章を書いてみよう。」と示し、吹き出して「ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについて、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。」と示している。 ・気がついたことや感じ取ったことを記録する欄がある。 ・『春』第1楽章と『秋』第1楽章を比べて、共通するところや、それぞれのよさなどについて、発表し交流してみよう。」と示している。
教 芸	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた創作の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表したい思いや意図を伝え合う場面の設定 ・実際に音を出して音楽表現を高めていく場面の設定 	<p>○ 「言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。」(第2・3学年上)</p> <p>活動文「課題に沿って、創意工夫して旋律をつくりましょう。」(課題: 俳句に音を付けて4分の4拍子、4小節の旋律をつくる。言葉の抑揚に合った旋律をつくる。民謡音階を使う。最後はレ、ソ、ラのどれかの音で終わる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動①～④が示され、②では「中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。」と示している。また、ワークシートには、「旋律をつくるときに工夫した点」の記入欄がある。 ・学習活動③では「意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。」と示している。
	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定 	<p>○ 「音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。」(第1学年)</p> <p>教材曲「春 第1楽章」</p> <p>活動文「作曲者が情景をどのように表現しているのかに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。」「合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴きましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽を聴き、それぞれの部分について、聴き取ったことと、感じ取ったことを書き入れましょう。」と示し、記入する表がある。 ・「この曲のどのようなところによさを感じましたか。また、その理由も発表し合いましょう。」と示している。キャラクターの吹き出しでは、「Bでヴァイオリンの独奏が小鳥の鳴いている様子をまねているのが印象的でした。」「爽やかな部分と激しい部分の対比がかっこいいと思いました。」と示している。

音 楽（器楽合奏）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	中学器楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の器楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材や学習目標等の示し方	題材・学習目標等の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		②	器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	和楽器の取扱い方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	資料や巻頭の内容
		④	和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	箏の学習展開の工夫
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	教材の分量及び構成	楽器別カテゴリー別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数、内容の構成
(エ)	内容の表現・表記	⑥	〔共通事項〕の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑦	器楽分野における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ①題材や学習目標等の示し方

方法 題材・学習目標等の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例

	題材の表記の仕方	学習目標等の表記の仕方	学習目標達成のための支援の具体例 (リコーダー「タンギング」の例)
教出	○ 目次ページに、「演奏の仕方を身につけよう」「合わせて演奏しよう」と示している。	○ リコーダーのページでは、見開きごとに「学びのねらい」を示し、教材曲ごとに、「学びのポイント」を示している。	○ 学びのねらい ・「リコーダーの音色（おんしょく）と奏法との関わりを理解したり、タンギングや左手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう。」 ○ 学習目標達成のための支援 ・「タンギングに注意して、J=69からJ=92ぐらいまでのさまざまな速度で演奏しよう。」「『リズムdeゴー』を音を変えて演奏を楽しもう。」と示している。 ・タンギングの発音による音色の違いや、音の重なりによる響きの変化、楽器による音高の違いを実感できる学習活動を示している。 ・音域や音質による発音の図を掲載している。 ・同じ運指でソプラノ・リコーダーで演奏する場合について示している。 ・学びのねらいに対応した「まとめの曲」を設定している。
教芸	○ 目次に続く学習内容のページに、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。学習内容と各教材との関連度の大小を色の濃さで表している。	○ リコーダーの「アンサンブルセミナー」のページでは、見開きごとに「学習目標」を示し、教材曲ごとに、「活動文」を示している。	○ 学習活動の内容を示す文 ・「息の出し方に注意しながらタンギングをしよう。」 ○ 学習目標達成のための支援 ・学習過程①～④を示している。 ①まずは、「tu」と言いながら息を出す。次に、声を出さずに息だけを出す。 ②右の運指で、タンギングをして吹く。 ③細かいリズムで演奏する。 ④②と③を続けて吹く。 ・タンギングの発音による音色の違いや、楽器による音高の違いを実感できる学習活動を示している。 ・音域や音質による発音の表を掲載している。 ・同じ運指でソプラノ・リコーダーで演奏する場合について示している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	和楽器の取扱い方

		和楽器の取扱い方
教 出	配列等	○ それぞれの楽器を単独で、篠笛（5ページ）→尺八（2ページ）→箏（8ページ）→三味線（8ページ）→太鼓（6ページ）→の順に示している。
	内容	○ 各楽器の各部の名称，姿勢とかまえ方，奏法等を写真や図で示している。
	楽譜	○ 縦譜を4曲（「さくらさくら」「荒城の月」「六段の調」「もののけ姫」），参考楽譜として2曲（「さくらさくら」「こきりこ節」）掲載している。
	楽器ごとの 楽曲（鑑賞 曲も含む）	○ 篠笛「たこたこあがれ」「ひらいたひらいた」「さくらさくら」「子守歌」「祭囃子」 ○ 尺八「もういいかい」 ○ 箏「さくらさくら」「荒城の月」「六段の調」「さくら変奏曲」 ○ 三味線「さくらさくら」「長唄『勸進帳』から寄せの合方」
	合奏曲	○ 篠笛「一番星みつけた／夜空を見上げて」 ○ 箏「荒城の月」「さくらさくら」「こきりこ節」「もののけ姫」 ○ 太鼓「千の海響 望の章」
	その他	○ 「何が同じで，何が違う？」として，和楽器を含む様々な楽器の共通性と固有性を考えさせるページがある。
教 芸	配列等	○ それぞれの楽器を単独で，箏（10ページ）→三味線（6ページ）→太鼓（6ページ）→篠笛（4ページ）→尺八（3ページ）の順に示している。
	内容	○ 各楽器の各部の名称，姿勢と構え方，奏法等を写真や図で示している。
	楽譜	○ 家庭式縦譜を6曲（「虫づくし」「姫松」「『六段の調』から“四段”」「さくらさくら」「少年時代」「夏祭り」）掲載している。
	楽器ごとの 楽曲	○ 箏「虫づくし」「姫松」「『六段の調』から“四段”」「さくらさくら」「少年時代」「夏祭り」 ○ 三味線「こきりこ」「荒城の月」 ○ 太鼓「天高く鳴り響け」 ○ 篠笛「たこたこあがれ」「ほたるこい」「火祭りの踊り」「もののけ姫」 ○ 尺八「夕やけこやけ」
	合奏曲	○ 篠笛，締太鼓，長胴太鼓による「MATSURI」 ○ 三味線，大鼓，小鼓による「『寄せの合方』によるリズムアンサンブル」
	その他	○ 「楽しもう！和楽器の音楽」として，部活動を通して，和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の様子を紹介している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	
視点	③興味・関心を高めるための工夫	
方法	資料や巻頭の内容	
	資料の内容	巻頭の内容
教 出	○ 「打楽器」、「リコーダーの運指表」、「ギター&キーボード コード表」、「いろいろな用語、記号」を掲載している。	○ 「さまざまな音色（おんしょく）や響きと奏法」と題し、さまざまな楽器の演奏写真、演奏者名を掲載している。 ○ 口絵「With My Heart 音楽はメッセージ 心をこめて 中学生のみなさんへ」において、箏と篠笛の家元からのメッセージと写真を掲載している。
	○ 「名曲旋律集」として、名曲の旋律をソプラノ・リコーダー、アルト・リコーダー、箏、ギターで演奏できるよう、楽譜を10曲掲載している。	
教 芸	○ 「日本音楽の楽器編成」、「バンドの世界をのぞいてみよう」、「リコーダーの運指表」、「ギター/キーボード コード表」、「楽器の図鑑」、「音楽の約束」、「楽しもう！和楽器の音楽」を掲載している。	○ 「ピアノで語るということ」と題し、反田恭平（ピアノ）の写真と言葉を掲載している。 ○ 「音楽ってなんだろう？～楽器と人～」において、さまざまな楽器の演奏写真とともに、音楽・文芸批評家の言葉を掲載している。
	○ 「楽器で Melody」として、名曲の旋律をソプラノ・リコーダー、アルト・リコーダー、箏、三味線、篠笛で演奏できるよう、楽譜を9曲掲載している。	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫
方法	箏の学習展開の工夫

箏の学習展開の工夫		
教 出	学習の流れ	○ 各部の名称→柱の立て方→爪→調弦法→姿勢とかまえ方→親指による基本的な奏法→「練習曲1, 2」, 「さくらさくら」→奏法<押し手>→「荒城の月」→音のスケッチ（「荒城の月」の前奏をつくってみよう）→箏曲（「六段の調」に挑戦!）→「さくら変奏曲」（鑑賞教材）
	基本的な奏法	○ 演奏者を正面から見た角度と上から見た角度の写真を掲載している。親指による基本的な奏法について説明している。
	基礎的な奏法の活用を図る学習活動	○ 「音のスケッチ」として、平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏を創作する活動を設定している。 ・活動1『「荒城の月」の歌詞の内容や、感じ取った曲想に合った表現をイメージして、2小節の前奏をつくろう。できあがったら弦名を記録しておこう。』 ・活動2「前奏を1回繰り返して演奏し、それに続けて『荒城の月』を弾きながら歌ってみよう。』 ・活動3「表現したかったイメージをまとめ、発表しよう。』 ○ キャラクターのセリフで、学習した奏法の活用を促している。 ・セリフの内容→「前奏に押し手を取り入れてもいいよ。」
	楽譜	○ 縦譜と五線譜（音符の下に漢数字での弦名）の2種類を示している。
	資料	○ 「お箏（こと）の世界へ」として黒川真理のメッセージを掲載している。 ○ 鑑賞教材「さくら変奏曲（宮城道雄）」を掲載している。
	ページ数	○ 8ページ
教 芸	学習の流れ	○ 各部の名称→柱の立て方→爪→調弦→姿勢と構え方→基本的な奏法→「虫づくし」, 「姫松」, 『「六段の調」から“四段”』→いろいろな奏法→「さくらさくら」→「My Melody」（日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。）
	基本的な奏法	○ 演奏者を正面から見た角度と上から見た角度の写真を掲載している。親指、中指・人さし指による基本的な奏法について説明している。
	基礎的な奏法の活用を図る学習活動	○ 「My Melody」として、都節音階と律音階のどちらかを選んで旋律をつくる活動を設定している。 ① 1小節目をつくりましょう。 ② 1小節目を反復させて、2小節目をつくりましょう。 ③ 1～2小節目から変化させて、3～4小節目をつくりましょう。 ○ キャラクターによる吹き出しで、学習した奏法の活用を促している。 ・吹き出しの内容→『「いろいろな奏法」を参考にして、箏の音色を生かしてもいいね。』
	楽譜	○ 家庭式縦譜と五線譜（音符の下に漢数字での弦名）の2種類を示している。
	資料	○ 「遠藤千晶さんからのメッセージ」を掲載している。 ○ 「和楽器こぼれ話」を示している。
	ページ数	○ 10ページ

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤教材の分量及び構成
方法	楽器別カテゴリ別教材数, 合奏・アンサンブルのカテゴリ別教材数, 内容の構成

		楽器別							合奏・アンサンブル	内容の構成
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	篠笛	尺八		
教出	クラシック音楽	13							5	① リコーダー ② 篠笛 ③ 尺八 ④ ギター ⑤ 箏 ⑥ 三味線 ⑦ 太鼓 ⑧ アンサンブル曲集 ・Let's play! ・Let's try! ⑨ 名曲旋律集 ⑩ 資料 ※太鼓の教材は「アンサンブル」に1曲有り
	日本歌曲	2		2					3	
	日本古来の曲			2	2		2		1	
	わらべうた						2	1	1	
	日本の民謡								1	
	世界の民謡（愛唱歌）	9	4						1	
	映画・ポピュラー音楽等		1						5	
	その他・オリジナル等	5		2			1		6	
	計	29	5	6	2	※	5	1	23	
教芸	クラシック音楽	7							2	① アンサンブルセミナー ② リコーダー ③ ギター ④ 箏 ⑤ 三味線 ⑥ 太鼓 ⑦ 篠笛 ⑧ 尺八 ⑨ 打楽器 ⑩ アンサンブル曲集 ⑪ 楽器でMelody ⑫ 資料
	日本歌曲	1								
	日本古来の曲			4	1				1	
	わらべうた						2	1		
	日本の民謡				1					
	世界の民謡（愛唱歌）	7	1						3	
	映画・ポピュラー音楽等	4	1	2			1		7	
	その他・オリジナル等	1				1	1		5	
	計	20	2	6	2	1	4	1	18	

【音楽（器楽合奏）】

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑥〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
方法	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫	
教 出	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方</p> <p>○ 「合わせて演奏しよう」のページでは、曲名の下に、「主旋律と他の旋律との関わりを意識して表現を工夫しよう。」「拍子や速度などが生み出す雰囲気味わいながら演奏しよう。」等と示している。</p>
	<p>○ ^{しょうが}唱歌を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <p>○ ^{しょうが}唱歌の説明とともに、尺八、箏（こと）、三味線、太鼓の^{しょうが}唱歌の例を示している。キャラクターによるセリフで、「実際に^{しょうが}唱歌を唱えてみましょう。」と示している。</p>
教 芸	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方</p> <p>○ 「アンサンブルセミナー」のページでは、見開き左ページ下に、学習内容に即した音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>○ 「アンサンブル」のページでは、曲名の横に「主旋律（A1）に対して、A2の旋律がどのように重なっているのかを考え、その効果を味わいながら演奏しましょう。」「旋律やリズムの特徴を生かした表現を工夫しましょう。強弱の変化や各パートの音量のバランスに気を付けて演奏しましょう。」等と示している。</p>
	<p>○ ^{しょうが}唱歌を取り入れて、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <p>○ 「『六段の調』から“四段”」において、「^{しょうが}唱歌を歌ったり楽器を弾いたりしながら、箏の音楽の特徴を感じ取りましょう。」と示している。「^{しょうが}唱歌を歌ってみよう」では、歌うときのポイントを3つ示している。</p>

【音楽（器楽合奏）】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑦器楽分野における言語活動の工夫
方法	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
教 出	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた器楽の活動</p> <p>・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</p> <p>○ 「合わせて演奏しよう」(音のスケッチ)</p> <p>学びのポイント「楽器の音色（おんしょく）や響きを生かし、全体の構成を工夫しながら表現しよう。」</p> <p>教材曲「不思議な旋律PART-1」</p> <p>・「グループに分かれて基本形を演奏します。速度や強弱などは、グループで話し合って確認しておきましょう。」「基本形に慣れたら、オプションパート伴奏A～伴奏Dから選んで加えて演奏してみよう。旋律はアーティキュレーションを工夫したり、『ラ』や『ル』など声で表現したりしてみよう。」「基本形にオプションパートを加え、構成を工夫した形が仕上がったら、グループごとに発表してみよう。」と示している。</p>
教 芸	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた器楽の活動</p> <p>・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</p> <p>○ 「曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう。」</p> <p>活動文「アーティキュレーションを参考にしながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。」</p> <p>教材曲「聖者の行進」</p> <p>・学習過程が①、②で示され、②において「①で感じ取ったことをもとに、友達と話し合いながら曲全体のアーティキュレーションを決め、2つのパートに分かれて演奏しましょう。」と示し、キャラクターの吹き出しで「長くのばす音にはどんなアーティキュレーションを使えばいいかな?」「アイデアを楽譜に書いておくと演奏に役立つね。」「アーティキュレーションを工夫すると、より表情豊かな演奏になるね。」と示している。</p>

美 術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	美術
38	光 村	美術
116	日 文	美術

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標等の示し方	題材の目標等の表記の仕方と具体例
		② [共通事項]を視点とした学びの示し方	[共通事項]を視点とした学びの示し方と具体例
		③ 形や色彩, 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	形や色彩, 材料や用具の取扱い等に関する記載と具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例
		⑤ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例
		⑥ 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材の配列	題材数, 構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 作品等についての示し方の工夫	作品等や造形活動の示し方と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想や構想, 鑑賞の場面における言語活動の示し方と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標等の示し方
方法	題材の目標等の表記の仕方と具体例

	題材の目標等の表記の仕方	具体例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材を通して身につけたい力を「知識や技能に関する目標」、「思考力・判断力・表現力に関する目標」、「学びに向かう力に関する目標」として、マークとともに示している。 ○ 「学習のポイント」を示している。 	<p>第1学年 「心ひかれる風景」</p> <p>知 風景のとらえ方を理解し、色彩や構図を工夫して表そう。</p> <p>思 身近な風景から感じ取ったよさや美しさをもとに表したいことを考えよう。</p> <p>学 身近な場所を表すことに関心をもち、表現することを楽しもう。</p> <p>【学習のポイント】 身近な風景を観察し、よさや美しさを見つけよう。</p>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材で身につける力を、「表現」と「鑑賞」の領域ごとに、目標として示している。 ○ 活動の手立てとなる文章を「鑑賞」と「表現」のアイコンとともに示している。 	<p>第1学年 「心ひかれるこの風景」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が心ひかれる風景を見つけ、そのときの気持ちをどのようにあらわすかを考えて、工夫して描く。(表現) ○ 作品を鑑賞し、その風景を描いた作者の思いや表現の工夫を感じ取る。(鑑賞) <p>鑑賞 作者はこの風景のどこに心ひかれたのだろうか。想像してみよう。</p> <p>表現 少し視点を変えるだけで、日常の風景が急に生き生きと見えてくることがある。見慣れた風景を、新しい視点で捉え直してみよう。</p> <p>表現 学校の「とっておきの場所」を描こう。</p> <p>鑑賞 生徒作品の構図や色づかいの工夫を見てみよう。</p>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材ごとに身につけたい力を、「造形的な見方を豊かにする視点や、技能に関する目標」、「発想や構想、鑑賞に関する目標」、「主体的に学習に取り組むための目標」として、マークとともに示している。 ○ 題材名とともに、活動や目的を表すサブタイトルを示している。 	<p>第1学年 「あなたなりの視点で描く なぜか気になる情景」</p> <p>知 形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、絵の具の使い方を工夫して表す。</p> <p>思 身近な場所のイメージなどをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学 気になる場所を見つけ、その特徴をとらえて表すことに関心をもち、意欲的に取り組む。</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
方法	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例

	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	具体例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のポイント」や学習の進め方を示すコーナーに、〔共通事項〕に着目するよう促すコメントを掲載している。 ○ 作家や生徒の作品に、表現意図とともに、〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉を掲載している。 	<p>第2・3学年</p> <p>「明かりの形」</p> <p>光の透過性を考えて材料を選び、表現方法を工夫しよう。</p> <p>【光の効果を確認する】</p> <p>材料と色を含めた光源の違いによる影の変化も見てみよう。</p> <p>【作家の作品・作者の言葉】</p> <p>和紙を透かしてくる明かりは、ほどよく光を分散させて部屋全体に柔らかい光を流してくれる。「AKARI」は光そのものが彫刻であり、陰のない彫刻作品なのです。</p> <p>【生徒作品・作者の言葉】</p> <p>ドレスのすその形の美しさを追求した。色にもこだわった。</p>
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と鑑賞の活動のはじめに、〔共通事項〕を視点とした活動を促す文を掲載している。 ○ 生徒作品に、表現意図とともに、〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉を記載している。 	<p>第2・3学年</p> <p>「あかりがつくる空間」</p> <p>鑑賞：それぞれのあかりから、どのような印象を受けるだろう。あなたなら、どんな場所で使いたいだろう。</p> <p>表現：空間を演出するあかりをつくろう。</p> <p>【生徒作品・作者の言葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜景が好きなので、ビルやマンション、学校などの窓から漏れる光をあらわしました。建物だけでなく空の色も表現しました。 ○ 寂しいときも寄り添ってくれるような優しい光にしたかったので、花を題材に選びました。 ○ 壮大な宇宙にあるさまざまな光を一つの作品にあらわしました。石膏テープを通して漏れる光は、満天の星空のイメージです。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を吹き出しで示し、〔共通事項〕に着目するよう促したり、〔共通事項〕に着目した活動を促す資料や文章を掲載したりしている。 ○ 生徒作品に、表現意図とともに、〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉を記載している。 	<p>第2・3学年 上</p> <p>「空間に光を飾ろう ジジジチカピカ ポッ ポッ パッ」</p> <p>【造形的な視点】</p> <p>光の印象は、ランプシェードのどのような工夫から生じるのだろうか。</p> <p>【光の違いを比べて感じよう】</p> <p>自然や人工の光は、「きらめく」「ぼかぼか」「灰明かり」などの言葉で表されるように、豊かな表情をみせます。また、照明に用いられる材料によって、光の感じはさまざまに変化します。</p> <p>【空間に影をつくろう】</p> <p>影にも着目し空間を飾りましょう。材料や光源の工夫によって変わる光や影の表情を楽しみましょう。</p> <p>【生徒作品・作者の言葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 光の通し方は、素材によって違うことがわかった。手で和紙をちぎり、くしゃくしゃにして温かみのあるあかりになったので、白い壁の家に飾ることが楽しみです。 ○ 部屋に置いた時、光の花があつたら癒やされると思いつきました。色はそれほど塗らずにテラコッタそのものの色を生かしました。

【美術】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③形や色彩, 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	形や色彩, 材料や用具の取扱い等に関する記載と具体例

	学年	形や色彩, 材料や用具の取扱い等に関する記載	具体例
開隆堂	1	○ 巻末に「学びの資料」を設け, 形や色彩, 材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉛筆で表す ○ 構図をとらえる ○ 絵の具で表す ○ 文字を活用する ○ 紙や木を切る・削る ○ 焼き物の成形 ○ 作品を展示する ○ 色を学ぶ、色を知る ○ 美術館を楽しむ
	2・3	○ 巻末に「学びの資料」を設け, 形や色彩, 材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 奥行き表現 ○ 版画の種類 ○ 金属や石を加工する ○ 染める・編む ○ 映像メディアを活用する ○ 漫画の試み ○ アニメーションの技法 ○ ともに学ぶ美術 ○ 日本の伝統色と配色文化 ○ 美術の歴史と交流
光村	1	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け, 形や色彩, 材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ どれで描く? どれで塗る? ○ 描いてみよう ○ さまざまな描き方 ○ 版画の楽しみ ○ 文字をデザインする ○ 紙でつくる ○ 粘土でつくる ○ 木でつくる ○ 形の世界を知ろう ○ 色や光の特徴を知ろう ○ 美術館を楽しもう ○ 美術鑑賞を楽しむ手がかり
	2・3	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け, 形や色彩, 材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発想を広げる ○ 写真や映像を撮影する ○ 映像で広がる世界 ○ 金属でつくる ○ 石でつくる ○ 材料の可能性 ○ 色を組み合わせる ○ 日本の伝統色 ○ 海を越えた文化交流 ○ 美術史年表 ○ 日本の伝統工芸 ○ 日本と世界文化遺産 ○ 地域と美術のつながり ○ 美術の力

【美術】

日 文	1	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 発想・構想の手立て ○ 鉛筆で描く ○ 水彩で描く ○ さまざまな技法で描く ○ 遠近感を表す ○ 文字の基本 ○ 木版画 ○ コラグラフ ○ 材料を知ろう ○ 木工の技法 ○ 焼き物をつくる ○ 自然界や身の回りにある形や色彩 ○ 色彩の基本・仕組み ○ 日常の中の美術 ○ 美術館へ行こう
	2・3 上	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 岡本太郎“芸術はみんなのもの” ○ 暮らしに息づくパブリックアート ○ 北斎の大波 ○ 水墨画の表現 ○ 写真で表現する ○ 立体を描く ○ 人物をつくる ○ 木でつくる ○ 金属でつくる ○ 絵巻物の世界 ○ 日本美術と世界の美術の歩み ○ 色彩の特徴を深く知る ○ 日本の伝統色
	2・3 下	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 火焰型土器（原寸大） ○ さまざまなアートに触れよう ○ 日本の世界文化遺産 ○ 受け継ぐ伝統と文化 ○ 仏像の種類 ○ 美術文化の継承 ○ トリックアート ○ デペイズマン ○ 石を彫る ○ 布を染める ○ 動画をつくる

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例

	学年	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例	
開隆堂	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示すことによって、興味・関心を高めている。 ・「見ることからの発見」
		鑑賞	○ 作品全体を折り曲げの大型図版で示したり、作品の一部を原寸大の図版で示したりしている。 ・「樹花鳥獣図屏風」伊藤若冲（原寸大）
	2・3	表現	○ 生活や社会の中にある美術に関する写真を掲載することで、興味・関心を高めている。 ・「ピクトグラムとサイン計画」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で示している。 ・「紅梅図襖」狩野山楽 ・「誕生」池田学 ・「ボウルを持つデーモン」ダミアン・ハースト
光村	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の様子を学習活動の過程に分けて写真で示す等により、興味・関心を高めている。 ・「見つめ、感じ取り、描く」
		鑑賞	○ 和紙のような風合いのある紙に印刷し、実際の作品の仕上がりに近付けている。 ・「星空をペガサスと牛が飛んでいく（『虹の上をとぶ船 総集編Ⅱ』より）」生徒作品 ・「瀬戸内海集 帆船（朝）」吉田博 ○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版に掲載し、彫刻作品と屏風絵作品を比較できるように示している。 ・「風神・雷神像」国宝 ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達
	2・3	表現	○ 生活や社会の中にある美術に関する写真を掲載することで、興味・関心を高めている。 ・「わかりやすく情報を伝える」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で示したり、作品の一部を原寸大の図版で示したりしている。 ・「阿修羅像」（原寸大） ・「神奈川沖浪裏」葛飾北斎（原寸大） ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ ○ 和紙のような風合いのある紙に印刷し、実際の作品の仕上がりに近付けている。 ・「鳥獣人物戯画 甲巻」（原寸大） ・「火の鳥」手塚治虫 ○ 一点透視図法などの作者の表現の工夫を、トレーシングペーパーに書き込むことで、実感を伴って理解できるようにしている。 ・「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ○ 作品とそれを見ている少年の写真を掲載することで、作品の大きさを実感できるようにしている。 ・「『ゲルニカ』を見る少年」エリオット・アーウィット

【美術】

日 文	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示すことによって、興味・関心を高めている。 ・「感じ取ったことをスケッチに 見つめると見えてくるもの」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で示したり、作品の一部を原寸大にして示したりしている。 ・「遮光器土偶」(原寸大) ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達 ・「燕子花図」尾形光琳
	2・3 上	表現	○ 生活や社会の中にある美術に関する写真を掲載することで、興味・関心を高めている。 ・「単純化・強調で情報を整理する ひと目で伝えるための工夫」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で示したり、作品の一部や全体を拡大したり、原寸大で示したりしている。 ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ(原寸大) ・「印象-日の出」クロード・モネ(原寸大) ・「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」東洲斎写楽 ・「当時三美人」喜多川歌麿 ・「神奈川沖浪裏」葛飾北斎(原寸大)
	2・3 下	鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で示したり、作品の一部や全体を拡大したり、原寸大で示したりしている。 ・「サグラダ・ファミリア聖堂」アントニ・ガウディ ・「誕生」池田学(原寸大)
			○ 火焰型土器(原寸大) ○ 作品に女子中学生の平均身長のスルエット像を並べて示すことで、作品の大きさを実感できるようにしている。 ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤表現と鑑賞の関連を図った学習活動
方法	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例

表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例	
開隆堂	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ・第1学年 「よみがえる材料」 ・第2・3学年 「想像の世界を表す」
光村	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 一つの題材の中で表現と鑑賞のアイコンを掲載し、相互に関連した学習の流れを示している。 ・第1学年 「材料に命を吹き込む」 ・第2・3学年 「空想の世界へようこそ」
日文	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 一つの題材の中で、表現と鑑賞の活動を表すインデックスを重なり合うように掲載し、相互の学習の関連を示している。 ・第1学年 「じっくり見て、感じながらつくる 材料に命を吹き込む」 ・第2・3学年 上 「印象や感情を表す 心のイメージを形に」 ・第2・3学年 下 「想像の世界を表す 空想は現実を超えて」

【美術】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫
方法	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例

	学年	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸で学ぶこと」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりの例を具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸で学ぶこと」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 3年間の学習のまとめとして、「美術の力を生かして社会とかかわる」の特設ページを設け、社会における美術の役割や社会への広がりについて示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「美術の力を生かして社会とかかわる」
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインってなんだろう？」の特設ページを設け、一日の流れに沿った生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインって何だろう？」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。
日文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりの例を具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに」
	2・3 上・下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 下の巻末に「社会に生きる美術の力」の特設ページを設け、異なる分野で活躍する3名の言葉を紹介し、美術の学びと生活や社会とのつながりについて示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「社会に生きる美術の力」

【美術】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材の配列
方法	題材数, 構成や配列

	学年	各項目の題材数			題材数 合計	構成や配列
		絵や彫刻など (鑑賞)	デザイン や工芸な ど(鑑賞)	鑑賞		
開隆堂	1	8 (2)	9 (3)	0	17	○ 題材を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「鑑賞」 ・「まとめ」 ・「学びの資料」 ※2・3学年の鑑賞の項目には、「鑑賞」と「まとめ」の項目の題材を含む。
	2・3	11 (2)	14 (2)	14	39	
光村	1	9 (3)	8 (2)	0	17	○ 題材を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」
	2・3	14 (4)	8 (2)	0	22	
日文	1	10 (3)	9 (2)	0	19	○ 題材を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」
	2・3 上	9 (3)	9 (3)	0	18	
	2・3 下	10 (4)	7 (1)	0	17	

※「絵や彫刻など」と「デザインや工芸など」の項目の()には、鑑賞の題材の数を示している。

【美術】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧作品等についての示し方の工夫
方法	作品等や造形活動の示し方と具体例

作品等や造形活動の示し方と具体例	
開隆堂	<p>第1学年 「ロゴマークで印象づける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているロゴマークを幅広く取り上げ、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品や作者の言葉及び表現意図を示している。 ○ 学習の流れに沿って、活動ごとに写真等とコメントで示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「クラスのシンボルマークをデザインしよう」 ○ デザインと社会のつながりの例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインの力で地域を変える～今治をデザインで活発に～」
光村	<p>第1学年 「印象に残るシンボルマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているシンボルマークを幅広く示している。 ○ 生徒作品や作者の言葉及び表現意図を示している。 ○ 発想・構想を練るためのアイデアスケッチを複数示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「I' m fine」 ○ デザインと社会とのつながりを示す例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「オリンピック・パラリンピックのシンボルマーク」
日文	<p>第1学年 「イメージを形や色彩で伝える 印象に残るシンボルマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているロゴマークを幅広く取り上げ、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品や作者の言葉及び表現意図を示している。 ○ 学習の流れに沿って、活動を促すコメントを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域のマークを調べてみよう」 ・「自分や身近なもののマークを考えよう」 ○ デザインと社会のつながりの例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域のマークを調べてみよう」

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方法	発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方と具体例

		言語活動の示し方と具体例
開隆堂	発想・構想の場面	<p>第2・3学年 「安心と安全のデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りにあるデザインの例や生徒の作品、アイデアスケッチ及びコメントを記載したワークシートを例示し、発想・構想の方法を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ドア開閉安全マーク」 ○ グループで身近な課題を発見し、デザインの力で解決する言語活動を伴う活動例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「校内の安全を考えよう」 ○ 「学習のポイント」に、対話を促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝わりやすいデザインの条件とは何か話し合ってみよう。
	鑑賞の場面	<p>第2・3学年 「ポスターで伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現意図や作者の言葉を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・川をきれいにして、清流に住むカワセミを呼びたいと思いました。輝いているように水しぶきを多く描きました。 ○ 「学習のポイント」に、対話を促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝わりやすいポスターの条件とは何か話し合ってみよう。
光村	発想・構想の場面	<p>第2・3学年 「みんなのためのデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りにあるデザインの例や生徒の作品を掲載し、目的に応じた機能やデザインについて説明している。 ○ 生徒作品及び企画書等を例示し、発想・構想の方法を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「しよるじょー」 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>第2・3学年 巻末「学習を支える資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発想を広げる」のページを設け、言語活動例を複数示している。
	鑑賞の場面	<p>第2・3学年 「メッセージを伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現意図や作者の言葉を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・赤いハートで、諦めずに走り続ける心を表現しました。人をオレンジから黄色のグラデーションにしたのは、熱が伝わってくるイメージです。後ろの心電図のような模様で、最後まで自分のペースでやり遂げてほしいという思いを表現しました。 ○ 鑑賞を深めるための対話を促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを見て、メッセージを伝えるために、それぞれどのような工夫がされているか話し合おう。

【美術】

日 文	発想・構想の場面	<p>第2・3学年 上 「使う人の立場で考える 暮らしやすさのデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を吹き出しで示すことで、対話を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・形をどのように機能に生かしているだろうか。 ○ 観察レポートを掲載し、どのような工夫がされているかを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスアルファのあるデザイン」 ○ 身の回りにあるデザインの例や生徒の作品を掲載し、目的に応じた機能やデザインについて説明している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ポンプ式ハミガキ粉」 ○ 生徒作品及び企画書等を掲載し、発想・構想の方法を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「星のキシゴム」
	鑑賞の場面	<p>第1学年 巻末「学びを支える資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動を示している。
	鑑賞の場面	<p>第2・3学年 上 「イメージの力で伝える その一枚が人を動かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を吹き出しで示すことで、対話を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいポスターは、どこに工夫があるだろうか。 ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現意図や「作者の言葉」を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・生命力のある植物を未来にたとえ、その一つ一つが「Piece」であり、集まって一つの顔を表しています。

【保健体育】

保健体育

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい保健体育
4	大 日 本	中学校保健体育
50	大 修 館	最新 中学校保健体育
224	学 研	中学保健体育

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標、系統性の示し方	単元の目標と系統性の示し方、課題提示と1時間の学習の流れの示し方
		② 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例
		③ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高める工夫と読み物の取扱い数及び具体例
		⑤ 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫	健康課題の解決に関わる内容、技能に関する内容等を充実させるための工夫及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元・題材や資料等の配列	各単元における項目、資料等の配列
		⑦ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	イラスト・写真の示し方、マーク等の活用
(オ)	言語活動の充実	⑨ 思考し判断したことを、言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標, 系統性の示し方
方法	単元の目標と系統性の示し方, 課題提示と1時間の学習の流れの示し方

	単元の目標と系統性の示し方	課題提示と1時間の学習の流れの示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に「この章で学習すること」として各単元の目標, 単元を構成する主な学習内容, 課題及び目次を示している。 ○ 章扉に各単元に関する小学校及び高等学校の学習内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける」で「～してみましょう」「～はなぜでしょうか」等の形態で日常経験や小学校で学習したことなどを基に, 学習課題に迫り, 「学習課題」で各時間の学習課題を提示している。 ○ 「見つける」から, 本文, 「課題の解決」, 「広げる」を, 学習の流れとして示している。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に「この章で学習すること」として各単元の目標及び単元を構成する主な学習内容を示している。 ○ 章扉に各単元に関する小学校及び高等学校の学習内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のねらい」で「～について理解する」「～できるか考える」等の形態で学習課題を提示している。 ○ 「つかもう」から, 本文, 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」, 「活用して深めよう」を, 学習の流れとして示している。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に「この章で学習すること」として各単元の目標, 構成する主な学習内容の目次及び「～してみましょう」等の形態で単元に係る視点を示している。 ○ 章扉に各単元に関する小学校及び高等学校の学習内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「きょうの学習」で「～でしょうか」等の形態で学習課題を提示している。 ○ 「課題をつかむ」から, 本文・実習, 「学習のまとめ」を, 学習の流れとして示している。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章扉に各単元の目標, 単元を構成する主な学習内容及び学習の進め方を示している。 ○ 章扉に各単元に関する小学校及び高等学校の学習内容を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の目標」で「～か理解しよう」「～考えよう」等の形態で学習課題を提示している。 ○ 「課題をつかむ」から, 本文, 「考える・調べる」, 「まとめる・深める」を, 学習の流れとして示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
方法	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例

	科学的な理解を図るための工夫	「がんの予防」における具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」で、参考となる資料を示している。 ○ 「ポイント」で、資料を読み取るためのポイントを示している。 ○ 「リンク」マーク「他教科」マークで関連した内容を学習するページや他教科とのつながりを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 がんの発生と経過 ・資料2 がんによる死亡のうちの主な部位別割合 ・資料3 日本人におけるがんの要因 ・資料4 がんが発見されたときの進行度と5年生存率 ・資料5 がんを防ぐための新12か条 ○ 「ポイント」：資料4の読み取るためのポイント ○ 「リンク」マーク：喫煙の害と健康
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」で、参考となる資料を示している。 ○ 「ミニ知識」で、理解がより深まる学習に関連した情報を掲載している。 ○ 「リンク」「他教科」で関連した内容を学習するページや他教科とのつながりを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 主ながんの種類 ・資料2 がんができる仕組み ・資料3 日本人のがんの原因 ・資料4 がんを防ぐための新12か条 ○ 「ミニ知識」 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の要因、死亡率の変化についての情報を掲載している。 ○ 「リンク」：がんの進行と自覚症状が出るまでがんの早期発見のために
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」で、参考となる資料を示している。 ○ 「よみ取る」で、資料を読み取るためのポイントを示している。 ○ 「関連」「他教科」で関連した内容を学習するページや他教科とのつながりを示している。 ○ 「web 保体情報館」で、ウェブサイトで参考になる情報を調べることができるように示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 がんの発生と進行のしくみ ・資料2 おもながんとその特徴 ・資料3 肥満指数とがんによる死亡のリスク ・資料4 適切な生活習慣の数とがんのリスクとの関係 ○ 「よみ取る」：資料3の読み取るためのポイント ○ 「web 保体情報館」：国立がん研究センター（がん情報サービス）
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」で、参考となる資料を示している。 ○ 「情報サプリ」で、学習内容に関連したミニ知識を掲載している。 ○ 「関連」で、関連した内容を学習するページや他教科とのつながりを示している。 ○ 「リンク」で、参考になるウェブサイトへのガイドが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 がんができる仕組み ・資料2 がんの危険性を減らす五つの健康習慣 ・資料3 がんの進行と早期発見・早期治療 ○ 「情報サプリ」 <ul style="list-style-type: none"> ・がんの正しい知識と社会の支援体制について掲載している。 ○ 「関連」：理科3年 生命の連続性 ○ 「リンク」：国立がん研究センター（がん情報サービス）

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例

	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫	「健康の成り立ちと疾病の発生要因」における具体例
東 書	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習課題と一緒に示し、本文中で強調表記にしている。巻末に「キーワードの解説」を掲載している。	○ 「キーワード」：健康，主体の要因，環境の要因 ・ キーワードの解説 「健康」：心身の状態が良好に保たれ，楽しく充実した生活を送れる状態。
	○ 各章末に「学習のまとめ」として「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」を掲載している。	○ 「確認の問題」 ・ 健康の成り立ちに関わる主体の要因と環境の要因（物理的環境，化学的環境，生物学的環境，社会的環境）を，それぞれ下のア～シの中から選びなさい。
大 日 本	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として示し，本文中で強調表記にしている。各章末の「学習のまとめ」の「重要な言葉」として解説している。	○ 「キーワード」：健康，主体，環境，物理的環境，化学的環境，生物学的環境，社会的・文化的環境 ・ 重要な言葉 「健康の成り立ち」：人間の健康は，主体（自分自身）の心身の状態と，主体を取り巻くさまざまな環境が適切な状態に保たれているときに成り立つ。
	○ 各章末の「学習のまとめ」で重要語句や要点の再確認ができるようにしている。ウェブサイトの「まとめの問題」で学習ができるようにしている。	○ 「まとめの問題」 ・ () に当てはまる適切な語句を，ア～コの中から選びなさい。
大 修 館	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として示し，本文中で強調表記にしている。巻末に「用語解説」を掲載している。	○ 「キーワード」：健康，主体の要因，環境の要因 ・ 用語解説 「健康の考え方」：WHOは「健康とは，身体的，精神的，社会的に完全に良好な状態であり，たんに病気あるいは虚弱でないことではない」と定義している。
	○ 各章末の「章のまとめ」で「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」「学びに向かって」「学習の振り返り」を掲載している。	○ 「知識・技能の確認問題」 ・ 健康や病気にかかわる要因①～⑯について，主体の要因にはAを，環境の要因にはBを書きなさい。 ・ 主体・環境の状態と健康との関係について，①～③にあてはまる例をア～ウから選び，記号を書きなさい。
学 研	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として示し，本文中で強調表記にしている。	○ 「キーワード」：主体の要因，環境の要因
	○ 各章末の「章のまとめ」で「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」を掲載している。	○ 「確かめよう」 ・ 次の図の() に当てはまる語句を，ア～エから選び，記号で答えなさい。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高める工夫と読み物の取扱い数及び具体例

	興味・関心を高める工夫	内 容	読み物の数	「体育理論」における具体例
東 書	○ 「読み物」として、学習内容に関連する内容の読み物資料を掲載している。	体育	4	○ 「読み物」 ・日本人と運動会 ・データ分析が試合を決める ・震災とスポーツ交流 ・スポーツと外交
		生活	6	
		心身	3	
		傷害	2	
		環境	4	
大 日 本	○ 「トピックス」として、学習内容と関連するデータや内容の読み物を掲載している。	体育	9	○ 「トピックス」 ・スポーツの意味 ・テレビでのスポーツ観戦 ・健闘をたたえ合う ・骨密度の増加・減少と骨粗鬆症 ・「技術」と「技能」の関係 ・スポーツ障害 ・スポーツの文化的意義 ・ユースオリンピック ・アダプテッド・スポーツ
		生活	17	
		心身	10	
		傷害	8	
		環境	6	
大 修 館	○ 「コラム」「事例」「体育の窓」「保健の窓」として、学習内容の理解を助ける話や関連する話題を掲載している。	体育	5	○ 「事例」 ・運動会でのかかわり方 ・元Jリーガーの挑戦 ○ 「コラム」 ・中学生期に高めたい体力 ・オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎 ○ 「体育の窓」 ・みんなで楽しむポッチャ
		生活	14	
		心身	8	
		傷害	7	
		環境	7	
学 研	○ 「コラム」として、学習内容に関連する内容の読み物資料を掲載している。	体育	9	○ 「コラム」 ・いろいろな運動部活動 ・不器用が生み出した最高の技術 ・体力測定と体力 ・スポーツで求められること - フェアプレイ・チームワーク・スポーツマンシップ - ・スポーツの力 ・オリンピック休戦 ・変わりゆくスポーツ視聴 ・よきライバル ・スポーツでつながる世界
		生活	12	
		心身	1	
		傷害	5	
		環境	5	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫
方法	健康課題の解決に関わる内容、技能に関する内容等を充実させるための工夫及び具体例

	健康課題の解決に関わる内容、技能に関する内容等を充実させるための工夫	「傷害の防止」における実習(技能に関する内容等)の具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける」で課題の発見に向けての思考、判断、表現する活動を掲載している。 ○ 「課題の解決」で課題の解決に向けて主体的に思考、判断、表現するための発問や習得した知識・技能を活用し、より深く思考、判断、表現する活動を掲載している。 ○ 「広げる」で自他の生活に当てはめて考えるなど、実践力の基礎を育てる活動を掲載している。 ○ 「D」マークで、動画や関連サイトで学習ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直接圧迫止血法 ○ 包帯法 ○ 心肺蘇生の方法(胸骨圧迫) ○ 心肺蘇生の方法(気道の確保、人工呼吸) ○ AED(自動体外式除細動器)
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つかもう」で各小単元の、課題を発見する活動を掲載している。 ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で本文や資料を活用しながら、いろいろな学習活動に取り組み、解決する課題を掲載している。 ○ 「活用して深めよう」で学習したことを整理し、理解させ、定着させ、自分の生活に活かす、学びをより深める活動を掲載している。 ○ 「WEB」で動画や関連サイトで学習ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胸骨圧迫の正しい方法 ○ 気道確保の正しい方法 ○ 人工呼吸の正しい方法 ○ AEDの使い方 ○ 止血をするための応急手当(傷の手当の基本、包帯の巻き方、鼻出血、ネット包帯、直接圧迫止血法) ○ 外傷の応急手当(三角巾を使った固定のしかた、当て物を使った固定のしかた、RICE法、打撲傷の応急手当)
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題をつかむ」でこれまでの経験や学習を思いだしながら、問題を解いたり、意見を出し合ったりする活動を掲載している。 ○ 「学習のまとめ」で学習内容を日常生活に生かしたり、確認したりする活動を掲載している。 ○ 「web 保体情報館」で動画や関連サイトで学習ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胸骨圧迫 ○ AEDの操作 ○ 気道確保と人工呼吸 ○ 止血をする ○ 包帯で保護と固定をする ○ 三角巾で保護と固定をする ○ 固定具で固定をする
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題をつかむ」で事例や情報などの問いから、学習する課題を見つける活動を掲載している。 ○ 「考える・調べる」で学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりする活動を掲載している。 ○ 「まとめる・深める」で学習を通して理解したことをまとめたり、伝えたりして深める活動を掲載している。 ○ 「教科書サイト」で動画や関連サイトで学習ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 胸骨圧迫 ○ AEDを用いた手当 ○ 人工呼吸(気道確保、感染防止器具、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせる場合) ○ 止血法(直接圧迫止血法) ○ 包帯法(巻き包帯<腕、指>) ○ 固定法(三角巾を用いた方法:足首の捻挫の場合、前腕の骨折の場合、固定具や三角巾の代用)

観点

(ウ) 内容の構成・配列・分量

視点

⑥単元・題材や資料等の配列

方法

各単元における項目、資料等の配列

	第1学年	第2学年	第3学年
東 書	<p>健康な生活と疾病の予防①</p> <p>1 健康の成り立ちと疾病の発生要因</p> <p>2 運動と健康</p> <p>3 食生活と健康</p> <p>4 休養・睡眠と健康</p> <p>5 調和のとれた生活</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>心身の機能の発達と心の健康</p> <p>1 体の発育・発達</p> <p>2 呼吸器・循環器の発育・発達</p> <p>3 生殖機能の成熟</p> <p>4 異性の尊重と性情報への対処</p> <p>5 心の発達</p> <p>6 自己形成と心の健康</p> <p>7 心と体の関わり</p> <p>8 欲求と心の健康</p> <p>9 ストレスによる健康への影響</p> <p>10 ストレスへの対処の方法</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>運動やスポーツの多様性</p> <p>1 運動やスポーツの必要性和楽しさ</p> <p>2 運動やスポーツへの多様な関わり方</p> <p>3 運動やスポーツの多様な楽しみ方</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p>	<p>傷害の防止</p> <p>1 傷害の発生要因</p> <p>2 交通事故の発生要因</p> <p>3 交通事故の危険予測と回避</p> <p>4 犯罪被害の防止</p> <p>5 自然災害による危険</p> <p>6 自然災害による傷害の防止</p> <p>・共に生きる(発展)</p> <p>7 応急手当の意義と方法</p> <p>8 心肺蘇生法</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>健康な生活と疾病の予防②</p> <p>1 生活習慣病の起こり方</p> <p>2 生活習慣病の予防</p> <p>3 がんの予防</p> <p>4 喫煙の害と健康</p> <p>5 飲酒の害と健康</p> <p>6 薬物乱用の害と健康</p> <p>7 薬物乱用の社会的な影響</p> <p>8 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p> <p>1 運動やスポーツの効果</p> <p>2 運動やスポーツの学び方</p> <p>3 運動やスポーツの安全な行い方</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p>	<p>健康と環境</p> <p>1 環境への適応能力</p> <p>2 活動に適する環境</p> <p>・熱中症の予防と手当(発展)</p> <p>3 飲料水の衛生的管理</p> <p>4 室内の空気の衛生的管理</p> <p>5 生活に伴う廃棄物の衛生的管理</p> <p>・放射線と健康(発展)</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>健康な生活と疾病の予防③</p> <p>1 感染症の広がり方</p> <p>2 感染症の予防</p> <p>3 性感染症の予防</p> <p>4 エイズの予防</p> <p>5 医薬品の利用</p> <p>6 保健・医療機関の利用</p> <p>7 健康を守る社会の取り組み</p> <p>8 保健の学習を振り返ろう</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>文化としてのスポーツの意義</p> <p>1 現代社会におけるスポーツの文化的意義</p> <p>2 国際的なスポーツ大会の役割</p> <p>3 人々を結び付けるスポーツ</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学習のまとめ</p>
	大 日 本	<p>運動やスポーツの多様性</p> <p>1 運動やスポーツの必要性和楽しさ</p> <p>2 運動やスポーツへの多様な関わり方</p> <p>3 運動やスポーツの多様な楽しみ方</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学びを活かそう</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>健康な生活と病気の予防</p> <p>1 健康の成り立ち</p> <p>2 運動と健康</p> <p>3 食生活と健康</p> <p>4 休養・睡眠と健康</p> <p>5 調和のとれた生活</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学びを活かそう</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>心身の発達と心の健康</p> <p>1 体の発育・発達</p> <p>2 呼吸器・循環器の発育・発達</p> <p>3 生命を生み出す体への成熟</p> <p>4 思春期の心の変化への対応</p> <p>5 考える心・感動する心の発達</p> <p>6 人との関わりと自分らしさ</p> <p>7 欲求への対処</p> <p>8 ストレスへの対処</p> <p>9 心と体の関わり</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学びを活かそう</p> <p>○ 学習のまとめ</p>	<p>運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p> <p>1 運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果</p> <p>2 運動やスポーツの学び方</p> <p>3 安全な運動やスポーツの行い方</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学びを活かそう</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>健康な生活と病気の予防</p> <p>1 生活習慣病の予防</p> <p>2 がんの予防</p> <p>3 喫煙と健康</p> <p>4 飲酒と健康</p> <p>5 薬物乱用と健康</p> <p>6 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学びを活かそう</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <p>傷害の防止</p> <p>1 傷害の発生要因と防止</p> <p>2 交通事故の要因と傷害の防止</p> <p>3 犯罪被害の防止</p> <p>4 自然災害による傷害の防止</p> <p>資料 自然災害の脅威</p> <p>5 応急手当の基本</p> <p>6 心肺蘇生法</p> <p>7 出血があるときの応急手当</p> <p>8 外傷の応急手当</p> <p>○ 章末資料</p> <p>○ 学びを活かそう</p> <p>○ 学習のまとめ</p>

	第1学年	第2学年	第3学年
大修館	<p>運動やスポーツの多様性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ 2 運動やスポーツへのかかわり方 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方 <p>○ 章のまとめ</p> <p>調和のとれた生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食事と健康 4 休養・睡眠と健康 <p>○ 章のまとめ</p> <p>心身の発達と心の健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖にかかわる働きの成熟(1) 4 生殖にかかわる働きの成熟(2) 5 性への関心と行動 6 知的機能・情意機能の発達 7 社会性の発達と自立 8 自己形成 9 欲求とその充足 10 心と体のかかわりとストレス 11 ストレスへの対処のしかた 12 実習 リラクゼーションの方法 <p>[クローズアップ]</p> <p>悩みに上手に対処しよう</p> <p>○ 章のまとめ</p>	<p>運動やスポーツの効果・学び方・安全</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツの体と心への効果 [クローズアップ] 体力を高めよう 2 運動やスポーツの学び方 3 運動やスポーツの安全なおこない方 <p>○ 章のまとめ</p> <p>生活習慣の健康への影響</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病 2 生活習慣病の予防 3 がんとその予防 4 生活習慣病・がんの早期発見とその回復 5 喫煙と健康 6 飲酒と健康 7 薬物乱用と健康 8 喫煙・飲酒・薬物乱用のきつかけと対処 <p>○ 章のまとめ</p> <p>けがの防止と応急手当</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 けがの原因と防止 2 交通事故の実態と原因 3 交通事故の防止 [クローズアップ] <p>犯罪被害から身を守る</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 自然災害によるけがの防止 5 応急手当の意義と基本 6 心肺蘇生法の流れ 7 実習 心肺蘇生法 8 実習 止血法、包帯法、固定法 <p>○ 章のまとめ</p>	<p>文化としてのスポーツ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代生活におけるスポーツの意義 2 国際的なスポーツ大会の意義と役割 [クローズアップ] <p>オリンピック・パラリンピックを学ぼう</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 人びとを結ぶスポーツ <p>○ 章のまとめ</p> <p>感染症の予防と健康を守る社会の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症と病原体 2 感染症と体の抵抗力 3 感染症の予防 4 性感染症とその予防 5 エイズとその予防 6 保健機関とその利用 7 医療機関とその利用 8 医薬品の正しい使い方 <p>○ 章のまとめ</p> <p>環境の健康への影響</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境の変化への体の適応 2 気象情報の適切な利用 3 快適で能率のよい環境 4 室内の空気の汚染と換気 5 衛生的な飲料水の供給 6 し尿とごみの処理 7 災害と環境 8 私たちの生活と環境問題 <p>○ 章のまとめ</p>
	学研	<p>スポーツの多様性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツの始まりと発展 2 スポーツへの多様な関わり方 3 スポーツの多様な楽しみ方 <p>○ 探究しようよ!</p> <p>○ 章のまとめ</p> <p>健康な生活と病気の予防①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 <p>[もっと広げる深める]</p> <p>調和のとれた生活</p> <p>○ 探究しようよ!</p> <p>○ 章のまとめ</p> <p>心身の発達と心の健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発達 3 生殖機能の成熟 4 性とどう向き合うか 5 心の発達(1) 6 知的機能と情意機能の発達 7 心の発達(2) 8 社会性の発達 9 自己形成 10 欲求不満やストレスへの対処 <p>実習 リラクゼーションの方法</p> <p>[もっと広げる深める]</p> <p>心と体のSOS</p> <p>○ 探究しようよ!</p> <p>○ 章のまとめ</p> <p>○ 1年の学習の終わりに</p>	<p>スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果 2 スポーツの学び方 3 スポーツの安全な行い方 <p>○ 探究しようよ!</p> <p>○ 章のまとめ</p> <p>健康な生活と病気の予防②</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病とその予防 2 がんとその予防 3 喫煙と健康 4 飲酒と健康 5 薬物乱用と健康 6 喫煙・飲酒・薬物乱用のきつかけ <p>[もっと広げる深める]</p> <p>たばこ・酒・薬物に手を出さないために</p> <p>○ 探究しようよ!</p> <p>○ 章のまとめ</p> <p>傷害の防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 傷害の原因と防止 2 交通事故の現状と原因 3 交通事故の防止 4 犯罪被害の防止 5 自然災害に備えて [もっと広げる深める] 自然災害を知る 6 [もっと広げる深める] 自然災害から身を守るために 7 応急手当の意義と基本 8 実習 心肺蘇生法 9 実習 きずの手当 <p>○ 探究しようよ!</p> <p>○ 章のまとめ</p> <p>○ 2年の学習の終わりに</p>

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦発展的な学習に関する内容の記述の工夫
方法	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元

	発展的な学習の扱い	記載数	記載単元（記載数）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と示し、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。 	18	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方（1） ○ 文化としてのスポーツの意義（1） ○ 健康な生活と疾病の予防（6） ○ 心身の機能の発達と心の健康（3） ○ 傷害の防止（3） ○ 健康と環境（4）
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習指導要領には示されていない発展的な学習内容です。興味・関心に応じて学習しましょう。」と示し、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末と「トピック」に発展的な資料を掲載している。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方（1） ○ 健康な生活と疾病の予防（4） ○ 心身の機能の発達と心の健康（3） ○ 傷害の防止（2） ○ 健康と環境（5）
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習指導要領の範囲外の内容です。先生の指示にしたがって学習しましょう。」と示し、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末の「特集資料」で発展的な資料を掲載している。 	17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方（2） ○ 健康な生活と疾病の予防（8） ○ 心身の機能の発達と心の健康（2） ○ 傷害の防止（2） ○ 健康と環境（3）
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習指導要領の範囲外で、興味・関心などに応じて取り組む『発展的な学習内容』」と示し、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末の「探究しようよ！」で発展的な資料を掲載している。 	16	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化としてのスポーツの意義（1） ○ 健康な生活と疾病の予防（9） ○ 傷害の防止（5） ○ 健康と環境（1）

観点 (エ) 内容の表現・表記

視点 ⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用

方法 イラスト・写真の示し方, マーク等の活用

	イラスト・写真の示し方	マーク等の活用
東書	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」: 今日の学習のキーワードを示している。 ・「ポイント」: 資料を読み取るためのポイントを示している。 ・「リンク」「他教科」: 関連したページや他教科とのつながりを示している。 ・「発展」: 学習指導要領には示されていない内容だが、必要に応じて学習できることを示している。 ・「読み物」: 学習内容に関する読み物を示している。 ・「虫眼鏡」: インターネットなどで調べる場所を示している。 ・「D」: インターネットやデジタルコンテンツを利用して効果的に学習できることを示している。 ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。
大日本	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「資料」: 学習の理解や活動の参考になる資料を示している。 ・「トピックス」: 学習内容と関連が深い話題や読み物を示している。 ・「ミニ知識」: 学習内容に関連した情報を示している。 ・「注意」: 学習内容や生活のなかで、特に注意すべきことについて示している。 ・「リンク」「他教科」: 関連したページや他教科とのつながりを示している。 ・「キーワード」: 学習のポイントとなる大切な言葉を示している。 ・「家」: 家で取り組みたい活動を示している。 ・「地域」: 地域で取り組みたい活動を示している。 ・「発展」: 学習指導要領には示されていない内容だが、興味・関心に応じて学習できるように示している。 ・「WEB」: ウェブサイトにある動画や資料を使って学習できることを示している。
大修館	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「実習」: 実際に体を動かしておこない方を身に付けるものを示している。 ・「コラム」「事例」: 本文に関連した読みもの資料を示している。 ・「体育の窓」「保健の窓」: 自分ならどうするか考える場所を示している。 ・「キーワード」: 本文の重要語句を示している。 ・「よみ取る」: 資料をよみ取るためのポイントを示している。 ・「関連」「他教科」: 関連したページや他教科とのつながりを示している。 ・「発展」: 学習指導要領には示されていない内容だが、教師の指示にしたがって学習できることを示している。 ・「ほり下げる」: 本文に出てくることばなどをくわしく解説している。 ・「web 保体情報館」: ウェブサイトから参考になる情報を調べることができることを示している。
学研	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」: 本文中の太字を中心とした代表的な重要語句を示している。 ・「技能」: 方法を知ったり、身に付けたりする内容を示している。 ・「実習」: 実際に行って、方法や技術を理解・習得する学習内容を示している。 ・「関連」: 関連したページや他教科とのつながりを示している。 ・「情報サプリ」: 学習内容に関連したミニ知識を示している。 ・「リンク」: 参考になるウェブサイトへのガイドを示している。 ・「探究」: 「探究しようよ!」へのガイドを示している。 ・「発展」: 学習指導要領には示されていない内容だが、興味・関心などに応じて取り組む「発展的な学習内容」を示している。 ・「協働」「言語」: 教え合い学び合う課題や言語活動を含む課題を示している。 ・「コラム」: 学習内容に関連した読み物資料を示している。 ・「教科書サイト」: インターネットやデジタル教材で、学習を広げたり深めたりできることを示している。 ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨思考し判断したことを、言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫
方法	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫と具体例

	言語活動に係る学習活動の工夫	「健康と環境」における具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける」「課題の解決」「広げる」で、言語活動に係る学習活動について記載している。 ○ 「保健体育の学習方法」で、「課題学習」「情報の収集」「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」等の解説を、イラストを交えて掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の解決「飲料水の衛生的管理」 海外では、水道施設があったとしても、飲料用には煮沸が必要であったり、市販の飲料水を勧められたりすることがあります。水道水の管理面や健康面でどのような問題が考えられるか、意見を発表し合みましょう。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」で、言語活動に係る学習活動について記載している。 ○ 「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」「ロールプレイング」「フィールドワーク」等の解説を、イラストを交えて掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合ってみよう「水の役割と飲料水の条件」 資料2資料3を参考に、安全な飲料水にはどのような条件があるか話し合ってみましょう。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題をつかむ」「学習のまとめ」で、言語活動に係る学習活動について記載している。 ○ 「保健体育の学び方」で、「ブレインストーミング」「ディスカッション」「インタビュー・アンケート・実地調査」「課題学習」等の解説を、写真とイラストを交えて掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめ「衛生的な飲料水の供給」 地震や水道の事故などで断水になったとします。自宅で雨水を少しでも安全に飲むためには、どうすればよいのでしょうか。右に示した道具を手がかりに、考えてみよう。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめ・深める」で、言語活動に係る学習活動について記載している。 ○ 「さまざまな学習方法」で、「事例を用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「課題学習」「調査方法」の解説を、イラストを交えて掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「協働」「言語」のマークをつけて言語活動に係る学習活動を示している。 ○ まとめ・深める「水の役割と飲料水の確保」 山の中で道に迷ってしまい、安全かどうかかわからない水を飲まなければならなくなったとします。少しでも安全な水を飲むために、右に挙げた道具を用いてどんなことができるか、考えてみましょう。

技術・家庭（技術分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
6	教 図	New技術・家庭 技術分野 明日を創造する New技術・家庭 技術分野 明日を創造する技術ハンドブック
9	開 隆 堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 目標の示し方	各内容における学習項目の目標の示し方と具体例
		② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫	「技術の見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方
		④ 学習過程の工夫	主体的な学びを促す学習過程の示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 題材や資料等の配列	題材及び学習内容の配列と分量
		⑥ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連する内容の示し方と具体例
		⑧ ユニバーサルデザインへの取組	特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数

【技術・家庭（技術分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①目標の示し方
方法	各内容における学習項目の目標の示し方と具体例

	目標の示し方	A 材料と加工の技術「設計」に関する具体例
東書	<p>○ 各内容とも、項目ごとに、「目標」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。</p> <p>・目標の数 100個 ・キーワードの数 133個</p>	<p>「製作品を構想し、設計しよう」</p> <p>○ 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な図の描き方を理解し、図に表すことができる。 ・材料の選択や成形の方法などを構想して設計を具体化することができる。 <p>○ キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計 ・製作に必要な図
教図	<p>○ 各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。</p> <p>・目標の数 91個 ・キーワードの数 166個</p>	<p>「設計のしかたを知ろう」</p> <p>○ 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計の流れに沿って、問題を解決する手順を知る。 ・使用目的や使用条件に合う、製作品が設計できる。 <p>○ キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計 ・目的 ・条件 ・機能 ・構造 ・材料 ・問題 ・構想図 ・材料取り図 ・部品図
開隆堂	<p>○ 各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の囲みを設け、目標を示している。</p> <p>・目標の数 99個</p>	<p>「設計」</p> <p>○ 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計の流れと必要な要素を知る。 ・設定した課題に向けた設計を行う。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫

	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 (記述例)・漏電、感電 ・ショート（短絡） ・ブレーカ（遮断器） ・アース線 ・トラッキング現象 ・定格値 ・定格電流 ・定格電圧 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「ポイント」の囲みを 62 か所、「テックラボ」として、工程ごとの基礎的・基本的な技能を 24 ページ掲載している。 ○ 「安全」マークを 25 か所、「衛生」マークを 13 か所表示し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「D」マークを 21 か所表示し、デジタルコンテンツを利用し、学習できるようにしている。
教図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 (記述例)・定格値 ・漏電 ・短絡 ・分電盤 ・遮断器 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「基礎技能」の囲みを 42 か所、ハンドブックにおいては 20 個の基礎技能を掲載している。 ○ 「安全」マークを 45 か所（内、ハンドブック 20 か所）、「衛生」マークを 8 か所（うちハンドブック 1 か所）表示し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」を 58 か所（うちハンドブック 15 か所）表示し、デジタルコンテンツを利用し、学習できるようにしている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 (記述例)・定格電流 ・定格電圧 ・定格時間 ・定格消費電力 ・許容電流 ・分電盤 ・接地線 ・ヒューズ ○ 基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「動作のポイント」マークを 21 か所、学習の参考になる内容や資料・解説として、「参考」の囲みを 100 か所掲載している。 ○ 「安全」マークを 23 か所表示し、実習などにおける安全のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」を 56 か所表示し、デジタルコンテンツを利用し、学習できるようにしている。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫
方法	「技術の見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方

「技術の見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方	
東 書	<p>○ 各内容の最初のページ見開きで、左ページに「技術の見方・考え方」、右ページに「発見！技術の最適化」を掲載し、身近な製品の具体例とともに、既存の技術の工夫について示している。また、各内容第1章の最後に、「チェック 技術の見方・考え方」を掲載し、気付いた技術の見方・考え方について、まとめることができるようにしている。</p> <p>○ 技術の最適化について意識できるよう、「技術の天秤」マークを18か所表示し、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示している。 (具体例) A 材料と加工の技術 ・ペットボトルによる問題解決の例 [着目の視点] ・機能性 ・丈夫さ ・環境への配慮 ・経済性</p>
教 図	<p>○ 各内容の最初のページ見開きで、各内容における技術の発展の具体例を取り上げるとともに、技術を最適化する際の着目する視点について記載している。</p> <p>○ 各内容とも、問題を解決する工夫や技術の工夫について調べたり、考えたりする項目があり、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示している。 (具体例) A 材料と加工の技術 ・ペットボトルに込められた材料や形状の工夫 [着目の視点] ・安全性、使いやすさ ・耐熱性 ・利便性 ・管理、運営、販売 ・資源の節約</p>
開 隆 堂	<p>○ ガイダンスにおいて、見開きで「技術の見方・考え方」を掲載し、電気ストーブにおける技術の工夫やしくみを通して、「技術の見方・考え方」を示している。</p> <p>○ 技術の最適化について意識できるよう、「トレードオフ」マークを14か所表示し、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。</p> <p>○ 身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示している。 (具体例) A 材料と加工の技術 ・着目すべき問題解決の工夫の視点 [着目の視点] ・社会からの要求 ・安全性 ・耐久性 ・機能性 ・環境への負荷 ・資源の有限性 ・経済性</p>

【技術・家庭（技術分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④学習過程の工夫
方法	主体的な学びを促す学習過程の示し方

主体的な学びを促す学習過程の示し方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンスにおいて、「問題の発見、課題の設定」、「設計・計画」、「製作、制作、育成」、「成果の評価、改善・修正」、「新たな問題の発見」という技術による問題の解決の学習過程を示し、社会での技術による問題の解決の過程の具体例を掲載している。 ○ 各内容において、技術による問題の解決の学習過程ごとに、「問題解決カード」を示し、問題の解決の進め方の具体例を掲載している。 ○ 各内容の製作実習例を「問題解決例」として33事例取り上げ、「問題の発見」、「課題の設定」の具体例を示すとともに、製作・制作・育成の手順を掲載している。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容の設計・計画において、「問題を発見する」、「目的や条件をもとに構想（育成計画）を考える」、「構想（育成計画）を具体化する」、「設計（育成計画）をまとめる」という技術の問題の解決の学習過程を示し、学習過程ごとに具体例を掲載している。 ○ 各内容の設計・計画において、技術による問題の解決の学習過程に沿った計画表の具体例を掲載している。 ○ 各内容の製作実習例を「題材例」として18事例取り上げ、製作・制作・育成の手順を示すとともに、8事例において、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンスにおいて、「知識や技能を身につける」、「問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」、「学習したことを社会に生かす」の学習過程を漫画で解説し、社会でのものづくりの過程の具体例を掲載している。 ○ 各内容において、「問題解決の流れ」の項目を示し、「問題の発見と課題の設定」、「設計と試作」、「製作」、「成果の評価と改善」などの技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。 ○ 各内容の製作実習例を「実習例」として28事例取り上げ、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。

【技術・家庭（技術分野）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤題材や資料等の配列
方法	題材及び学習内容の配列と分量

	主要要素	A 材料と加工の技術		B 生物育成の技術		C エネルギー変換の技術		D 情報の技術	
		学習内容	ページ数	学習内容	ページ数	学習内容	ページ数	学習内容	ページ数
東書	生活や社会を支える技術	・材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	18	・生物育成の技術の原理・法則と仕組み	12	・エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	30	・情報の技術の原理・法則と仕組み	20
	技術による問題解決	・材料と加工の技術による問題解決	40	・生物育成の技術による問題解決	28	・エネルギー変換の技術による問題解決	20	・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ・計測・制御のプログラミングによる問題解決	32
	社会の発展と技術	・社会の発展と材料と加工の技術	8	・社会の発展と生物育成の技術	6	・社会の発展とエネルギー変換の技術	6	・社会の発展と情報の技術	10
教図	生活や社会を支える技術	・材料の技術と加工の技術を見つけよう ・材料の特性を調べよう 等	24	・生物を育てる技術を見つけよう ・生物を育てる技術を知ろう 等	12	・エネルギー変換の技術を見つけよう ・電気に関する技術を知ろう 等	32	・情報を処理する技術を見つけよう ・コンピュータが情報を処理するしくみを知ろう 等	32
	技術による問題解決	・設計のしかたを知ろう ・設計に沿った製作をしよう 等	36	・生物育成の計画を立てよう ・計画に沿って作物を栽培しよう 等	22	・設計のしかたを知ろう ・設計に沿った製作をしよう 等	24	・設計に沿った双方向性のあるコンテンツを制作しよう ・設計に沿った計測・制御システムを製作しよう 等	44
		(ハンドブック)	12	(ハンドブック)	10	(ハンドブック)	6	(ハンドブック)	10
	社会の発展と技術	・社会の発展と技術と材料と加工の技術	4	・社会の発展と生物育成の技術	4	・社会の発展とエネルギー変換の技術	4	・社会の発展と情報の技術	4
開隆堂	生活や社会を支える技術	・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術	22	・生活や社会と生物育成の技術 ・さまざまな生物育成の技術	18	・生活や社会とエネルギー変換の技術 ・エネルギー資源の利用 等	36	・生活や社会と情報の技術 ・情報とコンピュータ 等	42
	技術による問題解決	・問題解決の手順 ・製作のための技能(木材) ・製作のための技能(金属・プラスチック)	44	・生物育成の技術による問題解決	20	・エネルギー変換の技術による問題解決	10	・双方向性のあるコンテンツによる問題解決 ・計測・制御による問題解決	22
	社会の発展と技術	・これからの材料と加工の技術	4	・これからの生物育成の技術	4	・これからのエネルギー変換の技術	4	・これからの情報の技術	4

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥実践的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	実践的・体験的な学習の具体例

実践的・体験的な学習の具体例		数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 材料と加工の技術 (8) <ul style="list-style-type: none"> ・リモコンラック ・ロッカー整理棚 ・トラッシュボックス ・プリンターカバー ・飾り棚 ・タブレットスタンド ・プリント整理箱 ・絵本ラック ○ B 生物育成の技術 (8) <ul style="list-style-type: none"> ・ナス ・リーフレタス ・ジャガイモ ・パンジー ・ダイコン ・イチゴ ・イネ ・ラッカセイ ○ C エネルギー変換の技術 (5) <ul style="list-style-type: none"> ・携帯型扇風機 ・自動車の乗降装置 ・冷蔵庫開けっ放し報知器 ・さくらんぼ収穫ロボット ・自動点灯LEDライト ○ D 情報の技術 (12) <ul style="list-style-type: none"> ・地域紹介翻訳システム ・学校内チャットシステム ・熱中症予防システム ・冷蔵庫開閉チェッカー ・防災マップ ・施設確認システム ・育苗システム ・福祉車両のモデル ・クラス伝言板システム ・中学校物知り博士 ・ロボット掃除機のモデル ・さくらんぼ自動収穫ロボット ○ 統合的な問題の解決 (6) <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物防止システム ・ドローン配送システム ・地震時避難誘導システム ・トラック物流システム ・自転車サポートシステム ・自動かん水システム 	39
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 材料と加工の技術 (9) <ul style="list-style-type: none"> ・不思議な本立て ・便利なプリンターラック ・小物ボックス ・パンチングメタルスタンド ・パーフェクトスマホスタンド ・2列小物スタンド ・調味料ホルダー ・リモコンスタンドつき本立て ・2段小物ラック ○ B 生物育成の技術 (6) <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーリーフ ・コマツナの鉢栽培 ・低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え ・ミニダイコンの袋栽培 ・キュウリのプランター栽培 ・ミニトマトのプランター栽培 ○ C エネルギー変換の技術 (6) <ul style="list-style-type: none"> ・カンタンライト ・災害時に役立つライト ・ばくばくカム ・コロコロコースター ・ショベルカーのモデル ・ライトつきメガネスタンド ○ D 情報の技術 (9) <ul style="list-style-type: none"> ・追いかけてっごゲーム ・簡単チャット ・簡単チャットのプログラミング ・数当てゲーム ・自動点灯・消灯ライト ・双方向性の蓄積クイズ ・PTAバザーの案内マップ ・自動かん水機 ・いろいろ問題解決 ○ 統合的な問題の解決 (2) <ul style="list-style-type: none"> ・2足歩行ロボット ・バッテリーチャージャ 	32
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 材料と加工の技術 (7) <ul style="list-style-type: none"> ・一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・規格材で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック ・安全性を重視したふみ台 ・見ばえよく植物を収納する鉢入れ ・分類して収納できる文房具の整理箱 ・調理スペースが広がる調味料ラック ・機能性を重視したカレンダーつきメモホルダ ○ B 生物育成の技術 (8) <ul style="list-style-type: none"> ・甘みのあるミニトマトの栽培 ・チューリップの促成栽培 ・ドジョウの養殖 ・リーフレタスの養液栽培 ・イネの容器栽培 ・スギ人工林の育成 ・ラディッシュの容器栽培 ・乳牛の飼育 ○ C エネルギー変換の技術 (5) <ul style="list-style-type: none"> ・非常時に光る防災用ライト ・持ち運べるLEDライトスタンド ・介助用ロボット-コンテストを考えた設計- ・お手軽クリーナー ・音声増幅器 ○ D 情報の技術 (8) <ul style="list-style-type: none"> ・安心して使えるメッセージ交換アプリ ・ルート検索アプリ ・立入禁止エリアを判断する金属回収ロボット ・自宅のセキュリティ対策-モニタリングによる防犯- ・自分の動きを計測するトレーニング補助装置 ・ネット対戦型タイピング練習 ・英単語の発音チェックアプリ ・防災地図アプリ ○ 統合的な問題の解決 (1) <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ植物工場 (生物育成との統合) -コマツナの苗の育成- 	29

観点	(工) 内容の表現・表記	
視点	⑦各教科等と関連させて学習を進める工夫	
方法	各教科等と関連する内容の示し方と具体例	
	各教科等と関連する内容の示し方(記載数)	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マークを示し、教科、学年、単元概要を示している。(26) ○ 小学校の各教科等の学習内容との関連については、「小学校」マークを示し、教科、学年、単元概要を示している。(11) ○ 中学校や小学校の各教科等との学習に関連する内容の教科書紙面を見ることが出来る「Dマークコンテンツ」マークを示している。(15) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「他教科」 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 理科1年 身の回りの物質とその性質 数学1年 平面図形, 空間図形 等 ○ 「小学校」 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 理科4年 金属, 水, 空気の温度 算数4年 立方体, 直方体などの立体図形, 見取図, 展開図 図画工作 工作に表す活動 等 ○ 「Dマークコンテンツ」 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 理科 物の調べ方 数学 立体の投影図
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを示し、教科を示している。(5) ○ 小学校の各教科等との学習内容との関連については、「リンク」マークを示し、教科を示している。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「リンク」 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 小学校・図画工作, 理科 中学校・保健体育, 理科 等
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マークを示し、教科、学年、単元概要を示している。(13) ○ 小学校の各教科等の学習内容との関連については、「小学校」マークを示し、教科、学年、単元概要を示している。(9) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「他教科」 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 理科 「身の回りの物質とその性質」 中学数学1年 「平面図形」「空間図形」 ○ 「小学校」 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術 小学4年 算数 「直方体の見取り図, 展開図」 小学5年 算数 「柱体の見取り図, 展開図」

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧ユニバーサルデザインへの取組
方法	特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫
	特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体はユニバーサルデザインフォント、ふり仮名は丸ゴシック体を使用している。 ○ カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、全見開き右側にインデックスを示している。 ○ キャラクターのせりふは、全て文節改行にしている。 ○ 導線を色だけでなく、色名表記している。 ○ 導入やまとめの活動内容を全見開き、同じ位置に配置している。 ○ 問題解決例は、「問題の発見」、「課題の設定」を同じ位置に配置し、製作、制作、育成の手順については、手順ごとに番号と写真を用いて示している。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体はユニバーサルフォントを使用し、文字サイズは12ポイントとしている。 ○ カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ○ ページ番号の文字を大きくし、内容ごとに基本色を設定し、全見開き上側及び右側にインデックスを示している。 ○ 重要語句等は、青色の太字で強調している。 ○ 資料マークが黄色の網掛けで強調され、本文中にも同じものを示している。 ○ 「見つける」、「学ぶ」、「ふり返る」を基本配列とし、レイアウトされている。 ○ 題材例は、製作、制作、育成の手順について、手順ごとに番号と写真を用いて示している。 ○ ガイダンスに特別支援学校での実習の事例を掲載している。
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体はユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ カラーユニバーサルデザインに配慮している。 ○ 内容ごとに基本色を設定している。 ○ 文字間を調整し、本文は単語の途中で改行が行われないようにしている。 ○ 図中の矢印や円印は、縁取りを付けている。 ○ 導入の活動内容は、全見開きで同じ位置に配置され、活動内容をマークと太字、枠囲いで強調している。 ○ 実習例は、「身近な問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」などの学習の過程ごとに枠囲いを行い、流れを図示している。

観点 (オ) 言語活動の充実

視点 ⑨言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫

方法 言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数

言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数			
東書	○ 生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「活動」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」で示されている活動を取り上げている。		
	内容等	活動例数	具体例
	A 材料と加工の技術	○活動(6) ○調べてみよう(2) ○やってみよう(2) ○考えてみよう(7) ○話し合ってみよう(1)	○ 等角図で描かれた立体を第三角法による正投影図で表現しましょう。
	B 生物育成の技術	○活動(4) ○やってみよう(1) ○考えてみよう(6) ○話し合ってみよう(5)	○ 生物育成の技術による問題解決を基に、生産者と消費者の両方の立場に立って、農薬の使用について話し合ってみましょう。
	C エネルギー変換の技術	○活動(7) ○調べてみよう(4) ○やってみよう(4) ○考えてみよう(7) ○話し合ってみよう(1)	○ 電源として利用しているコンセントと電池には、どのような違いがあるでしょうか。それぞれの特徴をまとめてみましょう。
D 情報の技術	○活動(5) ○調べてみよう(3) ○やってみよう(2) ○考えてみよう(12) ○話し合ってみよう(1)	○ インターネットや自動的に仕事をする機器などによって、生活や社会はどのように便利になったか考えましょう。	
ガイダンス・その他	○活動(4)	○ 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表しましょう。	
教図	○ 生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「やってみよう」で示されている活動を取り上げている。		
	内容	活動例数	具体例
	A 材料と加工の技術	○やってみよう(12)	○ 自分が設計をして製作をした作品を、グループで発表しよう!
	B 生物育成の技術	○やってみよう(8)	○ 育ててみたい作物やその品種などを調べてかこう。また、その作物を育てる時の目標もかこう。
	C エネルギー変換の技術	○やってみよう(12)	○ 巻末の設計計画表に記入をしてみよう。
D 情報の技術	○やってみよう(29)	○ 生活の中で、並行して複数の処理を進める例を考えて、アクティビティ図で表そう。	
開隆堂	○ 生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」、「やってみよう」で示されている活動を取り上げている。		
	内容等	活動例数	具体例
	A 材料と加工の技術	○課題(5) ○調べてみよう(8) ○考えてみよう(5) ○話し合ってみよう(3) ○確認してみよう(1)	○ 製作の計画を立ててみよう。作業時間と完成に至るまでの作業内容を考えて、工程表を作りましょう。
	B 生物育成の技術	○課題(4) ○調べてみよう(4) ○考えてみよう(3) ○話し合ってみよう(2)	○ 本来は夏に収穫されるトマトを、季節を問わず一年中食べられるようにするために、どのような工夫がされているだろうか。
	C エネルギー変換の技術	○課題(7) ○調べてみよう(7) ○考えてみよう(6) ○話し合ってみよう(6)	○ エネルギー変換の技術における「技術の光と影」の例を調べて、影の部分を小さくしながら光の部分を活用できるような使い方について話し合ってみよう。
D 情報の技術	○課題(15) ○考えてみよう(5) ○話し合ってみよう(6) ○やってみよう(3)	○ 単純な絵を考えて、それをかく手順を文章や箇条書きで説明してみよう。次にその文章だけを他の人に見せて、絵をかいてもらおう。	
ガイダンス・その他	○課題(6)	○話し合ってみよう(2)	○ 技術についてこれまでに学習してきたことや、最近の技術や製品に関するニュースなどで、興味をもったことについて話し合ってみよう。

技術・家庭（家庭分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
6	教 図	New技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
9	開 隆 堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	目標の示し方	各内容における学習項目の目標の示し方と具体例
		②	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方
		④	学習した内容を家庭や地域で実践するための記述	「生活の課題と実践」の示し方と実践例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	題材や資料等の配列	題材及び学習内容の配列と分量
		⑥	実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑦	各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連する内容の示し方と具体例
		⑧	発展的な学習の扱い方	発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例
		⑨	ユニバーサルデザインへの取組	特別支援教育へ配慮した構成・デザイン の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑩	言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数

観点		(ア) 基礎・基本の定着
視点		①目標の示し方
方法		各内容における学習項目の目標の示し方と具体例
		<p style="text-align: center;">目標の示し方</p> <p style="text-align: center;">具体例：A 家族・家庭生活</p>
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5編 12章と「選択 生活の課題と実践」で構成しており、1つの章は2～9つの項目を設定している。 ○ 1つの編は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」で構成している。 ○ 各内容とも、項目ごとに、「目標」マークを付け、目標を1つ又は2つ示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 5編 私たちの成長と家族・地域 2章 幼児の生活と家族 3 幼児の心の発達 ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心の発達の特徴について理解できる。 ○ キーワード <ul style="list-style-type: none"> ・言葉 ・認知 ・情緒 ・社会性 ・自立心 ・自律心
教図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3編 10章と「選択 生活の課題と実践」で構成しており、1つの章は1～8つの項目を設定している。 ○ 1つの編は、「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成している。 ○ 各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を1つ又は2つ示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> A編 家族・家庭生活 2章 幼児の生活と家族 2 幼児の心の発達を知ろう ○ めあて <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の言葉や情緒、社会性、もののとらえ方の発達の特徴を理解する。 ○ キーワード <ul style="list-style-type: none"> ・言葉 ・情緒 ・社会性 ・もののとらえ方
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの学習内容 23章と「生活の課題と実践」で構成しており、1つの章は2～6つの項目を設定している。 ○ 1つの学習内容は、「わたしの興味・関心」「導入の課題」「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成している。 ○ 各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の欄を付け、目標を1つ又は2つ示している。 	<ul style="list-style-type: none"> A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 ③ 幼児の心の発達 ○ 学習の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の言語、認知、情緒、社会性などの発達について理解する。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫

基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 (記述例) 家族・家庭、基本的な機能、家庭の仕事、食習慣、生活習慣病、栄養素等 ○ 「安全」マーク、「衛生」マークを本文中に表示し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「D」マークを44か所表示し、コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるようにしている。(「D」マークのうち、「他教科リンクマーク」15か所を含む。) <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・いつも確かめよう 計量する <li style="width: 50%;">・いつも確かめよう 野菜のいろいろな切り方 <li style="width: 50%;">・日本の文様の例 <li style="width: 50%;">・地域に伝わる衣の文化の例 <li style="width: 50%;">・日本各地の住まいの例 <li style="width: 50%;">・住まいの中の危険を探そう <li style="width: 50%;">・インターネット通販シミュレーション <li style="width: 50%;">・悪質商法などの例 <li style="width: 50%;">・幼児の生活 <li style="width: 50%;">・高齢者との関わり方 <p style="text-align: right;">等</p>
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語のうち、重要語句は青色の太字で表記している。 (記述例) 家族、家庭、家庭の仕事(家事)、食事、生命を維持し、健康を保持する等 ○ 「安全」マーク、「衛生」マークを本文中に表示し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」を55か所表示し、コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるようにしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・家庭生活を支える施設やサービス、活動 <li style="width: 50%;">・中学生の家族にインタビュー! <li style="width: 50%;">・考えてみよう 生活習慣チェック <li style="width: 50%;">・三角巾、エプロン、つめの手入れ <li style="width: 50%;">・やってみよう ゆかたの着付け <li style="width: 50%;">・洗剤を知ろう 界面活性剤の働き <li style="width: 50%;">・日本各地の住まい <li style="width: 50%;">・コレクティブハウス、シェアハウス <li style="width: 50%;">・国連広報センター 2030 アジェンダ <li style="width: 50%;">・国民生活センター <p style="text-align: right;">等</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な用語のうち、重要語句はゴシック体で表記している。 (記述例) 男女共同参画社会基本法、ワーク・ライフ・バランス、発達、生命や健康を維持、成長、活動等 ○ 「安全」マーク、「衛生」マークを本文中に表示し、実習などにおける安全や衛生のポイントをまとめ、生徒の注意を喚起している。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために「QR」マークを示すとともに、「QRコード」を64か所表示し、コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるようにしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・中学生にとっての家族 <li style="width: 50%;">・幼児の体の発達 <li style="width: 50%;">・健康によい食習慣 <li style="width: 50%;">・栄養素のはたらきと6つの基礎食品群① <li style="width: 50%;">・つなげよう和服の文化 <li style="width: 50%;">・まかせて衣服の手入れ <li style="width: 50%;">・住まいのはたらき <li style="width: 50%;">・住まいの空間 <li style="width: 50%;">・家庭生活における収入と支出 <li style="width: 50%;">・購入前に知っておくこと—売買契約— <p style="text-align: right;">等</p>

<p>観点</p>	<p>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</p>	
<p>視点</p>	<p>③「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫</p>	
<p>方法</p>	<p>「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方</p>	
<p>東書</p>	<p>「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭分野のガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方をマークやイラストを用いて解説している。 ○ 各編の導入において、関連する見方・考え方をマークやキーワードで例示している。 ○ キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付く支援をしている。 	<p>具体例：B衣食住の生活（衣生活）</p> <p>2編 私たちの衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の営みに係る見方・考え方の例」のマーク <ul style="list-style-type: none"> ・安全な製作 ・快適な着方 ・健康的な着方 ・地域の衣文化 ・和服 <p>1章 5 衣服の手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの吹き出しとして「手入れをして衣服を長く着ることは、環境にも優しいことだね。」と記述。
<p>教図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学習の導入において、生徒や教師との対話の場面を「見つめる」で示し、吹き出しを用いて、生活の営みに係る見方・考え方の視点を例示している。 ○ 各章末の「学びを生かそう」において「課題設定のヒント」を示し、見方・考え方の視点で振り返りができるよう支援をしている。 	<p>B編 4章 私たちの衣生活</p> <p>5 衣服の手入れをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つめる」で生徒同士の会話の吹き出しがあり、「消臭スプレーをかければ、洗濯は必要ないね。」「ええっ!? ホントかな?」と記述。 ○ 学びを生かそう「日常着の手入れ」 <p>「課題設定のヒント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きを思い出そう。 ・自分らしく着るにはどうしたらいいかな? ・衣服計画を立てるときに、どのようなことに気をつけたらいいかな? ・衣服の入手のときに、どのようなことに気をつけたらいいかな? ・衣服の材料や状態に合わせた手入れの方法は?
<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭分野のガイダンス」において、「生活の見方・考え方」として生活の営みに係る見方・考え方について解説している。 ○ 「家庭分野のガイダンス」において、「本書の特色」として生活の営みに係る見方・考え方を各内容において働かせる例を示している。 ○ 各章末の「ふり返り」において、章内の学習を基に見方・考え方を働かせて生活を捉えるための問いを設定している。 	<p>B 衣食住の生活</p> <p>衣生活 2 日常着の手入れと保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふり返り」 <ol style="list-style-type: none"> 1. 取扱表示や洗剤の表示をみることはなぜ大事ですか。説明してみましょう。 2. あなたは、衣服の手入れでどんなことを実践しようと思いますか。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
方法	「生活の課題と実践」の示し方と実践例

	「生活の課題と実践」の示し方	実践例
東 書	<p>○ 各編末の「学習のまとめ」において、学習したことを振り返り、興味・関心を持ったこと、自分や家族の生活で改善できることなどを記述する欄を設け、キャラクターの吹き出しとして「生活の課題と実践にも取り組もう。」と示している。</p> <p>○ 「選択 生活の課題と実践」として、生活の課題と実践の進め方、課題の決め方、まとめと発表の仕方、実践例を示している。</p> <p>【生活の課題と実践の進め方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活の課題を見つけよう 2 計画を立てよう 3 実践しよう 4 振り返って評価しよう <p>まとめよう、発表しよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 改善しよう 6 次の課題に挑戦しよう 	<p>○ 「私たちの食生活」を主とした課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコクッキングにチャレンジ! ・家族の元気が出る朝食を考えよう <p>○ 「私たちの衣生活」を主とした課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服のリメイク ・フリースで幼児のおもちゃ作り <p>○ 「私たちの住生活」を主とした課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の安全・安心な住まい ・家族の防災マニュアル <p>○ 「私たちの消費生活と環境」を主とした課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家電製品の購入計画の検討 ・省エネルギーで快適な家族のエコ生活 <p>○ 「私たちの成長と家族・地域」を主とした課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児のためのおやつを作ろう! ・幼児と遊べる環境かるた作り ・地域の人と吹き出し訓練を開催しよう! ・家族でお節料理作り <p style="text-align: right;">合計 12 事例</p>
教 図	<p>○ 各章のまとめりに「学びを生かそう」を設定し、ここまでの学習を生かして課題に取り組む例を記載している。「問題解決学習の流れ」に即した実践事例とともに、「さらに『生活の課題と実践』にも取り組んでみよう!」と示している。</p> <p>○ 「選択 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～」として、生活の課題と実践のポイント、学習の流れ、実践例を示している。</p> <p>【「生活の課題と実践」の学習の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題を発見する 2 課題を設定する 3 計画・実践する 4 評価する 5 改善する 6 次の課題へ 	<p>○ 「家族・家庭や地域とのかかわり」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすいまち・安全なまちってどんなまち? <p>○ 「幼児の生活と家族」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児のおやつを工夫しよう! 季節を感じるおやつ <p>○ 「食生活」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでつくっただいこんをおいしく食べよう! <p>○ 「私たちの衣生活」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族衣装について、友達の家族に聞いてみよう <p>○ 「生活を豊かにする製作」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを込めたものづくり～幼稚園へのお礼～ <p>○ 「私たちの住生活」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の防止をみんなに呼びかけよう! <p>○ 「私たちの消費生活」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なお金は、どのように支払っているの? <p>○ 「消費者の権利と責任」の課題と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兄の新生活のキーワードは、「エシカル」!! <p style="text-align: right;">合計 8 事例</p>
開 隆 堂	<p>○ 「生活の課題と実践」として、生活の課題と実践についての説明を見開きで示している。</p> <p>○ 「生活の課題と実践」として、生活の課題と実践の進め方、実践のまとめ方、実践例を示している。</p> <p>【生活の課題と実践の進め方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活みつめる 2 課題を設定する 3 進め方の方法を計画する 4 実践する 5 まとめ・発表する (対話) 6 生活にいかす 	<p>○ A 家族・家庭生活とつながる課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 児童館・子ども家庭支援センターなどを訪問する ・ 2 手作りのおやつづくり ・ 3 1日家事体験 <p>○ B 食生活とつながる課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 給食の残菜を減らすには? ・ 2 食品の表示をよく読まないわけ! ・ 3 祖父母が喜ぶ食事づくり <p>○ B 衣生活/住生活とつながる課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 家の中の危険を見つけよう! ・ 2 バリアフリー・バリアフリーマップづくり ・ 3 ウォールポケットで小物整理 <p>○ C 消費生活・環境とつながる課題例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 我が家の新しい電気掃除機を選ぶ ・ 2 非常食のローリングストック弁当づくり ・ 3 資源ごみについて考える <p style="text-align: right;">合計 12 事例</p>

観点 (ウ) 内容の構成・配列・分量

視点 ⑤題材や資料等の配列

方法 題材及び学習内容の配列と分量

	ガイダンス (ページ数)	A 家族・家庭生活			B 衣食住の生活			C 消費生活・環境		
		学習内容	ページ数	指導事項	学習内容	ページ数	指導事項	学習内容	ページ数	指導事項
東書	<ul style="list-style-type: none"> 自立と共生を目指そう(2) 問題を解決する道筋と見方・考え方(2) 中学校家庭分野の学習内容を見よう(2) 自分の生活をチェックしよう(2) 自分と家族との生活を見つめよう(2) 家族・家庭の基本的な機能(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭と地域 6 幼児の生活と家族 36 これからの家族と地域 8 学習のまとめ 2 	<ul style="list-style-type: none"> A(1) A(2) C(1) A(3) 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割と中学生の栄養の特徴 8 中学生に必要な栄養を満たす食事 14 調理のための食品の選択購入 8 日常食の調理と地域の食文化 48 学習のまとめ 2 	<ul style="list-style-type: none"> B(1) B(2) B(3) C(1) B(3) C(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択と手入れ 24 生活を豊かにするために 24 学習のまとめ 2 住まいの役割と安全な住まい方 20 学習のまとめ 2 	<ul style="list-style-type: none"> B(4) C(1) B(5) C(2) B(6) C(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの消費生活 14 責任ある消費者になるために 8 学習のまとめ 2 	<ul style="list-style-type: none"> C(1) C(2) C(2) 	
		選択事項（生活の課題と実践）								
		<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの成長と家族・地域」を主とした課題と実践 2 	A(4)	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの食生活」を主とした課題と実践 1 	B(7)	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの衣生活」を主とした課題と実践 1 「私たちの住生活」を主とした課題と実践 1 	B(7)	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの消費生活と環境」を主とした課題と実践 1 	C(3)	
教図	<ul style="list-style-type: none"> 私の成長と家庭分野の学習～家庭分野の学習をはじめよう！(4) 	<ul style="list-style-type: none"> 家族・家庭やかかわり 20 学習のふり返り 1 幼児の生活と家族 30 学習のふり返り 1 	<ul style="list-style-type: none"> A(1) A(3) A(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と食生活 8 何をどれだけ食べたらいいか 24 調理と食文化 56 学習のふり返り 1 	<ul style="list-style-type: none"> B(1) B(2) B(1) B(3) 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの衣生活 26 生活を豊かにする製作 20 学習のふり返り 1 私たちの住生活 20 学習のふり返り 1 	<ul style="list-style-type: none"> B(4) B(5) B(6) 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの消費生活 24 消費者の権利と責任 16 学習のふり返り 1 	<ul style="list-style-type: none"> C(1) C(2) 	
		選択事項（生活の課題と実践）								
		<ul style="list-style-type: none"> 「家族・家庭やかかわり」の課題と実践 1 「幼児の生活と家族」の課題と実践 1 	A(4)	<ul style="list-style-type: none"> 「食生活」の課題と実践 1 	B(7)	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの衣生活」の課題と実践 1 「生活を豊かにする製作」の課題と実践 1 「私たちの住生活」の課題と実践 1 	B(7)	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちの消費生活」の課題と実践 1 「消費者の権利と責任」の課題と実践 1 	C(3)	
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と家庭分野(2) 家族・家庭と地域の生活(2) 生活の土台自立と共生(2) 生活の見方・考え方(2) 主体的・対話的で深い学びをしよう(2) 本書の特色(2) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と家族・家庭生活 10 幼児の生活と家族 16 幼児とのかかわり 14 家庭生活と地域とのかかわり 8 持続可能な家庭生活 3 学習のまとめ 1 	<ul style="list-style-type: none"> A(1) A(2) A(2) A(2) A(3) A C 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割と食習慣 6 中学生に必要な栄養を満たす食事 18 さまざまな食品とその選択 10 日常食の調理 34 地域の食文化 6 献立づくり 6 持続可能な食生活 3 学習のまとめ 1 	<ul style="list-style-type: none"> B(1) B(2) B(3) B(3) B(3) B(2) B(3) C 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた衣服の選択 12 日常着の手入れと保管 12 生活を豊かにするものの製作 16 持続可能な衣生活 3 学習のまとめ 1 住まいのはたらきとこちよさ 6 安全な住まいで安心な暮らし 8 持続可能な住生活 3 学習のまとめ 1 	<ul style="list-style-type: none"> B(4) B(4) B(5) B(4) B(5) C B(6) B(6) B(6) C 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活と消費 4 購入・支払いと生活情報 12 消費者被害と消費者の自立 10 持続可能な社会 9 学習のまとめ 1 	<ul style="list-style-type: none"> C(1) C(1) C(2) C(2) A B C 	
		選択事項（生活の課題と実践）								
		<ul style="list-style-type: none"> A 家族・家庭生活とつながる課題例 2 	A(4)	<ul style="list-style-type: none"> B 食生活とつながる課題例 2 	B(7)	<ul style="list-style-type: none"> B 衣生活/住生活とつながる課題例 2 	B(7)	<ul style="list-style-type: none"> C 消費生活・環境とつながる課題例 2 	C(3)	

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥実践的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	実践的・体験的な学習の具体例

	「B 衣食住の生活」の日常食の調理における調理実習例		「B 衣食住の生活」の布を用いた物の製作例	
	具体例	数	具体例	数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具だくさんみそ汁 ○ 野菜と春雨のスープ ○ ラタトゥイユ ○ キャベツのレンジ蒸し ○ 野菜の焼き浸し ○ 青菜と卵のいためもの ○ ポテトサラダ ○ ブロッコリーのツナマヨソース ○ ホワイトシチュー ○ 蒸しどりのごまだれ ○ スパゲッティミートソース ○ さけのムニエル ○ ミネストローネスープ ○ きゅうりとわかめの酢の物 ○ いわしのかば焼き ○ さけのホイルちゃんちゃん焼き ○ いわしのつみれ汁 ○ ドライカレー ○ いっしょ煮込みトマトペンネ ○ オープンオムレツ ○ サンドイッチ弁当 ○ ミニおにぎり ○ ミニお好み焼き ○ スティック大学いも 	52	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイバッグ ○ ミニトートバッグ ○ ファイルカバー ○ ブックカバー ○ 防災リュック ○ ハーフパンツ ○ ティッシュボックス ○ スカパー ○ ポケットティッシュ ○ ユケース ○ ファスナーポーチ ○ エプロン ○ 巾着袋 ○ あずま袋 ○ フェルト名札 ○ 指人形 ○ カラフル魚 ○ 組み合わせ布絵本 	16
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ フルーツ寒天ゼリー ○ さつまいものジュース煮 ○ ロールサンドイッチ ○ ホットケーキ ○ ハンバーグステーキ ○ いわしのかば焼き ○ 魚のホイル蒸し ○ 野菜ときこのオープン焼き ○ 野菜サラダ ○ 切り干しだいこんのあえ物 ○ わかめときゅうりの酢の物 ○ ひじきのいため煮 ○ カレーライス ○ ピザトースト ○ ポトフ ○ わかめととうふのスープ ○ きんぴらごぼう ○ おにぎり ○ じゃがいものお焼き ○ みたらし団子 	49	<ul style="list-style-type: none"> ○ あづま袋 ○ ぞうきん ○ マスク ○ 携帯用ボックスステ ○ イッシュケース ○ きんちやく袋 ○ 布のボックス ○ オリジナルエプロン 	7
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ とうふのすまし汁 ○ 青菜のおひたし ○ 煮込みハンバーグ ○ 牛丼 ○ きゅうりとわかめの酢のもの ○ ムニエル ○ かば焼き ○ 筑前煮 ○ 青菜のごまあえ ○ 大豆とひじきの煮もの ○ さつまいもとりんごの重ね煮 ○ きこのマリネ ○ なめこのみそ汁 ○ コーンスープ ○ ビーマンのナムル ○ いももち ○ 米粉蒸しパン 	43	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファイルカバー ○ ブックカバー ○ 診察カード入れ ○ 非常持ち出し袋 ○ 道具入れ ○ ハーフパンツ ○ ごっこ遊び道具 (マント、リストバンド、変身ベルト) ○ リバーシブルバッグ ○ クッションカバー 	9

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦各教科等と関連させて学習を進める工夫
方法	各教科等と関連する内容の示し方と具体例

	各教科等と関連する内容の示し方	具体例：C消費生活・環境
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については「他教科」マークを示し、教科名、単元概要を示している。また、関連する他教科内容をコンテンツとして見ることができるものにDと丸を重ねたマークを示している。 ○ 技術分野や家庭分野の他の章などに、関連する内容があるものについては「リンク」マークを示し、掲載ページと内容を示している。 ○ 各編の導入ページで、小学校家庭科での学習内容をキーワードで示している。小学校の各教科等の学習内容との関連については「小学校」マークを示し、教科名、単元・題材概要を示している。 	<p>4編 私たちの消費生活と環境 小学校家庭科での学習 □買い物の仕組みや消費者の役割 など ・社会（公民） 市場の動きと経済、現代社会を捉える仕組み</p> <p>1章 私たちの消費生活 ・小学校家庭 物や金銭の大切さ、計画的な使い方 ・D社会（公民） 契約と消費生活 ・小学校家庭 買い物の仕組み ・小学校家庭 買い物の仕組み ・技術 個人情報の保護の必要性 ・小学校家庭 物や金銭の計画的な使い方 ・D技術 情報モラル ・p.187 消費生活と契約、契約自由の原則 ・社会（公民） 市場の働きと経済 ・p.198 商品の選択に役立つ表示やマーク ・p.44 食品の選択と購入 ・p.116 既製服の選択と購入 ・p.45 食品のマークの例 ・p.207 認証ラベル付きの商品の例 ・p.237 おもちゃに付いているマーク ・p.196 意思決定のプロセス</p>
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容や小学校の各教科等の学習内容との関連、および家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「リンク」マークを示している。各教科等の学習内容については、教科名、単元概要を示している。小学校の各教科等の学習内容との関連については、教科名、単元・題材概要を示している。家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては、掲載ページと内容を示している。 ○ 各編の導入ページで、小学校家庭科での学習内容とのつながりを「リンク」マークで示している。 	<p>C編 消費生活・環境 ・小学校家庭科「物や金銭の使い方と買い物」、「環境に配慮した生活」</p> <p>1章 私たちの消費生活 ・p.16 「家庭生活と家庭の仕事」 ・社会 公民的分野 「市場の動きと経済」 ・p.104～109 「食品の選択と購入」 ・p.172～173 「衣服の選択と購入」 ・技術分野 「個人情報の保護の必要性」 ・p.242 「意思決定のプロセス」 ・技術分野 「機器の保守点検と事故防止」 ・p.248 「いろいろな販売方法」 ・技術分野 「個人情報の保護の必要性」 ・社会 公民的分野 「国民の生活と政府の役割」 ・「B編 衣食住の生活」</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容や技術分野との関連については、「他教科・他分野」との関連マークを右頁上部に示し、教科名、単元概要を示している。 ○ 家庭分野の他の学習項目や技術分野などに関連する内容があるものについては、「リンク」マークを示し、掲載ページと内容を示している。 ○ 各項目の冒頭に、「小学校での学び」を設け、小学校家庭科での学習内容を解説している。 	<p>C 消費生活・環境</p> <p>1 家庭生活と消費 小学校での学び 買い物のしくみや消費者の役割、物や金銭の計画的な使い方について学びました。 ・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」 ・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」 ・p.238 「いろいろな支払い方法」</p> <p>2 購入・支払いと生活情報 小学校での学び 店舗での購入を中心に、買い物のしくみを学習しました。 ・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」 小学校での学び 買い物が売買契約であることを学習しました。 ・社会／公民的分野 「契約の重要性、個人の責任」 小学校での学び 店頭で現金による支払いをする買い物の仕方やプリペイドカードが金銭と同じように扱えることを学びました。 ・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」 ・p.236 「三者間契約」 小学校での学び 身近な物の選び方や買い方、必要な情報を使った計画的な買い物のしかたについて学びました。 ・技術分野 「情報の技術」 ・p.258～p.261 「持続可能な社会」</p>

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧発展的な学習の扱い方
方法	発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例

	発展的な学習内容の表記	発展的な学習の具体例
東 書	<p>○ 発展のマークを付している。</p> <p>【説明】 「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」</p>	<p>○ 2編 私たちの衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の民族衣装 <p>○ 3編 私たちの住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のいろいろな住まい <p>○ 4編 消費生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード <p>○ 5編 家族・地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんが学校に ・子育てをめぐる現状 ・子どもを守る条約や法律 ・赤ちゃん一人間の育ちの始まり <p>○ 家庭分野の学習を終えて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン みんなが暮らしやすい社会を目指して
教 図	<p>○ 発展のマークを付している。</p> <p>【説明】 「学習指導要領に示されていない内容です。学習の進んだ人や、興味を持った人は、必要に応じて取り組んでみましょう。」</p>	<p>○ A編 家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の大好きな、ごっこ遊びを見てみよう ・子どものすこやかな成長のために <p>○ B編 衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味といっしょに楽しもう～地域の伝統的な器～ ・マンガやアニメの主人公は、どんな住まいで暮らしているの？ ・世界の衣食住 <p>○ C編 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいチョコレートの真実
開 隆 堂	<p>○ 発展のマークを付している。</p> <p>【説明】 「発展的な学習の内容（『発展』で取り扱う内容は、学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない。）」</p>	<p>○ A 家族・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児期の場合 ・子どもの健やかな成長のために <p>○ B 衣食住の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で食べられている穀物やいもの例 ・進化する素材 ・ファストファッションの裏側で <p>○ C 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードとフェアトレードタウン ・カカオ農園で働かされる子ども（児童労働） <p>○ 学んだことを次に生かそう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紗奈ちゃんの乳児期から幼児期への成長 ・世界の食べ物・衣服・住まい

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨ユニバーサルデザインへの取組
方法	特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫

特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、見開き右側上部にインデックスを示している。 ○ 教育漢字以外の漢字にはすべて丸ゴシック体でふり仮名を付している。 ○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。 ○ 食品群別摂取量の目安については、実際の食事の量のイメージ化を容易にするため、食品の概量を基に各群の各食品の目安量を実物大の写真で示し、その食品で作成した1日分の献立例を示している。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、見開き左側上部及び右側にそれぞれインデックスを示している。 ○ 中学校以降で学習する漢字には、見開きページごとの初出でふり仮名を付している。 ○ 実習・製作の作業手順を縦向きの配置に統一している。 ○ 食品群別摂取量の目安については、実際の食事の量のイメージ化を容易にするため、食品の概量を基に各群の各食品の目安量を実物大の写真で示し、その食品で作成した1日分の献立例を示している。
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、見開き左側上部にインデックスを示している。 ○ 中学校以降で学習する漢字には、見開きページごとの初出箇所にふり仮名を付している。 ○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。 ○ 食品群別摂取量の目安については、実際の食事の量のイメージ化を容易にするため、食品の概量を基に各群の各食品の目安量を実物大の写真で示し、その食品で作成した1日分の献立例を示している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫
方法	言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数

		言語活動を取り入れた学習の工夫の活動例数		
東 書	○ 主に「活動」のマーク及び「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。			
	内容等	活動例数		
	ガイダンス	・活動 (3)		
	1編 私たちの食生活	・活動 (6) ・やってみよう (4)	・話し合ってみよう (2) ・調べてみよう (4)	・考えてみよう (7)
	2編 私たちの衣生活	・活動 (13) ・やってみよう (2)	・話し合ってみよう (2) ・調べてみよう (1)	・考えてみよう (2)
	3編 私たちの住生活	・活動 (5)	・考えてみよう (4)	・やってみよう (2)
	4編 私たちの消費生活と環境	・活動 (4)	・考えてみよう (4)	・やってみよう (4)
	5編 私たちの成長と家族・地域	・活動 (16) ・やってみよう (11)	・話し合おう (1)	・考えてみよう (3)
	生活の課題と実践	・活動 (1)		
家庭分野の学習を終えて	・活動 (2)			
教 図	○ 主に「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。			
	内容	活動例数		
	A編 家族・家庭生活	・話し合ってみよう (5) ・調べてみよう (2) ・発表してみよう (2) ・観察してみよう (1)	・考えてみよう (9) ・体験してみよう (1) ・比べてみよう (1)	・やってみよう (2) ・聞いてみよう (2) ・つくってみよう (1)
	B編 衣食住の生活	・思い出してみよう (1)	・話し合ってみよう (4) ・調べてみよう (6)	・考えてみよう (6) ・思い出してみよう (1)
	・食生活	・話し合ってみよう (4) ・調べてみよう (6)	・話し合ってみよう (6) ・調べてみよう (2)	・やってみよう (11) ・思い出してみよう (1)
	・衣生活	・話し合ってみよう (6) ・調べてみよう (2)	・話し合ってみよう (6) ・発表してみよう (1)	・やってみよう (2) ・試してみよう (1)
	・住生活	・話し合ってみよう (5) ・聞いてみよう (1)	・話し合ってみよう (5) ・考えてみよう (3)	・調べてみよう (5)
C編 消費生活・環境	・話し合ってみよう (5) ・調べてみよう (3)	・考えてみよう (10) ・まとめてみよう (2)	・やってみよう (3) ・思い出してみよう (1)	
開 隆 堂	○ 主に「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げている。			
	内容	活動例数		
	A 家族・家庭生活	・話し合ってみよう (5) ・やってみよう (5)	・考えてみよう (6) ・発表しよう (2)	
	B 衣食住の生活	・話し合ってみよう (5) ・やってみよう (3)	・考えてみよう (1) ・発表しよう (1)	
	・食生活	・話し合ってみよう (5) ・やってみよう (3)	・話し合ってみよう (2) ・話し合ってみよう (3)	・考えてみよう (1) ・やってみよう (2)
	・衣生活	・話し合ってみよう (2)	・話し合ってみよう (3) ・やってみよう (2)	・考えてみよう (1) ・発表しよう (1)
C 消費生活・環境	・話し合ってみよう (3) ・やってみよう (1)	・話し合ってみよう (3) ・発表しよう (1)	・考えてみよう (5) ・発表しよう (2)	

英 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON English Course
9	開 隆 堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
15	三 省 堂	NEW CROWN English Series
17	教 出	ONE WORLD English Course
38	光 村	Here We Go! ENGLISH COURSE
61	啓 林 館	BLUE SKY English Course

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	目標の示し方及び具体例
		② 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例
		④ 単元等における振り返りの充実	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 小学校外国語科からの接続を図った構成・配列	小学校外国語科との接続を図った内容の掲載箇所及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 巻末等資料の工夫	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例
		⑦ 学習到達目標の設定	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑧ 対話的な学びを促す言語活動の工夫	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容
		⑨ 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

【英語】

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ①単元の目標の示し方

方法 目標の示し方及び具体例

	目標の示し方	目標の表記の仕方と具体例 (第2学年)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に各 Unit の「活動目標 (GOAL)」を提示している。 ○ 単元である Unit ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 6 Research Your Topic [題材]身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 [活動]身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である PROGRAM ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 4 High-Tech Nature 1 大きさや程度を比べることについて表現する。 2 生物をヒントにして作られたものについて話す。 3 インタビュー活動などに意欲的に取り組む。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Lesson の活動ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 5 Things to Do in Japan [USE Read] 日本を訪れる予定のニュージーランドの中学校の先生から届いたメールを読もう。 [USE Write] 日本の中学生に人気のあるものを調べてレポートを書こう。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Lesson 中の Part ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6 Castles and Canyons Part 1 高さや古さなどを比べて、違いを伝えよう。 Part 2 日本の城について伝えよう。 Part 3 自分の住んでいるところについて伝えよう。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Unit ごとに関連する領域別の目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 3 Plans for the Summer [Reading] メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 [Writing] 予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Unit の Part ごとに目標を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 7 Let's Compare [Part 1]人やものについて、比較して説明することができる。 [Part 2] つづりの長い形容詞を使って、比較して説明することができる。 [Part 3]人やものについて、「～と同じくらい…」とすることができる。 [Read & Think] 人気のあるスポーツについての対話文を読んで、概要を理解し、内容について考えることができる。 [Express Yourself] 睡眠時間を比較して発表することができる。

【英語】

観点 (ア) 基礎・基本の定着

視点 ②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫

方法 文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例

	文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会を設定した単元名	具体例 (第2学年) * want to
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 : A Trip to Singapore ○ Unit 2 : Food Travels around the World ○ Unit 3 : My Future Job ○ Unit 4 : Homestay in the United States ○ Unit 5 : Universal Design 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Food Travels around the World I <u>want to</u> go there sometime. I <u>want to</u> eat curry pilaf.
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Program 3 Taste of Culture ○ Program 5 : Work Experience 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Program 3 : Taste of Culture I <u>want to</u> see your performance. I <u>want to</u> eat an“American dog.” What do you <u>want to</u> have? I <u>want to</u> have something sweet.
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 2 : My Dream ○ Lesson 5 : Things to Do in Japan ○ Lesson 6 : Tea from China ○ Lesson 7 : <i>Rakugo</i> Goes Overseas 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 2 : My Dream I <u>want to</u> work at a farm. I <u>want to</u> go with you. I <u>want to</u> grow better vegetables and bring more happiness to people. I <u>want to</u> be a farmer. So I <u>want to</u> grow healthy and organic vegetables for everyone. I <u>want to</u> learn technology to improve farming.
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 2 : Our Energy Sources ○ Lesson 3 : Design in Our Life ○ Lesson 4 : Workplace Experience ○ Lesson 5 : How to Celebrate Halloween ○ Lesson 6 : Castles and Canyons ○ Lesson 8 : <i>Rakugo</i> in English 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6 : Castles and Canyons What place do you <u>want to</u> visit next? I <u>want to</u> see Himeji Castle.
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Basketball Tournament ○ Unit 3 : Plans for the Summer ○ Unit 4 : Tour in New York City ○ Unit 6 : Work Experience ○ Unit 7 : Amazing Australia ○ Unit 8 : Staging a Musical 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4 : Tour in New York City I <u>want to</u> see the Statue of Liberty. I also <u>want to</u> see a musical and go to Central Park. What do you <u>want to</u> see in New York? I <u>want to</u> see Aladdin!
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 2 : Traveling Overseas ○ Unit 3 : In Case of Emergency ○ Unit 4 : My Future Dream ○ Unit 6 : Unique Animals ○ Unit 7 : Let's Compare ○ Unit 8 : Working Overseas 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4 : My Future Dream I <u>want to</u> help people, too. I <u>want to</u> write stories in the future. I <u>want to</u> develop a useful robot and help people with it.

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例

	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方	第2学年におけるテーマと具体例	
		テーマ	具体例
東書	○ 「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Write」で日常生活の場面を設定し、Step 1～3で「話すこと」「聞くこと」「書くこと」などの活動を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホテルでのトラブル ○ 機内放送 ○ ていねいなお願い ○ インタビュー ○ 留守番電話のメッセージへの返信 ○ 天気予報 ○ ホームステイのお礼状 ○ 電車の運行情報 ○ 電車の乗りかえ ○ 留守番電話 ○ 買い物 ○ 商品のコマーシャル ○ 電話でのやり取り ○ 店内のアナウンス 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Let's Talk 2」ていねいなお願い Asami: Excuse me. May I ask you a favor? Woman: Sure. Asami: Could you take our picture? Woman: All right. Say cheese! Asami: Could you take another one, please? Woman: OK. No problem.
開隆堂	○ 「Power-Up」の「Listening」「Listening & Speaking」「Speaking」「Listening & Speaking」「Writing」で日常生活の場面を設定し、4技能の活動を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天気予報を聞こう ○ 電話をかけよう ○ レストランで食事をしよう ○ 空港アナウンスを聞こう ○ メールで近況報告をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Power-Up 2」電話をかけよう Matt: Hello? Kaho: Hello. This is Kaho. May I speak to Matt? Matt: Speaking. What's up, Kaho? Kaho: Hi, Matt. We have a meeting tomorrow, right? Could you bring your sketchbook? We'll need it. Matt: Sure. Thanks for calling. Kaho: See you tomorrow. Bye.
三省堂	○ 「Take Action!」の「Listen」と「Talk」で、日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の案内 ○ どんなストーリーなの? ○ チャリティーのお知らせ ○ それはいい案だね ○ 空港のアナウンス ○ 何が起きたの? ○ イベントの紹介 ○ 一緒に遊園地に行かない? ○ ラジオニュース ○ お手伝いしましょうか ○ プレゼントの相談 ○ それもいい案だと思うけど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Take Action!」「Talk 6」それもいい案だと思うけど Hana: What should we get for Mayumi? Dinu: I have an idea. How about flowers? Hana: Well, that's not a bad idea, but cookies might be better. I think she likes sweets better than flowers. Dinu: You're right. Let's make them.

【英語】

<p>教出</p>	<p>○ 「Useful Expressions」で日常的な場面を設定し、そこで使われる表現を紹介している。</p>	<p>○ 校舎案内 ○ 買い物</p>	<p>○ 「Useful Expressions」校舎案内 ALT: Excuse me. Where's the teacher's room? Aya: It's on the second floor. Go up the stairs and turn right. ALT: Turn right on the second floor? Aya: That's right. It's the second room. ALT: I see. Thank you. Aya: You're welcome.</p>
<p>光村</p>	<p>○ 「Daily Life」で日常生活の場面を設定し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を設定している。</p>	<p>○ 電話 ○ アナウンス ○ レストラン ○ 道案内 ○ イベントのお知らせ ○ 体調不調 ○ 観光案内 ○ 音声ガイド</p>	<p>○ 「Daily Life 3」「Scene 3」レストラン 店員: Shall I take your order? 客: Yes, please. Can I have a large-size pizza with three toppings? 店員: Sure. What kind of toppings? 客: Tomatoes, onions, and sausage, please. 店員: Would you like some drinks? 客: Oh, yes. Three sodas, please. Will you bring them now? We're thirsty. 店員: I'll be right back with your drinks.</p>
<p>啓林館</p>	<p>○ 「Let's Talk」「Let's Listen」で日常生活の場面を設定し、話すこと、聞くことの活動を設定している。</p>	<p>○ 待ち合わせ ○ 旅行の準備 ○ 体調 ○ 天気予報 ○ レストラン ○ 機内 ○ 道案内 ○ 搭乗案内 ○ ショッピング ○ 電話 ○ 場内アナウンス</p>	<p>○ 「Let's Talk 3」体調 アオイ: What's wrong? Are you all right? チェン: I have a headache. アオイ: That's too bad. You should go to the nurse's office. チェン: All right. I will. Thanks.</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④単元等における振り返りの充実
方法	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例

	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定	具体例
		第3学年
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「GOAL」として、単元の最初に目標を設定し、単元末に「CHECK」として、「題材」と「活動」について4段階で評価するようにしている。 ○ 巻末に「学習をふり返ろう CAN-DO リスト」を設定し、各学年の5領域別の学習到達目標をStage 1～Stage 3まで示し、4段階で評価するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 Sports for Everyone 「GOAL」及び「CHECK」 【題材】障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結び付けるスポーツの力について考える。 【活動】これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。 ○ 中学3年の目標 (例) 聞くこと Stage 1 クラスメートの経験などについて、自分になじみのない話であっても、必要な情報や概要を理解することができる。U1, LL2, LL3, SA1
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ “Goal”として、単元の最初に目標を、単元内に振り返りを設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 ○ 巻末資料に「英語で『できるようになったこと』リスト」として、5領域別に学習到達目標を設定し、達成していれば日付を記入するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 1 Bentos Are Interesting! Goal 1 「人が…するのは～だ」などを表現する。 2 日本や海外の弁当文化について話す。 3 自分の大事なものなどについて、意欲的に表現する。 ○ 英語で「できるようになったこと」リスト (例) 聞くこと 1 アルファベットを聞いて、どの文字かわかる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、「What Can I Do?」として、CAN-DO リストを示し、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ What Can I Do? (例) Listen 聞くこと 必要な情報を聞き取る ある程度の長さの放送やボイスメッセージを聞いて、その中から自分が必要な情報を探して、聞き取ることができる。→Listen 1, 3
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に振り返りを設定している。 ○ 付録に、「Can-Do 自己チェックリスト」を示し、5領域別の学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1 Aya Visits Canada Lesson 1 をふり返ろう ・現在完了形の文を理解して、使うことができる。 ・ホームステイでのさまざまな体験について、英語で理解したり、伝えたりすることができる。 ・ホームステイでのさまざまな体験について、会話を演じたり、まとまった文を書いたりすることができる。 ○ Can-Do 自己チェックリスト (例) 聞くこと ① 社会的な話題であっても、はっきりと説明されれば、要点を理解することができる。

【英語】

<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Goal」として、単元の最初に領域別の目標を、設定している。単元の最後に、振り返りを設定している。 ○ 巻末付録に、CAN-DO Listを示し、5領域別に学習到達目標を設定し、4段階で評価するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 School Life Around the World 「Goal」及び「振り返り」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。(R-1) ・ 読んだ記事について、意見を発表することができる。(SP-3) ○ CAN-DO List (例) 聞く Listening L-1 はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の最初に単元の目標を設定している。 ○ 巻末に「Can-Do リスト」として、5領域別の学習到達目標を設定し、達成していればチェックを入れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 Food Cultures Unit 1 の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ Part 1 これまでに経験したことを言うことができる。 ・ Part 2 これまでに経験したことをたずねることができる。 ・ Part 3 現在までにやり終えたことを言うことができる。 ・ Read & Think ハラル・フードについての文章を読んでも、概要を理解し、内容について考えることができる。 ・ Express Yourself 好きな食べ物・苦手な食べ物を伝えることができる。 ○ Can-Do リスト (例) 聞くこと ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。

視点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤小学校外国語科からの接続を図った構成・配列
方法	小学校外国語科との接続を図った内容の掲載箇所及び具体例

	小学校外国語との接続を図った及び内容	具体例 (1学年)
<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 0 <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの場面の活動しよう ・ 英語の音と文字 *Unit 1～小学校の既習事項には「小」のマークがついている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 0 Welcome to Junior High School 「小学校で習った英語表現を①～④の場面で使ってみよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ①はじめて出会うクラスメートとあいさつをしよう ②先生の指示に合わせて動こう ③好きなものをたずね合おう (例) A:What food do you like? B:I like curry and rice. ④入りたい部活動について話そう
<p>開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Get Ready 1 - 4 <ul style="list-style-type: none"> ・ ようこそ！みらい中学校へ ・ みらい中学校の仲間たち ・ 新しい仲間インタビューしよう ・ 自分のことを友だちに知ってもらおう ○ PROGRAM 0 <ul style="list-style-type: none"> ・ アルファベットを確かめよう ・ つづり字と発音 *1年生の前半は、小学校外国語教育新教材と同じフォントを使用している 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい仲間インタビューしよう <ul style="list-style-type: none"> ①ミラー先生へのインタビューを聞いて、わかったことをメモしましょう。 ②「なりきりインタビューゲーム」をして、たくさん質問し合いましょう。 <質問カード> Do you like ~? / Can you play ~? / Are you ~? / When is your birthday? / What do you want to be? / Where are you from? ③先生に英語でたくさん質問をして、わかったことをメモしましょう。 ④友だちにたくさん質問をしましょう。例を参考に、聞きとったことを下の表に記入しましょう。

【英語】

三省堂	<p>○ Hello, Everyone! ○ Starter 1 - 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字と音 ・コミュニケーションを楽しもう(1)(2) <p>*Lesson 1 - 3 小学校で体験した場面で話される会話を聞く・話すから始まっている</p>	<p>○ コミュニケーションを楽しもう(1)</p> <p>聞いてみよう</p> <p>①ケイトと丘先生が、わかば中学校の行事予定表を見ながら話しています。いつ、どんな行事があるか聞いてみよう。</p> <p>②ケイトがバースデーパーティーの写真を見せながら丘先生と話しています。それぞれの誕生日について聞いてみよう。</p> <p>話してみよう</p> <p>ペアやグループで、学校の行事や、あなたの誕生日について話してみよう。</p>
教出	<p>○ Springboard 1 - 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Nice to Meet You! ・さまざまな会話 ・音声から文字へ ・Sugoroku <p>*Lesson 1 - 3 身近な生活に即したコミュニケーション活動を重視している</p>	<p>○ 小学校で学んだ表現を使ってすごろくゲームを楽しみましょう。</p> <p>(例) When is your birthday? / Talk about your treasure. What time do you get up? / Where do you want to go? What sports do you like? / What can you do?</p>
光村	<p>○ Let's Be Friends! 1 - 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉で人とつながろう ・好きなものでつながろう ・世界のどこかへ行ってみよう ・数字を聞いて動物を探し出そう ・誕生日をたずね合おう ・アルファベットを聞いて書こう ・英語の音とつづりを確かめよう <p>*Unit3 までを、準備期間として文字を読む負担を少なくしている</p>	<p>○ 世界のどこかへ行ってみよう</p> <p>Kazuki: Where do you want to go? Nick: I want to go to</p> <p>Speak</p> <p>自分の行ってみたい国に✓を入れましょう。グループになってたずね合い、いちばん人気のあった国名を書きましょう。</p> <p>Write</p> <p>自分の行ってみたい国を下に書きましょう。</p>
啓林館	<p>○ Let's Start 1 - 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での会話を聞こう ・町での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・英語の文字が表す音を聞こう ・英語の文字が表す音に慣れよう ・数字を聞いて使ってみよう ・英語を聞いて使ってみよう <p>*小学校英語でも採用されている 5 : 6 : 5 の 4 線を使用</p>	<p>○ 英語を聞いて使ってみよう</p> <p>(例) 小学校の思い出の行事を言ってみましょう。 My favorite memory is the <u>school trip</u>. It was great. あなたが参加したい部活動や、してみたいことを言ってみましょう。 I like <u>tennis</u>. I want to <u>join the tennis team</u>.</p>

【英語】

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑥巻末等資料の工夫
方法	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例

第2学年			
	巻末資料等の内容	語彙リストにおける表記の仕方と具体例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料編」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Optional Reading①・② 2 名作鑑賞 3 小学校の単語 4 Word List 5 形容詞・副詞比較変化表 6 不規則動詞変化表 7 2年 Key Sentence・Today's Point 一覧 8 1・2年 表現のまとめ ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Word Room 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の外国語科でふれた主な語を一覧にしている。 ○ Word List <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生で出てきた語と意味を一覧にしている。 ・ 特に覚えたい語を太字で表記している。 ・ その意味が初めて出たページを数字で表記している。また、その意味が1年生で既出の単語は斜体の数字で表記している。 ・ その単語が1年生で出て、2年生で出ていない場合は白抜きで表記している。 ・ 「小学校の単語」に・(赤点)を付けている。 	<p>as [æz/əz] 接 前</p> <p>接①【時】…のとき、…するにつれて</p> <p>②【比較】～と同じくらい… [ふつう as...as ~の形で用いられる。前の as は副詞]</p> <p>前①…として</p> <p>②…のような as for…について言えば twice as...as～より2倍…</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Scenesのまとめ 2 クイック Q&A 3 英語の音声 4 英語のつづり字と発音 5 短縮形のまとめ 6 数の言い方 7 アイディアの広げ方 8 不規則動詞活用表 9 形容詞・副詞比較変化表 10 台所 11 単語と熟語 12 英語で「できるようになったこと」リスト 13 Tryのまとめ 14 いろいろな職業 15 日本の祝日・学校行事 ○ 「付録」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アクションカード1～4 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語と熟語 <ul style="list-style-type: none"> ・ この教科書で初出の単語及び連語を太字で表記している。 ・ この教科書で初出の固有名詞などと、前の学年で学習した語句を細字で表記している。 ・ 特に重要な語を*印で表記している。 ・ その単語及び連語などがこの教科書で初出のページを太字の数字、初めて出た学年を四角囲みの数字で表記している。 ・ 辞書で熟語などを調べるとき、まず調べるとよい単語を本の記号で表記している。 	<p>*as [æz/əz]</p> <p>副 (as～as...の形で) …と同じくらい～</p> <p>前～として</p> <p>not as～as...…ほど～ない</p>

【英語】

<p>三省堂</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Songs 英語の歌 2 Further Listening English <i>Rakugo</i> 3 Further Reading1 Houses and Lives 4 Further Reading2 Courage 5 Sounds つづりと発音 6 基本文のまとめ 7 いろいろな単語 8 不規則動詞活用表 9 形容詞・副詞比較変化表 10 数の表現と数の読み方 11 単語の意味 12 会話表現 13 Role-Play Sheet ロールプレイシート 14 Audio Scripts スクリプト 	<p>○ 単語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・()の中は省略できることば、[]の中は置き換えられることば、(())の中の言葉は解説が表記されている。 ・数字は2年で初めて出るページを表記している。(イタリック体の数字は1年までに学習したことを表す。) ・①は1年で学習した語を表記している。 ・大切な語をゴシック体で表記している。 ・特に大切な語をゴシック体の太字で表記している。 ・覚えておくと便利な語を印字体で表記している。 	<p>as [æz]</p> <p>前 1. …として、…の時に、 —my goal as a farmer. 2. [such as…] …のような、 —visitors such as families, students, and tourists.</p> <p>接 1. [比較] [as…as A] Aと同じくらいに…((前の as は「それと同じだけ…」の意味で副詞、あとの as が「(A が) …である [する] ように」の意味で接続詞)).—My cat is as cute as yours. 2. [時間] (…する) 時に; …しながら.—The Little Prince said, “That’s sad.” as he left.</p> <p>副 [as…as A] Aと同じくらいに….—My cat is as cute as yours. <i>such as…</i>たとえば…のような。</p>
<p>教出</p>	<p>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 語形変化のまとめ 2 形容詞・副詞比較変化表 3 不規則動詞変化表 4 重要構文復習リスト 5 辞書についていっしょに学ぼう! 6 Word List 7 筆記体 <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Tips④活動用カード 2 つづりと発音 3 Can-Do自己チェックリスト 	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出てきた語と小学校で既出とみなした語の発音と意味を表記している。 ・活動や Further Reading で出てきた語で、未習のものは後掲している。 ・特に覚えたい単語を太字で表記している。 ・その意味が最初に出たページを数字で表記している。 ・小学校で既習とみなした語と中学校1年で既出の語は数字をイタリック体で表記している。 ・小学校で既出とみなしているが、中学校2年の教科書では未出のものは白抜き④で表記している。 ・①は中学校1年で既出の語を表記している。 	<p>as [əz]</p> <p>接 ①→such ② (~する) ように as you know ご存じのように ③ [as ~ as…] …と同じくらい~ as well as ~と同様に</p> <p>前 ~として</p>

【英語】

<p>光 村</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Your Coach <ul style="list-style-type: none"> ・リスニングを得意にしよう ・話す内容を詳しくしよう ・英文を読むコツをつかもう ・得意な話題を増やそう 2 Sing a Song <ul style="list-style-type: none"> ・You'll Never Walk Alone ・I Just Called to Say I Love You ・A Whole New World <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Let's Read More <ul style="list-style-type: none"> ・The Statue of Liberty ・Aboriginal Art 2 英語のしくみ 3 数字の読み方／短縮形のまとめ 4 音声のまとめ 5 不規則動詞活用表／形容詞・副詞の変化表 6 Word List 7 基本文のまとめ 8 CAN-DO List 	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った語を花びらの記号で表記している。 ・数字は、その意味がこの教科書で初めて出るページを表記している。 ・1は1学年で既出の意味を表記している。 ・特に重要な語は太字で表記している。 	<p>as [éz /əz]</p> <p>前 ~として</p> <p>副 同じくらいに</p> <p>as~as... ...と同じほど~</p> <p>接 ~するように</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 こんなときどう言うの？ 2 メール 3 ジェスチャー 4 英語の歌 <ul style="list-style-type: none"> ・Top of the World ・I Just Called to Say I Love You 5 2年基本文のまとめ 6 英語のつづりと発音 7 不規則動詞変化表 8 形容詞・副詞比較変化表 9 数の読み方 10 Word Box 11 Word List 12 Can-Do リスト 13 ローマ字表 [ヘボン式] 	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に覚えておきたい語を太字で表記している。 ・2年の教科書で初出の単語や連語を数字で表記している。そのうち、Let's Listen, Project で出たページをイタリック体の数字で表記している。 ・その語や連語が Let's Listen, Project で先に出たときは、となりに後掲ページを示している。 ・①は1年でその語や連語が出たことを表記している。2年でも新出語句として取り上げている語や語句については、①のとなりにページを表記している。 	<p>as</p> <p>前 ~として</p> <p>接 [as~as... で] ...と同じくらい~</p>

観点	(工) 内容の表現・表記
----	--------------

視点	⑦学習到達目標の設定
----	------------

方法	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所と具体例
----	---------------------------

	学習到達目標の設定場所	学習到達目標の具体例 (第1学年末「書くこと」)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末「学習をふり返ろう CAN-DO リスト」 ○ Stage1～Stage3として、段階ごとに各領域の1学年学習到達目標を設定し、それぞれを4段階で自己評価できるよう示している。 ○ 2学年末、3学年末の各領域の学習到達目標を参照できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(～40語程度)
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末資料「英語で『できるようになったこと』リスト」 ○ 領域毎に3年間を通しての学習到達目標を設定し、できるようになったことには日付の下に○を付けるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な話題(外国の文化、国際協力、社会問題など)について、聞いたり読んだりした内容に関して感じたことや考えたこと、その理由などを書くことができる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末「What Can I Do?」 ○ 領域毎に2～4項目の1学年学習到達目標を設定し、できるようになったことにチェックをするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正確に書く 自分を紹介する短い文章を書くことができる。 ○ まとまりのある文章を書く 学校行事や町について、短く簡単な記事や紹介文を書くことができる。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末「Can-Do 自己チェックリスト」 ○ 領域毎に1～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。 ○ 2学年、3学年の各領域の学習到達目標を参照できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のことについて、日記、手紙、スピーチ原稿などの短い文章でまとめることができる。 ○ 聞いたり読んだりして把握した内容を、短い文章でまとめることができる。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「CAN-DO List」 ○ 領域毎に2～3項目の1学年学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるよう示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読まれた文字や語句を活字体で書いたり、簡単な語句や表現を書き写したりすることができる。 ○ 自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、書くことができる。 ○ 日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「CAN-DO リスト」 ○ 領域毎に3項目(ア・イ・ウ)の学習到達目標が「中学3年生まででできるようになること」として設定し、できるようになった項目にチェックをするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

【英語】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑧対話的な学びを促す言語活動の工夫
方法	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容

自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容 (第2学年「複文 (I think that ~等)」を扱った単元)	
東 書	<p>○Unit 2: Food Travels around the World</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Practice 自分が難しいと思う教科について、「…は難しいと思います」という文を言い、ノートに書く。 ・ Unit Activity STEP1 自分の好きな食べ物やお気に入りのレストランについて、表にまとめる。 STEP2 ペアになり、STEP1 で作った表をもとに自分のお気に入りのレストランを紹介し合う。また、相手の紹介を聞いて、重要だと思う情報はメモを取る。
開 隆 堂	<p>○PROGRAM 2: Leave Only Footprints</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Try 自分たちの学校についてどう思うかを話す。 ・ Interact 以下の二つのテーマについて、グループなどで自分の考えを伝え合う。 ①Our School Trip 修学旅行の自由行動では、どこに行ってみたいか。 ②A Good Pet ペットにするならどんな動物がよいと思うか。
三 省 堂	<p>○Lesson 1: Fun with Books</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Speak & Write おすすめの本や漫画、映画などを紹介し、紹介したことを書く。
教 出	<p>○Lesson 1: Service Dogs</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Think & Try! 会話を演じた上で、その英文をヒントに、質問したり、自分の考えを言ったりするなど、自由にやり取りを加える。 Bob: There aren't enough guide dogs. Aya: Why not? Bob: These dogs live with puppy walkers for about a year. Then, they need training for another year. Aya: I see. It takes time and effort.
光 村	<p>○Unit 2: Basketball Tournament</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Speak, Write 一番良い季節、難しい教科について、自分の考えをペアで伝え合い、そのうちの1つを選んで英語で書く。
啓 林 館	<p>○Unit 3: In Case of Emergency</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Use 質問 (Do you think that fast food is good?) に対して、自分がどう思うかを理由も加えて言い、言ったことを英語で書く。

【英語】

観点 (オ) 言語活動の充実

視点 ⑨ 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫

方法 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動のテーマ及び具体例 (第3学年)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit Activity ○ Stage Activity 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Stage Activity 1: My Activity Report (テーマ) これまでの経験をふり返って活動報告を発表する。 ・STEP 1: 二人の活動報告を聞いてメモを取る。 ・STEP 2: 自分の活動について報告したいことを表にまとめ、即興で発表する。 ・STEP 3: 自分が話した文を書き起こした上で、グループでアドバイスや質問を伝え合い、それを参考に活動報告の原稿を書き直す。 ・STEP 4: もう一度活動報告を発表し合う。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Our Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Our Project 8: あなたの町を世界にPRしよう (テーマ) 世界にPRしたい町にあるものや場所を発表する。 ①モデルPR動画を聞いたり、台本を読んだりする。 ②PRするものを表にまとめ、台本を考える。 ③台本を基にPRを演じる練習をする。 Go! 他のグループとPRを聞き合ったり、質問し合ったりする。 PRを聞き終わったら、一番良いPRをしたペアをディスカッションして決める。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 1: 日本限定アイスクリームを提案しよう (テーマ) 日本限定アイスクリームのアイデアを考え、提案する。 1. Listen: 二つのグループのモデル提案を聞く。 2. Think & Talk: 新しいアイスクリームのアイデアを話し合い、表にまとめる。 3. Read: モデルとなる提案原稿を読む。 4. Write: 提案するための発表原稿を書く。 5. Speak: 日本限定アイスクリームについて発表する。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 1: CMをつくって発表しよう! (テーマ) あったら良いと思う商品やサービスについてCMを作り、発表する。 ①CMを聞いて、商品やサービスの特徴などについてメモを取る。 ②あたら良いと思う商品やサービスについて話し合い、表にまとめ、CMの原稿を英語で書く。CMを発表する。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の Goal ○ You Can Do It! 	<ul style="list-style-type: none"> ○ You Can Do It! 2: 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう (テーマ) 学校に必要なものについて考え、ディスカッションする。 ・Reading: 二人の中学生の提案を読み、賛成か反対かを考える。 ・Thinking: 二つの提案のどちらかを議題として選び、立場とその理由を整理する。 ・Speaking: 賛成派と反対派に分かれ、ディスカッションを行う。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 2: 日本の伝統行事を紹介しよう (テーマ) 紹介したい日本の伝統行事について、紹介文を書く。 ①日本文化を紹介するウェブサイトの記事を読んで、内容を表にまとめる。 ②日本の伝統行事を1つ選び、ウェブサイトに載せる紹介文を書く。 書いた原稿を交換して読み合い、アドバイスする。

特別の教科 道徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新訂 新しい道徳
17	教 出	中学道徳 とびだそう未来へ
38	光 村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
224	学 研	新・中学生の道徳 明日への扉
232	廣 あ かつ き	中学生の道徳 中学生の道徳ノート
233	日 科	道徳 中学

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例
		② 発問の工夫	記載箇所, 数, 記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の扱い, 教材名等・内容項目・問題意識のたせ方, 発問の具体例
		④ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い, 教材名等・内容項目・体験的な活動の概要, 体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 分量や教材の数	判型, ページ数, 4つの視点ごとの教材数
		⑥ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめ問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 巻頭等, 巻末等の取扱いの工夫	巻頭等, 巻末等の示し方
		⑧ 教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩ 考えをまとめたり, 振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり, 振り返ったりする活動の示し方, まとめや振り返りの数等と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

第1学年			
	オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の授業はこんな時間に」 ○ 「話し合いの手引き」 ○ 「1年間で学ぶこと」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭折り込み3ページにわたって、ショートストーリーを基に学習の流れを解説し、自分の考えを書く欄を4箇所と振り返りの欄を1箇所設けている。 ○ 巻頭折り込み1ページを使って、話し合いの手引きを示している。 ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示し、中学生になってやってみたいことを書く欄を1箇所設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「拓哉のなやみ」を読んで、えてみよう ○ 「話し合いの手引き」 <ul style="list-style-type: none"> ・このページは、話し合いのときに参考にしましょう。 ○ 「自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、責任をもつ ・安全で健康な生活 ○ 「もっとすてきな『私』に出会うために、中学生になってやってみたいことは、どのようなことですか？ 今の気持ちを書き留めておきましょう。」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科で学びを深めるために」 ○ 「この教科書で学んでいくテーマ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しとともに、授業でどのようにして学んでいくのかを、「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の4つで示している。 ○ 見開き2ページに、道徳科で考えていきたいテーマを7つ、教材名とともに示し、興味があることやこれから学びたいこと、がんばりたいことを書く欄を1箇所設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科で学びを深めるために」 <ul style="list-style-type: none"> ・最高の仲間とは、どんな仲間でしょうか。どうしたら、最高の仲間になれるでしょうか。考えてみましょう。 ○ 「生命の尊さ」 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたが うまれた ひ ・いのちを考える ○ 「中学生になった今、興味があるのはどんなことですか？これから学びたいこと、がんばりたいことを書きましよう。」
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本書で学ぶ皆さんへ」 ○ 「道徳の授業を始めよう！」 ○ 「学びの記録」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページを使って、1時間の学びの道すじを、「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目とともに「何を学ぶのか」、続く見開き2ページに、「どのように学ぶのか」を示している。 ○ 巻末折り込みに、シーズンの始まりに学んでいくにあたっての思いを書く欄を、3つのシーズンごとに1箇所ずつ設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教材を通して考えを深めることができるよう、次のようなてびきを用意しました」 <ul style="list-style-type: none"> ・①考えよう ・②見方を変えて ○ 「道徳で何を学ぶの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生き方って、どんなものなのでしょう。 ○ 「どうやって学ぶの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳は、どうやって学んでいけばよいのでしょうか。 ○ 「学びの記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・6・7ページを読んで、自分の考えを書き留めておこう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科で学ぶこと・道徳科での学び方」 ○ 「この教科書で学ぶテーマ」 ○ 「であう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示すとともに、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つで示している。 ○ 見開き2ページに、より広く、深く考え合いたい10のテーマを教材名とともに示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の1ページを使って、自分の好きな言葉や自分の好きなところ等、6項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科って何を学ぶの?」 ○ 「教材をとおして、よいと思っただのはどんなことだろうか。道徳的に問題だと感じたのはどんなことだろうか。」 ○ 『「いじめ」と向き合う』 <ul style="list-style-type: none"> ・さかなのなみだ ・「いじめ」って何? ○ 「自分について書いてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・好きな言葉 ・自分の好きなところ
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「新しい扉を開く」 ○ 「よりよく生きるための22の鍵」 ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」 ○ 「マイプロフィール」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、考えを深めるステップを「1見つけよう」「2考えよう」「3話し合おう」「4生き方につなげよう」の4つで示している。 ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。 ○ 1ページを使って、6つのテーマを教材名とともに示している。 ○ 1ページを使って、自分の好きな言葉や好きな歌等、8項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1見つけよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活での問題をつなげてみよう。 ○ 「自分を見つめ伸ばす」 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、判断し、実行し、責任をもつ ○ 「かけがえのない命」 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたに ・いっぱい生きる 全盲の中学校教師 ○ 「中学生になった自分を見つめて書いてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・好きな言葉 ・好きな歌
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分を見つめよう」 ○ 「中学1年生の私」 ○ 「心のしおり」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、道徳の時間について、「さまざまな答えがある」「よさや問題点を見つけ、考える」「ともに考え、話し合う」「自分を見つめ、考える」「書くことで、考えを深める」の5つを示している。 ○ 巻末の見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目と教材名を示している。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート1」の1ページを使って、自分の好きなスポーツや歌等、16項目について書く欄を設けている。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート1」の「心のしおり」の折り込みに、伸ばしていきたいことや今後の目標を書く欄を3箇所設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまな答えがある」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間は、人として大切なことを理解し、それをもとに自分の生き方について考えを深める時間です。 ○ 「主として自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ ○ 「中学1年生の私」 <ul style="list-style-type: none"> ・好きなスポーツ ・好きな歌 ○ 「自分を見つめよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・①伸ばしていきたいこと・今後の目標
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科って何を学ぶの?」 ○ 「教科書の使い方」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに内容項目を示している。また、多様な考えを知るための6つの方法を示している。 ○ 1ページを使って、教科書の使い方を5点示すとともに、自分の好きなことや好きな言葉等、6項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「主として人とのかわりに関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり ・感謝 ○ 「多様な考えを知るために」 <ul style="list-style-type: none"> ・①自分の考えを持ち、積極的に発言する ○ 「教材やコラムを読んで、自分の考えを持ちましょう。」 ○ 「心の成長を目指して」 <ul style="list-style-type: none"> ・好きなこと ・好きな言葉

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②発問の工夫
方法	記載箇所, 数, 記載例

教材名「二通の手紙」(「元さんと二通の手紙」)			
内容項目C 「遵法精神, 公德心」			
	記載箇所	数	記載例
東 書	○ 教材文の終わり	2	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」のコーナーに, マークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは, なぜだろう。 ○ 「自分を見つめよう」のコーナーに, マークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは, なぜだろう。
教 出	○ 冒頭の教材名の 下 ○ 教材文の終わり	4	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「集団や社会との関わりについて考える教材」を表す青色のマークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場合でも, きまりは優先されるべきなのだろうか。 ○ 「学びの道しるべ」のコーナーに, 「集団や社会との関わりについて考える教材」を表す青色のマークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ, 職場を去っていったのはなぜだろう。 ・姉弟を入園させた元さんの判断を, あなたはどう思うだろうか。 ・きまりや法は, なんのためにあるのだろうか。
光 村	○ 教材文の終わり	3	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「集団や社会との関わりに関すること」を表す桃色の枠で示した「考えよう」のコーナーの, 「規則は, 何のためにあるのだろう。」というめあての吹き出しの下に, マークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんは, 規則を知っていながら, どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろうか。 ・元さんが, 「この年になって初めて考えさせられ」たのは, どんなことだったのだろうか。 ○ 「集団や社会との関わりに関すること」を表す桃色の枠で示した「見方を変えて」のコーナーに, マークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・もし, 入園終了時間直後の姉弟がやってきた場面に戻れたとしたら, 元さんは, どうするのだろうか。

【特別の教科 道徳】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わり ○ 教材文に続く見開き2ページ ○ 別冊「道徳ノート」の1ページ 	4	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えてみよう」のコーナーに、マークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんが、二通の手紙を並べて見比べながら、初めて考えさせられたこととはなんだろう。（「学習の進め方」の「②自分で考えてみよう」と同じ） ○ 「自分に+1（プラスワン）」のコーナーに、マークともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・法やきまりについて、どのように考えればよいかまとめてみよう。 ○ 問題解決的な学習に適した教材の参考例として「学習の進め方」のページに、「考えてみよう」「自分に+1」に示した発問に加え、2つの発問を記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「①問題をつかもう」 姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。 ・「③問題について考え、議論しよう」 ②で考えたことをグループで話し合おう。また、この動物園のきまりは何のためにつくられたのかもあわせて考えてみよう。 ○ 上記と同様のものを記載している。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わり 	2	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主として集団や社会との関わりに関すること」を表す青色の枠の中の「考えよう」のコーナーに、マークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろう。 ・この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか。
廣 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わり 	4	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主として集団や社会との関わりに関すること」を表す青色の枠の中の「考える・話し合う」のコーナーに、「懲戒処分を受けたにも関わらず、晴れ晴れと職場を去った元さんを通して、規則の尊重について考える。」というめあてとともに記載している。 ○ 「学習の手がかり」 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんはどう思って、姉弟を特別に入園させたのか。 ・二通の手紙を見比べて元さんが考えたこととはなんだろう。 ・元さんはどうして晴れ晴れとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろう。 ○ 「考えを広げる・深める」 <ul style="list-style-type: none"> ・規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう。
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の終わり 	3	<p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、「集団や社会とのかかわり」を表すオレンジ色のマークとともに記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか。 ・この年になって初めて考えさせられることとは、どんなことだったのでしょうか。 ・元さんが晴れ晴れとした顔で身の回りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょう。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習の扱い, 教材名等・内容項目・問題意識のもたせ方, 発問の具体例

	問題解決的な学習の扱い	第2学年	
		教材名等・内容項目・問題意識のもたせ方	発問の具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習ができるよう, 2つの教材を配置し, 教材冒頭にテーマを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等 (テーマ) 「自分を信じて生きるとは…」 ○ 内容項目 「D よりよく生きる喜び」 ○ 問題意識のもたせ方 ・教材冒頭に「自分を信じて生きるとは…」とテーマを示している。 ・1つ目の教材で正直に話す時の気持ち等, 2つ目の教材でドーピングを認めた主人公の姿等から, 自分を信じて生きることについて考えさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1つ目の教材の中に示している。 ・このようなとき, あなたならどのような気持ちになりますか。 ・人間の弱さ・みにくさといえるのは, どのようなことでしょうか。 ・自分がうそをつかれたらいやなのに, もやもやした気持ちになるのに…。それなのに, なぜうそをついてしまうのでしょうか。 ・正直に話せるとほっとすることがあるのは, なぜでしょうか。 ○ 2つ目の教材の「考えよう」「自分を見つめよう」の中に示している。 ・ドーピングを認める発表に, エイミーを向かわせたものは何だったのだろうか。 ・自分を信じて生きるとは, どのようなことだろうか。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習ができるよう, 教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等 (教材名) 「まだ食べられるのに」 ○ 内容項目 「C 社会参画, 公共の精神」 ○ 問題意識のもたせ方 ・教材名の下に「まだ, 食べられるものを捨てたことはないだろうか。あるとすればその理由はなんだろうか。」と問いを示している。 ・食品ロスが発生している状況から, 「持続可能な社会」にするために社会の一員として大切なことについて考えさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの道しるべ」の中に示している。 ・イチゴを少しだけかじって捨てた人を, あなたはどう思うだろうか。 ・やむをえない理由があれば, まだ食べられるものを捨ててもいいのだろうか。 ・「持続可能な社会」にするために, あなたはどんな消費者を目標にしたいだろうか。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習ができるよう, 教材文の終わりに「てびき」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等 (教材名) 「テニス部の危機」 ○ 内容項目 「C よりよい学校生活, 集団生活の充実」 ○ 問題意識のもたせ方 ・「考えよう」のタイトルの下に, 「集団の一員として, よりよくあるために大切なことは, 何だろうか。」とめあてを示している。 ・部活動に違う考え方をもつ登場人物の姿から, 集団の一員としてよりよくあるために大切なことについて考えさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「てびき」として「考えよう」「つなげよう」の順に示している。 ・テニス部に危機が生じてしまったのは, どうしてだろう。 ・テニス部をよりよい集団にするために, 白石君と木戸君は, この後, どんな行動を取ればよいだろう。 ・あなたの学校生活を支えている学校の人たちは, 集団の一員として, どのような思いで仕事に取り組んでいるのだろうか。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 問題解決的な学習に適した教材には、目次、該当ページにマークを付けて示すとともに、教材文の終わりに問題を解決するための「学習の進め方」のページを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「足袋の季節」 ○ 内容項目 「D よりよく生きる喜び」 ○ 問題意識のもたせ方 ・「学習の進め方」のタイトルの下に「話し合いをとおして、人間の弱さや醜さを克服し、強く気高く生きることについて考えてみよう。」と何について議論するのかを示している。 ・「私」の生き方から、「人が強く気高く生きる」とはどのようなことかについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の進め方」の中に、「①問題をつかもう」「②自分で考えてみよう」「③問題について考え、議論しよう」の順に示している。 ・「私」の弱さや醜さが表れている場面を挙げてみよう。 ・①で挙げた場面には、「私」のどんな弱さや醜さが表れているのだろうか。 ・弱さや苦しみを乗り越えていこうとする「私」の生き方から、「人が強く気高く生きる」ということについて考えてみよう。グループで話し合い、自分の考えをまとめよう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「深めよう」のページを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅」 ○ 内容項目 「A 節度、節制」 ○ 問題意識のもたせ方 ・「深めよう」の横に、「自分の生活を見直してみよう」と示している。 ・高梨沙羅選手の姿から、自分の目標を達成するために日々の生活で大切なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「深めよう」の中に、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」の順に示している。 ・高梨沙羅選手が日々の生活で気を付けていることを見つけてみよう。 ・高梨選手の生活と自分自身の生活を比べて、どんな違いがあるか、考えてみよう。 ・自分の目標を達成するためには、日々の生活の中でどのような心掛けが必要だろうか。 ・自分で生活をコントロールすることを考えよう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考える・話し合う」のコーナーを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「いつでも・どこでも・誰とでも」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 問題意識のもたせ方 ・「学習の手がかり」に、「佳子と『私』のレストランでの出来事を通して、礼儀について考える。」とめあてを示している。 ・佳子と「私」のレストランでの出来事から、礼儀の大切さについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考える・話し合う」の中に、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」の順に示している。 ・テーブルの空気が冷たくなったのはなぜだろう。 ・本当のコミュニケーションに必要なことや大切なことをできるだけたくさん挙げてみよう。 ・「時と場に応じた適切な礼儀」を考えると、どんなことを大切にすればよいのだろうか。 ・コミュニケーションのための便利な情報機器が、一瞬にして人と人との関係を破壊することもある。情報機器に振り回されないためには、どんなことを心がけるとよいか考えてみよう。</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考え、話し合ってみようそして、深めよう」のコーナーを設けている。</p>	<p>○ 教材名等（教材名） 「パートリーダー」 ○ 内容項目 「A 自主、自律、自由と責任」 ○ 問題意識のもたせ方 ・パートリーダーとしての役割に葛藤する主人公の姿から、責任を果たすことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考え、話し合ってみようそして、深めよう」の中に示している。 ・教室を飛び出していった真人は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・パートリーダーとして何もしようとしなかった自分が急に情けなく思えたのはどうしてでしょうか。 ・「でも…」に続く真人の言いたいことを考えてみましょう。</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④体験的な学習を取り入れた工夫
方法	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な活動の概要、体験的な活動を促す具体例

		第3学年	
体験的な学習の扱い		教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東 書	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を掲載するとともに、動作や演技に関するマークを目次及び該当ページに示している。	○ 教材名等(テーマ) 「次世代のにない手として」 ○ 内容項目 「C 遵法精神, 公德心」 ○ 体験的な活動の概要 ・人から迷惑をかけられそうになった時の伝え方について、缶コーヒーをめぐるやりとりの場면을基に演じて考える活動	○ 「ACTION アクション!」のページに、演技の手順を示し、役割演技を促している。 ・①「缶コーヒー」(96～99ページ)で、缶コーヒーが転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましょう。 ・②3人一組になって、「会社員の女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましょう。 ・③役を交替しながら、全員が全ての役を演じましょう。 ・④それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。
教 出	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けるとともに、動作や演技に関するマークを該当ページに示している。	○ 教材名等(教材名) 「校長先生の模擬面接」 ○ 内容項目 「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 ・社会のマナーやエチケットについて、グループごとに一つの場면을基に演じて考える活動	○ 教材文の終わり「やってみよう」のページに、発問を示し、役割演技を促している。 ・1 社会にはさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなものがあるか、あげてみましょう。 ・2 皆さんがあげた中から、グループで一つの場면을演じてみましょう。そして、演じてみた感想を書きましょう。 ・3 これまで、エスカレーターに乗るときは「歩く人のために片側をあげる」というのがマナーになっていました。しかし、最近では「歩行禁止」がマナーになりつつあります。なぜ変わってきたのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。
光 村	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。	○ 教材名等(教材名) 「二通の手紙」 ○ 内容項目 「C 遵法精神, 公德心」 ○ 体験的な活動の概要 ・入園終了時刻の規則について、それぞれの立場でどのように考えたのかを、姉弟がやってきた場면을基に演じて考える活動	○ 教材文の終わり「考えよう」の下の、「見方を変えて」のコーナーに、発問を示し、役割演技を促している。 ・もし、入園終了時間直後の姉弟がやって来た場面に戻れたとしたら、元さんはどうするだろう。 ・元さんと姉弟を演じて、考えてみよう。 ・元さんは、姉弟に、どんな思いで話をするだろう。 ・元さんの話を聞いて、姉弟は、どんなことを思っただろう。 ・演じているのを見ていた人は、元さんと姉弟のやり取りから、どんなことを感じたかを発表しよう。

【特別の教科 道徳】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けるとともに、動作や演技に関するマークを目次、該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等（教材名）「出迎え三歩、見送り七歩」 ○ 内容項目「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様をどのように出迎え、見送ればよいのかについて、具体的な場面を基に演じて考える活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の進め方」のページに、学習の手順を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・①お客様の出迎え方と見送り方について、グループで話し合おう。 ・②体験しよう ①で話し合った出迎え方、見送り方をみんなの前で演技してみよう。 ・③演技のあと、感想や意見を発表し合おう。 ・④考えてみよう 「出迎え三歩、見送り七歩」を読み、山折さんが『もてなし』の極意』ではないかと感じたのはどんなことか考えてみよう。体験したこととあわせて、お客様と接するとき、どんな心構えが大切かも話し合ってみよう。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等（教材名）「笛」 ○ 内容項目「B 相互理解、寛容」 ○ 体験的な活動の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・もらった笛を誰のものにすべきだったのかについて、4人組で話し合っている場面を基に演じて考える活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深めよう」のページの「やってみよう」に、演技の手順を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・少年たちが笛を誰のものにするか話し合っている場面を演じてみよう。4人組で役割演技を行う。 ・①3人の少年役（アンドレ、マイケル、ピート）と仲介役を決める。仲介役は、3人の話を聞き、自分の考えを伝え、解決できるように説得する。3人の少年は自分の立場から考えを話す。 ・②役割を交代する。4人の役を全員が経験するように繰り返す。 ・③仲介役の演技を通して考えたことを話し合う。
廣 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等（教材名）「席を譲られて」 ○ 内容項目「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀に必要な作法と作法に込める心について、席を譲る場面を基に考える活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える・話し合う」のコーナーの「学習の手がかり」、「考えを広げる・深める」に、めあてや発問を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が目撃した二つの光景を比べて、礼儀に必要な作法と作法に込める心について考える。 ・高橋健二氏のしぐさを見て、私が見た「美しいもの」とはなんだろう。 ・席を譲られた人の心には、何がなければならないのだろうか。 ・礼儀に込めなければならない心について考えてみよう。 ・老人や赤ん坊を抱いた人、障がいのある人等に席を譲るとき、どのようなことに心がければよいだろうか。
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名等（教材名）「礼儀はなぜ必要なのか」 ○ 内容項目「B 礼儀」 ○ 体験的な活動の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・三つの場面ごとに、礼儀正しい振る舞いと無礼な振る舞いについて、具体的な場面を基に考える活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の冒頭、及び教材文の終わり「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」のコーナーに、発問を示し、役割演技を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・次の三つの場面において、“最も礼儀正しい振る舞い”と“最も無礼な振る舞い”は何でしょうか。 ・初めて人に会う時 ・不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時 ・プレゼントを人からもらった時 ・なぜ礼儀正しいことが大切だとされているのでしょうか。

【特別の教科 道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤分量や教材の数
方法	判型, ページ数, 4つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東書	第1学年	A B	196	7	8	14	8
	第2学年		204	7	7	14	9
	第3学年		204	7	7	15	8
教出	第1学年	B 5	218	8	8	12	7
	第2学年		202	7	7	16	5
	第3学年		202	6	5	15	9
光村	第1学年	B 5	197	8※	10※	14※	9※
	第2学年		205	11※	8※	13※	9※
	第3学年		205	10※	9※	14※	9※
日文	第1学年	B 5 (B 5)	198 (42)	6	7	15	7
	第2学年		198 (42)	6	7	15	7
	第3学年		198 (42)	6	6	16	7
学研	第1学年	A B	186	8	7	13	7
	第2学年		198	8	7	12	8
	第3学年		198	8	8	12	7
廣あかつき	第1学年	A B (A B)	186 (52)	8	7	12	8
	第2学年		170 (52)	8	7	12	8
	第3学年		166 (52)	8	7	12	8
日科	第1学年	B 5	194	6	8	17	6
	第2学年		194	7	8	15	7
	第3学年		194	7	7	15	8

【備考】全ての発行者に掲載されている教材名 教材名が複数ある場合、他の教材名を()で示している。

教材名	学年	教材名	学年
足袋の季節	第2学年	二通の手紙 (元さんと二通の手紙)	第2学年
	第3学年		第3学年

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱いと教材等の例

	いじめの問題の扱い	第1学年
		教材等の例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの教材で構成されたいじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」を設け、4～5月に配置している。 ○ いじめ問題対応ユニット「いじめのない世界へ」は、目次に桃色の枠囲みで示している。 ○ 巻末において、「人権・いじめ」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめに当たるのはどれだろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・イラストを見て、いじめに当たる行為について考えさせる教材 ○ 「傍観者でいいのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」 ・いじめの状況を作らないために、自分たちができることについて考えさせる教材 ○ 「ふたつの心」 <ul style="list-style-type: none"> ※複数内容項目 ・いじめの状況を改善するために、それぞれの人ができることについて考えさせる教材
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを直接的に扱った教材や、いじめを許さない心の育成を間接的に支えるための教材、コラムページを組み合わせてユニットを設け、体系的に配置している。 ○ 「いじめや差別について考える教材」には、マークを使い、目次及び該当ページに示すとともに、目次に青色の枠囲みで示している。 ○ 巻頭において、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「いじめに立ち向かう君に」 ○ 「ルールとマナー」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 遵法精神, 公徳心」 ・ルールとマナーが、私たちの生活になぜ必要なのかについて考えさせる教材 ○ 「『いじり』? 『いじめ』?」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・お互いの考えや気持ちを伝え合うとき、どのような心がまえが必要なのかについて考えさせる教材 ○ コラム「いじめに立ち向かう コミュニケーションのしかたを見直そう」 ○ 「ごめんね, おばあちゃん」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 家族愛, 家庭生活の充実」 ・家族の一員として、自分にできることについて考えさせる教材
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の教材から成るユニット「いじめを許さない心について考える」を設け、学年の前半に配置している。 ○ ユニット「いじめを許さない心について考える」は、目次に緑色の下線で示している。 ○ 「いじめ問題」については、直前の教材で学んだことを深く考える「深めたいむ」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・いじめが起こらない社会をつくるために大切なことについて考えさせる教材 ○ 「深めたいむ」 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめをなくすために大切なことは何か、考えよう。 ○ 「私の話を聞いてね」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・人と人がかかわり合うために大切なことについて考えさせる教材 ○ コラム「ユニバーサルデザイン—誰もが使いやすいものを」

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを直接的・間接的に扱った教材とコラム「プラットホーム」をユニット化し、年間で複数配置している。 ○ ユニット「『いじめ』と向き合う」は、目次に橙色の下線で示している。 ○ 巻頭において、「『いじめ』と向き合う」をテーマとした教材を示している。 ○ いじめを扱う最初のユニットに、扉ページ「『いじめ』と向き合う」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「『いじめ』と向き合う」 ○ 「さかなのなみだ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・いじめのない集団にするためには、どんなことを大切にしなければならないかについて考えさせる教材 ○ コラム「『いじめ』って何？」 ○ 「近くにいた友」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・お互いに心から信頼できる友達になるためには、どんなことが必要なのかについて考えさせる教材 ○ コラム「怒りの感情と上手につき合おう」 ○ 「トマトとメロン」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 向上心, 個性の伸長」 ・自分の個性を生かして生きるためには、どんなことが大切かについて考えさせる教材
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ防止につながる教材を選定するとともに、いじめ防止につながる特設ページ「クローズアッププラス」を設けている。 ○ 巻頭において、「いじめをなくすために」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うさで決めるの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・友達に対して偏見をもたないようにするために、どうしたらよいかについて考えさせる教材 ○ 「裏庭での出来事」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」 ・自分自身がよく考え、誠実に行動するために必要なことについて考えさせる教材 ○ クローズアップ「どうしてそんなことをするのか」 ○ 「公平とはなんだろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・差別や偏見のない社会を実現するために、身近でできることについて考えさせる教材
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを直接的に扱った教材とともに、教材の学びを深める特集「thinking」を設けている。 ○ 「いじめ」を様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集ページ「いじめを許さない 私たちの心」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ヨシト」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・いじめのない愛のある学級にするためにどんなことが大切なのかについて考えさせる教材 ○ 特集「thinking-してもよい『いじめ』などない」 ○ 「ある日のバターボックス」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・差別や偏見をなくし、よりよい人間関係を築くために、誰に対しても公平に接するとはどういうことかについて考えさせる教材 ○ 特集「いじめを許さない 私たちの心」 ○ 「いじめ撲滅宣言」(別冊「中学生の道徳ノート」)
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを正面から取り上げている教材と、生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつもいっしょに」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・友達とよい関係を築いていくためには、どのようなことが大切なのかについて考えさせる教材 ○ 「プロレスごっこ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 社会参画, 公共の精神」 ・いじめの状況を改善するためにできることについて考えさせる教材 ○ 「過去からのメッセージ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「D 生命の尊さ」 ・先祖から受け継ぎ、子孫へと受け渡していく生命の連続性について考えさせる教材

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑦巻頭等, 巻末等の取扱いの工夫
方法	巻頭等, 巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には, 4つの視点で色分けしたマークとともに, 掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の目次には, いじめ問題対応ユニット, 生命尊重ユニットを色で囲み, まとまりを示している。 ○ 各学年, 折り込みページの扉に詩を掲載している。 ○ 各学年, 「話し合いの手引き」を折り込みページで示している。 ○ 各学年, 「道徳の授業はこんな時間に」を折り込みページで示している。 ○ 各学年, 「1年間で学ぶこと」とし, 4つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年, 「テーマでふり返ろう」とし, 6つのテーマで教材を分類して示している。 ○ 各学年, 「自分の学びをふり返ろう」とし, 切り取り式の自己評価用紙を各学期分設けている。 ○ 第1学年は, 「橋の上のおおかみ」を見開き2ページで, 第2学年は, 「読書で広げる道徳」, 第3学年は, 「将来の姿をイメージしよう」をそれぞれ1ページ設けている。 ○ 各学年, 「郷土のことを考える」を見開き2ページで設けている。 ○ 各学年, 切り取り式のホワイトボード用紙, 心情円を設けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に, 詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には, 4つの視点で色分けしたマークとともに, 掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の目次には, いじめや差別のない社会について考えるユニット, 生命の尊さについて考えるユニットを色で囲み, まとまりを示している。 ○ 各学年, 「道徳科で学びを深めるために」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年, 「この教科書で学んでいくテーマ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年, 「道徳の学びを記録しよう」を見開き2ページで設けている。 ○ 各学年, 「これからを生きる皆さんへ」を設けている。 ○ 各学年, 切り取り式で「道徳の学びを振り返ろう」を各学期分, 「1年間の道徳の学びを振り返ろう」を1回分, 設けている。 ○ 各学年, 「都道府県にゆかりのある人物と, その言葉」を6ページにわたって示している。

【特別の教科 道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、シーズンごとのまとまりを色別で区別し、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の目次には、シーズンごとの「学びのテーマ」に応じた複数のユニットに下線を引き、テーマを教材名の下に示している。また、年間に4か所、複数時間で取り組む教材を色で囲んで示している。 ○ 各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を1ページ使って示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「教材別テーマ一覧」を設け、「はじめを許さないために」「キャリア」など7つのテーマについて、教材との関連を示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを示している。 ○ 各学年、切り取り式の「学びの記録」をシーズンごとに折り込みで設けている。 ○ 第3学年は、「人生目標年表を書こう」を見開き2ページで設けている。 ○ 第1学年は、「日本の郷土玩具」を見開き2ページで、第2学年は、「日本各地の世界遺産」を3ページにわたって、第3学年は、「日本の先駆者たち」を4ページにわたって、「茶道に込められた礼儀の心」を見開き2ページで設けている。 ○ 各学年、各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで掲載している。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、学年のテーマ等を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の目次には、「『はじめ』と向き合う」「よりよい社会と私たち」のユニットを色で囲み、テーマを教材名の下に示している。 ○ 各学年、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「この教科書で学ぶテーマ」を見開き2ページで示し、「『はじめ』と向き合う」「よりよい社会と私たち」のテーマには囲みがある。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、掲載している全ての教材名及び「ノートの使い方」を示している。各学年、目次の次に、学年のテーマを題したページを1ページ設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、テーマや教科等との関連等を記載している。 ○ 各学年、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」で、学期ごとに振り返り欄を1ページ設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、テーマ等を掲載している。

【特別の教科 道徳】

<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、著名人の言葉を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次の前に、「道徳で学ぶこと・考えること」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の目次には、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって共に輝く」のユニットにテーマごとに色で囲み、マークで示している。 ○ 各学年、「よりよく生きるための22の鍵」を4つの視点に分類し、見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「さまざまなテーマで学ぼう」を1ページ使って示している。 ○ 各学年、「マイプロフィール」を1ページ設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示している。 ○ 各学年、「心の四季」を1ページ設けている。 ○ 各学年、「学びの記録」で、切り取り式の振り返り用紙を4回分設けている。 ○ 第3学年は、「未来への扉」を1ページ設け、歌詞を続く1ページに掲載している。
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年の目次の後に、教科書名に関する詩を1ページ使って掲載している。 ○ 各学年、「一道德の時間とは」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目を示している。また、各学年「中学〇年生の私」を1ページ設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「内容一覧」とし、内容項目や他教科・領域・現代的な課題等との関わりを示している。 ○ 各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「いじめ」、「情報モラル」、「持続可能な社会」について考えるページを、それぞれ見開き2ページで示している。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート」には、各学年、「心のしおり」を折り込みページで、「学習の記録」を見開き18ページ、「心に残っている授業の記録」を1ページ設けている。
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、内容項目順に掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年、「道徳科って何を学ぶの？」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「教科書の使い方」「心の成長を目指して」を1ページ使って示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1・2学年は、各学年の「心の成長」や「道徳の時間」、「これからの心の成長」の振り返り、第3学年は「心の成長」や「3年間の道徳の授業」、「心を動かした3年間のできごと」の振り返りを、見開き2ページで設けている。 ○ 各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 第3学年は、詩を見開き2ページで掲載している。

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「アクション」、「プラス」のマークを設定している。 ○ 「★」のマークを設定している。 ○ Dマーク、教科関連マーク、心情円のマークを設定している。 ○ 「考えよう」、「自分を見つめよう」のマークを設定している。 ○ 「つぶやき」のマークを設定している。 ○ キャラクター「考えタイガー」、「あや」、「しょう」を設定している。 ○ QRコード及びURLを示している。 ○ 「他教科リンク」、「動画」、「Webページ」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次及びテーマや教材名等の上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次及び該当のページの右上に、マークを使い、「アクション」は役割演技や体験的な学習を主体としたグループエンカウンターのページを示し、「プラス」は、直前の教材に関連したコラムのページを示している。 ○ 目次に「★」のマークを使い、切り取って使える巻末付録を示している。 ○ テーマや教材名の下に、マークを使い、デジタルコンテンツ、関連して扱える教科があること、心情円を活用できることをそれぞれ示している。 ○ 教材文の終わりに、「考えよう」のマークを使い、教材の中心発問を、「自分を見つめよう」のマークを使い、自己を振り返る一般化の発問を示している。 ○ 教材の下に「つぶやき」のマークを使い、思ったことや考えたことを書き込む欄を示している。 ○ 「道徳の時間はこんな時間に」や「アクション」のページ等で、学習の進め方等を示している。 ○ 教科書裏表紙に、デジタルコンテンツにアクセスするためのQRコード及びURLを示している。 ○ 教科書裏表紙に、「他教科リンク」、「動画」、「Webページ」のマークを使い、対応するデジタルコンテンツがあることを示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」のマークを設定している。 ○ 「学びの道しるべ」のマークを設定している。 ○ 「問い」のマークを設定している。 ○ 「やってみよう」のマークを設定している。 ○ 「まなびリンク」のマークを設定し、QRコード及びURLを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次及び教材名の右上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次及び教材の左下に、「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」のマークを使い、「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について深く考えることができる教材を示している。 ○ 教材文の終わりに「学びの道しるべ」のマークを使い、様々な角度から考えたり話し合ったりする発問を示している。 ○ 教材名の下及び「学びの道しるべ」において、4つの視点で色分けした「問い」のマークを使い、意識づけをする問いを示している。 ○ 目次及び該当のページに、「やってみよう」のマークを使い、役割演技や、日常の体験を想起して話し合う活動を示している。 ○ 教材の左下及び巻末「資料」のページの該当する箇所の右上に、「まなびリンク」のマークを使い、専用のウェブサイトアクセスできる教材を示している。また、目次に、アクセスするためのQRコード及びURLを示している。

【特別の教科 道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」のマークを設定し、問いを「・」で示している。 ○ 「深めたいむ」のマークを設定している。 ○ 「広げよう」のマークを設定している。 ○ QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の右上に、該当する4つの視点と内容項目を示している。 ○ 教材文の終わりに、「考えよう」、「見方を変えて」、「つなげよう」のマークを使い、めあて、別の立場や視点から考えられる問い、他教科や日常生活との関連等を示し、問いの前に「・」を示している。 ○ 目次及び該当のページの右上に「深めたいむ」のマークを使い、直前の教材で学んだことを、活動を通してさらに深めるページを示している。 ○ 目次及び該当のページの右上に「広げよう」のマークを使い、現代的な課題について学びを広げるコラムのページを示している。 ○ 教材名の下、「本書で学ぶ皆さんへ」のページ及び教科書裏表紙に、学習の参考となる資料等にアクセスするためのQRコードを示している。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えてみよう」、「自分に+1」のマークを設定している。 ○ 「プラットホーム」、「参考」、「私の生き方」のマークを設定している。 ○ 「問題解決的な学習」、「体験的な学習」のマークを設定している。 ○ 「教科書QRコンテンツ」のマークを設定し、QRコード及びURLを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上及び別冊「道徳ノート」の教材名の左横に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材文の終わりに、「考えてみよう」のマークを使い、ねらいに迫るための発問を、「自分に+1」のマークを使い、前向きに自分に生かすための発問を示している。 ○ 目次及び該当のページやコーナーの上に「プラットホーム」、「参考」、「私の生き方」のマークを使い、「プラットホーム」は、他教科や様々な活動とつなげ、考えや視野を広げるコラム、「参考」は、教材の内容理解を助けるコラム、「私の生き方」は、生き方のヒントや応援メッセージのコラムのページ及びコーナーを示している。 ○ 教科書の目次及び教材名の右横、別冊「道徳ノート」の教材名の右横に「問題解決的な学習」「体験的な学習」のマークを使い、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」を扱う教材を示している。 ○ 目次及び教材名の右下に、「教科書QRコンテンツ」のマークを使い、教科書QRコンテンツにアクセスできる教材を示している。また、目次に、アクセスするためのQRコード及びURLを示している。
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えよう」のマークを設定している。 ○ 「クローズアップ」、「クローズアッププラス」のマークを設定している。 ○ 「深めよう」のマークを設定している。 ○ 「ユニット学習」のマークを設定している。 ○ 「情報モラルマーク」、「いのち」のマークを設定している。 ○ 「書き込み欄」、「メモ欄」のマークを設定している。 ○ 「?ボックス・!ボックス」を設定している。 ○ 「QR」のマークを設定し、QRコードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次及び教材名の右上に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材文の終わりに、「考えよう」のマークを使い、これからの生き方について考えるきっかけとなる問いかけを示している。 ○ 目次及び該当のページの上に「クローズアップ」、「クローズアッププラス」のマークを使い、関連情報により生き方の選択肢を増やすページを示している。 ○ 目次及び該当のページの左上に「深めよう」のマークを使い、教材を基に考えを深め、広げるページを示している。 ○ 目次及びトビラのページに、「ユニット学習」のマークを使い、複数の教材で連続して学び、テーマについて考えを深めるまとまりを示している。 ○ 目次及び教材名の下に、「情報モラルマーク」、「いのち」のマークを使い、「情報モラルマーク」は情報社会における生き方を考える教材を示し、「いのち」のマークは命について様々な観点から考える教材を示している。 ○ 教材の下に、「書き込み欄」のマークを使い、自分の考えを記述する欄を、「メモ欄」のマークを使い、思いや気づきを記述する欄をそれぞれ示している。 ○ 教材の下に、「?ボックス・!ボックス」を使い、授業をガイドする問いかけを示している。 ○ 教材名の下に、「QR」のマークを使い、デジタルコンテンツとして、インターネット上の教科書サイトにある補助教材にアクセスできる教材を示している。また、目次に、学研教科書サイトにアクセスするためのQRコードを示している。

【特別の教科 道徳】

<p>廣あかつき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を色分けした丸の数で示している。 ○ 「考える・話し合う」「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを設定している。 ○ 木の葉のマークを設定している。 ○ 「thinking」のマークを設定している。 ○ 「生命」、「いじめ」、「情報」のマークを設定している。 ○ 「インターネット」のマークを設定し、QRコード及びURLを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の下に、該当する4つの視点と別冊「中学生の道徳ノート」の該当ページを示している。 ○ 教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを使い、「めあて」と「問い」、教材や内容項目についてさらに学習を深める内容を示している。 ○ 教材文の終わりに、木の葉のマークを使い、先人や現在活躍している著名人の言葉を掲載している。 ○ 目次、該当のページの上及び巻末の内容一覧に、「thinking」のマークを使い、教材と併せて活用できる特集を示している。 ○ 巻末の内容一覧に、「生命」、「いじめ」、「情報」のマークを使い、生命に関わる教材、いじめ防止・人権尊重に関わる教材、情報モラルに関わる教材を示している。 ○ 教材名の下に、「インターネット」のマークを使い、ホームページ上の資料にアクセスできる教材を示している。また、目次に、アクセスするためのQRコード及びURLを示している。
<p>日科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を色分けして示している。 ○ 「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のマークを設定している。 ○ 「もっと知りたい」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次及び教材名の上に、色別の内容項目を表す番号を示すとともに、教材を囲む罫線、マーク等を色分けして示している。 ○ 教材文の終わりに、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のマークを使い、生徒の思考を揺さぶる問いを示している。 ○ 教材文の終わりに、「もっと知りたい」の他に、第1学年は「交通安全に気をつけよう」等4つのマーク、第2学年は、「書いてみよう」等4つのマーク、第3学年は、「考えてみよう」等2つのマークを使い、教材と関連した特設ページを示している。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨ 考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方と具体例

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で「話し合いの手引き」を示すとともに、「道徳の授業はこんな時間に」の中に、ショートストーリーを例に話し合いの具体的な流れを示している。 ○ 教材文の終わりの「考えよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 教材文の下に、考えたり思ったりしたことを記述する「つぶやき」の欄を設けている。 ○ 「探究の対話『p 4 c (ピーフォーシー)』」のページに、直前の教材に関する話し合いの具体的な流れを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いの手引き」 <ul style="list-style-type: none"> ・三～五人でグループを作ります。 ○ 『『拓哉のなやみ』を読んで、考えてみよう』 <ul style="list-style-type: none"> ・グループになって話し合いましょう。ほかのグループで出た意見も聞いてみましょう。 ○ 教材名「その人が本当に望んでいること」 <ul style="list-style-type: none"> ・①で書いたことをもとに、三人のグループで話し合いましょう ○ 「つぶやき」 ○ 「対話の流れ」 <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやりの日々」(88～89 ページ)を読み、各自が問いを立てましょう。 	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳科で学びを深めるために」の中に、話し合いの方法を示している。 ○ 教材の終わりの「学びの道しるべ」のコーナーに、話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、話し合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもと ・友達と考えを出し合おう ・友達の考えを自分にいかそう ○ 教材名「おはよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「形だけの挨拶をする」のと、「黙っていても相手を思っている」のと、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。 	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1教材「道徳の授業を始めよう！」の「どうやって学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ 「深めたいむ」のページに、話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『『他者』との対話』 <ul style="list-style-type: none"> ・「グループやクラスで意見を出し合ったり、議論したりすると、どんなことに気づくだろう。」 ○ 教材名「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・このような場面に出会ったとき、Bさんの立場からは、悪ふざけをしている人たちに直接注意すること以外に、どんなことができるだろう。グループで話し合って、いろいろな方法を考えてみよう。 	

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳科での学び方」の中に、学習の流れを示している。 ○ 教材文の終わりの「学習の進め方」のページに、教材における話し合いを促す発問を示すとともに、「学習を深めるヒント」の中に、ホワイトボードを使った話し合いの方法を示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の中に、友達の見解や話し合いの内容を記述する欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びをより深めるための手立て」 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと話し合い、意見を交流して、自分の考えと比べ、多面的・多角的に考えよう。 ○ 教材名「自分だけ『余り』になってしまう…」 <ul style="list-style-type: none"> ・「余りの一人」を分かち合うとは、どういうことだろう。また、分かち合うときには何が大切だろう。グループで話し合おう。 ○ 「学習を深めるヒント」 <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを使って話し合いを深めてみよう。 ○ 「友達の見解や話し合いをメモしよう。」
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「新しい扉を開く」の中に、話し合う学習活動を提示し、「考えを深める四つのステップ」を示している。 ○ 教材文の終わりの「深めよう」のページに、「話し合おう」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 教材文の下に、思いや気づきを記述する「メモ欄」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合おう（話し合い、磨き合う）」 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで互いに深め合おう。 ・ボードやカードを利用してみよう。 ・クラス全体で話し合ってみよう。 ○ 教材名「公平とはなんだろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・公平について、レーム選手の参加を巡って考えたことを基に話し合おう。 ○ 「メモ欄」
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「自分を見つめよう—道徳の時間とは—」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「考える・話し合う」のコーナーに、「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート」の中に、自分の考えを記述する「学習の記録」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ともに考え、話し合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを他の人に分かりやすく伝え、他の人の考えをよく聞きましよう。そうすることで相互理解が深まるだけでなく、自分自身の見方や考え方を広げたり、深めたりすることができます。 ○ 教材名「ヨシト」 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨシトの表面だけを見て、本当のヨシトを見ることなくのけものにする学級の雰囲気についてどう思うか。 ・アツシの腹の底に生まれた「何か熱い塊」とはなんだろう。 ・いじめをする人は卑怯であり、傍観者も卑怯である。このことをしっかりと認識したうえで、いじめのない愛のある学級にするためにどんなことが大切なのか、皆で話し合ってみよう。 ○ 「学習の記録」
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材の終わりの「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科って何を学ぶの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業は、物事を広い視野からとらえ、話し合うことを通して、人間としてのよりよい生き方についての考えを深める学習の時間です ・みんなで考え、話し合う ○ 教材名「パーソナリティー」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のよさは、どこにあるのか。それをどのように伸ばしていくことができるのか考え、話し合ってみよう。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
方法	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの数等	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、心に残った教材や授業で学んでよかったこと、来学期の取り組み方や卒業後の心げけ等を記入する、振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の学びを振り返ろう」 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分の学びを振り返ろう」 ・授業の取り組みについて振り返ってみよう。 ・今学期（今期）に読んだ教材の中で、心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。 ・今学期（今期）を振り返って、道徳科の授業で学んでよかったことはどのようなことですか。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、毎時間の学習を通してためになったこと、勉強になったこと等の感想を記入する欄を設けている。 ○ 巻末に、一年間の学びを踏まえて考えたことを記入する、保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。 ○ 巻末に、心に残った教材や自分が成長したと思うこと等を記入する、振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学びを記録しよう」 【教材ごと】 ○ 「これからを生きる皆さんへ」 【1回分】 ○ 「道徳の学びを振り返ろう」 【3回分】 ○ 「1年間の道徳の学びを振り返ろう」 【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学びを記録しよう」 ・「授業の記録」の欄には、その教材を学習した日や、「ためになった」「勉強になった」「心に残った」などの感想を記入しましょう。 ○ 「これからを生きる皆さんへ」 ・どんな自分になりたいか、どんな生き方をしていきたいか、考えてみましょう。 ・家の人から ○ 「道徳の学びを振り返ろう」 ・今学期（今期）の道徳授業で「ためになった」「勉強になった」「心に残った」などと思う教材を三つ選び、記入しましょう。 ○ 「1年間の道徳の学びを振り返ろう」 ・3年生になった時に思った「学びたかったこと」「がんばりたかったこと」は実行できましたか。1年間の振り返って書きましょう。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材「道徳の学びを振り返ろう」の終わりに、1年間の学びを振り返り、未来の自分に手紙を書く欄を設けている。 ○ 巻末に、自分の将来を想像し、人生目標を年表に書く欄を設けている。 ○ 巻末折り返みに、毎時間の学習を通して考えたことや感じたこと、シーズン終わりの学びの振り返り等を記録する折り返みを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」 【1回分】 ○ 「人生目標年表を書こう」 【1回分】 ○ 「学びの記録」 【毎時間分】 【3シーズン分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年間の学びを振り返り、未来の自分に手紙を書こう。」 ・「⑩道徳の授業を始めよう！」（6～9ページ）や「学びの記録」（巻末の折込）を見て、次の観点で、1年間の道徳の授業を振り返ろう。 ○ 「人生目標年表を書こう」 ・まだ、先のことはいかにもわからないかもしれないけれど、自分の将来を想像して、現時点の人生目標を左の年表に書いてみよう。 ○ 「学びの記録」 ・シーズン1での道徳の学びを振り返って、印象に残ったことや感じたことは、どんなことだろう。どうして、そう感じたのだろう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」の巻末に、道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する、保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分への振り返り」【教材ごと】 ○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分への振り返り ○印をつけよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習の内容は印象に残った、残らなかった ・友達の見解や話し合いから、新しい発見や気づきがあった、なかった ○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・各学期末に、印象に残ったことや自分にプラスしたことなどを書いてみよう。
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、1年間の自分の成長を振り返るページを設けている。 ○ 巻末に、未来の自分に手紙を書くページを設けている。 ○ 巻末に、授業での取組や心に残った授業、学んでよかったこと等を記録する、振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心の四季」【1回分】 ○ 「未来への扉」【1回分】 ○ 「学びの記録」【4回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心の四季」 <ul style="list-style-type: none"> ・大切な友達に贈りたい言葉 ・思いついたり見つけたりしたとっておきの言葉 ○ 「未来への扉」 <ul style="list-style-type: none"> ・20歳の自分、就職した自分、大人になった自分… 未来の自分へ手紙を書こう。 ○ 「学びの記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・今学期（今期）の道徳科の授業について、振り返ってみよう。
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録や学習の記録を書く欄を設けている。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標についての振り返りを書く欄とともに、教材ごとの学習の振り返りをチェックする折り込みページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心に残っている授業の記録」【3回分】 ○ 「学習の記録」【36回分】 ○ 「心のしおり」 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分をのぼそう」【4回分】 ・「学習を振り返って」【教材ごと】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「心に残っている授業の記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残っている理由 ○ 「学習の記録」 ○ 「自分をのぼそう」 <ul style="list-style-type: none"> ・①を振り返ってどうだったか ・この1年の自分を振り返って ○ 「学習を振り返って」 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った あまり とても
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に、1年間の成長を振り返るページを設けている。 ○ 巻末に、3年間の道徳の授業について振り返るページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「3年生の心の成長を振り返りましょう」【内容項目ごと】 ○ 「私の道徳記録」【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「3年生の心の成長を振り返りましょう」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のレベルを判断してレベルのところの点に○をつけましょう。 ○ 「私の道徳記録」 <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の道徳の授業について振り返ってみましょう。 ・私の心を動かした3年間のできごと